

世田谷区

子ども・子育て支援事業計画(第2期)
策定に係るニーズ調査

調査報告書

平成31年3月

世田谷区

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 各調査の概要	3
(1) 就学前児童保護者調査	3
(2) 就学児童保護者調査	6
第2章 調査結果	9
1 就学前児童保護者調査	11
(1) 子どもと家族の状況	11
(2) 保護者の就労状況	14
(3) 育児休業制度・短時間勤務制度	23
(4) 定期的な教育・保育事業の利用	29
(5) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	42
(6) 病気やケガの時の保育	44
(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり	47
(8) ひろば事業・子育てサロン	51
(9) 災害時について	55
(10) 子育て全般	57
(11) 回答者の属性	67
(12) 世田谷区での子育て	69
2 就学児童保護者調査	90
(1) 子どもと家族の状況	90
(2) 保護者の就労状況	94
(3) 放課後の時間の過ごし方の現状	103
(4) 放課後の時間の過ごし方の希望	105
(5) 病気やケガの時の対応	117
(6) 災害時について	120
(7) ファミリー・サポート・センター事業の利用	122
(8) 子育て全般	126
(9) 回答者の属性	134
(10) 世田谷区での子育て	136
資料編 アンケート調査票及び集計結果	149
1 就学前児童保護者調査	151
2 就学児童保護者調査	174

第 1 章 調査概要

1 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」の策定のための全国の自治体で共通項目による調査に、世田谷区子ども条例の推進計画である「世田谷区子ども計画（第2期）」の改定のための独自の調査項目を加えて、今後の区の子育て支援策等の検討に資することを目的とする。

2 各調査の概要

(1) 就学前児童保護者調査

調査対象

世田谷区に居住する0歳～5歳（平成30年4月1日現在）の児童の保護者
各年齢1,000人ずつ 計6,000人

抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

調査方法

郵送配布・郵送回収

調査時期

平成30年9月26日～10月17日

回収数・回収率

発送・配布数	有効回収数 (有効回収率)
6,000	3,123 (52.1%)

調査項目

項目	問番号	質問
A 子どもと家族の状況	1	あて名の子どもの生年月日
	2	子どもの人数と末子の年齢
	3	居住している町丁目
	4	両親・祖父母の近居・同居
	5	子育てを主に行っている人
	6	祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況
B 保護者の就労状況	7	就労状況 (1)母親 (2)父親 ・フルタイムの就労時間/週、家を出る時間・帰宅時間 ・フルタイム以外の就労日数/週、時間/日、往復通勤時間、フルタイムへの転換希望
	7-1	(以前は就労していたが、現在は就労していない人) 母親の就労希望 ・1年より先に就労希望の人は、就労時の子どもの年齢 ・すぐ、1年以内に就労希望の人は、希望する就労形態
	7-2	(以前は就労していたが、現在は就労していないで、今後就労希望がある人) 就労を希望する理由
	7-3	(以前は就労していたが、現在は就労していないで、今後就労希望がある人) 就労希望があっても、現在働いていない理由
	8	出産前後1年間の離職の経験
	8-1	(出産前後1年間に離職した人)仕事をやめた理由
C 育児休業制度・短時間勤務制度	9	あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無 ・父親が取得した場合は、取得期間を記入 ・取得していない場合はその理由
	9-1	母親が取得した(取得中)の人の育児休業取得後職場復帰の有無
	9-2	(現在育児休業中の人) 希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間
	9-3	(育児休業取得後、職場復帰した人)職場復帰のタイミングは年度初めか
	9-4	(育児休業取得後、職場復帰した人) 職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望
	9-5	(育児休業取得後、職場復帰した人) 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢 ・育児給付金が2年まで出る場合 ・育児給付金が3年まで出る場合
	10	あて名の子どもについて短時間勤務制度の利用の有無 ・利用した場合は勤務時間/週 ・利用していない場合はその理由
	10-1	(短時間勤務制度を利用した・利用している、利用するつもりと回答した人) あて名の子どもが何歳のときまで短時間勤務制度を利用した、または、利用するつもりか
D 定期的な教育・保育事業の利用	11	定期的に希望する教育・保育事業、0～5歳の各歳別 ・事業を希望する上で重視する条件
	11-1	希望する幼稚園の利用時間(平日、土曜日、夏休み等の長期休暇中)
	12	教育・保育事業の定期的な利用の有無
	12-1	(教育・保育事業の定期的な利用がある人)教育・保育事業の種類
	12-2	(教育・保育事業の定期的な利用がある人)教育・保育事業の実施場所
	12-3	(教育・保育事業の定期的な利用がある人) 定期的に利用している教育・保育事業の利用日数/週、時間/日、時間帯
12-4	(教育・保育事業の定期的な利用がある人)利用している時間が希望通りか	

項目	問番号	質問
D 定期的な教育・保育事業の利用 (続き)	12 - 5	(教育・保育事業の定期的な利用がない人で利用時間が希望通りではない人) 利用日数/週、時間/日、時間帯 ・ 20時以降の利用を希望する場合の理由
	12 - 6	(教育・保育事業の定期的な利用がない人で利用時間が希望通りではない人) 現在と希望の利用時間が一致しない理由
E 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	13	土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望 ・ 土曜日(利用希望、利用したい時間帯) ・ 日曜日・祝日(利用希望、利用したい時間帯、利用希望理由)
F 病気やケガの時の保育	14	この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無
	14 - 1	(この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある人) 対処方法別日数/年
	14 - 2	(この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人) 病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無 ・ 利用したい場合の日数/年
G 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり	15	この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業、事業別利用日数/年
	15 - 1	一時預かりの今後の利用希望の有無
	15 - 2	(一時預かりの今後の利用希望がある人) 最も利用したい事業、利用したい目的別日数/年
	16	この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無 ・ 対処方法、対処方法別泊数/年
H ひろば事業・子育てサロン	17	「おでかけひろば・子育てひろば」の利用の有無と頻度
	17 - 1	(「おでかけひろば・子育てひろば」、「子育てサロン」を利用している人) 利用日数を増やしたいと思うか、その頻度
	17 - 2	(「おでかけひろば・子育てひろば」、「子育てサロン」を利用している人) 今後のおでかけひろば・子育てひろばの利用希望、その頻度
17 - 3	(「おでかけひろば・子育てひろば」、「子育てサロン」を利用していない人) 利用していない理由	
I 災害時について	18	災害時の対応のために家族で話し合ったこと
	19	災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無
	20	子どものために災害対策として備えているもの
J 子育て全般	21	妊娠中や産後の精神的な安定の程度
	22	妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人
	23	出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人
	24	子育てについて楽しいと感じる程度
	25	子育ての心配ごとや悩みごと
	26	子育ての心配ごとや悩みごとの相談先
	27	相談できる事業や窓口の認知度
	28	子育て支援サービス・制度に関する情報の入手先
	29	子どもが成長するうえで大切なこと
	30	子育てをするうえで足りていないと感じること
	31	第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度
	32	地域の子ども・子育て支援への携わり意向
K 回答者の属性	33	子どもからみた続柄
	34	年代
	35	現在の場所での居住年数
	36	家族や親族の中で介護を必要とする人の有無
	36 - 1	(家族や親族の中で介護を必要とする人がいる人) 介護の頻度
37	世帯収入	

項目	問番号	質問
L 世田谷区での子育て	38	世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度
		子育てに関する意見 < 自由回答 >

(2) 就学児童保護者調査

調査対象

世田谷区に居住する6歳～9歳（平成30年4月1日現在）の児童の保護者
各年齢1,000人ずつ 計4,000人

抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

調査方法

郵送配布・郵送回収

調査時期

平成30年9月26日～10月17日

回収数・回収率

発送・配布数	有効回収数 (有効回収率)
4,000	2,212 (55.3%)

調査項目

項目	問番号	質問(案)
A 子どもと家族の状況	1	あて名の子どもの生年月日
	2	あて名の子どもの学校の種類
	3	あて名の子どもの学年
	4	子ども的人数と末子の年齢
	5	居住している町丁目
	6	両親・祖父母の近居・同居
	7	子育てを主に行っている人
	8	祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況
B 保護者の就労状況	9	就労状況 (1)父親 (2)母親 ・フルタイムの就労時間/週、家を出る時間・帰宅時間 ・フルタイム以外の就労日数/週、時間/日、往復通勤時間、フルタイムへの転換希望
	9 - 1	(以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがない人) 母親の就労希望 ・1年より先に就労希望の人は、就労時の子どもの年齢 ・すぐ、1年以内に就労希望の人は、希望する就労形態
	9 - 2	(以前は就労していたが、現在は就労していないで、今後就労希望がある人) 就労を希望する理由
	9 - 3	(以前は就労していたが、現在は就労していないで、今後就労希望がある人) 就労希望があっても、現在働いていない理由
	10	小学校入学前後1年間の離職の経験
	10 - 1	(小学校入学前後1年間に離職した人)仕事をやめた理由
C 放課後の過ごし方の現状	11	放課後の時間の過ごし方の現状、行き先別日数/週
D 放課後の過ごし方の希望	12	放課後の時間の過ごし方の希望、行き先別日数/週 ・学童クラブを希望する場合は何年生まで利用したいか
	12 - 1	(学童クラブの利用意向がある人) 土曜日・日曜日・祝日、長期休暇中の学童クラブの利用希望、時間帯、長期休暇中の場合は日数
	12 - 2	(学童クラブ、BOPの利用意向がある人)利用したい理由
	12 - 3	(児童館の利用意向がある人)利用したい理由
	13	子どもが放課後過ごす場所として重視していること
F 病気やケガの時の保育	14	この1年間、病気やケガで学校を休まなければいけなかったことの有無
	14 - 1	(この1年間、病気やケガで学校を休まなければいけなかったことがある人) 対処方法別日数/年
	14 - 2	(この1年間、病気やケガで学校を休んだ時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人) 病児・病後児の保育サービスを利用したい思ったことの有無 ・利用したい場合の日数/年
G 災害時について	15	災害時の対応のために子どもと話し合ったこと
	16	災害時に手助けしてくれる知人・友人の有無
	17	災害対策として備えているもの

第1章 調査概要

項目	問番号	質問(案)
H ファミリー・サポ ート・センター事 業の利用	18	この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用の有無 ・ 利用した場合は、日数/年
	18 - 1	(知っているが利用したことはない、知らない人) 今後の利用希望 ・ 利用したい場合の日数/年
	19	この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければ いけなかったことの有無 ・ 対処方法、対処方法別泊数/年
I 子育て全般	20	子育てについて楽しいと感じる程度
	21	子育ての心配ごとや悩みごと
	22	子育ての心配ごとや悩みごとの相談先
	23	子育ての心配ごとや悩みごとを相談できる事業や窓口の認知度
	24	子どもが成長するうえで大切なこと
	25	子育てをするうえで足りていないと感じること
	26	普段の子どもとの関わりの程度
	27	第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度
28	地域の子ども・子育て支援の参加意向	
K 回答者の属性	29	子どもからみた続柄
	30	年代
	31	現在の場所での居住年数
	32	介護が必要な家族や親族の有無
	32 - 1	(介護が必要な人がいる人) 介護の頻度
	33	世帯収入
L 世田谷区での子育 て	34	世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度
		子育てに関する意見<自由回答>

第2章 調査結果

< 図表のみかた >

- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN（Number of case）、それ以外の場合にはnと表記しています。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合（例えば99.9%、100.1%）があります。
- 3 学童種別などは、未回答の方がいたため、合計が全体とは一致しません。
- 4 回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、%の合計は100%にならないことがあります。
- 5 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されています。

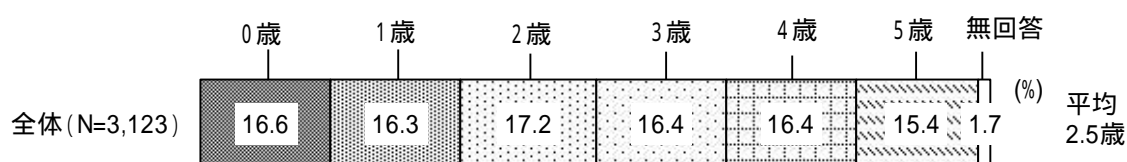
1 就学前児童保護者調査

(1) 子どもと家族の状況

子どもの年齢（問1）

子どもの年齢は平均 2.5 歳となっている（図表 1 - 1 - 1 ）。

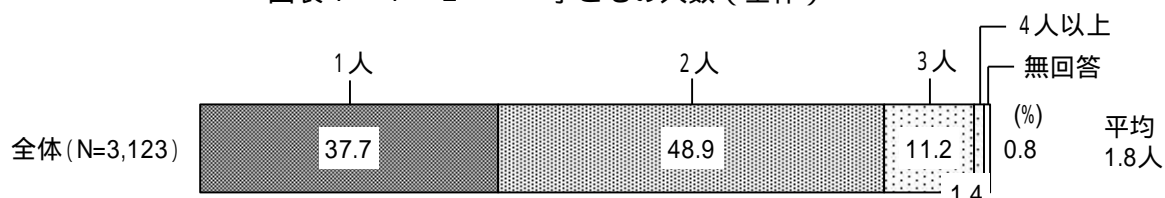
図表 1 - 1 - 1 年齢（全体）



子どもの人数と末子の年齢（問2）

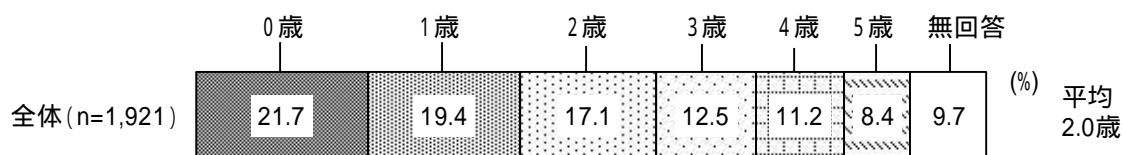
子どもの人数は「2人（48.9%）」が半数程度を占め、平均は 1.8 人となっている（図表 1 - 1 - 2 - ）。

図表 1 - 1 - 2 - 子どもの人数（全体）



末子の年齢は「0歳（21.7%）」と「1歳（19.4%）」が2割前後を占め、平均は 2.0 歳となっている（図表 1 - 1 - 2 - ）。

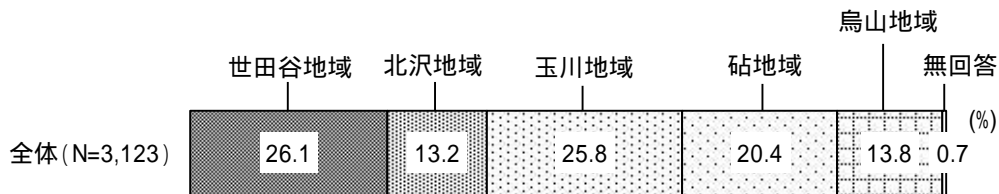
図表 1 - 1 - 2 - 末子の年齢（全体）



居住地域（問3）

居住地域は「世田谷地域（26.1%）」と「玉川地域（25.8%）」が2割台半ばで多く、「砧地域（20.4%）」が約2割で続いている（図表1-1-3）。

図表1-1-3 居住地域（全体）

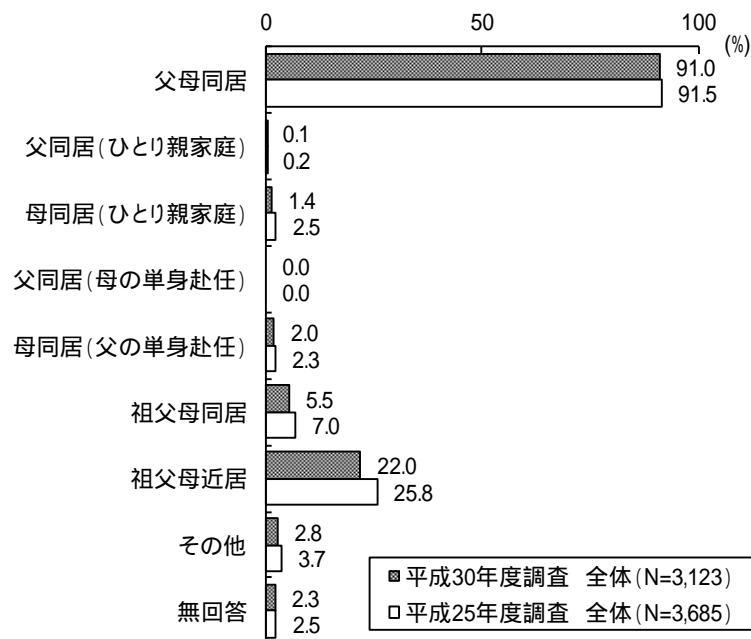


両親・祖父母の近居・同居（問4）

両親・祖父母の近居・同居について、両親は「父母同居（91.0%）」が9割を超えている。祖父母は「祖父母近居」が22.0%、「祖父母同居」が5.5%となっている。

前回調査と比較すると、今回調査は「祖父母近居」、「祖父母同居」とともに割合が低くなっている（図表1-1-4）。

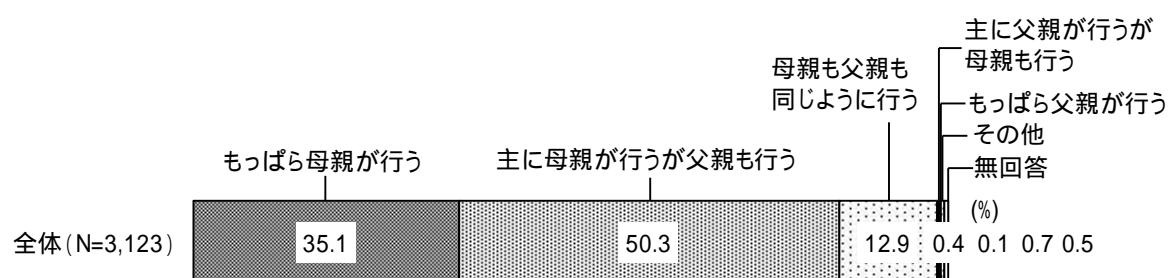
図表1-1-4 近居・同居の状況（全体：複数回答）【経年比較】



子育てを主に行っている人（問5）

子育てを主に行っている人は、「主に母親が行うが父親も行う（50.3%）」が半数程度で最も多く、「もっぱら母親が行う（35.1%）」、「母親も父親も同じように行う（12.9%）」が続いている（図表1-1-5）。

図表1-1-5 子育てを主に行っている人（全体）

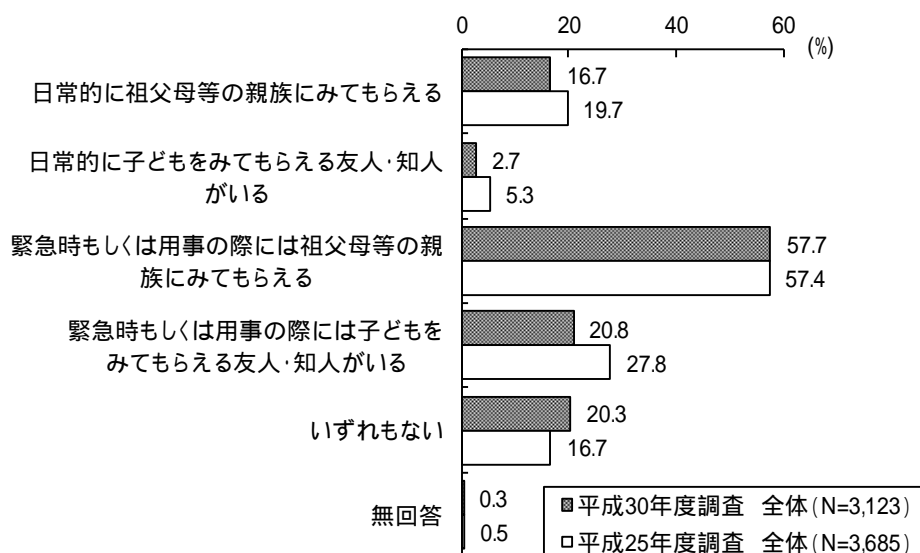


祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況（問6）

祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる（57.7%）」が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる（20.8%）」、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる（16.7%）」が続いている。

前回調査と比較すると、今回調査は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合がいずれも低くなり、「いずれもない」の割合が高くなっている（図表1-1-6）。

図表1-1-6 祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況
（全体：複数回答）【経年比較】



(2) 保護者の就労状況

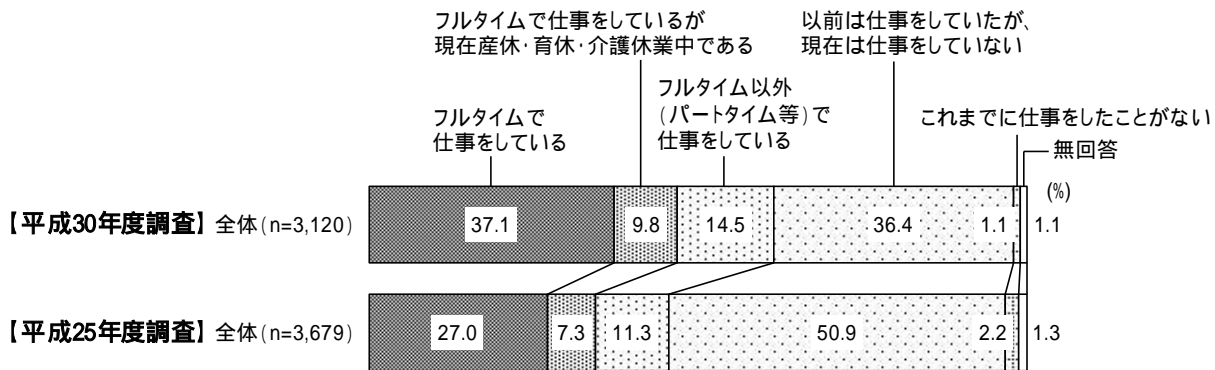
就労状況 (問7)

就労状況

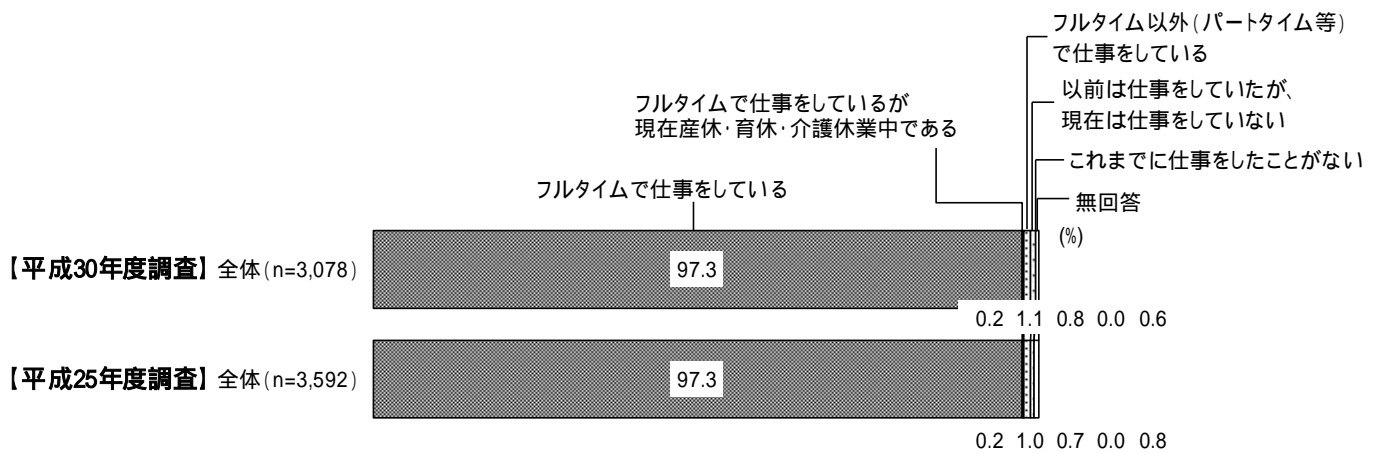
母親の就労状況は「フルタイムで仕事をしている (37.1%)」と「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない (36.4%)」がどちらも3割台となっている。前回調査と比較すると、今回調査では「フルタイムで仕事をしている」が10.1ポイント高くなっている(図表1-2-1-)。

父親の就労状況は「フルタイムで仕事をしている (97.3%)」がほとんどとなっており、前回調査と同様の傾向となっている(図表1-2-1-)。

図表1-2-1- 就労状況(母親)【経年比較】



図表1-2-1- 就労状況(父親)【経年比較】

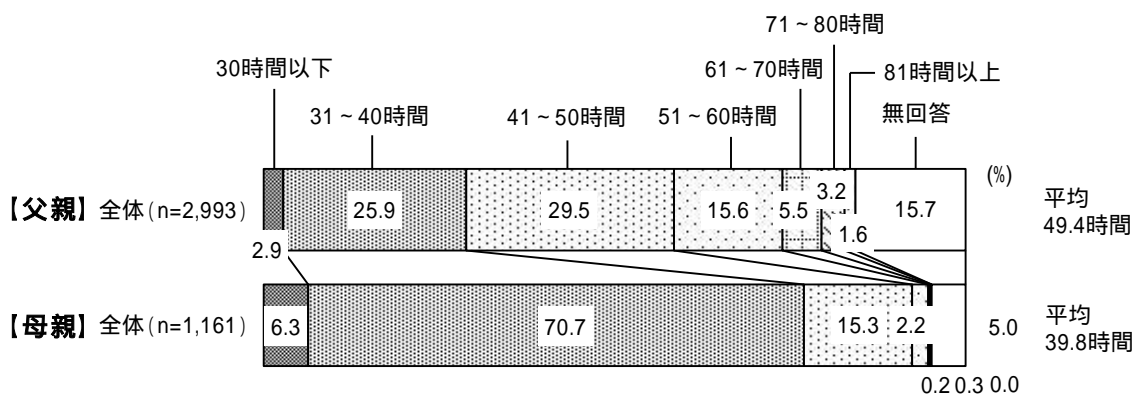


フルタイムで働いている人の1週あたりの就労時間

フルタイムで働いている人の1週あたりの就労時間は、父親では「41～50時間(29.5%)」が最も多く、「31～40時間(25.9%)」が続いており、平均49.4時間となっている。

母親では、「31～40時間(70.7%)」が7割を占めており、平均39.8時間となっている(図表1-2-1-)。

図表1-2-1- 1週あたりの就労時間(全体)
 <フルタイムで働いていると回答した人>

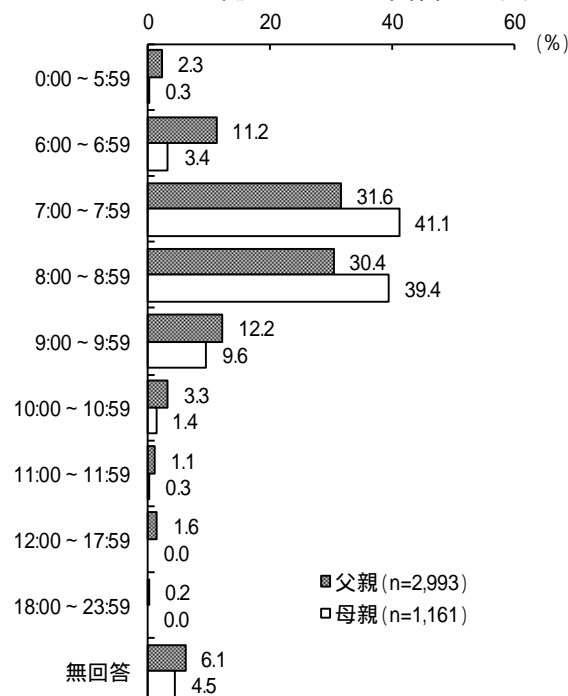


フルタイムで働いている人の家を出る時間

フルタイムで働いている人の家を出る時間は、父親では「7:00～7:59(31.6%)」と「8:00～8:59(30.4%)」が3割強と多くっており、「9:00～9:59(12.2%)」と「6:00～6:59(11.2%)」が1割強となっている。

母親では「7:00～7:59(41.1%)」と「8:00～8:59(39.4%)」が4割前後と多くとなっている(図表1-2-1-)。

図表1-2-1- 家を出る時間(全体)
 <フルタイムで働いていると回答した人>

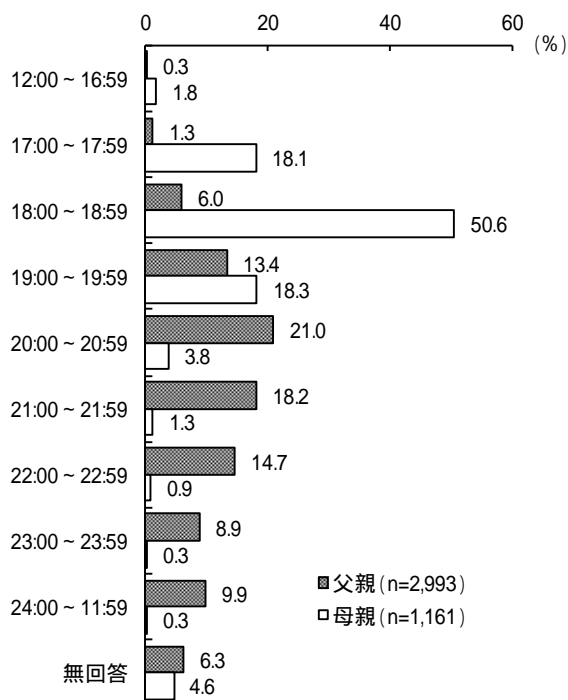


フルタイムで働いている人の帰宅時間

フルタイムで働いている人の帰宅時間は、父親では「20:00～20:59(21.0%)」が最も多く、「21:00～21:59(18.2%)」、「22:00～22:59(14.7%)」が続いている。

母親では「18:00～18:59(50.6%)」が約半数で最も多く、「19:00～19:59(18.3%)」、「17:00～17:59(18.1%)」が続いている(図表1-2-1-)。

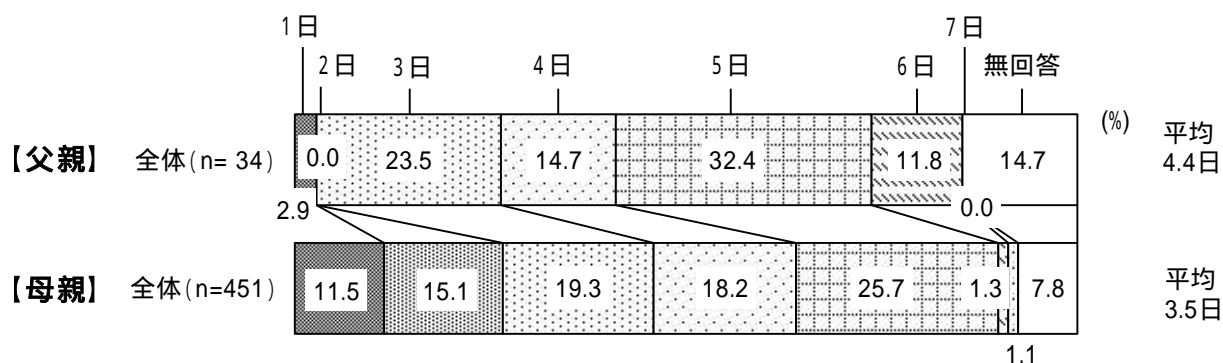
図表1-2-1- 帰宅時間(全体)
<フルタイムで働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数

フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数は、父親では平均4.4日、母親では平均3.5日となっている(図表1-2-1-)。

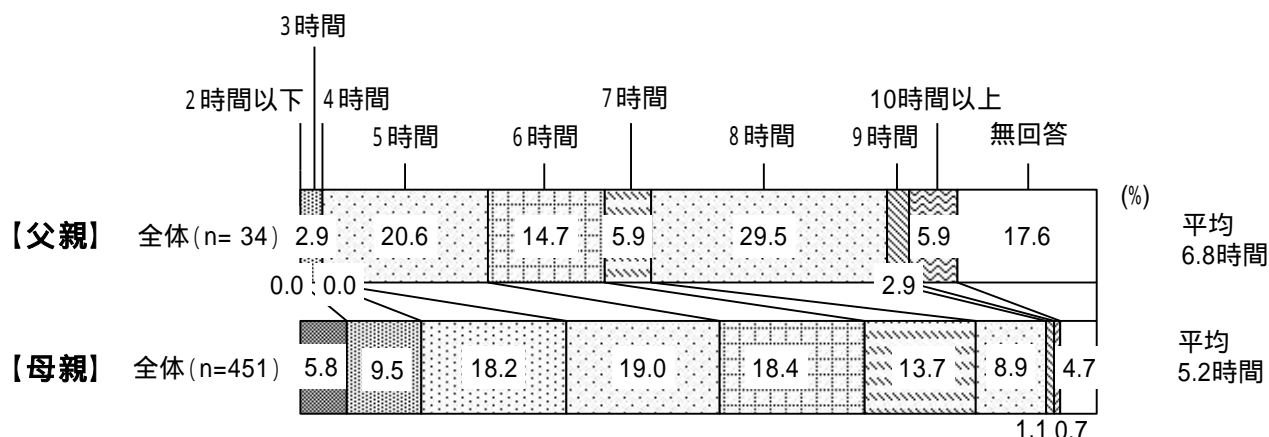
図表1-2-1- 1週間あたりの就労日数(全体)
<フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間

フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間は、父親では平均6.8時間、母親では平均5.2時間となっている（図表1-2-1- ）。

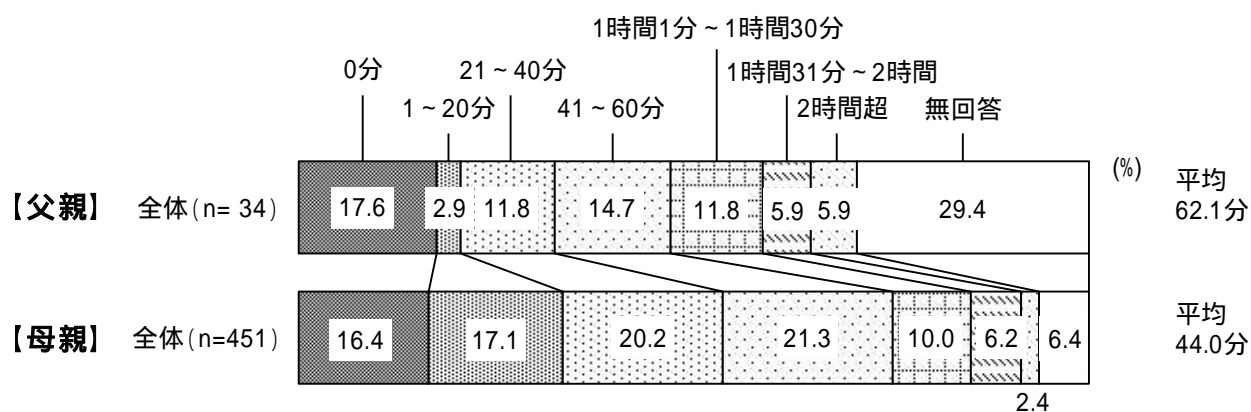
図表1-2-1- 1日あたりの就労時間（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間

フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間は、父親では平均62.1分、母親では平均44.0分となっている（図表1-2-1- ）。

図表1-2-1- 往復通勤時間（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



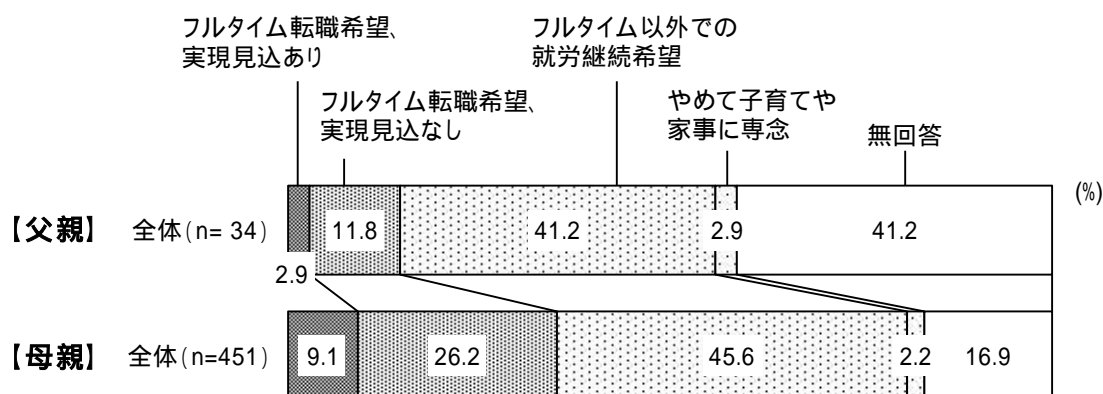
フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望

フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望は、父親では「フルタイム以外での就労継続希望（41.2%）」が4割強で最も多くなっている。

母親では「フルタイム以外での就労継続希望（45.6%）」が4割台で最も多く、「フルタイム転職希望、実現見込なし（26.2%）」が2割台で続いている（図表1-2-1- ）。

図表1-2-1- フルタイムへの転職希望（全体）

<フルタイム以外で働いていると回答した人>

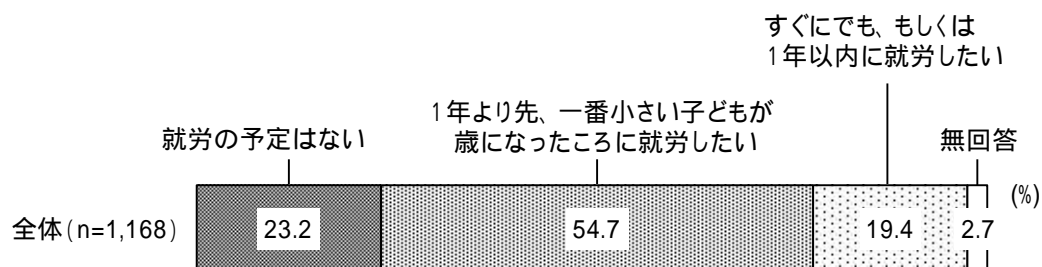


母親の就労希望（問7-1）

母親が現在就労していないと回答した人に就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい（54.7%）」が5割台で最も多くなっている（図表1-2-2- ）。

図表1-2-2- 母親の就労希望（全体）

<母親が現在就労していないと回答した人>

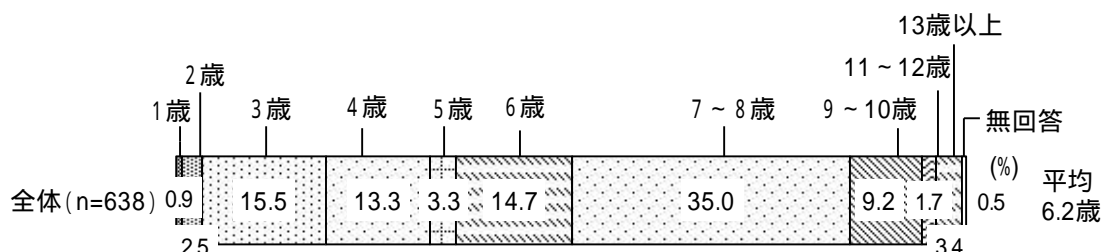


就労したいと思う末子の年齢

母親が現在就労しておらず、「1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい」と回答した人に、就労したいと思う末子の年齢をたずねたところ、「7～8歳（35.0%）」が最も多く、平均6.2歳となっている（図表1-2-2- ）。

図表1-2-2- 就労したいと思う末子の年齢（全体）

< 1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したいと回答した人 >

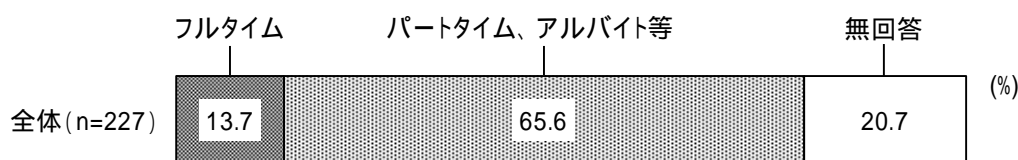


希望する就労形態

母親が現在就労しておらず、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等（65.6%）」が6割台、「フルタイム（13.7%）」が1割台となっている（図表1-2-2- ）。

図表1-2-2- 希望する就労形態（全体）

< すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した人 >



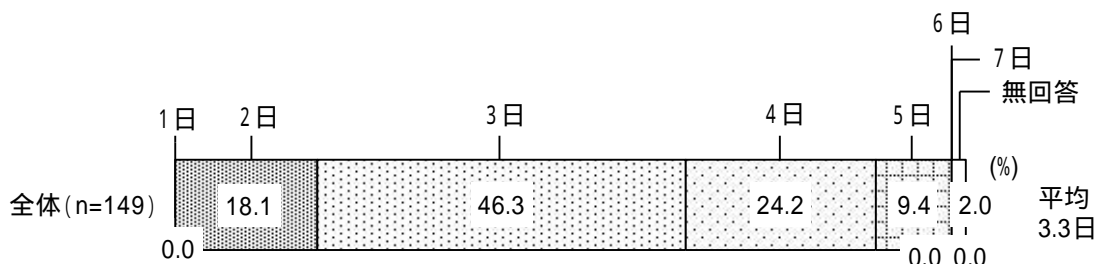
パートタイム、アルバイト等の場合の希望する1週あたりの就労日数・就労時間

上記で「パートタイム、アルバイト等」と回答した人の希望する1週あたりの就労日数は、平均3.3日となっている。（図表1-2-2- ）。

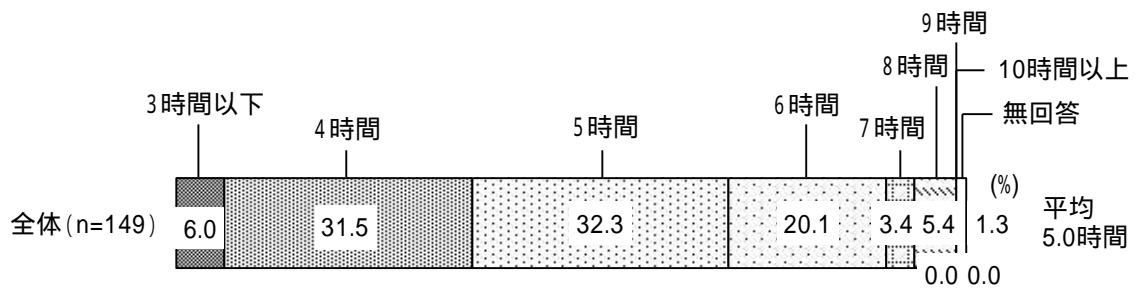
1日あたりの就労時間は平均5.0時間となっている（図表1-2-2- ）。

図表1-2-2- 希望する1週あたりの就労日数（全体）

< パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人 >



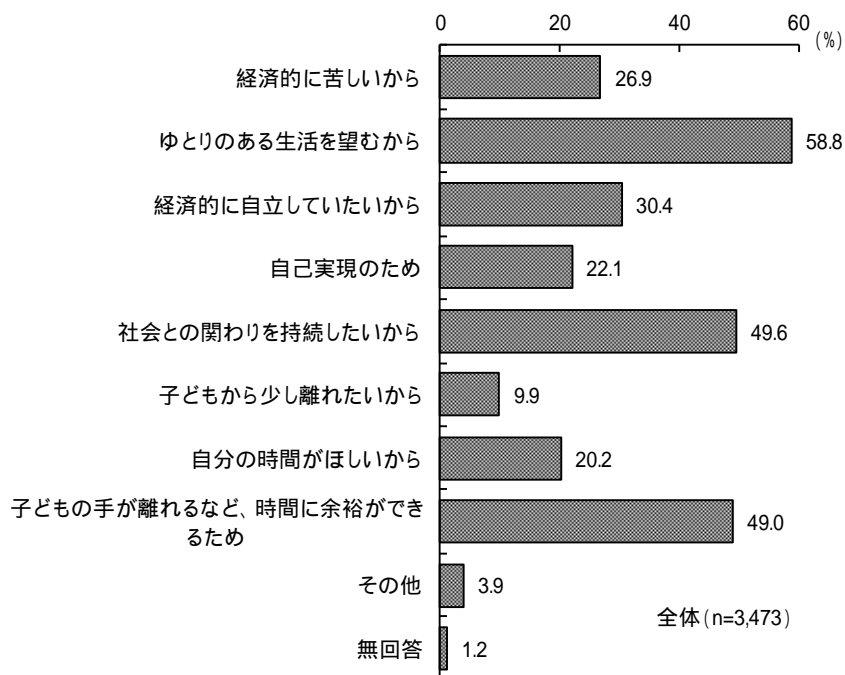
図表1-2-2 希望する1日あたりの就労時間（全体）
 <パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人>



就労を希望する理由（問7-2）

母親で現在就労していないが、就労を希望している人に、就労を希望する理由をたずねたところ、「ゆとりのある生活を望むから（58.8%）」が最も多く、「社会との関わりを持続したいから（49.6%）」、「子どもの手が離れるなど、時間に余裕ができるため（49.0%）」が続いている（図表1-2-3）。

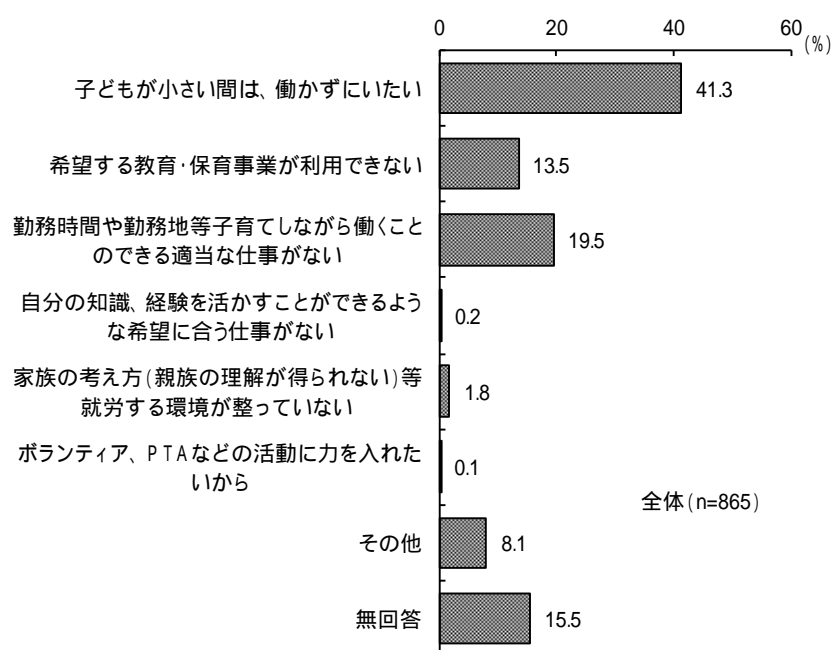
図表1-2-3 就労を希望する理由（全体：複数回答）
 <母親で現在就労していないが、就労を希望している人>



就労希望があっても、現在働いていない理由（問7 - 3）

母親で現在就労していないが、就労を希望している人に、就労希望があっても、現在働いていない理由をたずねたところ、「子どもが小さい間は、働かずにいたい（41.3%）」が4割強で最も多く、「勤務時間や勤務地等子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない（19.5%）」、「希望する教育・保育事業が利用できない（13.5%）」が続いている（図表1 - 2 - 4）。

図表1 - 2 - 4 就労希望があっても、現在働いていない理由（全体）
 < 母親で現在就労していないが、就労を希望している人 >

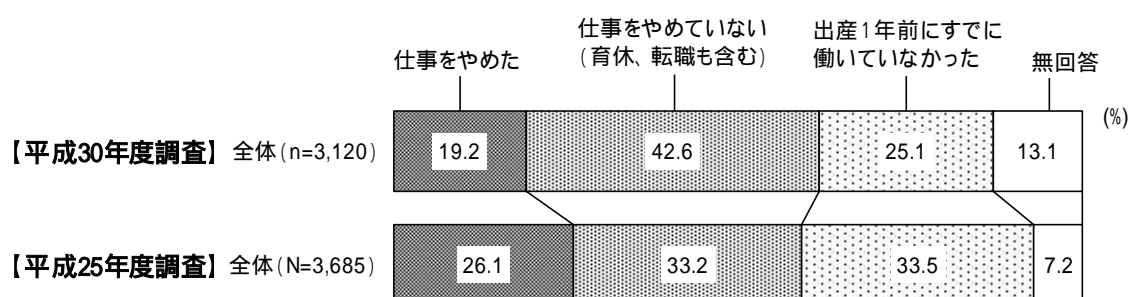


出産前後1年間の離職の経験（問8）

母親の出産前後1年間の離職の経験は、「仕事をやめていない（育休、転職も含む）（42.6%）」が4割台となっている。

前回調査と比較すると、今回調査は「仕事をやめていない（育休、転職も含む）」の割合が9.4ポイント高くなっている（図表1 - 2 - 5）。

図表1 - 2 - 5 出産前後1年間の離職の経験（全体）【経年比較】

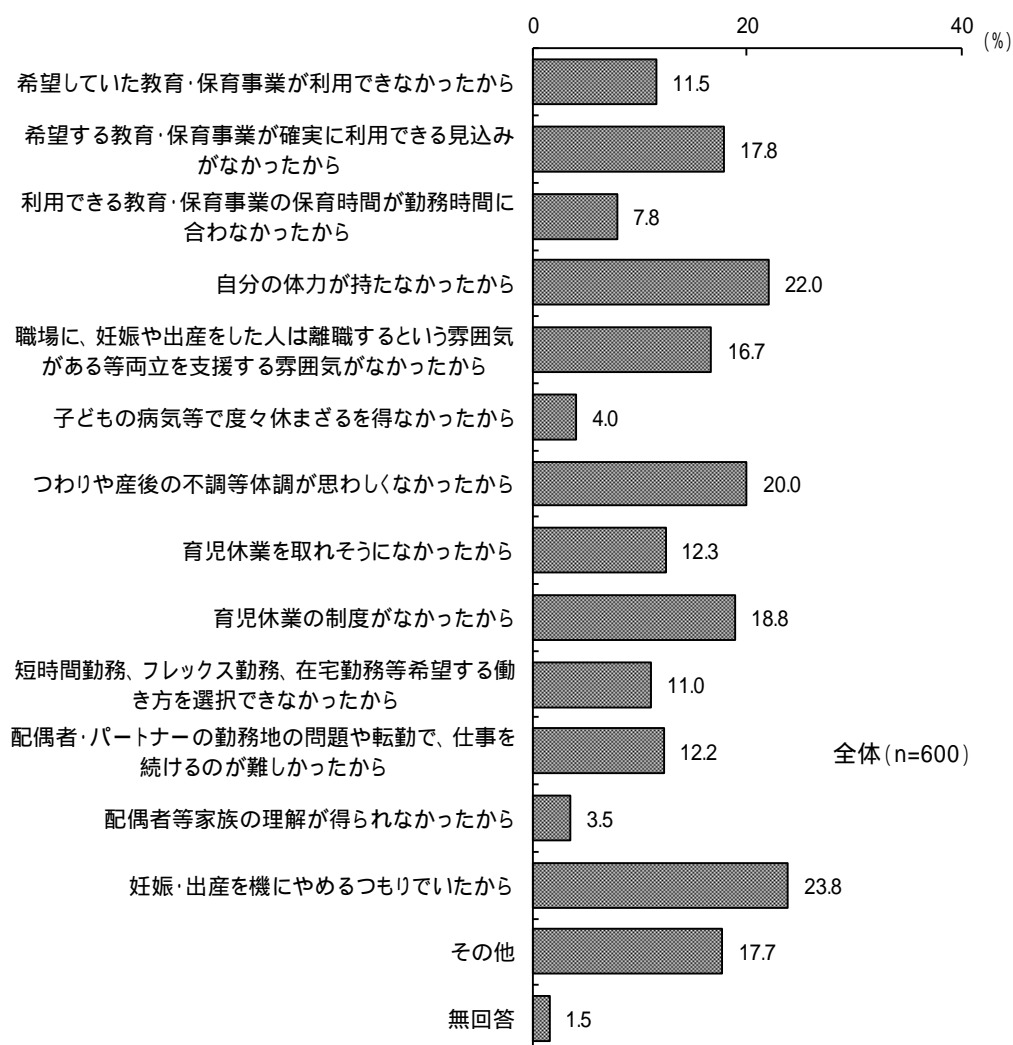


出産前後1年間に仕事をやめた理由（問8 - 1）

出産前後1年間に母親が仕事をやめた人に、その理由をたずねたところ、「妊娠・出産を機にやめるつもりでいたから（23.8%）」が最も多く、「自分の体力が持たなかったから（22.0%）」、「つわりや産後の不調等体調が思わしくなかったから（20.0%）」が続いている（図表1 - 2 - 6）。

図表1 - 2 - 6 出産前後1年間に仕事をやめた理由（全体：複数回答）

< 出産前後1年間に仕事をやめたと回答した人 >



(3) 育児休業制度・短時間勤務制度

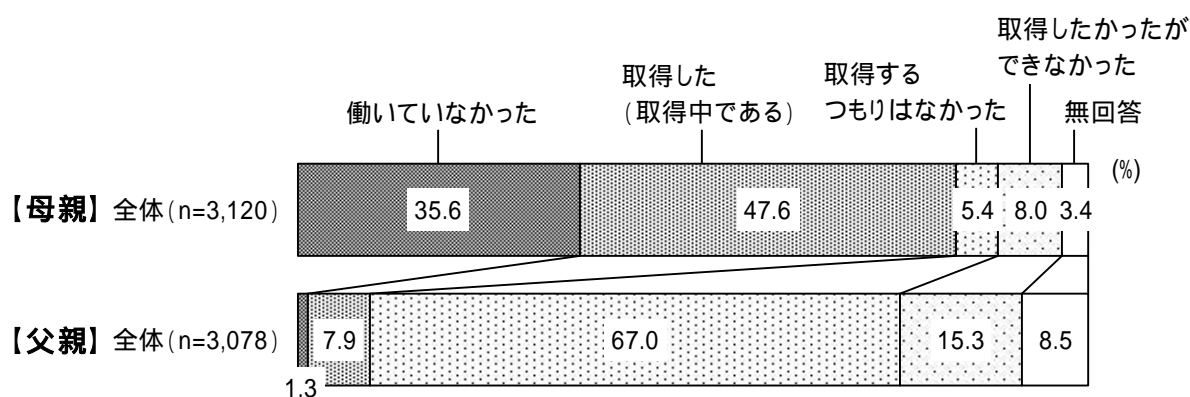
あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無（問9）

あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無は、母親では「取得した（取得中である）（47.6%）」が4割台、「働いていなかった（35.6%）」が3割台となっている。

父親では「取得するつもりはなかった（67.0%）」が6割台後半を占めており、「取得したかったができなかった（15.3%）」と合計すると、82.3%が取得していない（図表1-3-1-1- ）。

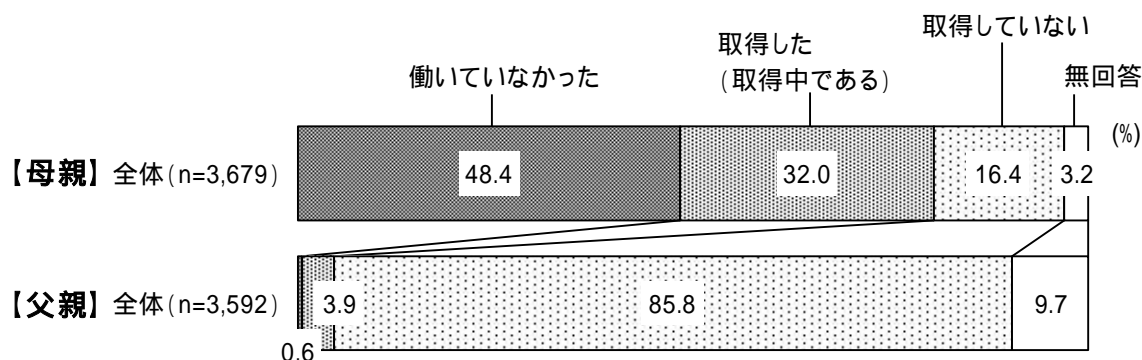
前回調査と比較すると、今回調査は母親では「取得した（取得中である）」が15.6ポイント高くなり、「働いていなかった」が12.8ポイント低くなっている。父親では「取得した（取得中である）」が4.0ポイント高くなっている（図表1-3-1- ）。

図表1-3-1- あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無（全体）



図表1-3-1- あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無（全体）

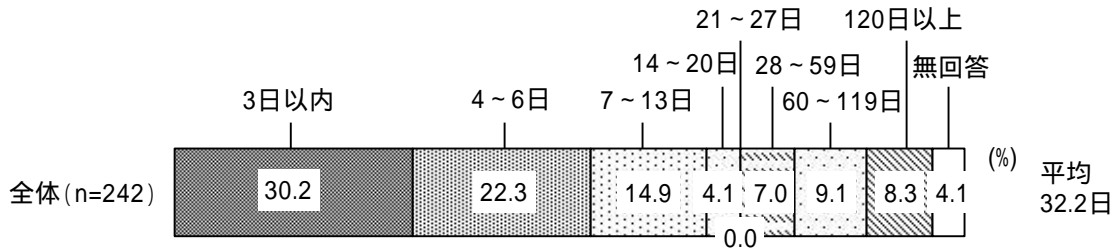
【平成25年度調査】



父親が育児休業を取得した場合の取得期間

父親が育児休業を取得した場合の取得期間は「3日以内(30.2%)」が最も多く、「4～6日(22.3%)」、「7～13日(14.9%)」が続いており、平均は32.2日となっている(図表1-3-1-)。

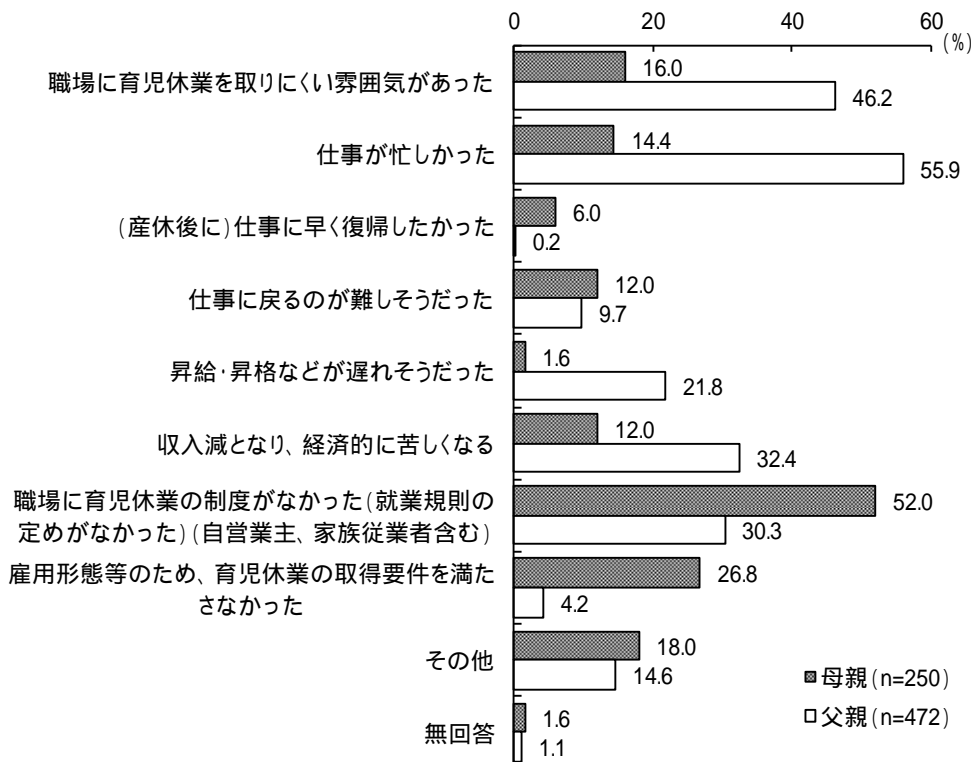
図表1-3-1- 父親が育児休業を取得した場合の取得期間(全体)
 <父親が育児休業を取得したと回答した人>



育児休業を取得していない場合はその理由

育児休業を取得していない人に、取得していない理由をたずねたところ、母親では「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則の定めがなかった)(自営業主、家族従業者含む)(52.0%)」が最も多く、「雇用形態等のため、育児休業の取得要件を満たさなかった(26.8%)」が続いている。父親では「仕事が忙しかった(55.9%)」が最も多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(46.2%)」、「収入減となり、経済的に苦しくなる(32.4%)」が続いている(図表1-3-1-)。

図表1-3-1- 育児休業を取得していない場合の理由(全体：複数回答)
 <育児休暇を取得していないと回答した人>

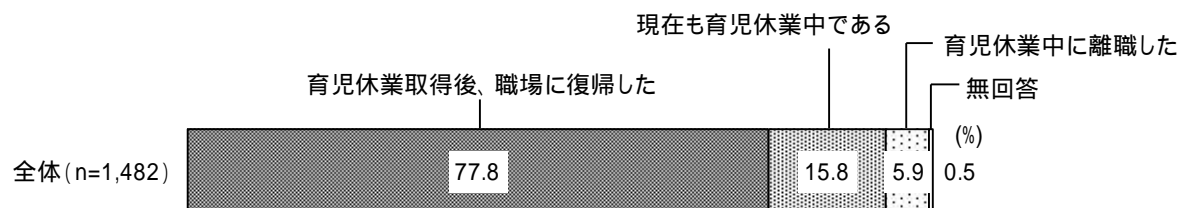


母親の育児休業取得後の職場復帰の有無（問9 - 1）

母親が育児休業を取得した人に、育児休業取得後の職場復帰の有無をたずねたところ、「育児休業取得後、職場に復帰した」が77.8%、「現在も育児休業中である」が15.8%、「育児休業中に離職した」が5.9%となっている（図表1 - 3 - 2）。

図表1 - 3 - 2 母親の育児休業取得後の職場復帰の有無（全体）

<母親が育児休業を取得したと回答した人>

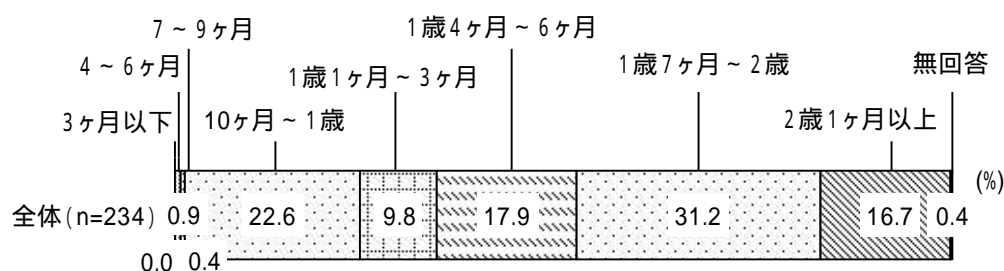


希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間（問9 - 2）

母親が育児休業を取得した人で「現在も育児休業中である」と回答した人に、希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間をたずねたところ、「1歳7ヶ月～2歳（31.2%）」が最も多く、「10ヶ月～1歳（22.6%）」が続いている（図表1 - 3 - 3）。

図表1 - 3 - 3 希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間（全体）

<母親が育児休業を取得して現在育児休業中と回答した人>

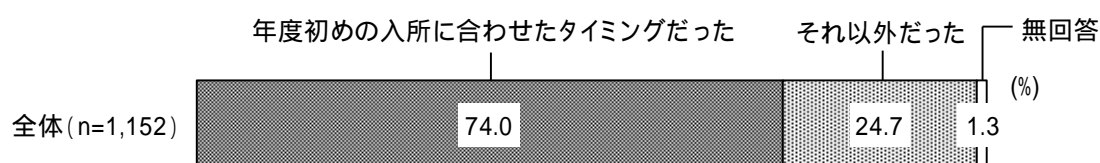


職場復帰のタイミングは年度初めか（問9 - 3）

母親が育児休業を取得した人で職場復帰したと回答した人に職場復帰のタイミングは年度初めかたずねたところ、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった（74.0%）」が7割台を占めている（図表1 - 3 - 4）。

図表1 - 3 - 4 職場復帰のタイミングは年度初めか（全体）

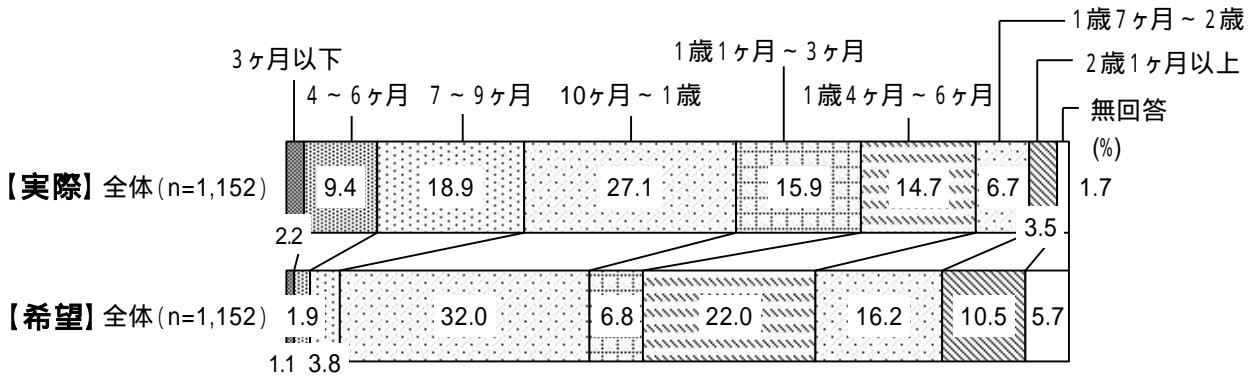
<母親で育児休業取得後、職場復帰したと回答した人>



職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望（問9 - 4）

母親が育児休業を取得した人で職場復帰したと回答した人に職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望をたずねたところ、実際では1歳1ヶ月以上が40.8%であるのに対し、希望では55.5%となっている（図表1 - 3 - 5）。

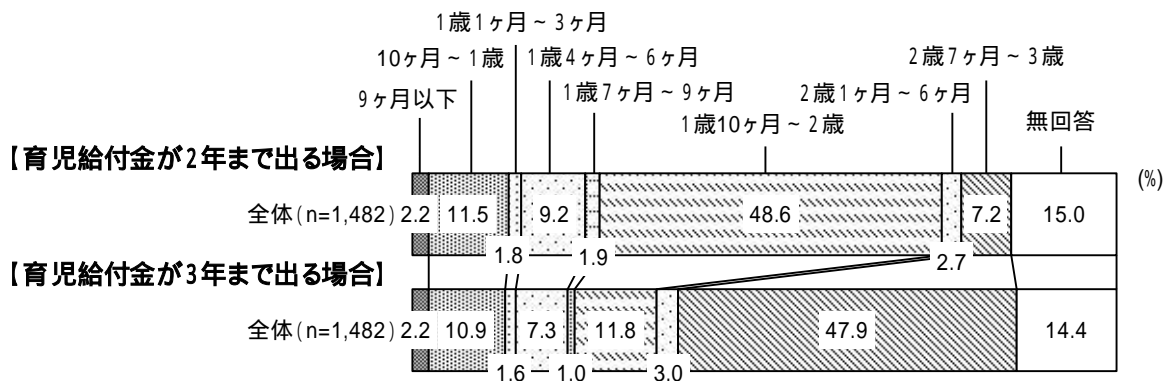
図表1 - 3 - 5 職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望（全体）
 < 母親で育児休業取得後、職場復帰したと回答した人 >



育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢（問9 - 5）

母親が育児休業を取得した人に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢をたずねたところ、育児給付金が2年まで出る場合では、「1歳10ヶ月～2歳（48.6%）」が半数程度で最も多くなっている。育児給付金が3歳まで出る場合では「2歳7ヶ月～3歳（47.9%）」が半数程度で最も多くなっている（図表1 - 3 - 6）。

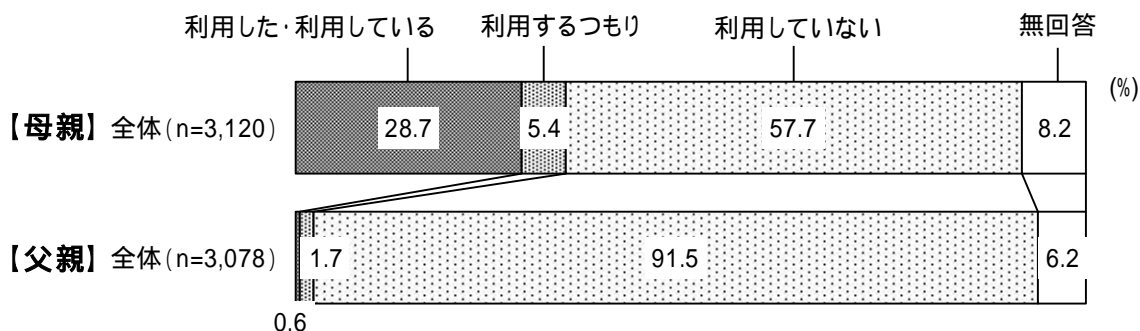
図表1 - 3 - 6 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢（全体）< 母親が育児休業を取得したと回答した人 >



あて名の子どもについての短時間勤務制度の利用の有無（問 10）

あて名の子どもについての短時間勤務制度の利用の有無は、母親では「利用した・利用している」が 28.7%、「利用するつもり」が 5.4%となっている。父親では「利用した・利用している」が 0.6%、「利用するつもり」が 1.7%にとどまっている（図表 1 - 3 - 7 - ）。

図表 1 - 3 - 7 - あて名の子どもについての短時間勤務制度の利用の有無（全体）

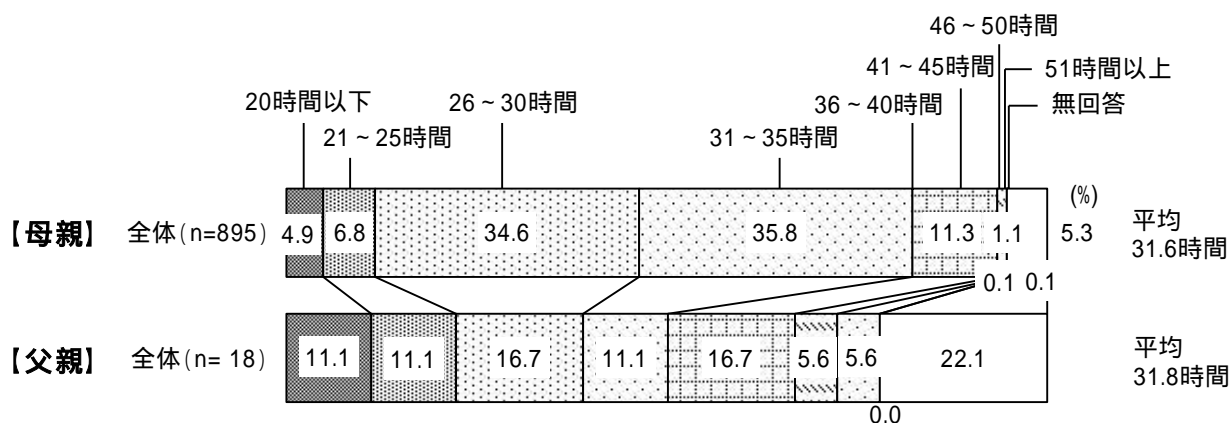


短時間勤務制度を利用した場合の 1 週間あたりの勤務時間

短時間勤務制度を利用した・利用していると回答した人に 1 週間あたりの勤務時間をたずねたところ、母親では「31～35 時間（35.8%）」と「26～30 時間（34.6%）」が 3 割台で多く、平均は 31.6 時間となっている。父親では平均は 31.8 時間となっている（図表 1 - 3 - 7 - ）。

図表 1 - 3 - 7 - 短時間勤務制度を利用した場合の 1 週間あたりの勤務時間（全体）

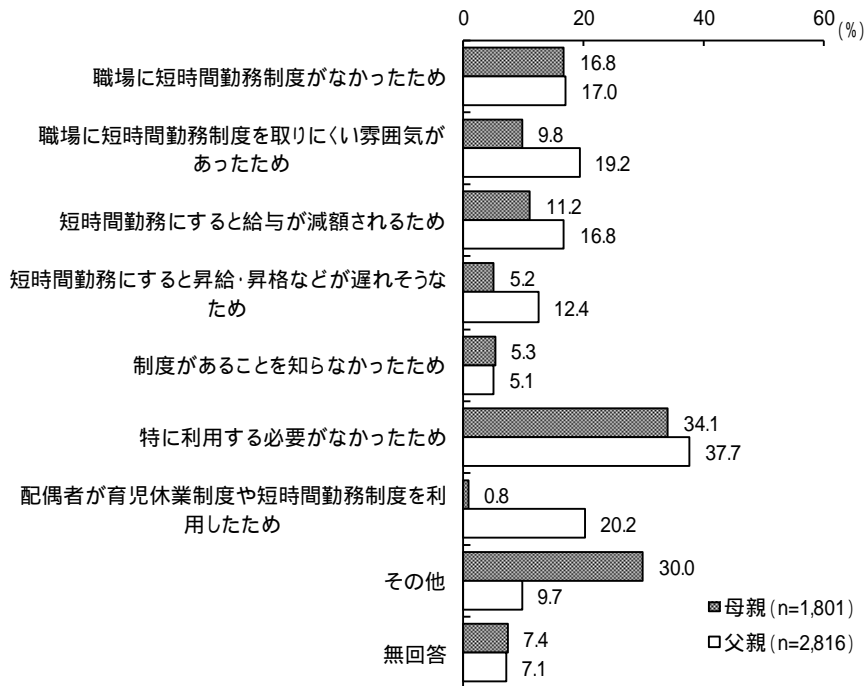
< 短時間勤務制度を利用した・利用していると回答した人 >



短時間勤務制度を利用していない理由

短時間勤務制度を利用していない人に、その理由をたずねたところ、母親、父親ともに「特に利用する必要がなかったため(それぞれ 34.1%、37.7%)」が最も多くなっている。また、母親では「その他(30.0%)」が3割と多くなっており、その内容は「働いていなかった」、「退職した」などが多く見られた(図表1-3-7-)。

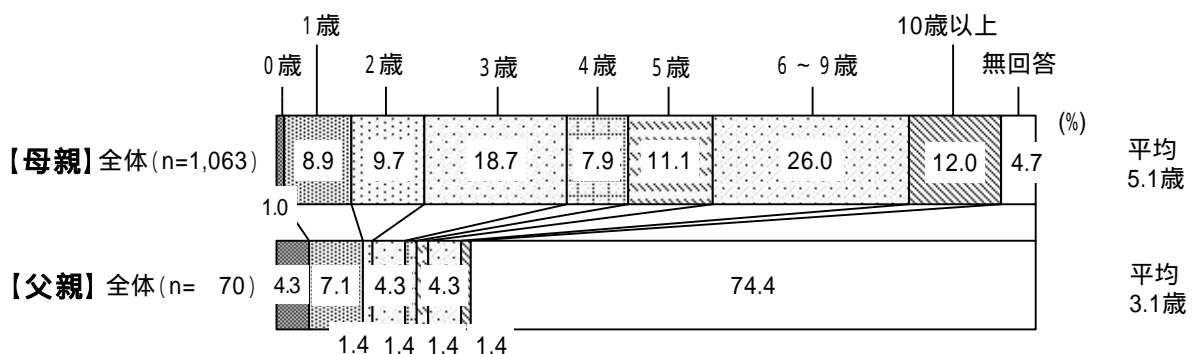
図表1-3-7- 短時間勤務制度を利用していない理由(全体:複数回答)
 <短時間勤務制度を利用していないと回答した人>



あて名の子どもが何歳のときまで短時間勤務制度を利用した、または、利用するつもりか(問10-1)

短時間勤務制度を利用した・利用している、利用するつもりと回答した人に、あて名の子どもが何歳のときまで短時間勤務制度を利用した、または、利用するつもりかたずねたところ、母親では「6~9歳(26.0%)」が最も多く、「3歳(18.7%)」が続いている。父親は「1歳(7.1%)」が最も多くなっている(図表1-3-8)。

図表1-3-8 あて名の子どもが何歳のときまで短時間勤務制度を利用した、または、利用するつもりか(全体)
 <短時間勤務制度を利用した・利用している、利用するつもりと回答した人>



(4) 定期的な教育・保育事業の利用

希望する教育・保育事業（問11）

希望する教育・保育事業の第1希望は、0～2歳では「区立、私立保育所〔認可保育施設〕」が4割を超え最も多くなっている。3～5歳では「区立、私立保育所〔認可保育施設〕」が3割台で最も多く、「私立幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）」が1割台から2割強、「私立幼稚園（通常の教育時間）」が1割強で続いている（図表1-4-1- ）。

図表1-4-1- 希望する教育・保育事業 第1希望（全体）

<対象児童の実年齢以上のときの希望>

(%)

	区立、私立保育所 〔認可保育施設〕	家庭的保育事業 〔認可保育事業〕	小規模保育事業 〔認可保育事業〕	事業所内保育事業 〔認可保育事業〕	認証保育所	保育室	保育ママ	企業主導型保育事業	認定こども園 〔教育標準時間認定枠〕	認定こども園 〔保育認定枠〕	区立幼稚園 〔通常の教育時間〕	区立幼稚園 〔通常の教育時間＋日常的な預かり保育〕	私立幼稚園 〔通常の教育時間〕	私立幼稚園 〔通常の教育時間＋日常的な預かり保育〕	ベビーシッター	保護者が子どもを見られるため、教育・保育事業の利用を希望しない	就労はしているが、在宅勤務や子連れ出勤をしていないため、教育・保育事業の利用を希望しない	その他	無回答
0歳 (n= 517)	41.5	1.9	2.9	0.4	2.7	0.2	0.0	1.2	0.4	5.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.4	17.4	1.2	0.6	22.4
1歳 (n=1,027)	45.4	1.8	3.5	0.5	2.7	0.8	0.2	1.0	0.4	5.9	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	12.4	0.6	0.3	23.0
2歳 (n=1,567)	46.7	1.4	3.6	0.6	2.9	1.0	0.3	0.8	0.6	7.3	0.1	0.4	0.6	0.4	1.2	10.3	0.8	1.3	19.7
3歳 (n=2,078)	36.8	0.2	0.4	0.2	1.1	0.3	0.1	0.1	4.9	8.8	1.4	3.5	11.5	16.0	0.0	2.0	0.1	1.0	11.6
4歳 (n=2,589)	34.6	0.0	0.2	0.1	1.0	0.0	0.0	0.2	4.2	8.6	2.9	5.7	11.7	19.1	0.1	0.2	0.0	0.7	10.7
5歳 (n=3,070)	34.4	0.1	0.2	0.1	0.8	0.1	0.0	0.2	4.2	8.4	2.6	6.2	11.7	21.0	0.1	0.2	0.0	0.7	9.0

図表1 - 4 - 1 - 希望する教育・保育事業 第2希望以降（全体：複数回答）
 <対象児童の実年齢以上のときの希望>

(%)

	区立、私立保育施設 （認可保育施設）	家庭的保育事業 （認可保育事業）	小規模保育事業 （認可保育事業）	事業所内保育事業 （認可保育事業）	認証保育所	保育室	保育ママ	企業主導型保育事業	認定こども園 （教育標準時間認定枠）	認定こども園 （保育認定枠）	区立幼稚園 （通常の教育時間）	区立幼稚園 （通常の教育時間＋日常的な預かり保育）	私立幼稚園 （通常の教育時間）	私立幼稚園 （通常の教育時間＋日常的な預かり保育）	ベビーシッター	保護者が子どもを見られるため、教育・保育事業の利用を希望しない	就労はしているが、在宅勤務や子連れ出勤をしていないため、教育・保育事業の利用を希望しない	その他	無回答
0歳 (n= 517)	5.8	3.5	4.3	1.5	6.2	1.9	0.6	0.6	1.2	6.4	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	0.2	0.2	0.0	70.2
1歳 (n=1,027)	5.5	3.2	4.5	1.6	6.1	1.4	0.3	1.1	0.6	6.5	0.0	0.3	0.0	0.8	1.1	0.4	0.1	0.1	71.9
2歳 (n=1,567)	6.1	2.6	3.6	1.6	6.0	1.4	0.3	1.1	0.6	7.7	0.3	0.6	0.3	0.8	1.1	0.3	0.0	0.3	70.3
3歳 (n=2,078)	6.4	0.8	1.0	1.1	3.7	0.3	0.1	0.8	3.5	8.9	1.6	5.0	3.9	11.1	0.7	0.0	0.0	0.0	57.1
4歳 (n=2,589)	6.2	0.6	0.5	1.0	3.4	0.2	0.1	0.7	3.8	8.3	2.0	5.8	4.2	12.3	0.8	0.0	0.0	0.0	56.0
5歳 (n=3,070)	6.2	0.6	0.5	0.9	3.2	0.2	0.2	0.7	3.7	8.3	2.0	6.0	4.0	11.9	0.9	0.0	0.0	0.1	56.3

教育・保育事業を希望する上で重視する条件

教育・保育事業を希望する上で重視する条件は、0～2歳では「教員・保育者の質が高い」と「自宅からの距離が近い」がいずれも3割台と多くなっている。3～5歳では「教員・保育者の質が高い」、「自宅からの距離が近い」、「教育・保育の内容や方針が希望に合う」が3～4割台で上位3位となっている（図表1-4-1- ）。

図表1-4-1- 教育・保育事業を希望する上で重視する条件（全体：複数回答（3つまで））
<対象児童の実年齢以上のときの希望>

(%)

	希望に 合う	教員・ 保育者の 質が高い	施設や 設備が 充実して いる	園庭が 有る	保育時 間を利用 希望に 合う	認可さ れている 施設で ある	保育料 が適正 である	親の負 担の程 度が軽 い	親が運 営・行 事など に関わ る機会 が多い	自宅か らの距 離が近 い	利用す る駅や 職場か らの距 離が近 い	その他	無回 答
0歳 (n= 517)	17.8	32.3	13.2	4.6	19.1	10.3	13.2	6.0	0.0	32.3	4.1	1.2	42.2
1歳 (n=1,027)	19.8	31.7	12.5	9.0	19.3	11.9	14.5	6.6	0.1	32.8	4.0	0.7	40.1
2歳 (n=1,567)	21.8	34.5	12.7	11.9	19.9	12.2	14.2	6.7	0.3	33.9	4.3	0.8	36.0
3歳 (n=2,078)	36.8	42.9	18.2	20.2	22.4	11.4	13.8	8.5	0.9	41.0	3.8	1.1	20.8
4歳 (n=2,589)	39.6	44.5	18.4	21.4	22.2	10.5	14.2	9.0	0.9	40.1	3.3	1.0	19.2
5歳 (n=3,070)	40.3	44.5	19.5	22.6	23.2	10.5	15.0	9.5	1.1	40.1	3.3	1.0	17.6

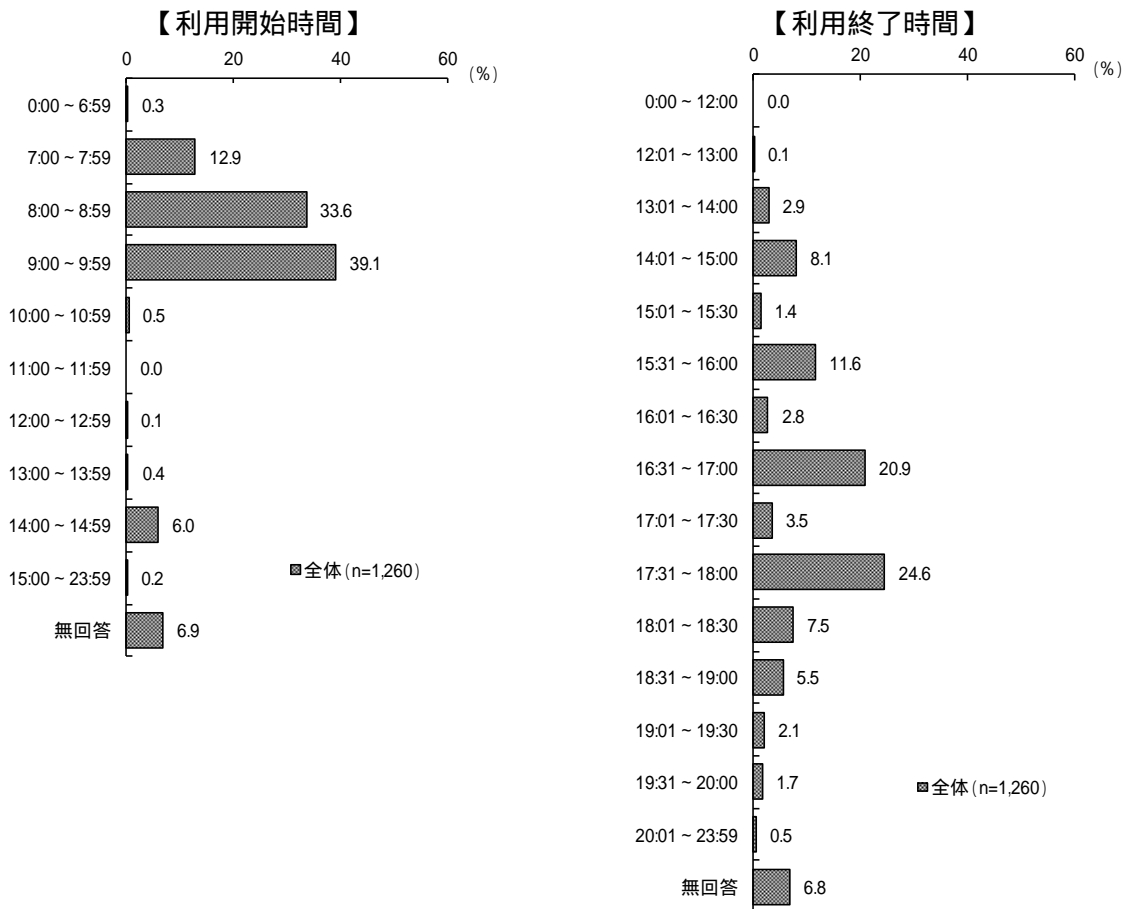
希望する幼稚園の利用時間（問11-1）

希望する幼稚園の利用時間（平日）

幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望がある人に希望する利用時間をたずねたところ、開始時間は「9:00～9:59（39.1%）」が最も多く、「8:00～8:59（33.6%）」が続いている。終了時間は「17:31～18:00（24.6%）」が最も多く、「16:31～17:00（20.9%）」が続いている（図表1-4-2-）。

図表1-4-2- 希望する幼稚園の利用時間（平日）（全体）

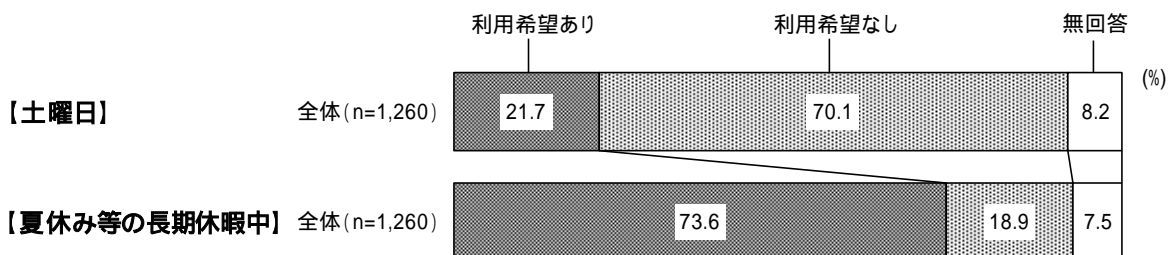
< 幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望がある人 >



幼稚園の利用希望（土曜日・夏休み等の長期休暇中）

幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望がある人に土曜日・夏休み等の長期休暇中の利用希望をたずねたところ、土曜日では「利用希望あり」が21.7%、夏休み等の長期休暇中では「利用希望あり」が73.6%となっている（図表1-4-2-）。

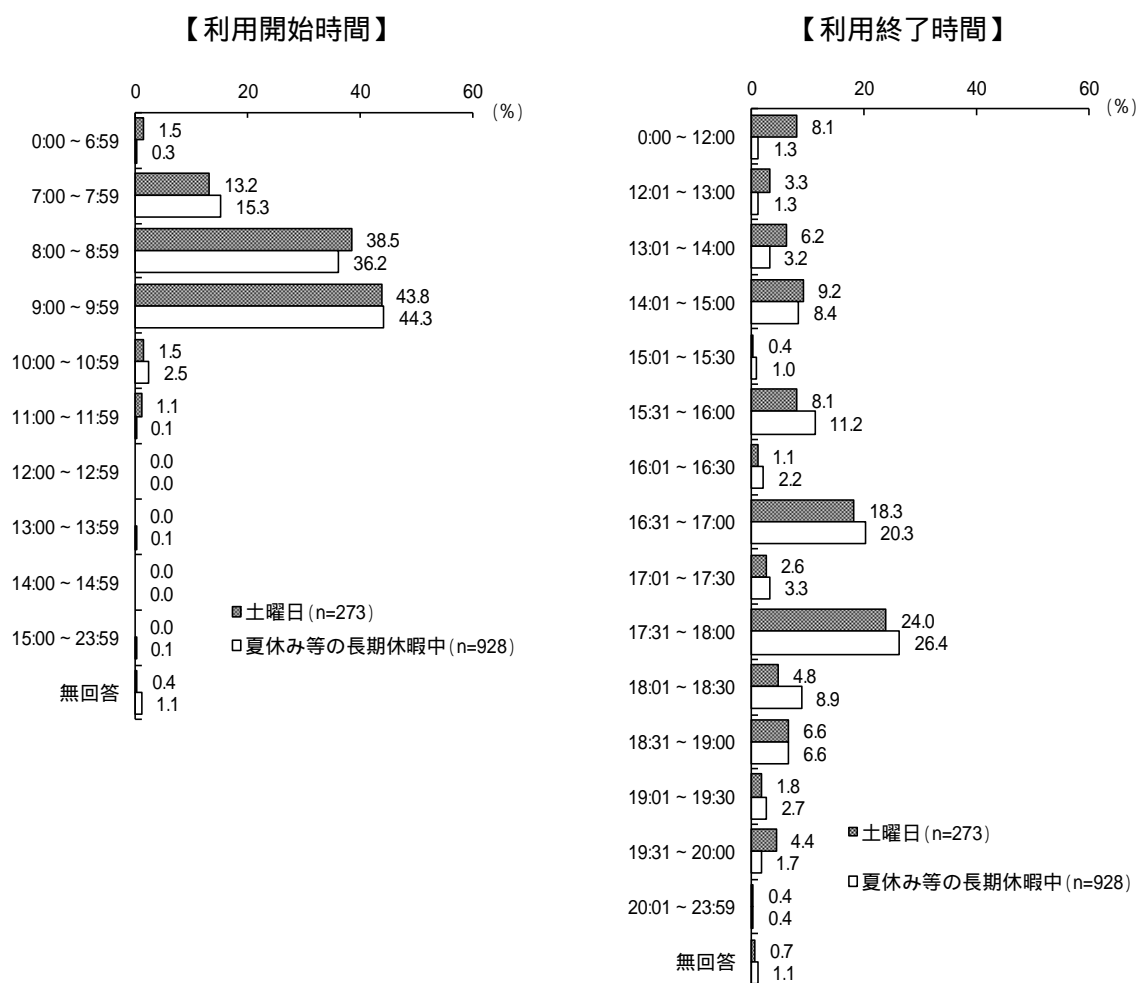
図表1-4-2- 幼稚園の利用希望（土曜日・夏休み等の長期休暇中）（全体）



幼稚園の希望する利用時間（土曜日・夏休み等の長期休暇中）

幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望がある人で、土曜日・夏休み等の長期休暇中の利用希望がある人に希望する利用時間をたずねたところ、開始時間は土曜日、夏休み等の長期休暇中ともに「9:00～9:59」が最も多く、「8:00～8:59」が続いている。終了時間は土曜日、夏休み等の長期休暇中ともに「17:31～18:00」が最も多く、「16:31～17:00」が続いている（図表1-4-2- ）。

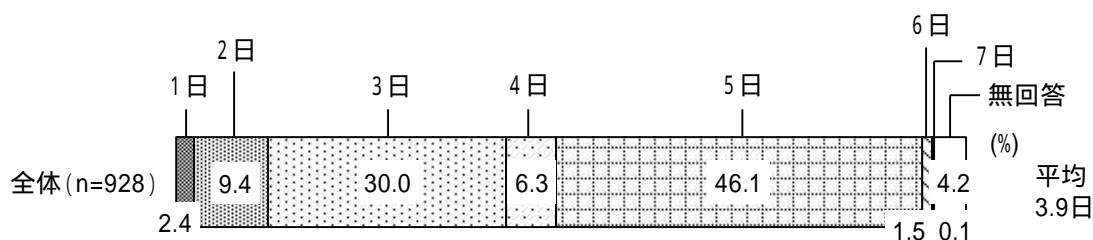
図表1-4-2- 幼稚園の希望する利用開始時間（土曜日・夏休み等の長期休暇中）(全体)
 < 幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望があり、
 土曜日・夏休み等の長期休暇中の利用希望がある人 >



幼稚園の1週間あたりの利用希望日数（夏休み等の長期休暇中）

幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望がある人で、夏休み等の長期休暇中の利用希望がある人に1週間あたりの利用希望日数をたずねたところ、「5日（46.1%）」が最も多く、「3日（30.0%）」が続いている。平均は3.9日となっている（図表1-4-2-）。

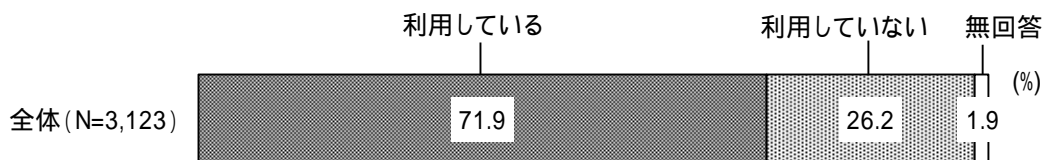
図表1-4-2- 幼稚園の1週間あたりの利用希望日数（夏休み等の長期休暇中）（全体）
 <幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）の利用希望があり、
 夏休み等の長期休暇中の利用希望がある人>



教育・保育事業の定期的な利用状況（問12）

教育・保育事業の定期的な利用状況は「利用している（71.9%）」が7割を超えている（図表1-4-3）。

図表1-4-3 教育・保育事業の定期的な利用状況（全体）

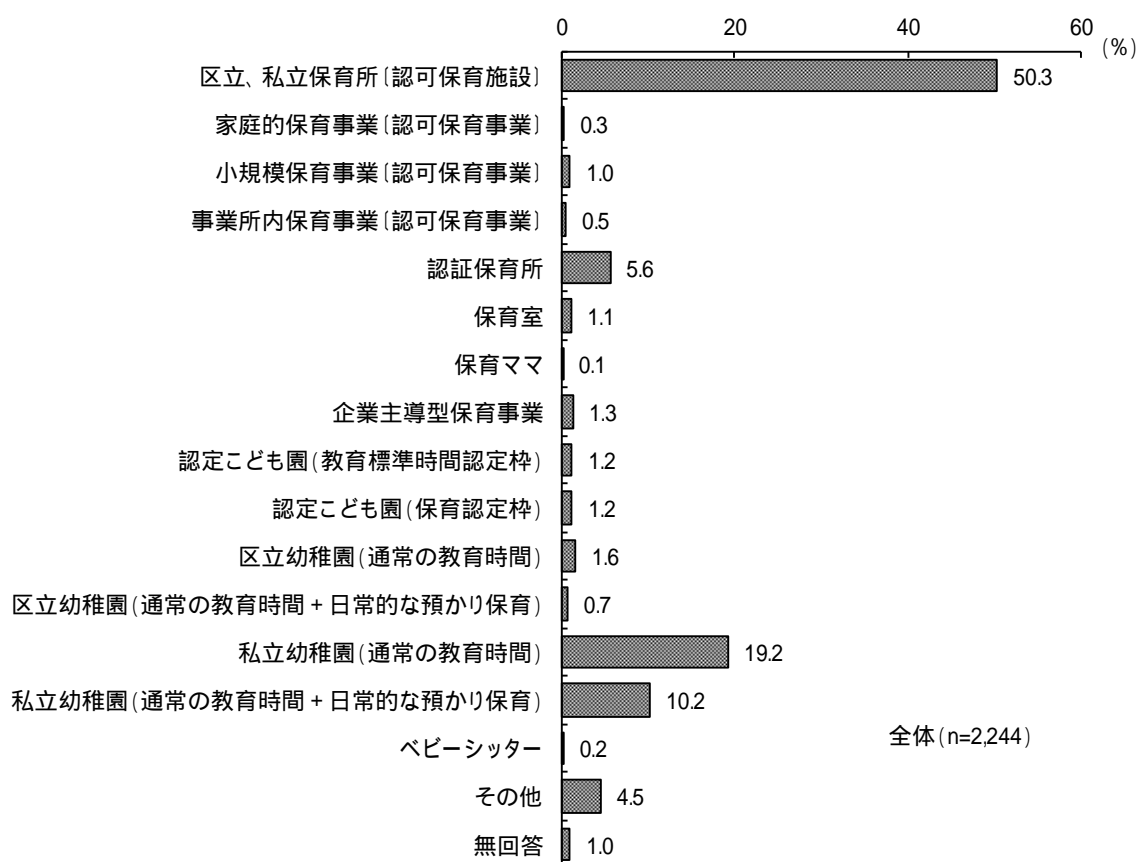


教育・保育事業の種類（問 12 - 1）

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、その種類をたずねたところ、「区立、私立保育所〔認可保育施設〕（50.3%）」が5割を超え最も多く、「私立幼稚園（通常の教育時間）（19.2%）」、「私立幼稚園（通常の教育時間+日常的な預かり保育）（10.2%）」が続いている（図表1-4-4）。

図表1-4-4 教育・保育事業の種類（全体）

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

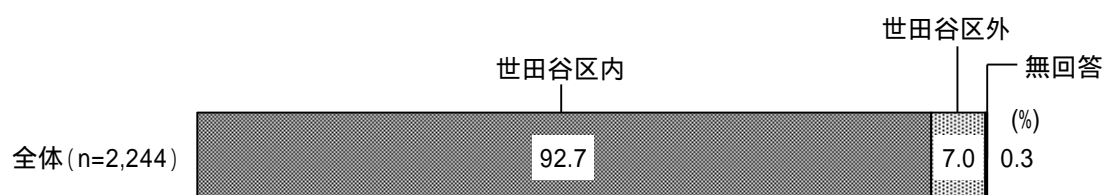


教育・保育事業の実施場所（問 12 - 2）

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、その実施場所をたずねたところ、「世田谷区内（92.7%）」が9割を超えている（図表1-4-5）。

図表1-4-5 教育・保育事業の実施場所（全体）

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

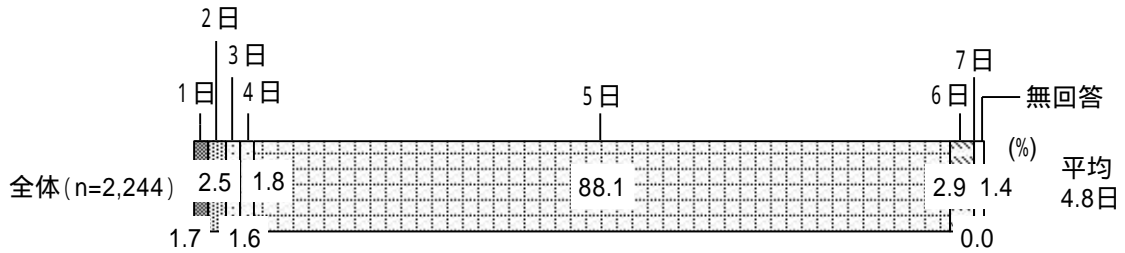


定期的に利用している教育・保育事業の利用状況（問12-3）

教育・保育事業の1週間あたりの利用日数

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、1週間あたりの利用日数をたずねたところ、「5日」が88.1%を占め、平均は4.8日となっている（図表1-4-6- ）。

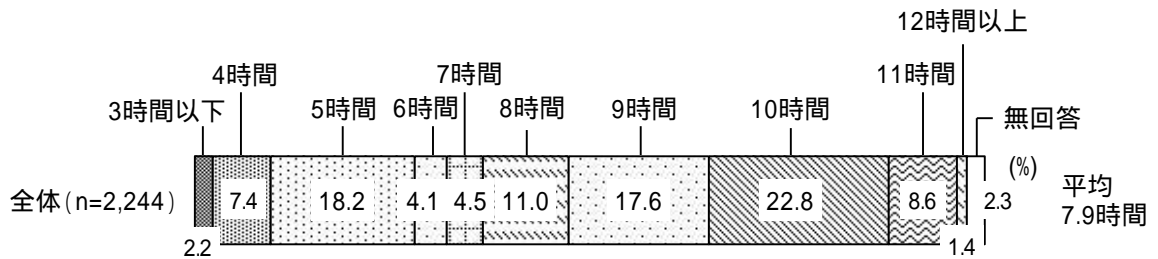
図表1-4-6- 教育・保育事業の1週間あたりの利用日数（全体）
 <教育・保育事業の定期的な利用がある人>



教育・保育事業の1日あたりの利用時間

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、1日あたりの利用時間をたずねたところ、「10時間（22.8%）」が最も多く、「5時間（18.2%）」、「9時間（17.6%）」が続いている。平均は7.9時間となっている（図表1-4-6- ）。

図表1-4-6- 教育・保育事業の1日あたりの利用時間（全体）
 <教育・保育事業の定期的な利用がある人>

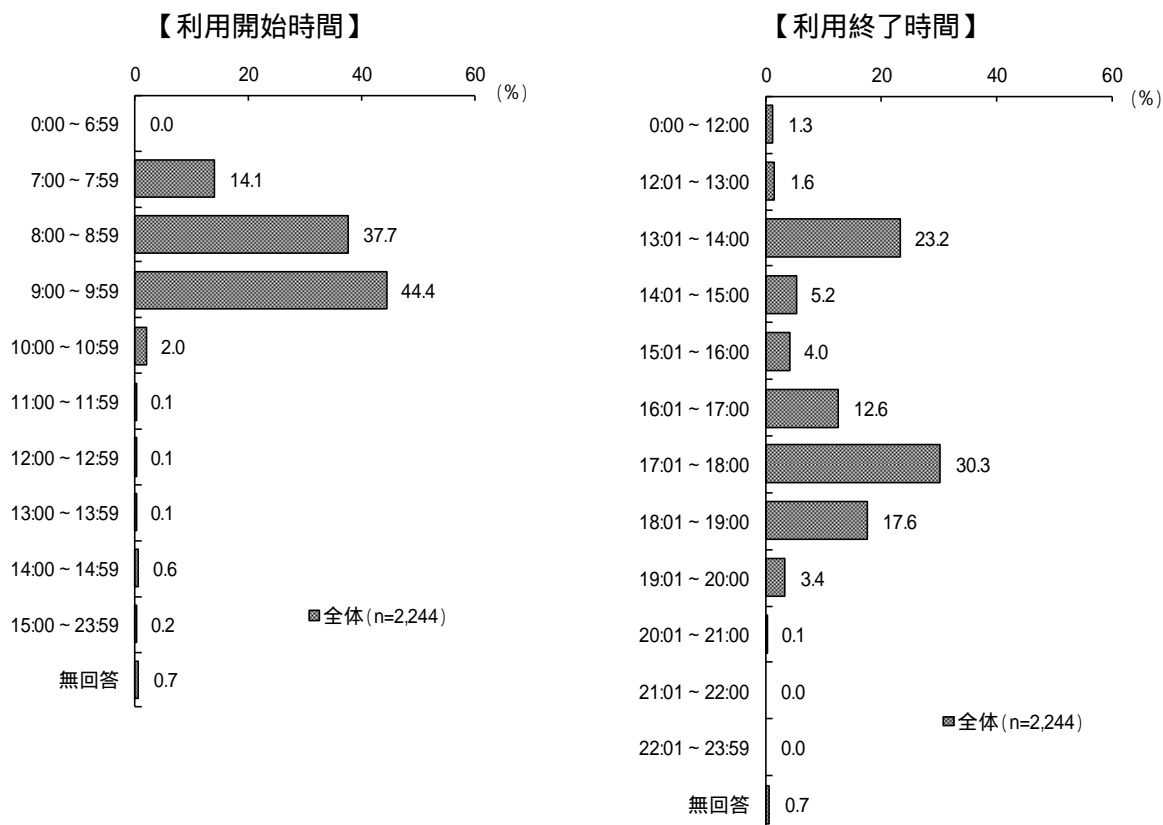


教育・保育事業の利用時間

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、利用時間をたずねたところ、開始時間は「9:00～9:59 (44.4%)」が最も多く、「8:00～8:59 (37.7%)」が続いている。終了時間は「17:01～18:00 (30.3%)」が最も多く、「13:01～14:00 (23.2%)」が続いている (図表1-4-6)。

図表1-4-6 教育・保育事業の利用時間 (全体)

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

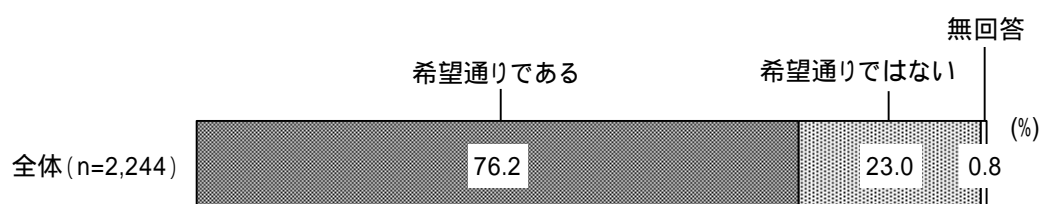


教育・保育事業の利用している時間が希望通りか (問12-4)

教育・保育事業の定期的な利用がある人に、利用している時間が希望通りかたずねたところ、「希望通りである (76.2%)」が7割台、「希望通りではない (23.0%)」が2割台となっている (図表1-4-7)。

図表1-4-7 教育・保育事業の利用している時間が希望通りか (全体：複数回答)

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>



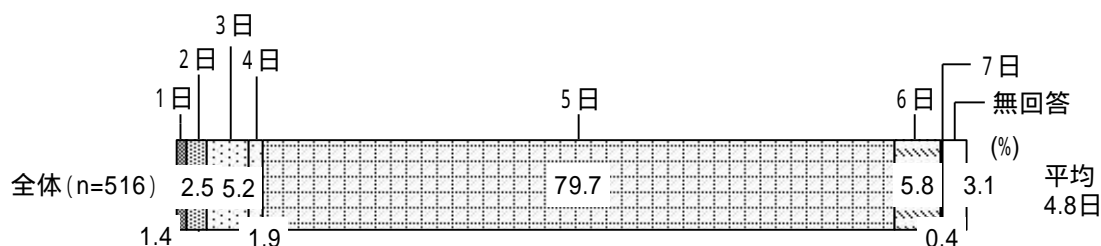
教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人の希望時間（問 12 - 5）

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人の1週間あたりの利用希望日数

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人に、1週間あたりの利用希望日数をたずねたところ、「5日」が79.7%を占め、平均は4.8日となっている（図表1-4-8-）。

図表1-4-8- 教育・保育事業の1週間あたりの利用希望日数（全体）

<教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人>

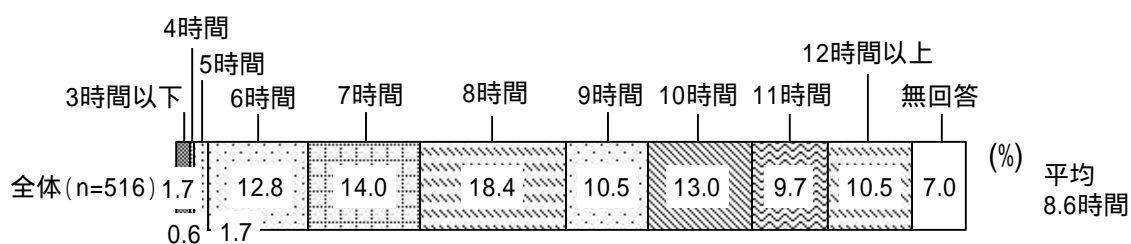


教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人の1日あたりの利用時間

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人に、1日あたりの利用時間をたずねたところ、「8時間（18.4%）」が最も多く、「7時間（14.0%）」、「10時間（13.0%）」が続いている。平均は8.6時間となっている（図表1-4-8-）。

図表1-4-8- 教育・保育事業の1日あたりの利用希望時間（全体）

<教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人>

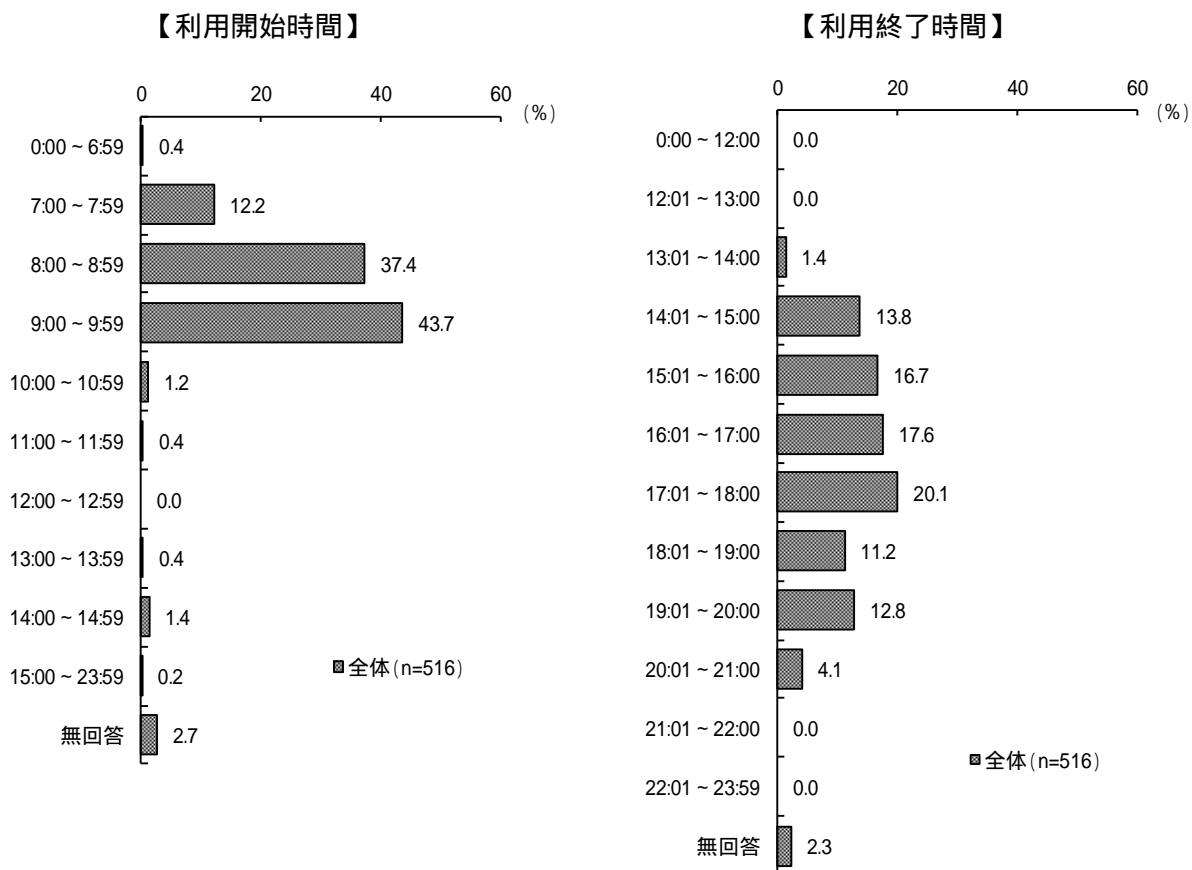


教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人の教育・保育事業の利用希望時間

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人に、1日あたりの利用希望時間をたずねたところ、開始時間は「9:00～9:59(43.7%)」が最も多く、「8:00～8:59(37.4%)」が続いている。終了時間は「17:01～18:00(20.1%)」が最も多く、「16:01～17:00(17.6%)」、「15:01～16:00(16.7%)」が続いている(図表1-4-8-)。

図表1-4-8- 教育・保育事業の利用希望時間(全体)

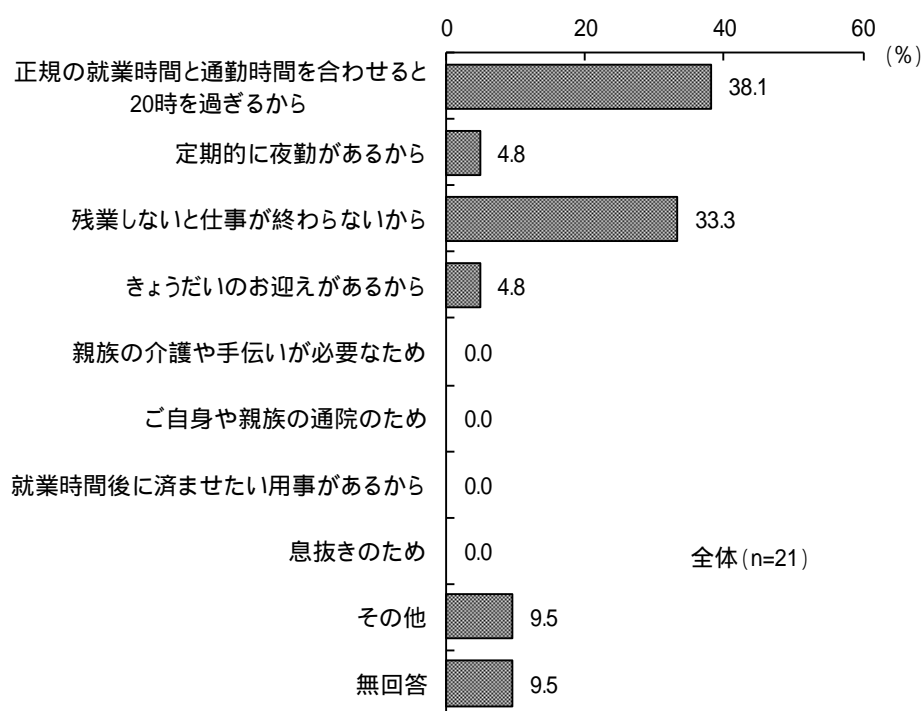
<教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人>



教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人の20時以降の利用希望の理由

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人で20時以降の利用希望がある人に、その理由をたずねたところ、「正規の就業時間と通勤時間を合わせると20時を過ぎるから（38.1%）」が最も多く、「残業しないと仕事が終わらないから（33.3%）」が続いている（図表1-4-8- ）。

図表1-4-8- 教育・保育事業の20時以降の利用希望の理由（全体）
 <教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人>

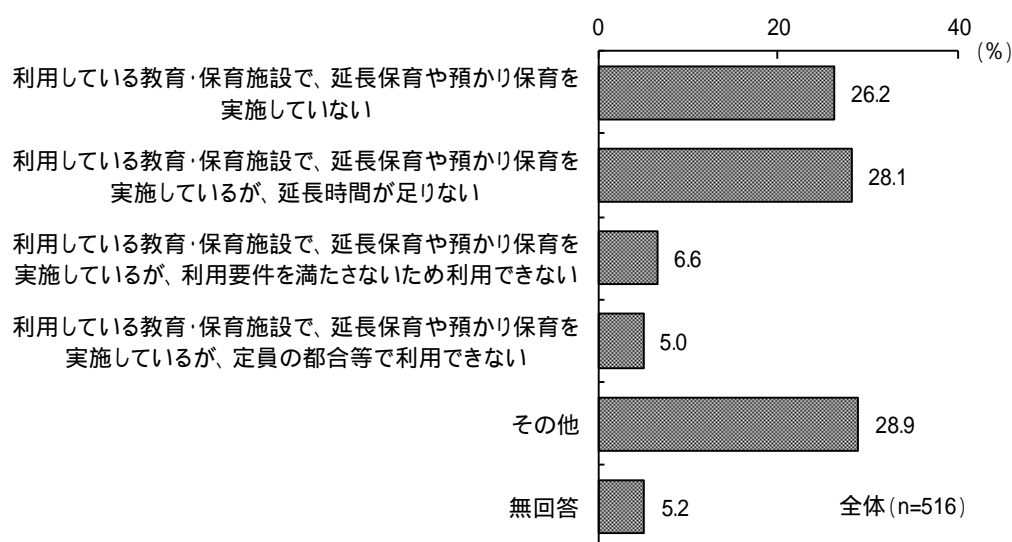


現在と希望の利用時間が一致しない理由（問 12 - 6）

教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人に、現在と希望の利用時間が一致しない理由をたずねたところ、「その他（28.9%）」が最も多く、「利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施しているが、延長時間が足りない（28.1%）」、「利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施していない（26.2%）」が続いている（図表 1 - 4 - 9）。

なお、その他の内容は「延長保育・預かり保育はあるが料金が高い」、「延長保育・預かり保育があるが利用しにくい雰囲気がある」、「延長保育・預かり保育を実施していない日がある」、「朝の時間を早めることはできない」などがみられる。

図表 1 - 4 - 9 現在と希望の利用時間が一致しない理由（全体）
 < 教育・保育事業の利用時間が希望通りではない人 >



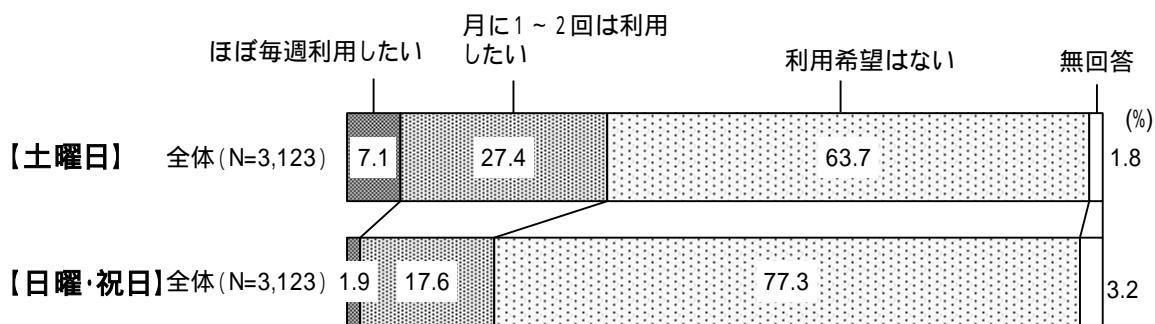
(5) 土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日と日曜・祝日の教育・保育事業の定期的な利用希望（問13）

利用希望

土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望は、土曜日、日曜・祝日とも「利用希望はない（それぞれ63.7%、77.3%）」とする回答が最も多かった。土曜日については、「月に1～2回は利用したい」とする回答も27.4%あった（図表1-5-1-1）。

図表1-5-1-1 教育・保育事業の定期的な利用希望（土曜日、日曜・祝日）（全体）

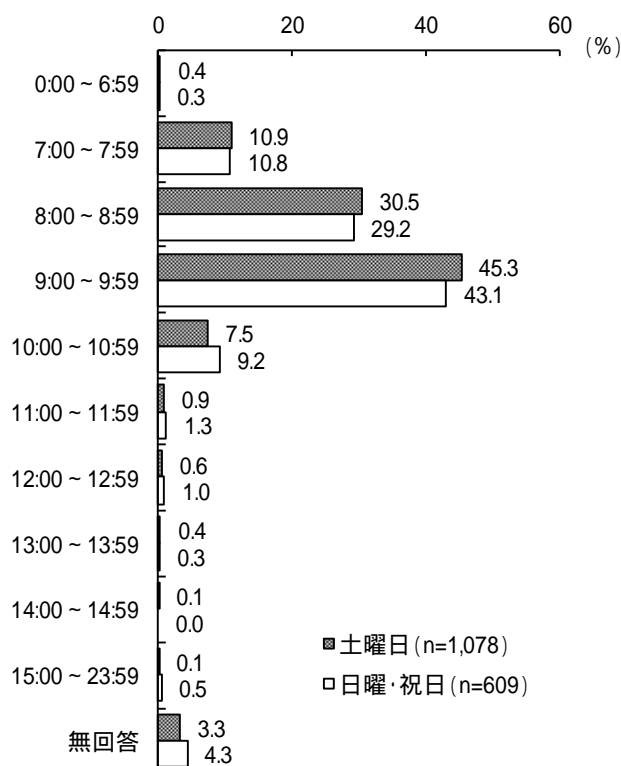


利用開始希望時間帯

土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望のある人の利用開始希望時間帯は、土曜日、日曜・祝日とも「9:00～9:59（それぞれ45.3%、43.1%）」、「8:00～8:59（それぞれ30.5%、29.2%）」が多かった（図表1-5-1-2）。

図表1-5-1-2 利用開始希望時間帯（全体）

<土曜日と日曜・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人>

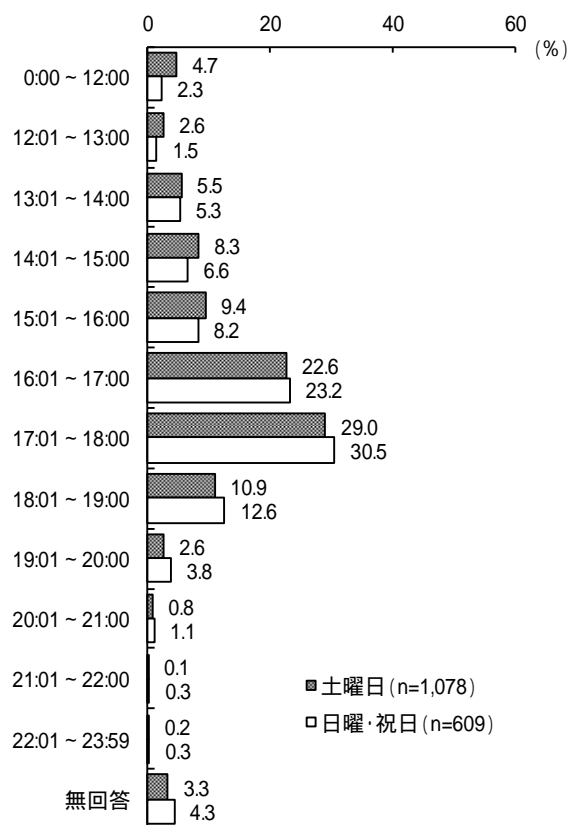


利用終了希望時間帯

土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望のある人の利用終了希望時間帯は、土曜日、日曜・祝日とも「17:01～18:00(それぞれ29.0%、30.5%)」、「16:01～17:00(それぞれ22.6%、23.2%)」が多かった(図表1-5-1-)。

図表1-5-1- 利用終了時間帯(全体)

<土曜日と日曜・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人>

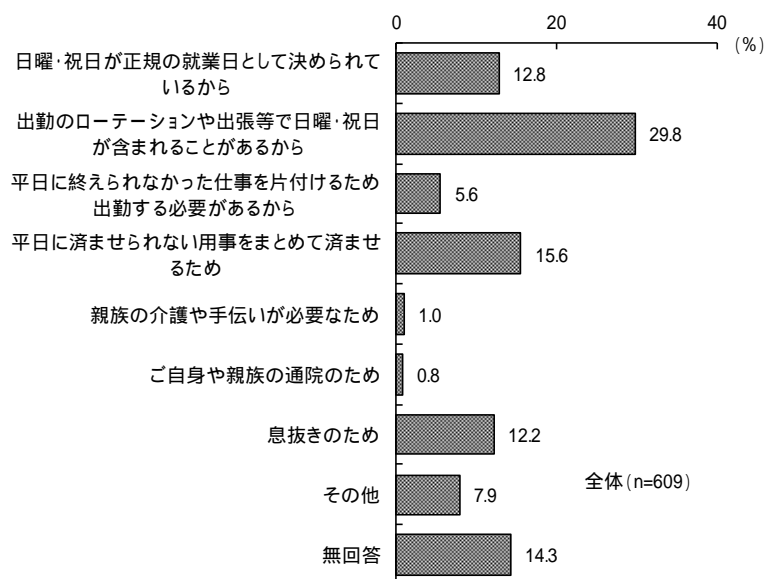


日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望理由

日曜・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人にその理由をたずねたところ、「出勤のローテーションや出張等で日曜・祝日が含まれることがあるから（29.8%）」が最も多く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため（15.6%）」、「日曜・祝日が正規の就業日として決められているから（12.8%）」が続いている（図表1-5-1-1）。

図表1-5-1-1 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望理由（全体）

<日曜・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人>



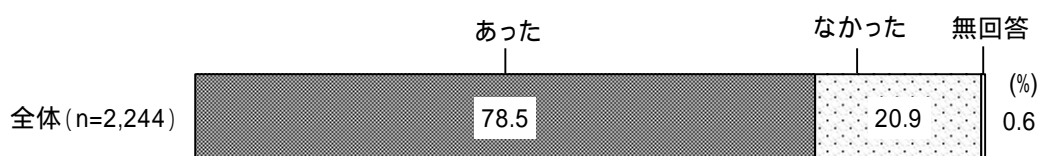
(6) 病気やケガの時の保育

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無（問14）

教育・保育事業を利用している保護者に対して、この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無をたずねたところ、「あった（78.5%）」が7割台後半となっている（図表1-6-1）。

図表1-6-1 この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無（全体）

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

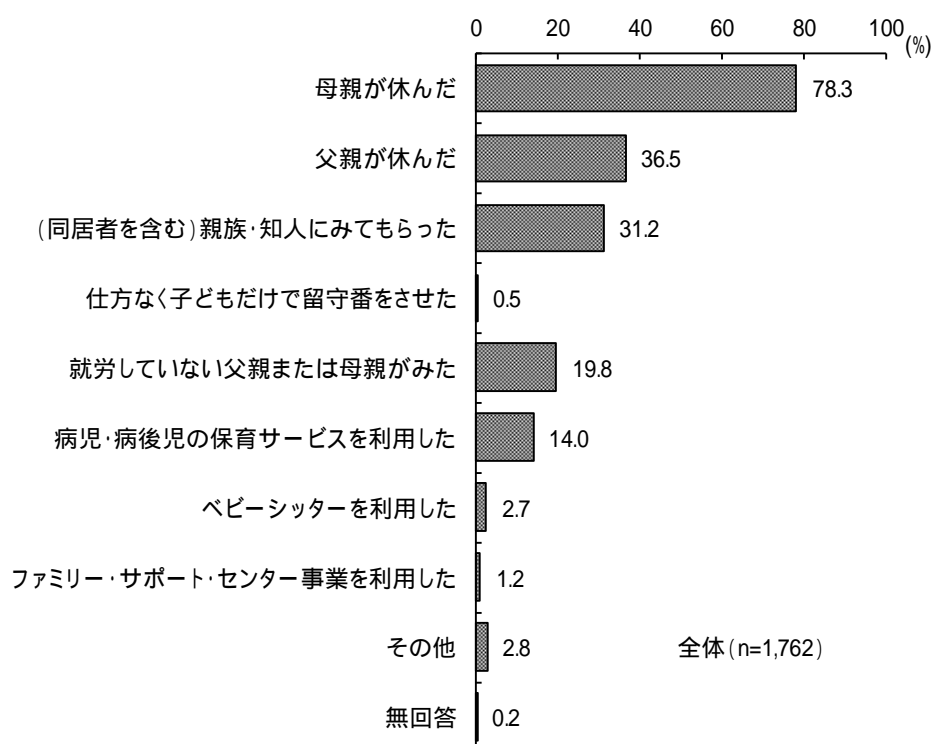


対処方法（問 14 - 1）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある人に対して、1年あたりの対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ(78.3%)」、「父親が休んだ(36.5%)」、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった(31.2%)」、「就労していない父親または母親がみた(19.8%)」などが多かった(図表1-6-2-)。

図表1-6-2- 1年あたりの対処方法（全体：複数回答）

<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある人>



対処方法別日数

それぞれの対処方法をとった人にその年間日数をたずねたところ、『母親が休んだ』は平均8.4日、『父親が休んだ』は平均4.0日、『病児・病後児の保育サービスを利用した』は平均5.4日となっている（図表1-6-2- ）。

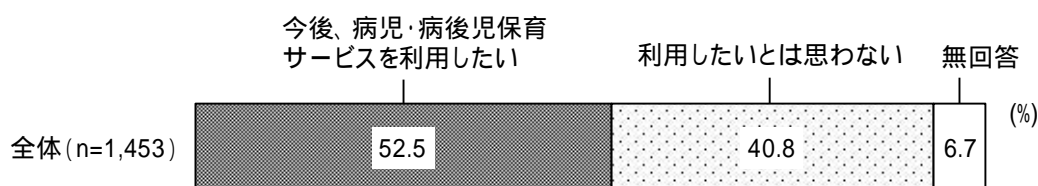
図表1-6-2- 対処方法別日数（全体）
<それぞれ対処方法をとった人>

	(%)											平均日数
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答	
母親が休んだ (n=1,380)	4.6	8.3	11.1	4.1	18.5	26.6	7.5	7.1	4.0	8.2	8.4日	
父親が休んだ (n= 643)	16.3	22.4	21.0	4.4	20.1	11.5	1.6	1.4	0.2	1.1	4.0日	
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった (n= 550)	11.8	16.2	13.6	4.7	23.1	17.6	3.3	3.8	3.5	2.4	6.3日	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n= 8)	25.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	14.9日	
就労していない父親または母親がみた (n= 348)	5.7	10.1	13.2	4.0	16.1	28.7	7.5	4.6	4.9	5.2	9.5日	
病児・病後児の保育サービスを利用した (n= 247)	19.9	14.2	15.0	3.2	16.6	19.0	4.5	3.6	1.2	2.8	5.4日	
ベビーシッターを利用した (n= 48)	20.6	18.8	18.8	4.2	14.6	12.5	2.1	0.0	6.3	2.1	7.1日	
ファミリー・サポート・センター事業を利用した (n= 21)	23.8	19.0	0.0	0.0	4.8	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	8.9日	
その他 (n= 49)	4.1	12.2	12.2	6.1	12.2	20.6	6.1	2.0	10.2	14.3	9.6日	

病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無（問14-2）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番させたりした人に対して、病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無をたずねたところ、「今後、病児・病後児の保育サービスを利用したい（52.5%）」が5割を超えている（図表1-6-3- ）。

図表1-6-3- 病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無（全体）
<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番させたりした人>



利用したい場合の1年あたりの日数

前問で、サービスを利用したかったと回答したものについて、1年あたりの希望回数をたずねたところ、「6～10日(31.8%)」、「5日(24.1%)」、「3～4日(14.8%)」などの回答が多く、平均日数は9.0日となっている(図表1-6-3-)。

図表1-6-3- 利用したい場合の1年あたりの日数(全体)
 <できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった人>

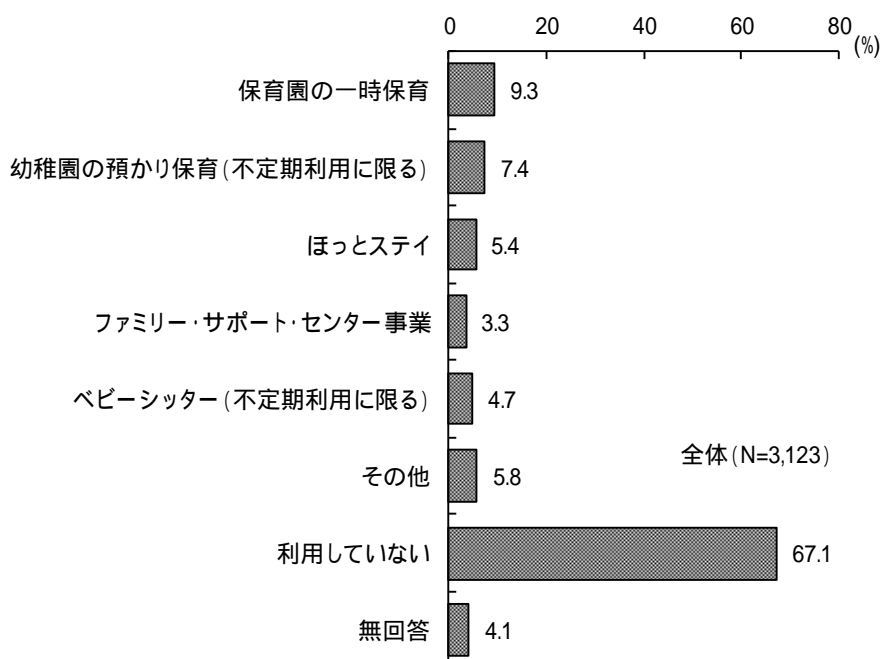


(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり

この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業(問15)

この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業の有無とその内容についてたずねたところ、「利用していない(67.1%)」が6割台後半である。利用した事業では、「保育園の一時保育(9.3%)」が最も多く、「幼稚園の預かり保育(不定期利用に限る)(7.4%)」、「ほっとステイ(5.4%)」が続いている(図表1-7-1-)。

図表1-7-1- この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業(全体：複数回答)



この1年間の一時預かりの利用日数

それぞれの一時預かりを利用した人に、この1年間の利用日数をたずねたところ、『保育園の一時保育』は平均17.4日、『幼稚園の預かり保育(不定期に限る)』は平均19.4日、『ほっとステイ』は平均12.2日、『ファミリー・サポート・センター事業』は平均12.6日、『ベビーシッター(不定期利用に限る)』は平均10.4日となっている(図表1-7-1-)。

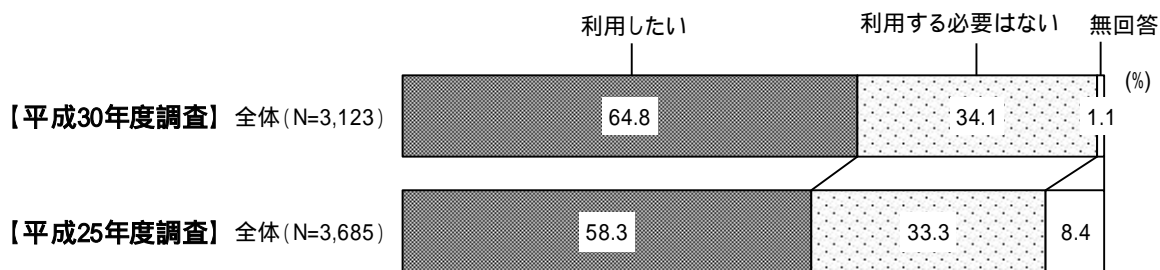
図表1-7-1- この1年間の一時預かりの利用日数(全体)<それぞれ利用した人>

		1日 2日 3日 4日 5日 6日 1日 1日 2日 2日 以上 無回答										平均日数
		%										
保育園の一時保育	(n=290)	12.4	8.6	8.6	1.4	7.2	10.0	2.4	4.1	19.3	26.0	17.4日
幼稚園の預かり保育(不定期利用に限る)	(n=230)	5.7	9.1	5.2	4.3	12.6	22.7	5.7	10.4	20.0	4.3	19.4日
ほっとステイ	(n=168)	16.1	13.1	13.1	5.4	7.7	16.1	4.8	5.4	17.1	1.2	13.2日
ファミリー・サポート・センター事業	(n=104)	16.3	11.5	13.5	2.9	7.7	15.4	9.6	5.8	14.4	2.9	12.6日
ベビーシッター(不定期利用に限る)	(n=148)	14.9	17.6	12.2	0.7	16.2	20.1	1.4	4.1	10.8	2.0	10.4日
その他	(n=180)	8.9	11.1	9.4	1.1	11.1	20.0	5.0	5.6	20.6	7.2	17.8日

一時預かりの今後の利用希望の有無(問15-1)

一時預かりの今後の利用希望の有無は、「利用したい(64.8%)」が6割を超えている。前回調査と比較すると、「利用したい」が6.5ポイント高くなっている(図表1-7-2)。

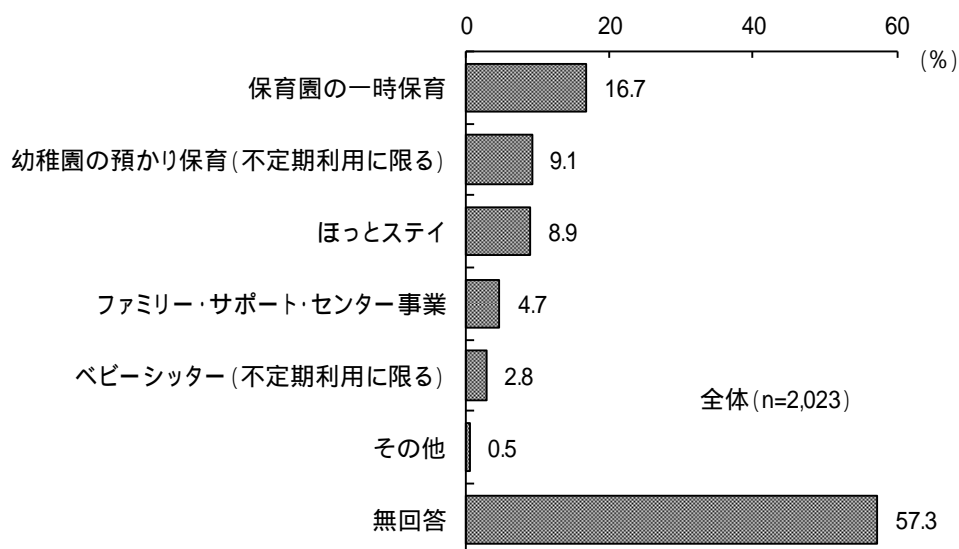
図表1-7-2 一時預かりの今後の利用希望の有無(全体)【経年比較】



最も利用したい事業（問 15 - 2）

一時預かりの利用希望がある人の最も利用したい事業は、「保育園の一時保育（16.7%）」が最も多く、「幼稚園の預かり保育（不定期利用に限る）（9.1%）」、「ほっとステイ（8.9%）」が続いている（図表 1 - 7 - 3 - ）。

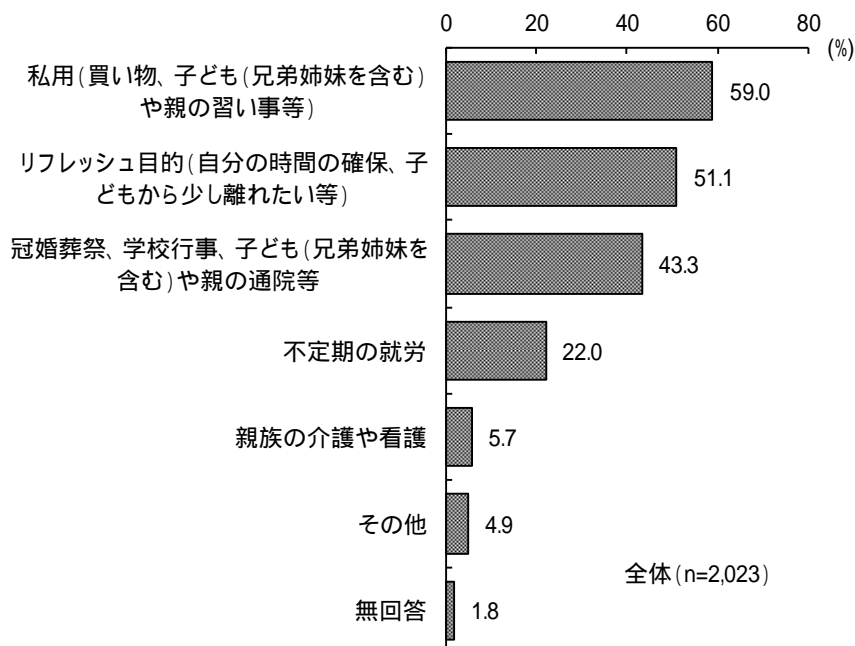
図表 1 - 7 - 3 - 最も利用したい事業（全体）＜一時預かりの利用希望がある人＞



利用したい目的

一時預かりの利用希望がある人の利用したい目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）（59.0%）」が最も多く、「リフレッシュ目的（自分の時間の確保、子どもから少し離れたい等）（51.1%）」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（43.3%）」が続いている（図表 1 - 7 - 3 - ）。

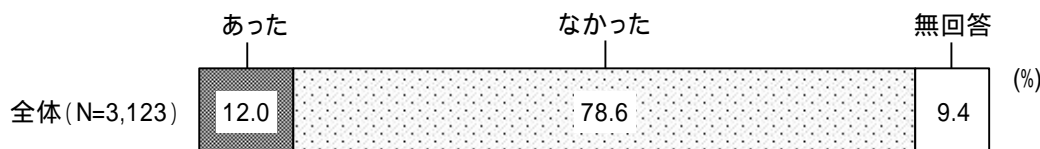
図表 1 - 7 - 3 - 利用したい目的（全体：複数回答）＜一時預かりの利用希望がある人＞



この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（問16）

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無は、「あった（12.0%）」が1割強となっている（図表1-7-4- ）。

図表1-7-4- この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（全体）

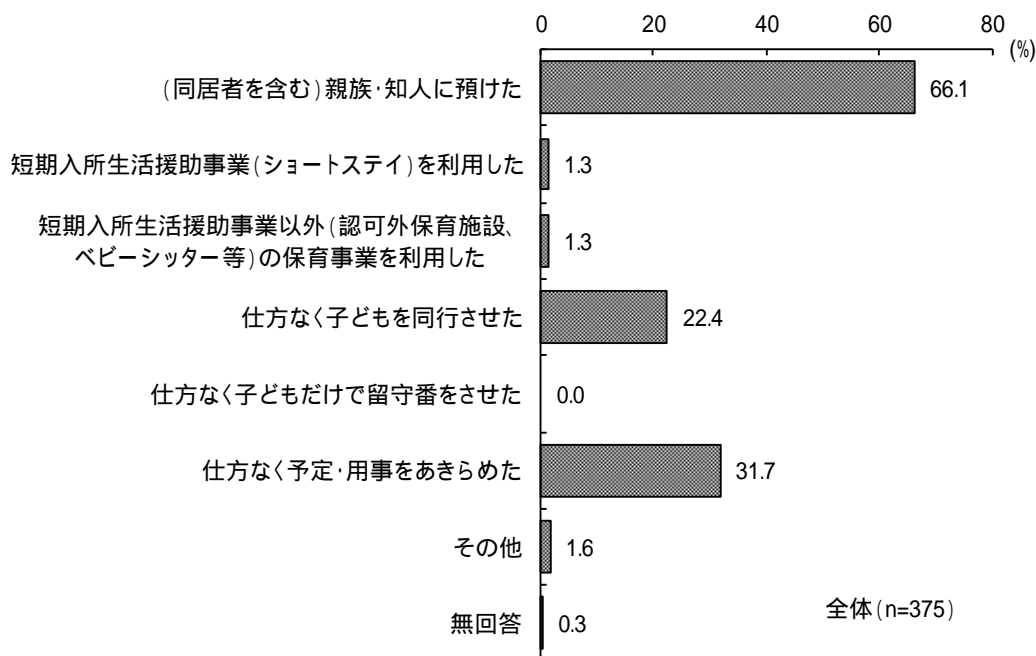


対処方法

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかった際の対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人に預けた（66.1%）」が最も多く、「仕方なく予定・用事をあきらめた（31.7%）」、「仕方なく子どもを同行させた（22.4%）」が続いている（図表1-7-4- ）。

図表1-7-4- 対処方法（全体：複数回答）

<この1年間で泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことあったと回答した人>



この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別泊数

それぞれの対処方法をとった人に、この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別泊数をたずねたところ、『(同居者を含む)親族・知人に預けた』は平均7.4泊、『仕方なく子どもを同行させた』は平均4.3泊、『仕方なく予定・用事をあきらめた』は平均3.7泊となっている(図表1-7-4-)。

図表1-7-4- この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別泊数(全体) <それぞれ対処方法をとった人>

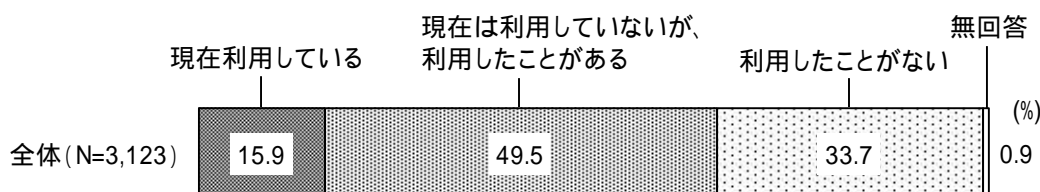
	(%)											平均宿泊数
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊以上	無回答	
(同居者を含む)親族・知人に預けた (n=248)	21.1	16.5	15.7	4.8	9.7	18.1	4.0	2.0	6.5	1.6	7.4泊	
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (n= 5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2泊	
短期入所生活援助事業以外(認可外保育施設、ベビーシッター等)の保育事業を利用した (n= 5)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0泊	
仕方なく子どもを同行させた (n= 84)	28.6	21.4	9.5	1.2	13.1	11.9	1.2	0.0	3.6	9.5	4.3泊	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n= 0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-泊	
仕方なく予定・用事をあきらめた (n=119)	20.2	21.9	13.4	6.7	16.0	10.9	1.7	0.8	0.0	8.4	3.7泊	
その他 (n= 6)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	13.6泊	

(8) ひろば事業・子育てサロン

おでかけひろば・子育てひろばの利用の有無と頻度(問17)

おでかけひろば・子育てひろばの利用の有無と頻度は、「現在利用している(15.9%)」が1割台、「現在は利用していないが、利用したことがある(49.5%)」が5割弱、「利用したことがない(33.7%)」が3割台となっている(図表1-8-1-)。

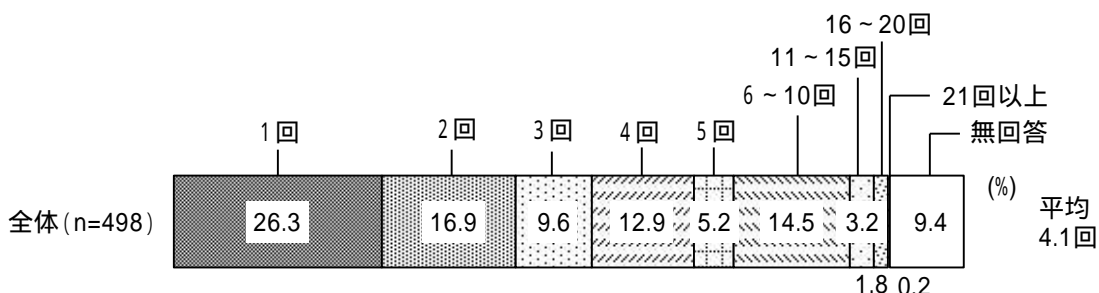
図表1-8-1- おでかけひろば・子育てひろば、「子育てサロン」の利用の有無(全体)



おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用回数

「おでかけひろば・子育てひろば」を現在利用している人の1月あたりの利用回数は、「1回(26.3%)」が最も多く、平均は4.1回となっている(図表1-8-1-)。

図表1-8-1- おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用回数(全体)
 <おでかけひろば・子育てひろばを現在利用している人>



今後の利用日数増加希望の有無、1月あたりの利用希望回数(問17-1)

おでかけひろば・子育てひろばの今後の利用日数増加希望の有無

おでかけひろば・子育てひろばを利用している人に、今後の利用回数の希望をたずねたところ、「利用日数を増やしたい(40.4%)」が約4割、「利用日数を増やしたいとは思わない(58.6%)」が5割台後半となっている(図表1-8-2-)。

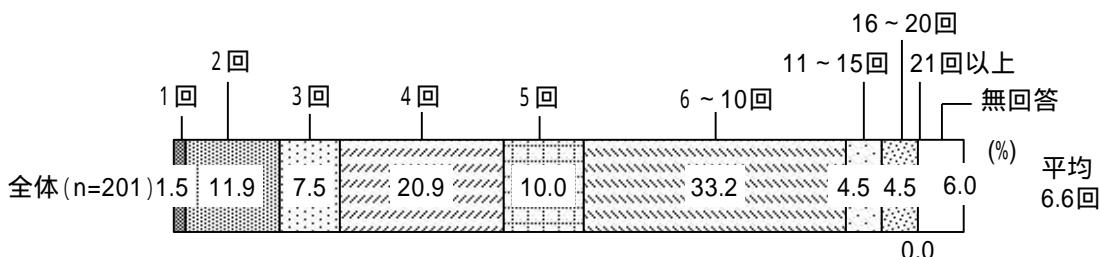
図表1-8-2- おでかけひろば・子育てひろばの今後の利用日数増加希望の有無(全体)
 <おでかけひろば・子育てひろばを利用している人>



おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用希望回数

おでかけひろば・子育てひろばの利用回数を今後増やしたい人に、1月あたりの利用希望回数をたずねたところ、「6~10回(33.2%)」が最も多く、平均は6.6回となっている(図表1-8-2-)。

図表1-8-2- おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用希望回数(全体)
 <おでかけひろば・子育てひろばの利用回数を今後増やしたい人>



今後のおでかけひろば・子育てひろばの利用希望（問 17 - 2）

おでかけひろば・子育てひろばを現在利用していない人に今後の利用希望をたずねたところ、「利用したい（33.0%）」が3割台となっている（図表1 - 8 - 3 - ）。

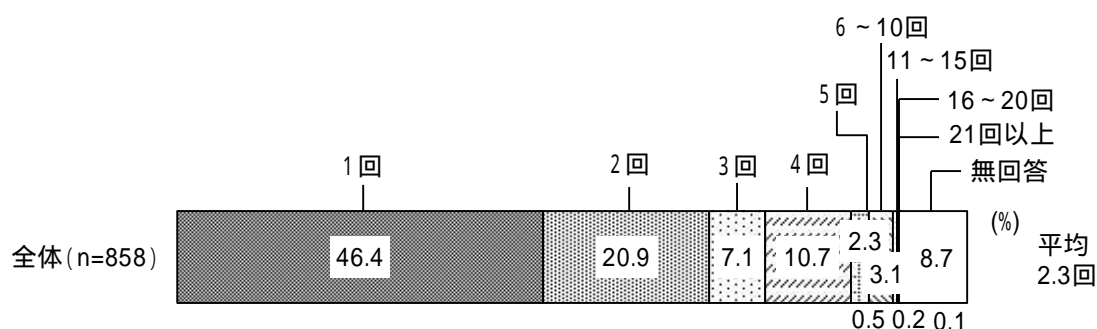
図表1 - 8 - 3 - 今後のおでかけひろば・子育てひろばの利用希望（全体）
 <おでかけひろば・子育てひろばを現在利用していない人>



おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用希望回数

おでかけひろば・子育てひろばを今後利用したい人に1月あたりの利用希望回数をたずねたところ、「1回（46.4%）」が最も多く、平均は2.3回となっている（図表1 - 8 - 3 - ）。

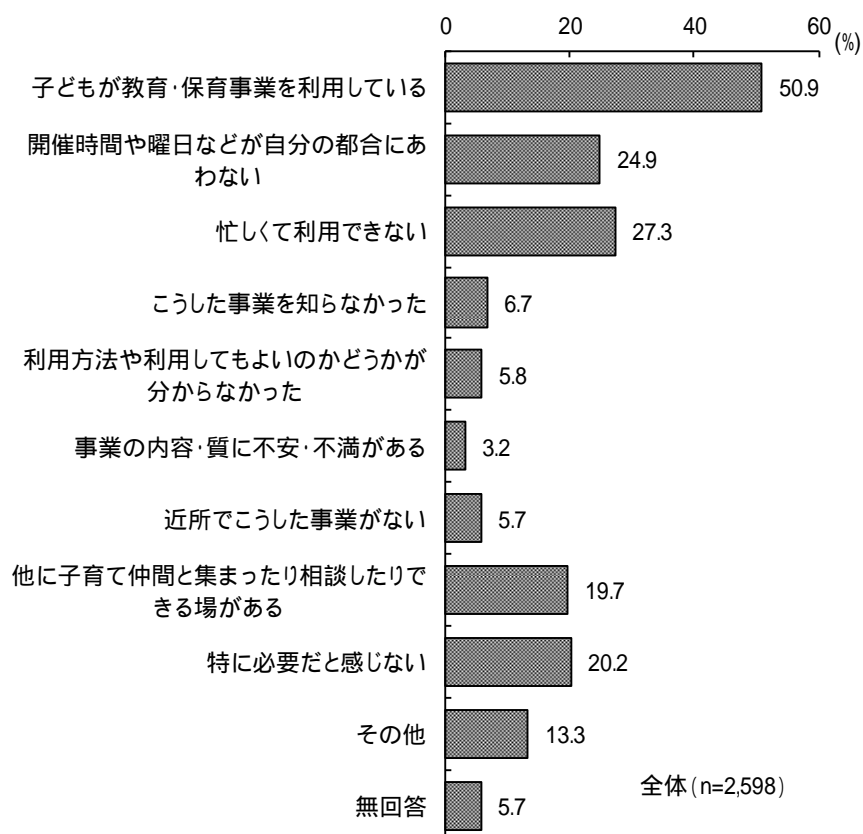
図表1 - 8 - 3 - おでかけひろば・子育てひろばの1月あたりの利用希望回数（全体）
 <おでかけひろば・子育てひろばを今後利用したい人>



おでかけひろば・子育てひろばを利用していない理由（問17-3）

おでかけひろば・子育てひろばを現在利用していない人のその理由をたずねたところ、「子どもが教育・保育事業を利用している（50.9%）」が最も多く、「忙しくて利用できない（27.3%）」、「開催時間や曜日などが自分の都合にあわない（24.9%）」が続いている（図表1-8-4）。

図表1-8-4 おでかけひろば・子育てひろばを利用していない理由（全体：複数回答）
 <おでかけひろば・子育てひろばを現在利用していない人>

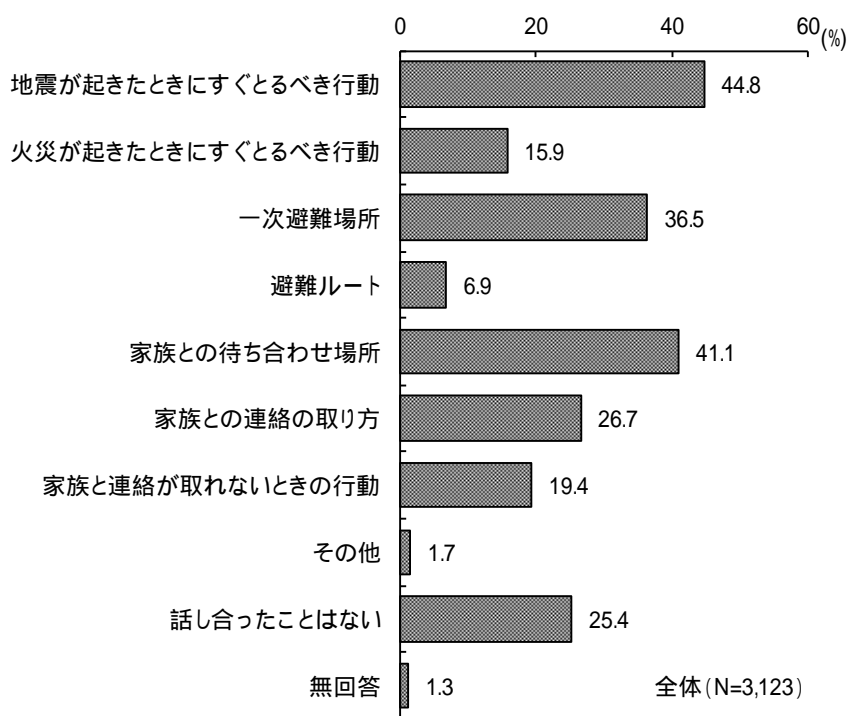


(9) 災害時について

災害時の対応のために家族で話し合ったこと (問 18)

災害時の対応のために家族で話し合ったことは、「地震が起きたときにすぐとるべき行動 (44.8%)」が最も多く、「家族との待ち合わせ場所 (41.1%)」、「一次避難場所 (36.5%)」が続いている。なお、「話し合ったことはない (25.4%)」は2割台である(図表1-9-1)。

図表1-9-1 災害時の対応のために家族で話し合ったこと (全体：複数回答)

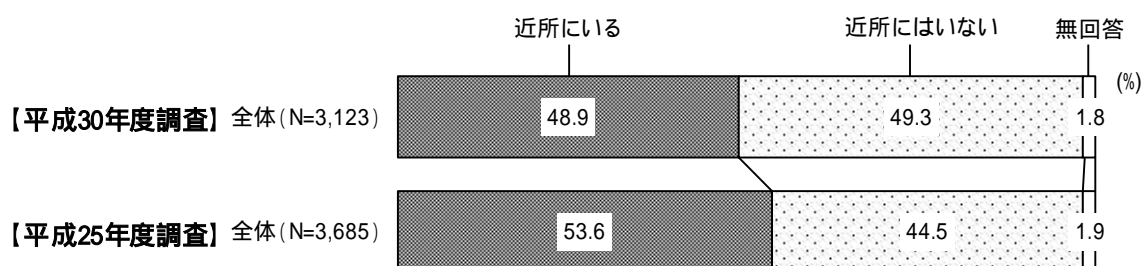


災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無 (問 19)

災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無は、「近所にいる (48.9%)」が5割弱となっている。

前回調査と比較すると、「近所にいる」が4.7ポイント低くなっている(図表1-9-2)。

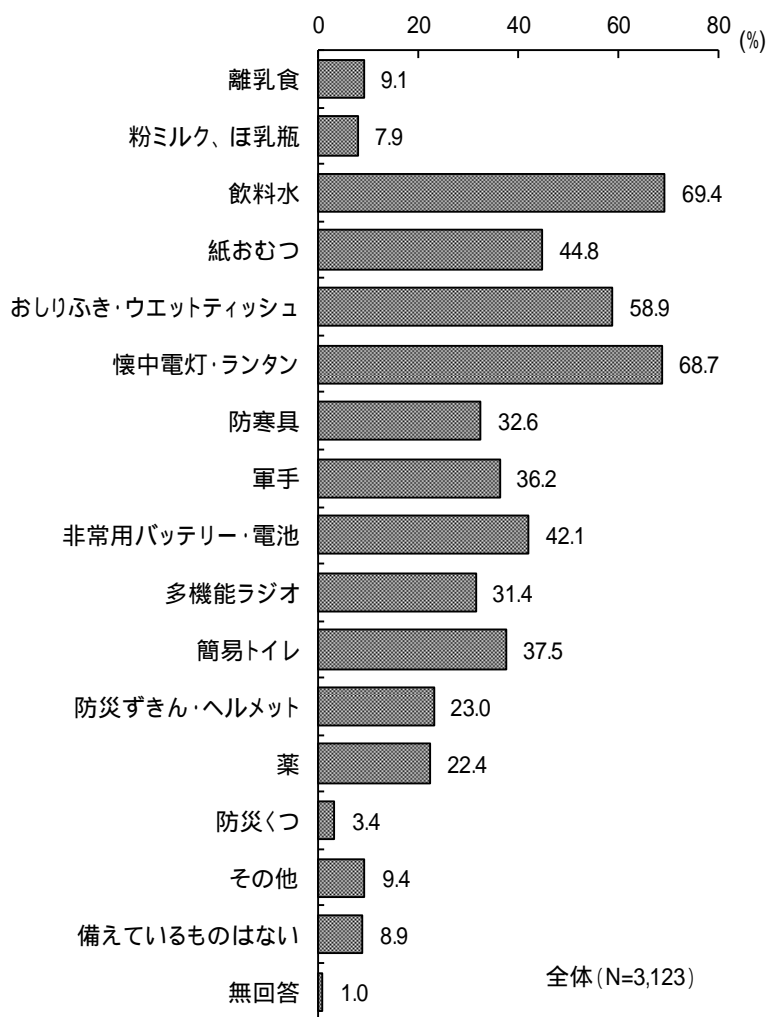
図表1-9-2 災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無 (全体)【経年比較】



子どものために災害対策として備えているもの（問20）

子どものために災害対策として備えているものは、「飲料水（69.4%）」、「懐中電灯・ランタン（68.7%）」、「おしりふき・ウエットティッシュ（58.9%）」が5割を超え多くなっている（図表1-9-3）。

図表1-9-3 子どものために災害対策として備えているもの（全体：複数回答）

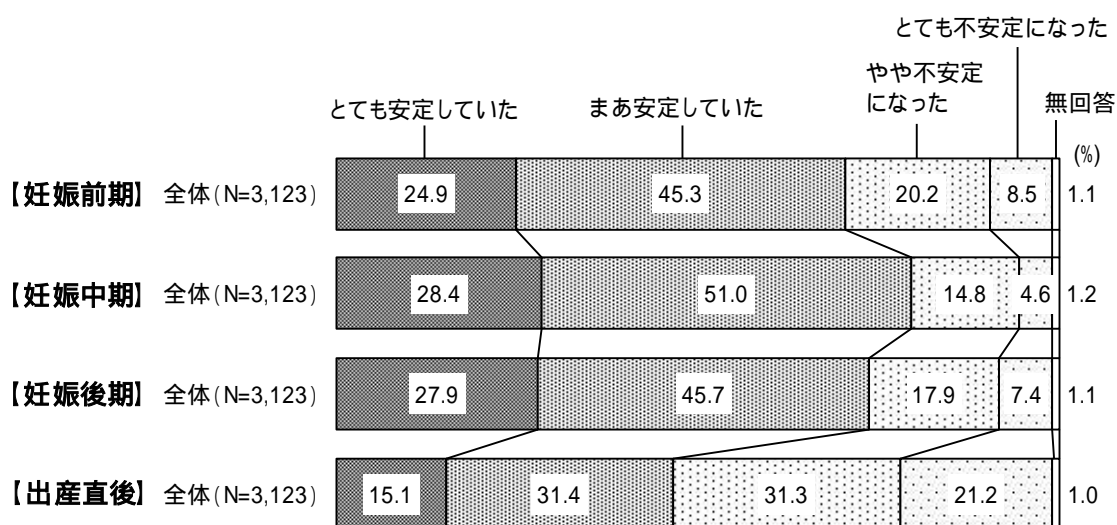


(10) 子育て全般

妊娠中や産後の精神的な安定の程度（問 21）

妊娠中や産後の精神的な安定の程度は、「やや不安定になった」と「とても不安定になった」を合計した《不安定になった》の割合は、『妊娠前期』は28.7%、『妊娠中期』は19.4%、『妊娠後期』は25.3%である。『出産直後』は《不安定になった》が52.5%であり、5割を超えている（図表1-10-1）。

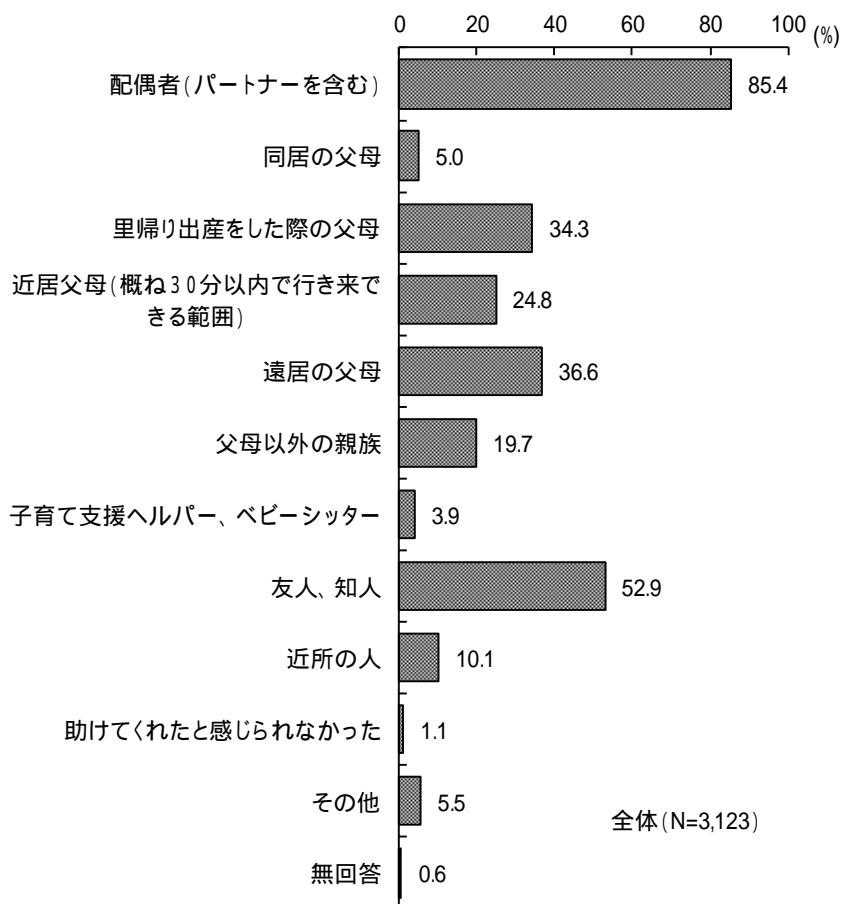
図表1-10-1 妊娠中や産後の精神的な安定の程度（全体）



妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人（問22）

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人は、「配偶者（パートナーを含む）（85.4%）」が最も多く、「友人・知人（52.9%）」、「遠居の父母（36.6%）」、「里帰り出産をした際の父母（34.3%）」、「近居父母（概ね30分以内で行き来できる範囲）（24.8%）」が続いている（図表1-10-2）。

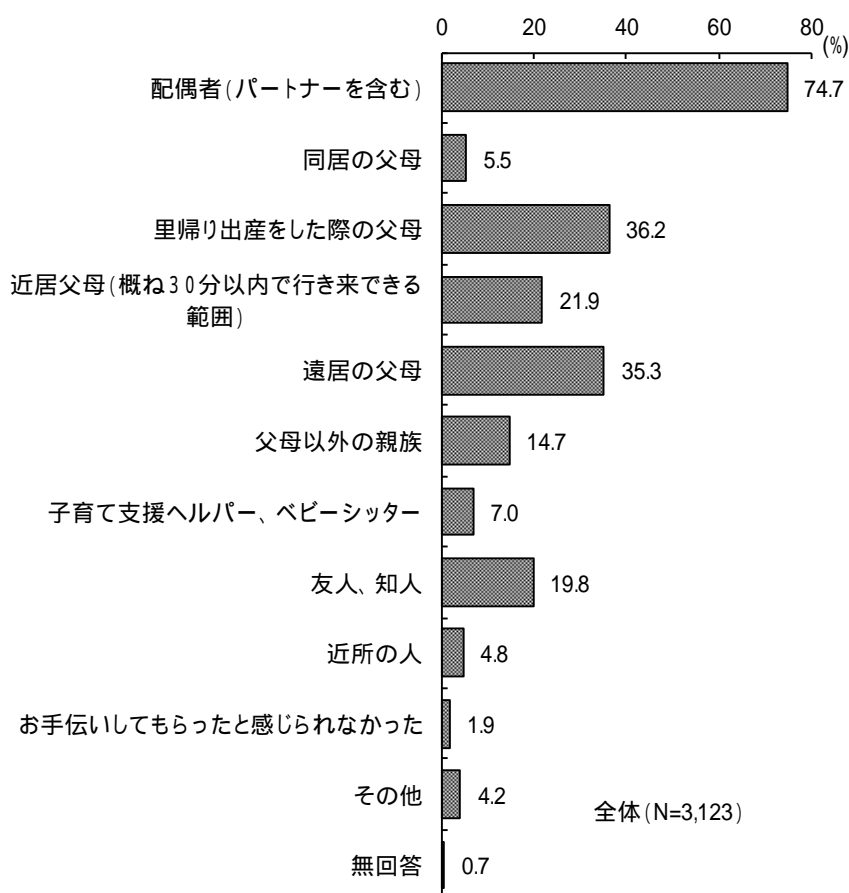
図表1-10-2 妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人（全体：複数回答）



出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人（問 23）

出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人は、「配偶者（パートナーを含む）（74.7%）」が最も多く、「里帰り出産をした際の父母（36.2%）」、「遠居の父母（35.3%）」、「近居父母（概ね 30 分以内で行き来できる範囲）（21.9%）」、「友人、知人（19.8%）」が続いている（図表 1 - 10 - 3）。

図表 1 - 10 - 3 出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人（全体：複数回答）

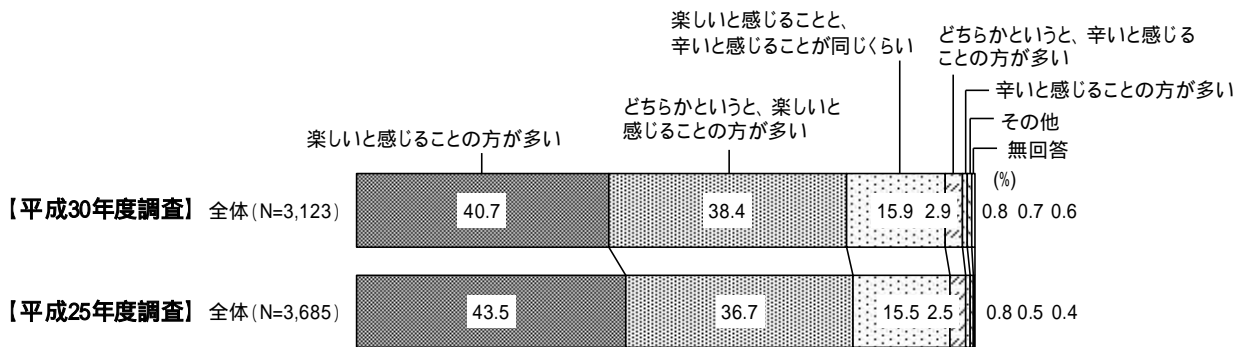


子育てについて楽しいと感じる程度（問24）

子育てについて楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い(40.7%)」と「どちらかという、楽しいと感じることの方が多い(38.4%)」を合計した《楽しいと思うことの方が多い》の割合は79.1%であり、8割弱の人が楽しいと感じている。

前回調査と比較すると、《楽しいと思うことの方が多い》が1.1ポイント低くなっている（図表1-10-4）。

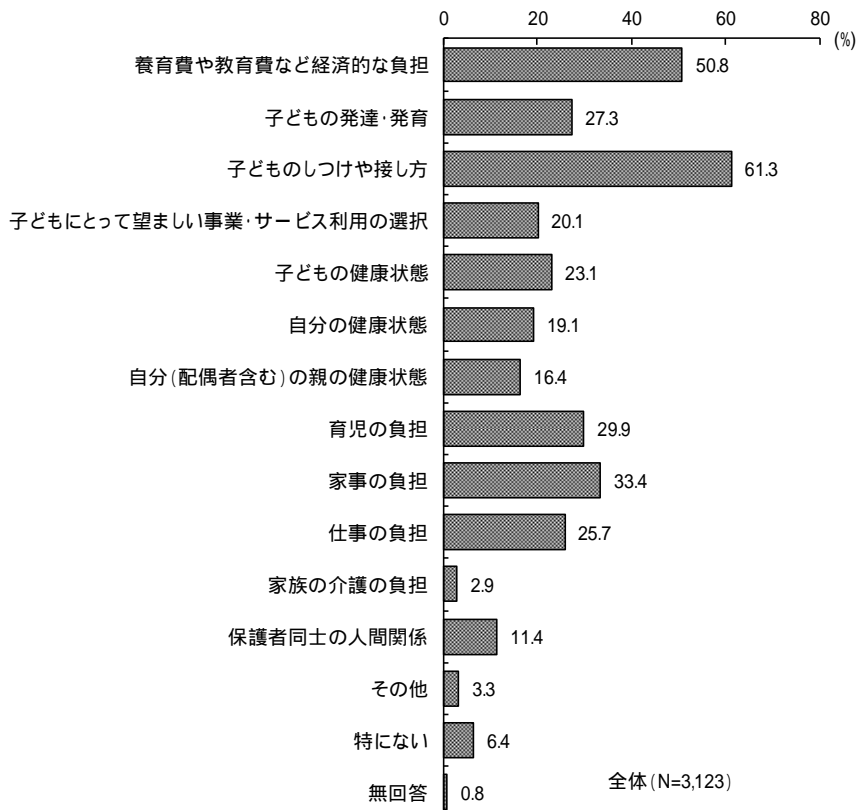
図表1-10-4 子育てについて楽しいと感じる程度（全体）【経年比較】



子育ての心配ごとや悩みごと（問25）

子育ての心配ごとや悩みごとは、「子どものしつけや接し方(61.3%)」が最も多く、「養育費や教育費など経済的な負担(50.8%)」、「家事の負担(33.4%)」が続いている（図表1-10-5）。

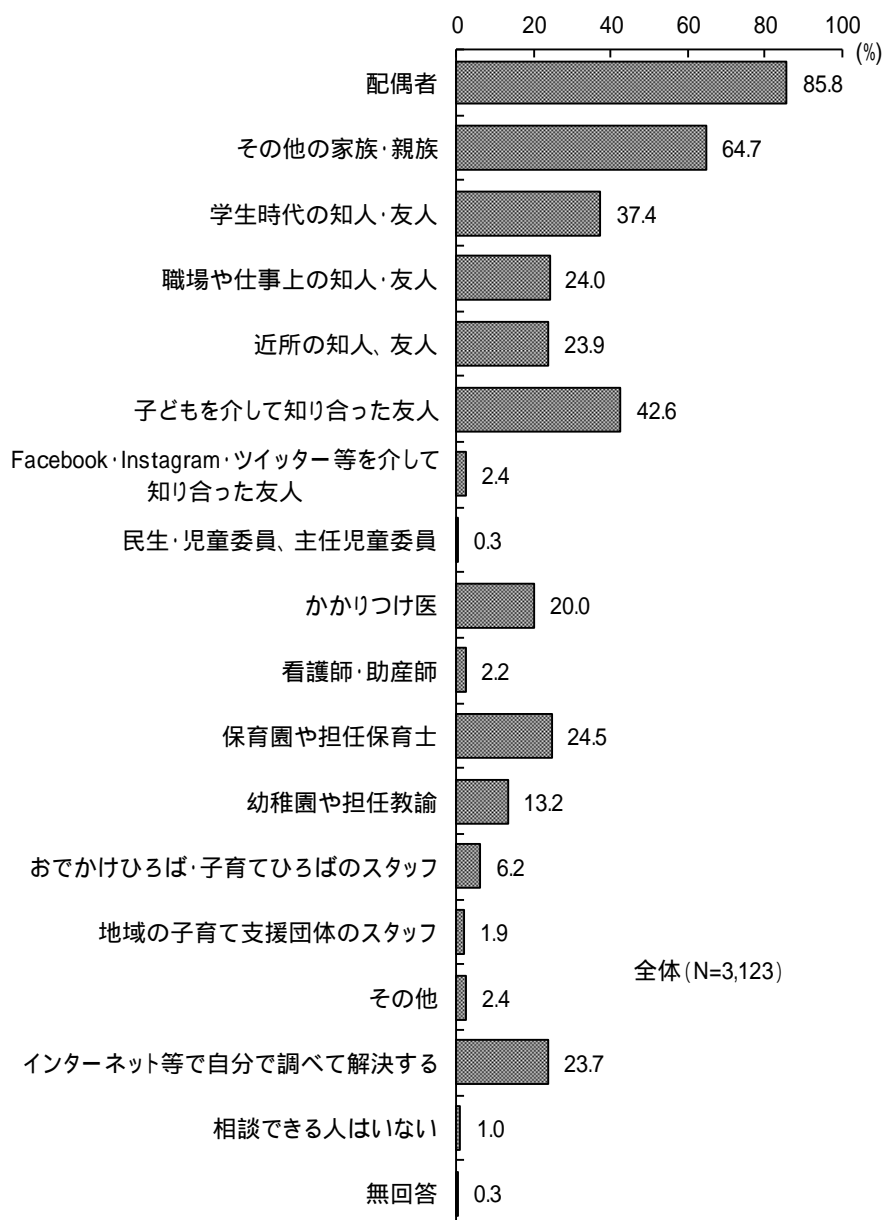
図表1-10-5 子育ての心配ごとや悩みごと（全体：複数回答）



子育ての心配ごとや悩みごとの相談先（問 26）

子育ての心配ごとや悩みごとの相談先は、「配偶者（85.8%）」が最も多く、「その他の家族・親族（64.7%）」、「子どもを介して知り合った友人（42.6%）」、「学生時代の知人・友人（37.4%）」が続いている（図表 1 - 10 - 6）。

図表 1 - 10 - 6 子育ての心配ごとや悩みごとの相談先（全体：複数回答）



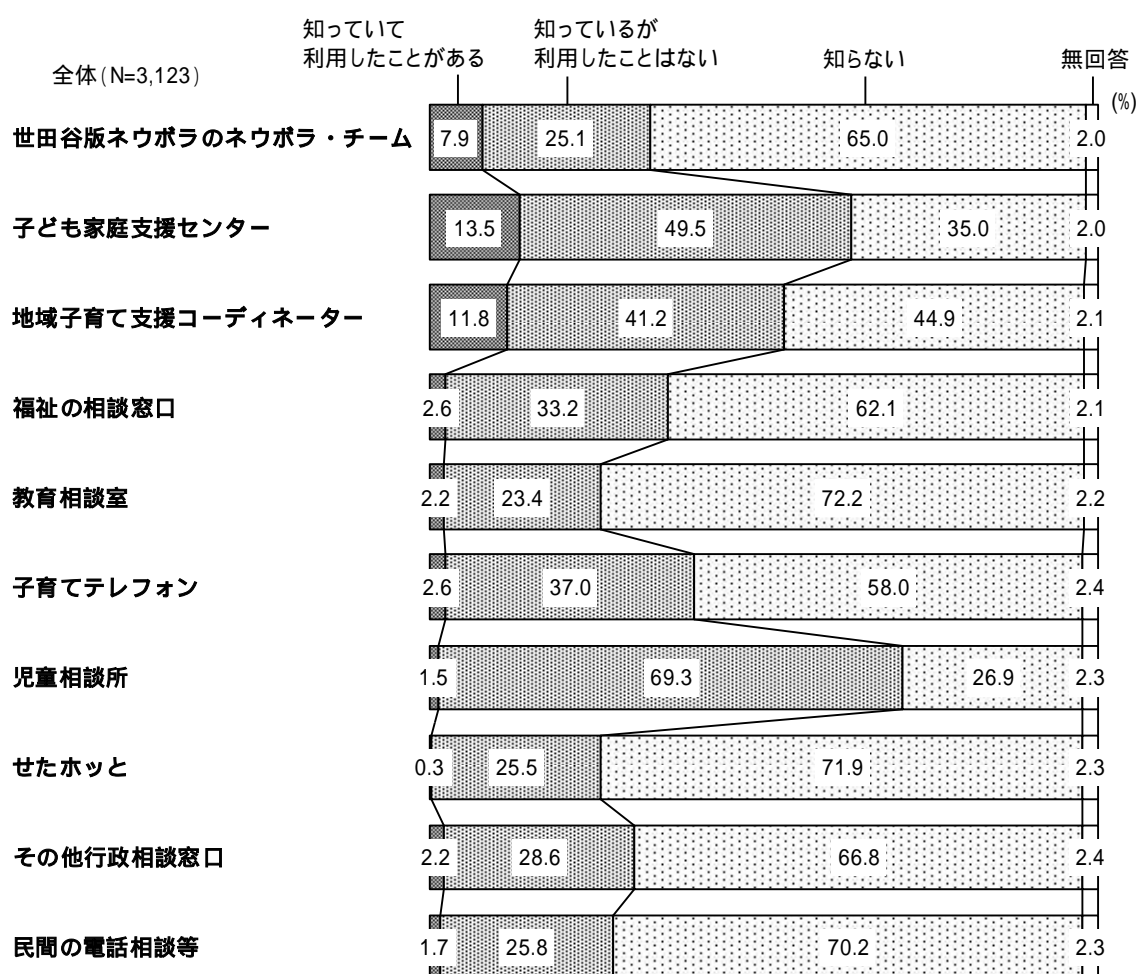
相談できる事業や窓口の認知度（問 27）

相談できる事業や窓口の認知度は、『子ども家庭支援センター』と『地域子育て支援コーディネーター』のみ「知っているが利用したことがある」が1割を超えている。

「知っているが利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合計した《認知度》の割合は、『児童相談所』で70.8%、『子ども家庭支援センター』で63.0%、『地域子育て支援コーディネーター』で53.0%と3項目で5割を超えている。

なお、『教育相談室』、『せたホッと』、『民間の電話相談等』では「知らない」が7割を超えている（図表1-10-7）。

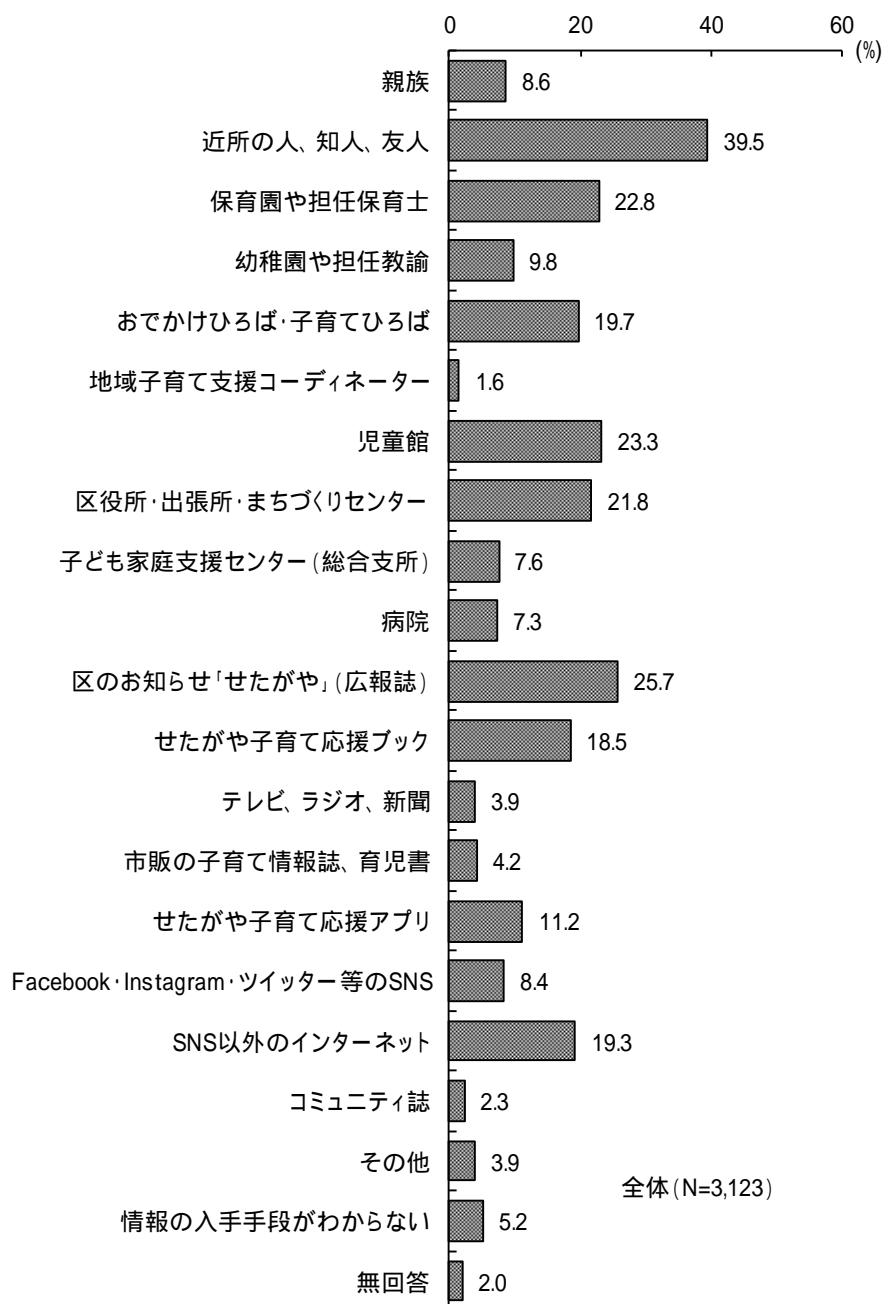
図表1-10-7 相談できる事業や窓口の認知度（全体）



子育て支援サービス・制度に関する情報の入手先（問 28）

子育て支援サービス・制度に関する情報の入手先は、「近所の人、知人、友人（39.5%）」が最も多く、「区のお知らせ「せたがや」（広報誌）（25.7%）」、「児童館（23.3%）」、「保育園や担任保育士（22.8%）」、「区役所・出張所・まちづくりセンター（21.8%）」までが2割を超えている（図表1-10-8）。

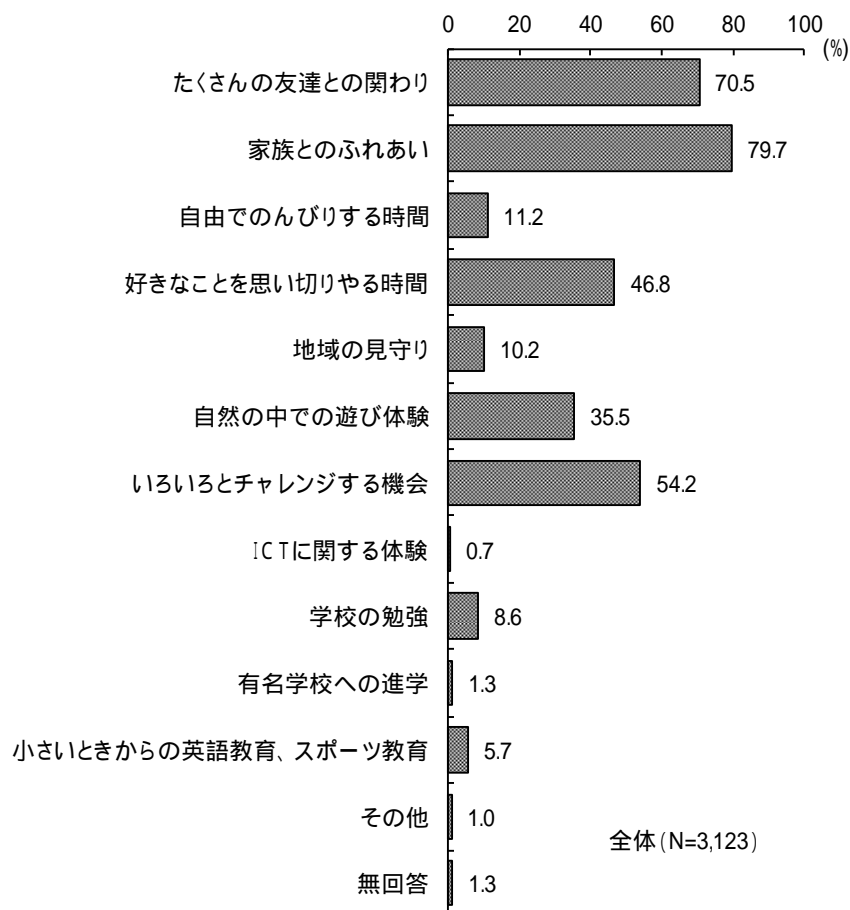
図表1-10-8 子育て支援サービス・制度に関する情報の入手先（全体：複数回答）



子どもが成長するうえで大切なこと（問 29）

子どもが成長するうえで大切なことは、「家族とのふれあい（79.7%）」が最も多く、「たくさんの友達との関わり（70.5%）」、「いろいろとチャレンジする機会（54.2%）」、「好きなことを思い切りやる時間（46.8%）」が続いている（図表1-10-9）。

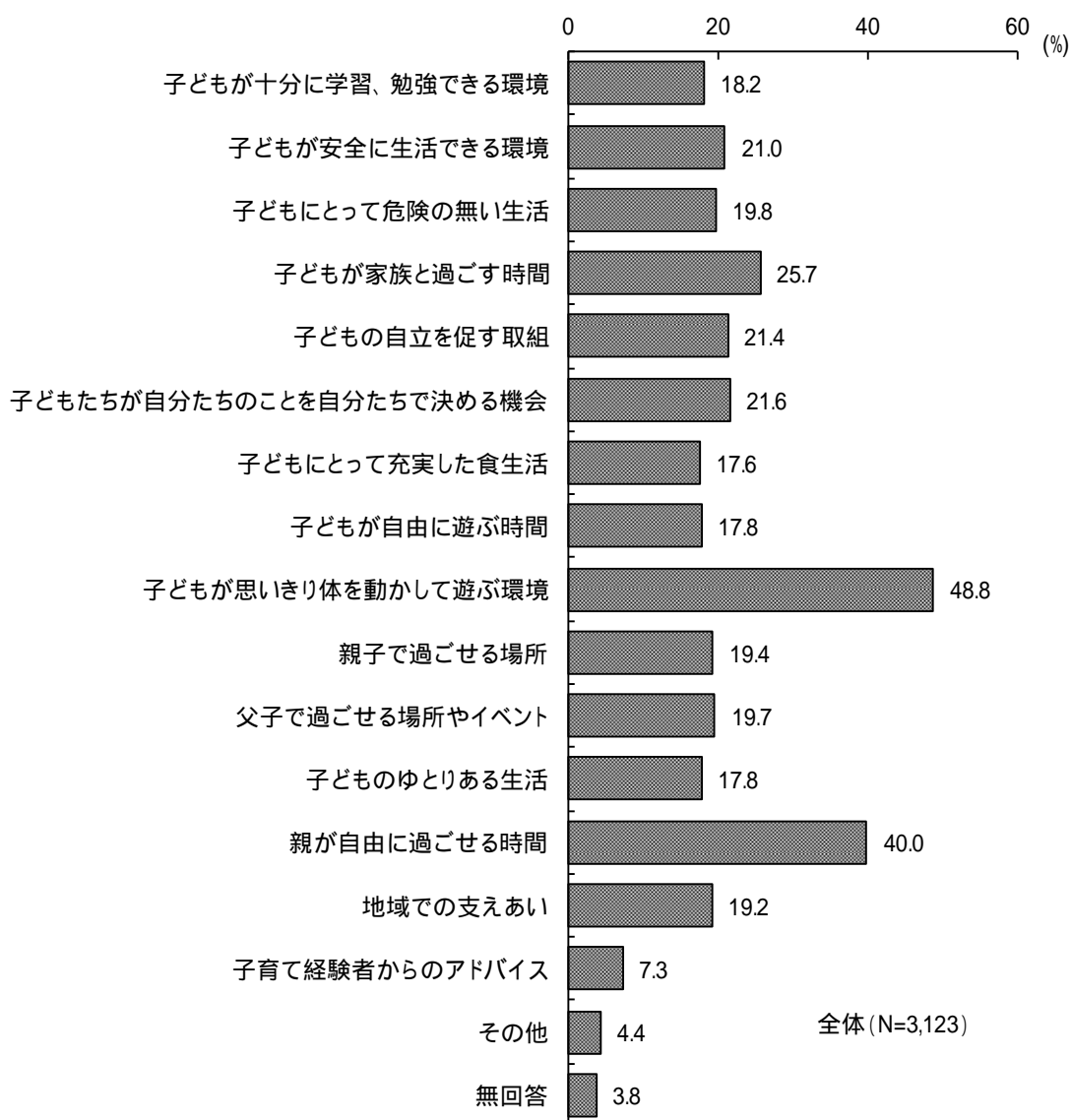
図表1-10-9 子どもが成長するうえで大切なこと（全体：複数回答（3つまで））



子育てをするうえで足りていないと感じること（問 30）

子育てをするうえで足りていないと感じることは、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境（48.8%）」が最も多く、「親が自由に過ごせる時間（40.0%）」、「子どもが家族と過ごす時間（25.7%）」が続いている（図表 1 - 10 - 10）。

図表 1 - 10 - 10 子育てをするうえで足りていないと感じること（全体：複数回答）

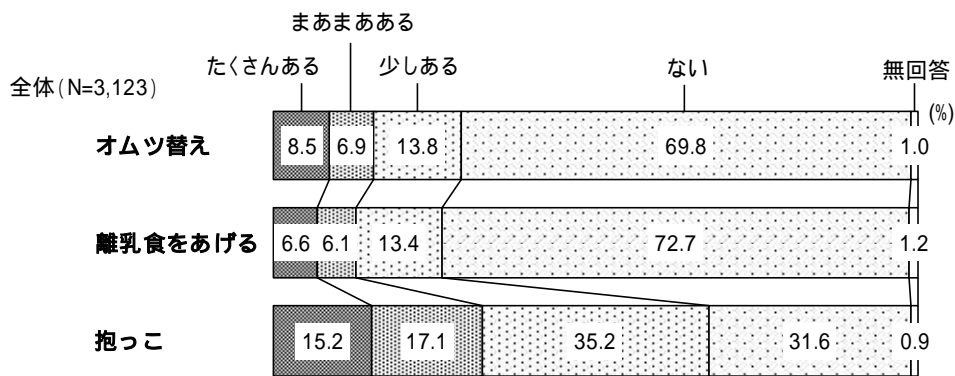


第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度（問31）

第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度は、『離乳食をあげる』、『オムツ替え』は「ない（それぞれ72.7%、69.8%）」が7割前後となっている。

『抱っこ』は「ない（31.6%）」が3割強であり、「たくさんある（15.2%）」、「まあまあある（17.1%）」が1割台、「少しある（35.2%）」が3割台となっている（図表1-10-11）。

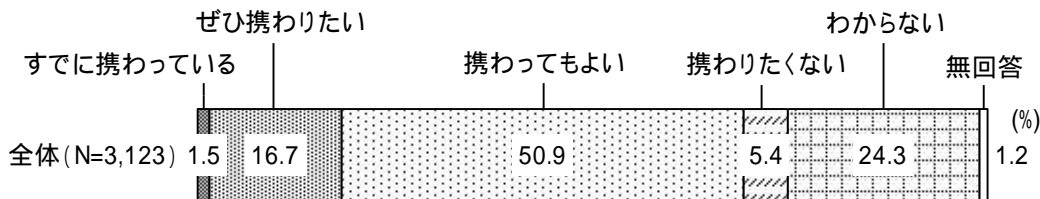
図表1-10-11 第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度（全体）



地域の子ども・子育て支援への携わり意向（問32）

地域の子ども・子育て支援への携わり意向は、「すでに携わっている」は1.5%にとどまっている。その割合に「ぜひ携わりたい（16.7%）」と「携わってもよい（50.9%）」を合計すると携わる意向があるのは69.1%である（図表1-10-12）。

図表1-10-12 地域の子ども・子育て支援への携わり意向（全体）

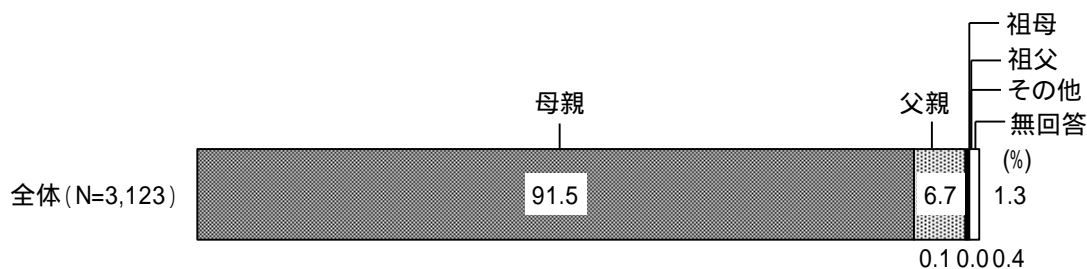


(11) 回答者の属性

子どもからみた続柄 (問 33)

子どもからみた続柄は「母親 (91.5%)」が9割を超えている (図表 1 - 11 - 1)。

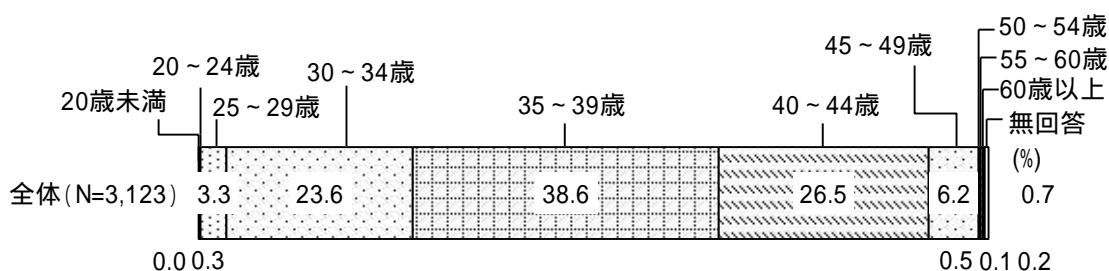
図表 1 - 11 - 1 子どもからみた続柄 (全体)



年代 (問 34)

年代は、「35～39歳 (38.6%)」が最も多く、「40～44歳 (26.5%)」、「30～34歳 (23.6%)」が続いている (図表 1 - 11 - 2)。

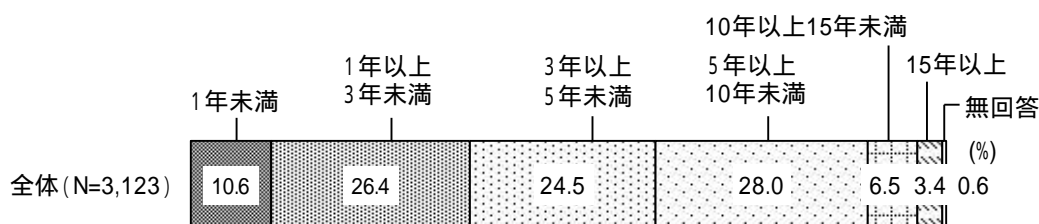
図表 1 - 11 - 2 年代 (全体)



現在の場所での居住年数 (問 35)

現在の場所での居住年数は、「5年以上10年未満 (28.0%)」が最も多く、「1年以上3年未満 (26.4%)」、「3年以上5年未満 (24.5%)」が続いている (図表 1 - 11 - 3)。

図表 1 - 11 - 3 現在の場所での居住年数 (全体)



家族や親族の中で介護を必要とする人の有無（問36）

家族や親族の中で介護を必要とする人の有無は、「介護が必要な人がいる(同居)」が1.7%、「介護が必要な人がいる(別居)」が13.6%となっている（図表1-11-4）。

図表1-11-4 家族や親族の中で介護を必要とする人の有無（全体）



介護の頻度（問36-1）

介護を必要とする方がいる人に介護の頻度をたずねたところ、「介護をしていない(72.7%)」が7割を超えている。月数回でも介護をしている人を合計すると26.9%となっている（図表1-11-5）。

図表1-11-5 介護の頻度（全体）

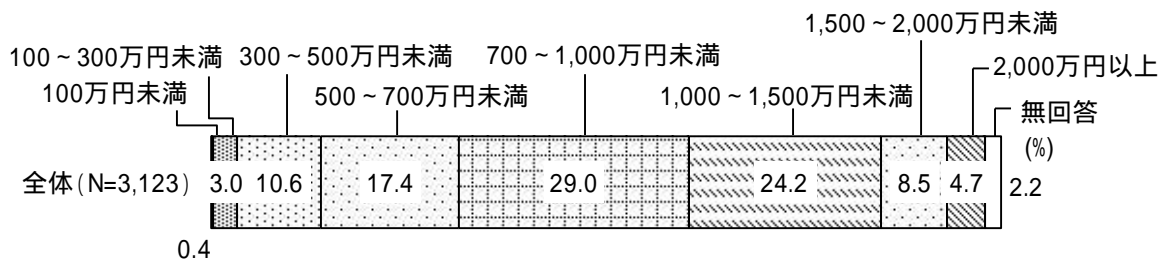
<介護を必要とする方がいる人>



世帯収入（問37）

世帯収入は、「700~1,000万円未満(29.0%)」が最も多く、「1,000~1,500万円未満(24.2%)」、「500~700万円未満(17.4%)」が続いている（図表1-11-6）。

図表1-11-6 世帯収入（全体）



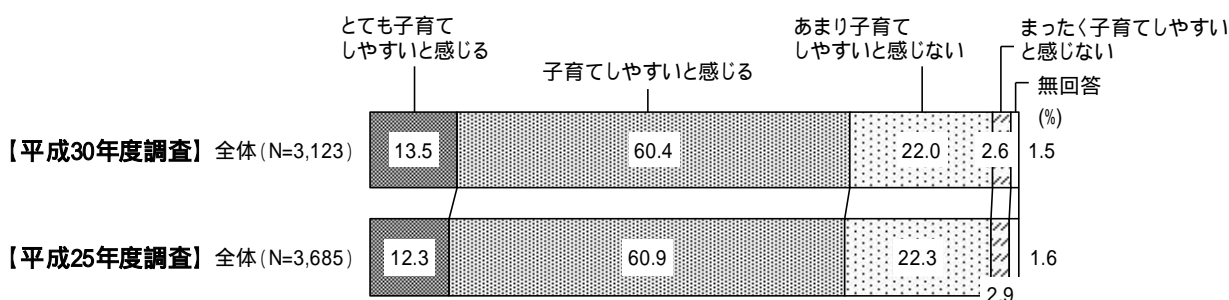
(12) 世田谷区での子育て

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（問 38）

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度は、「とても子育てしやすいと感じる（13.5%）」と「子育てしやすいと感じる（60.4%）」を合計すると、《子育てしやすい》と感じる割合が 73.9%となっている。「あまり子育てしやすいと感じない（22.0%）」と「まったく子育てしやすいと感じない（2.6%）」を合計した否定的な回答は 24.6%であった。

前回調査と比較すると、《子育てしやすい》と感じる割合が 0.7 ポイント高くなっている（図表 1 - 12 - 1）。

図表 1 - 12 - 1 世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（全体）【経年比較】



子育てに関する意見

子育てに関する意見を、自由記述形式でたずねたところ、全体で 1,404 件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

保育園について（351 件）

・入園の条件（115 件）

- ・ 私の住んでいる地域では話聞くより保育園に入りやすいですが、3歳で終わる小規模保育園（無認可・認証）から引き続き入れる確約がなく非常に不安になりました。ここはぜひ確約いただきたいです。また新しく園を安易に作るのではなく、もともとある園（幼稚園）の活用をするのが合理的だと思います。（5歳・母親）
- ・ 認可保育施設の入園選考において、現行は、保育園に兄弟のいる多子世帯が優遇される基準が適用されているが、第1子であっても第二子以降の子どもと同等の入園機会を与えてほしい。高齢出産で第一子を授った場合、育児休暇終了後に安心して児童を保育園に入れられるという確信がないと、今まで築いてきたキャリアが失われる不安があり、働く女性が子を産み育てながら就業を続けていくことが困難となる。（1歳・母親）
- ・ 本当は1歳4ヶ月や2歳4ヶ月まで育休を取得できるのに保育園に入園するために泣く泣く育休を切り上げて認可外に預けている方が多いです。1歳4ヶ月で入りやすいよう1歳

枠をもっと増やしてほしいのと、1歳4ヶ月だけは認可以外へ有償で預けている人が有利で、育休あけの人が不利とならないようにしてほしいです（江東区は、今年からそうしているようです）。1歳クラスで有償で預けている期間が長いかどうかを選考材料にしてしまうと、早生まれがますます不利となります。0歳クラスは、本当に預けないと生活が成り立たない事情がある人を優先して、会社員は1歳4ヶ月までできるだけ休んでもらうようにしないと、いくら保育園を増やしても解消に向かわないように感じます。国全体では、育児休暇をできるだけ長く取らせる方向にシフトしています。世田谷区も、よろしくお願いします。（4歳・母親）

- ・ 世田谷区の保育園でのポイント判断を見直しいただきたいです。認可に入れていないから認証に入っているのに、2歳までの小規模保育卒園時+20ポイントされる対象が認可のみというのが納得いきません。（2歳・母親）
- ・ 世田谷区に限った事ではないかもしれませんが、両親ともにフルタイムで働いていないと子どもを保育園に入れられないのは改善してほしい。フルタイム勤務ではなく週3～4日くらいで働く場合、子どもを預ける所があまりない（認証保育園でも月160時間以上預けることになっている）。（0歳・母親）
- ・ 現在認可保育園に在園しています。第一子入園時（2015年4月）に比べ、第二子入園時（2018年4月）には保育園の数がだいぶ増え、働くママの声が届いていることにとても感心しました。現在、入園選考時に「時短勤務は5歳児クラスになるまで」との制限がありますが、なぜでしょうか？会社は小学校6年生になるまで時短勤務が認められているのに、区の制限で時短勤務を縮めなくてはいけないのが残念で仕方ありません。ぜひ改善してください。（1歳・母親）

・ 保育園の不足（105件）

- ・ 待機児童をなんとかしてほしい。第1子は3月生まれだったので、0歳4ヶ月の入園はできず、1歳4ヶ月での入園でした。1歳児の受入れはとても少なく、絶望的でした。第2子を希望していますが、今から保育園に入れるか心配です。また早生まれになったら、とても心配です。（2歳・母親）
- ・ 世田谷区の中でも、私が住んでいる地域は保育園が少なく感じました。入れたのは保育室で、上の子の転園と下の子の入園、自身の体調や保育園入園が決まるまでのストレスもあり、退職することを選びました。子どもと過ごせる時間が増え、幸せには思いますが、保育園が安心して決められていたら、仕事を続けたかった思いもあります。どうぞよろしくお願いいたします。（2歳・母親）
- ・ 子どもの数も多く、子育て支援もたくさんあって子育てしやすい区だとは思いますが、保育園や幼稚園に入園するにあたり自分にあった希望するところには入れず、選択権がない感じで入れるところに何とか入れれば良いかという状態だと思います。せっかくたくさんの特色のある園があるので、「選んで入れる」ようになったらなあと思います。（2歳・母親）
- ・ 0歳から保育園に入れないと入れないという現在の状況を改善してほしいです。よい保育

園がたくさんあると感じていますが募集人数の少なさを見て希望をなくしています。共働きでないと経済的に苦しい状況です。(0歳・母親)

- ・ 自宅から一番近い保育園に入れたい事が辛い。わざわざ2駅先の保育園に預けて雨の日や高温の日は本当に嫌になる。時間も体力も浪費してしまう。悪循環だと思う。近場に預けられるようにしてほしい。(0歳・母親)
- ・ 世田谷区は子育てに良い環境が整えられていると感じることが多いのですが、保育所に関しては妊娠中からずっと気がかりで、今も希望時期に入所できるか不安です。急に施設を増やすのも大変だと思いますので、選択肢が増える3歳まで育休の延長が可能になる等、より安心して出産、子育てができる環境になってほしいです。(0歳・母親)

・保育内容、設備(37件)

- ・ 区立保育園はオムツを持ち帰らせるところがほとんどですが、衛生管理上大変気になります。いろいろ見学に行くと、私立の認可保育園の方が保護者の負担が少なく、多様な保育をしています。区立保育園も「前と同じだから良い」ではなく新しい運営や保育方法をいろいろ取り入れてほしいと思います。(2歳・母親)
- ・ 保育園ではよく見ていただいているのですが、園庭がなく外で遊ぶ機会が少ないのが気になっています。子どもの体の発達にも必要だと思いますし、子どもも外で遊ぶのが大好きです。「週に何時間以上は外で遊びましょう」のようなすべての保育園に目標みたいなものを与えていただきたいといつも思っています。(1歳・母親)
- ・ 保育園での活動には大変満足していますが、保育園は生活の場、幼稚園は教育の場の区別がはっきりしすぎていて、小学校に入ったときにとても差があると感じる。幼稚園出身の子は勉強をすでにしている字も書けるので驚く。(5歳・母親)
- ・ 子どもの私立認可保育園は園庭がなく、昨年の運動会はやや距離のある系列園のホールを借りた。ホールは狭いため、今年は園長が複数の区立小へかけ合ったが前例を作れないとの理由で断られ続け、やっと少し離れた区立小に借りることができた。とはいえ、毎年難しいとのこと。一方、近隣の私立認可保育園では違いがあることはやむを得ないが、利用する認可園は、区によって振り分けられているという現状を考慮し、外部施設の借用は公平となるよう、区からも力添えいただきたい。ちなみに今年お借りした区立小の校庭は、毎年近隣の私立幼稚園の運動会に使われている(運動会は一例であり、なるべく公平にしてほしいということ)。(3歳・母親)

・保育士の質、増員の希望など(35件)

- ・ 保育の質は事業形態ではなく、いかに円滑に運営されているかだと思います。保育士が足りていない新規の認可園よりはベテランのそろった小規模保育施設の方が安心して預けられます。質のよい保育施設の拡充をお願いします。(3歳・母親)
- ・ 子どもを安心して預けるために、保育者の質が重要だと考えています。保育の無償化はありがたいですが、それ以前に、保育者の質を確保するために、保育者の給与や労働環境を改善してあげてほしいと思います。(3歳・母親)

- ・ 区立保育園に通園していますが、園内の連絡伝達が行き届いていない場面が多く見られます。保育士のレベル向上を切に望みます。(2歳・母親)
 - ・ 保育園が増えているが、質が落ちているように思う。若い保育士さん、学校を卒業したばかりの方が多く、安全面で不安に思うことがあります。区での定期検査、チェックの頻度をあげてほしいと思います。(4歳・母親)
- ・ **保育料 (29 件)**
- ・ 収入で保育園利用料に差がついている上に、優先順位まで下げられている事は二重に負担をかけられていると考えますので、再考いただけますようよろしくお願いいたします。(0歳・母親)
 - ・ 第3子の保育料について、第1子が小学生であっても3番目の子どもなので無料にしてほしいです。(2歳・母親)
 - ・ 2人目の保育料が半額になる制度について：恩恵を受けておりありがたいが、本制度が認可/こども園に限定されているのが残念に思う。概して、一度認可/こども園に入園できると利用できるサービスや、費用/施設の充実もしており、認証等では費用、制度、サービスの面で劣っているように感じる。もう少しならせれば、利用希望の集中が緩和されるのではと思う。(4歳・その他)
 - ・ 認可園なら第3子は無料だったりする補助について、認証園に通う子どもについても検討していただきたいと思います。(1歳・母親)
- ・ **保育時間 (18 件)**
- ・ 今の保育園に満足ですが、もし残業の時に、時間の延長が対応できると、ママがもっと楽かなと思います。(3歳・母親)
 - ・ 仕事柄平日休みで土日祝出勤が基本ですが、日曜日、祝日やっている保育園が少なく一時で預けると割高。でも補助なく、家計の負担となっています。もっと日、祝仕事の人いるという意識を持ってほしいです。(4歳・母親)
 - ・ 現在泊まりありのシフト勤務をしています。勤務の内容上、日勤が不可で、勤務時間の短縮が不可能なため、休みを増やすという形でいわゆる時短勤務のかわりとする制度を利用したいと考えていますが、そうすると指数が下がり、保育園入園が厳しい状況です。今は24時間体制のシフト勤務の仕事も増えています。そのような仕事についている家庭も保育園に預けられる環境を作ってください。(0歳・母親)
- ・ **その他保育園について (12 件)**
- ・ 保育料の出し方や無償化に関して詳しく知りたいのですが、決定したものなのか不透明なものが多く、わかりにくいです。(0歳・母親)
 - ・ 世田谷区立の保育園は他の区と比べて、父母会の負担が大きい。他区は年長のクラスはあっても、1歳児からあるところは聞いたことがない。(1歳・母親)
 - ・ 都内での転入・転出などで住所が変わる場合に、保育園の転入・転出手続きをもっとスムーズ

ーズにしてほしい。また保育園入園に関しての条件（ポイント）などを都内共通としてほしい。市町村によって違うことにより、住所が変わり新しい保育園に移りづらかったり、それにより親の就労にも関わるため（場合によっては仕事をやめなければならなくなったりする）（1歳・母親）

- ・ 入園前の子どもに対する教育（リトミックや外国語など）を実施、充実させてほしい。（0歳・父親）

公園など遊び場について（125件）

- ・ 0歳から3歳までの子ども達が、安心して遊べる公園や遊具がない。キッズのスペースが多く、小さい子のスペースがない。（2歳・母親）
- ・ 自由にボール遊びができる環境が増えたらよい。大きな公園は、ランナーや自転車が多く、危険も多いと感じます。（5歳・母親）
- ・ 子どもを遊ばせながら、食事がとれる場所がほとんどないので、子ども連れで行かれる場所がもっと増えたらいいなと思います。（4歳・母親）
- ・ アスレチックのような、子どもが体を使って遊べる公園が増えたらいいなと思います。（4歳・母親）
- ・ 公園で遊ぶ際、幼児は午前中または小学生が帰宅する前の時間帯を利用しています。年齢によって遊び方が違うため、安全を考慮してのことです。限られた場所で安全に、安心して遊ぶためには時間帯で利用できる年代を区切ることも1つの手段かと思います。すべての公園でとは考えませんが、大きな公園等ではあってもよい制度かなと日頃考えております。（3歳・母親）
- ・ 雨の日や気温の高い日など、室内で体を動かせるアスレチックルームなどの環境があるといいです。いつも有料プレイパーク（世田谷区外）へ行っているの。児童館やおでかけ広場ではあまり体を動かさないの。（2歳・母親）
- ・ 子育てしやすい環境だと思っていますが、最近、公園で“大声を出さない”などの注意の看板を目にすることが多く、子育てしている側としてはとても悲しくなります。子どもたちが思いっきり遊べる公園のはずが、できないことが多くなり残念です。（3歳・母親）
- ・ 暑い日など、外で遊ばせられない日に行ける施設がもっとほしい。（0歳・母親）
- ・ 近所に体を動かして1年中遊べる施設がない。（区の施設）室内で、ボルタリングやすべり台などで遊べて、子どもが楽しめるような施設をぜひ作ってほしいです。（3歳・母親）
- ・ 子どもが楽しく遊べる広い公園がほしい。夏に水遊びできる場所がほしい。（3歳・母親）

一時預かりについて（102件）

- ・ 私立保育園の一時預かりを登録した事があるのですが、登録はできても、利用したい日にまったく予約が取れず、一度も利用できずに登録解除になってしまい困った事があります。（第2子の時）母である私の通院でどうしても子どもを連れて行けない時があり、いつも頭を悩ませています。預かりサービスがもっと増えるとうれしいです。（0歳・母親）
- ・ おでかけひろばの一時預かり枠を増やしてほしい。現状、予約開始日の9:00~12:00ま

で電話をかけ続けてもつながらず、つながった時はもう枠が埋まっている。保育園の土曜保育を、仕事だけでなく、用事やリフレッシュでも利用できるようにしてほしい。(0歳・母親)

- ・ 一時預かりしてくれる場所(ほっとステイ)を増やしてほしい。(1歳・父親)
- ・ おでかけひろばにあるほっとステイの予約が取りづらく、途中であきらめ、認可外保育園を使っていました。(2歳・母親)
- ・ 港区、千代田区、子育てひろば「あいぼーと」の一時保育を0歳3ヶ月より使っています。仕事が舞台芸術関係のため、昼から夜に預けたいが世田谷区になかなかない。保育室など電話しても受入人数が少ないのでダメでした。また、ほっとステイが19:30や20:00までだと良い。会社員勤めでない人へのサポートが(時間的なこと)ほしい。(0歳・母親)
- ・ 保育園には私用で子どもを預ける事ができません。自分の用事のために子どもを気軽に預けられる場所がなく、夫は激務で不在の事が多いので夫には預けられません。自分のための用事、病院、美容院など常に子連れなので大変です。気軽に2~3時間預かっていただける所が増えると良いなと思います。(2歳・母親)
- ・ 専業主婦の家庭が、一時預かりを利用しにくい。保育園はもちろん一時預かり専門施設も充実させてほしいです。常に子どもと一緒に行動しなければいけないのはけっこう大変です。(主人は仕事でほばいないので)郊外に行くと大きなショッピングモールがあり、買物の間預けられたり、屋内で遊べる施設があり便利だと感じます。公園には満足しているので、他の親子で過ごせる場がほしいです。児童館も近くにないので困ります。(2歳・母親)
- ・ 一時保育を利用してみたいが、兄弟が多い(双子)と負担額が大きいので気軽に利用できない。自身の病気の際、長期で入院することになったらどこに預ければ良いかわからない。(4歳・母親)

経済的支援や優遇措置のあり方について(80件)

- ・ 母子家庭(離婚、未婚問わず)への支援を手厚くしてほしい。離婚、未婚の違いで制度の違いをもうけないでほしい。(2歳・母親)
- ・ 現行の多子軽減制度に該当しない場合、きょうだい2人以上保育園に通園している場合は、第2子半額、第3子無料になりますが、なぜ認可外施設や小学生の場合は対象外なのか大変疑問です。世田谷に住む方で働いている夫婦の場合、会社都合もあり育休を継続して取れることをためらい、第1子出産後年数をあけて第2子出産の方を多くみます。また認可施設に入れず、認証保育園に入園する方も多いです。子育てしやすい区、出生率を上げるためにも在園状況問わず第2子半額、第3子無料にした方が良いと感じます。区の財政上厳しい部分もあるかと思いますが、ぜひご検討いただければと思います。(1歳・母親)
- ・ 子どもにいろいろな経験をさせてあげたい!と思う反面、習い事をしようとすると1個につき月1万円近くかかります。水泳、ピアノ、サッカーetc、月謝が高いため選ばなくてはなりません。安い月謝でできる習い事があると嬉しいです。(5歳・母親)
- ・ 子育てに関して経済的に常に不安があります。非課税世帯に援助があり、年収300~500万円は非常に厳しい立場にいます。援助もなく毎日ギリギリの状態であります。(4歳・母親)

- ・ 中学校、高校の授業、学費の無償化、学生間の医療費無償化を希望します。(3歳・母親)
- ・ 子を持つ世帯数が多いのに、対応しきれていない気がします。世帯収入で、希望する保育園、幼稚園に入れず、無認可保育園に入ったこともあります。子が増えれば、それだけお金もかかりますので、もう少し優遇されても良いのではないかと思いました。世田谷区は人気エリアで子もち世帯も多いのに、なかなか子育てに対しては遅れている(他の区に比べても)と感じる事の方が多いです。これからの人達のためにぜひとも頑張ってください。(4歳・母親)
- ・ 多子世帯に対する支援が十分でない。例えば目黒区は第三子以降は兄弟の在園の有無に関わらず認可保育園は保育料無料、学童保育も無料である。多子世帯に対し支援を増やしてほしい。(1歳・母親)
- ・ 主人がフリーランスの仕事をしているので、収入が不安定なため仕事をしたいが、保育園が空いておらず働けない。収入が無くても、国民年金の支払いはしなければならず、お金がまわりません。事情を説明してもなかなか支払いを待ってもらえず督促状が送られてくる。子どもがほしくて出産したが、経済的な心配があり、子育てしづらい環境です。(0歳・母親)

幼稚園について(79件)

- ・ 普通の幼稚園に行かせたいが、受験さながらの状況。プレに早朝から並んだり、面接日が11月1日で併願できない、説明会に紺のスーツなど。他の自治体も同様かもしれませんが、子どもの数が多いので対策してほしいです。(5歳・母親)
- ・ 私立幼稚園の保育料が高いと思う。それでいて利用時間は短い。保育園と時間単価で比較すると不公平だと思う。働きたいと思っても、幼稚園では仕事探しもできない。(5歳・母親)
- ・ 制度の整った幼稚園が少ないです。他県、23区外の友人と話すと、「預かり保育あり」「給食あり」「バスあり」が当たり前と聞きます。区内で上記の幼稚園に入園させるのは、倍率が高すぎます。せめてすべての幼稚園に上記3つのうち1つは整えていただきたいです。預かり保育の無い幼稚園ではパートすらできません。狛江市の幼稚園は市から預かり保育をするよう幼稚園側へ要請があると聞きました。そのためフルタイムの方も幼稚園にいるそうです。保育園へ通園される方々は無償になり、幼稚園は以前と変わらない。とても不公平に感じます。(5歳・母親)
- ・ 区立幼稚園の2年保育について3年保育もしくは4年保育に変更してほしい。金銭面でも親の負担が少ない上、先生方の質がとてもいいので3年保育になれば入園させたいと思っている人はたくさんいると思います。(5歳・母親)
- ・ 区立幼稚園における保護者の負担が大きい。幼稚園、先生方、保護者同士の連携は重要だが、委員会、係活動等で園に出向く機会が非常に多く、下に弟や妹がいると特に大変だと感じた。以前、別の県で市立幼稚園に通っていたが、世田谷区立幼稚園ほどは負担がなかった。(3歳・母親)
- ・ 働けない、保育園に入れなから幼稚園を利用しています。共働き世帯より収入が少ない

のに、保育園は無償、幼稚園は上限あり、との制度は納得いきません。幼稚園も全額無償化を願います。(3歳・母親)

- ・ 定員オーバー、抽選、プレ優先、兄弟優先、願書提出日は夜中から並ぶなど、幼稚園に入るのも大変です。入園先が決まるまでは、「どこにも入れないんじゃないか・・・」ととても不安でした。区立、私立と関係なく、入園先を一緒に探してくれるような窓口があると、心強いです。(3歳・母親)
- ・ 保育所も小規模でも増えているとは思いますが。しかし、幼稚園での延長保育等は少なく、幼稚園に通わせながら働くことは難しいかなと思います。保育園ではなく、幼稚園に入れたいと思っているけど、仕事するなら...と迷います。(1歳・母親)

安心・安全のまちづくりについて(74件)

- ・ ベビーカー利用時のバスの使い勝手が悪いです。「混雑時はたたむように」とマナー表示されているが、抱っこしても座れないこともあり、子どもに危険がおよぶこと、また買い物帰りなど、抱っこしている上に、たたんだベビーカーを支え、買い物袋も持たなければならぬこともあり、母子ともに危険を感じる。経済的に余裕がある時はタクシーを選ぶが、公共交通が母子・父子にとってより使いやすい安全なものとなることを望みます。よろしくご検討ください。(4歳・母親)
- ・ 通学路に見通しの悪い所や、信号のない交差点があり、心配です。(3歳・母親)
- ・ 路上での喫煙防止対策を切に願います。(1歳・父親)
- ・ 私は、自転車を使うことが多いです。子どもの送り迎え、通勤、子どもを連れて遊びに行ったり買い物に行く。その中でいつも感じるのが、歩行者や車との交通ルール マナーでヒヤッとすることが多々あります。道路、歩道の整備は時間も費用もかかるので、まずは歩行者、自転車の交通ルール、マナーを教える機会を区で増やして欲しいです。防災訓練が多くなってきたように交通ルールのイベント、講習会等があれば、安全安心に子ども達も過ごしていけると思います。(2歳・母親)
- ・ 以前住んでいた所は歩道も広く整備されていて子連れでも歩きやすい道でした。今は歩道も自転車が通り子どもと手をつないで歩くのも危険を感じることもあります。一時預かりについては、1歳になるまで利用できない施設がほとんどで不便を感じました。ベビーカーを押していても申し訳なく感じる事のない道や施設が増えることを願っています。(0歳・母親)
- ・ おでかけひろば、産後ケアセンター、児童館など子どもが小さい頃の育児環境は充実しているように感じます。人口増加に伴い交通量(車、自転車etc)も増加しています。シルバー人材の登用により整備されていますが、根本的な駐車・駐輪場の整備や拡充を期待します。ショッピング等でも停める場所がないため、一時的に路上に停めるケースもあります。取り締まり強化の前に、設備の整備(土地がなければ地下駐輪場の検討、屋上駐輪場の誘致など)をお願いします。交通量の増加により運転の荒い車もたびたび見かけます。子どもたちだけで公園へ行く時などとても不安に感じます(信号無視、歩行者優先無視、強引に歩道を通り抜けて駐車場へ入るなど)日中の定期的な取り締りも期待します。(4

歳・母親)

- ・ 通園、通学時間に、警察によるパトロールや地域の方の見守りを強化してほしいです。特に我が家は私立校のため、電車を利用するのですが、駅周辺の安全が心配です。公立校の周辺だけでなく、駅周辺も見回りをお願いします。また、世田谷区の公園案内リストまたはホームページを作ってください。砂場の有無、グラウンド、ぶらんこ、すべり台の有無など。(5歳・母親)

子育てと仕事の両立について(56件)

- ・ 子育てしやすいまちづくりへの取組みは、世田谷区は他の自治体に比べてもかなり積極的で進んでおり、感謝してます。一方で地域の子育て環境の充実度は大切ですが、子育ての基本はやはり家庭であると思います。主人もそうですが、勤務時間が長く、休みの日は疲れていて子育てに参加できない父親と、その分子育ての負担がかかってほぼワンオペ状態の母親の構図は理想ではありません。中小企業で働く父親でももっと積極的に子育てにかかわれるようなゆとりがほしいと思います。企業内の改革が必要と強く感じています(残業なし、効率化など)。(1歳・母親)
- ・ もし会社に育休制度が2～3年あり、育児休業給付金も出るなら子どもが2～3歳になるまで、育休を取りたかったと思っています。実際は職場の理解がないと難しいとは思っています。パートだと収入が減るので、正社員勤務を続けていますが、正社員でも週3～4勤務、または5～6時間程度の勤務など柔軟な働き方が増えてほしい。また、子育て中に仕事を減らしても収入減を気にしなくて良い支援制度が増えてほしいです。(4歳・母親)
- ・ フルタイムでなくても、パートタイムで子どもを預け(例えば週3とかでも)働きながら(家計の足しにもなり)子どもとの時間も持てる生活をしたいと思っていますが、それができないのが現状なので、そうなるようにお願いします。働いてるお母さん達も、働いてない私もそう思ってます。フルタイムで朝から夕方まで子どもを保育園に預け、子どもとの時間が無いというのは悲しいです。でもそれを減らすと家計的にも保育園にも入れないというのは、なんだか変な世の中な気がします。子どもは子どもと遊ぶのが好きだったりするので、保育園などの中での学びも経験させたいです。親の働きに関係のない子どもの居場所・学び場を与えてほしいです。(1歳・母親)
- ・ 自営業(フリーランス)者への育児の理解が足りていないと思う。自宅勤務であれば、認可保育園はほぼ確実に入れないが、自宅にいるからこそ、保育園は必要である。また、日本では、父親の育児、家事の不参加が教育・家庭で当たり前とされているため(男性だけではなく女性も)変わって行かない限り、女性の負担が多すぎると感じる。(3歳・母親)
- ・ 仕事をしていると、近所などのかかわりが少なく孤立してしまいます。仕事と保育園にも挟まれ自分の時間が取れなく精神的に辛くなる時があります。保育園も預かりに厳しいのでもっと母親の負担が少なくなり、リフレッシュもできると子育てに余裕ができると思います。仕事をしている母親はまだまだ厳しい状況だと思います。(2歳・母親)
- ・ 不妊治療を経て出産しました。当時の仕事は治療・出産と両立は不可能で、子が3歳になる今まで主婦として、ほぼ一人で子育てしています。共働きの方の保育施設等が増えてい

て良いなと思いますが、私のような主婦には、息抜きの時間も無く 24 時間子育てに追われ、少一人になりたいと思っても、お金を出して預かりサービス等をお願いしています。世田谷区は保育園に入れられない事で幼稚園まで働かず子育てしているママが多いと思いますが、そのような家庭にも、事業や助成の見直しを行ってほしいと感じています。(2歳・母親)

- ・ ひとり親が子どもも仕事もどちらも犠牲にせずともよいような子育てをさせてほしい。子どもを育てたいのに、それを犠牲にしなければ生活できないのは悔しいです。(4歳・母親)

感謝・満足(45件)

- ・ 今回のアンケートはあて名の子に対してのものでしたので、子育て支援をほぼ活用できていないのですが、上の子が0～2歳の頃はいろいろな支援を使わせていただき、とても助かりました。子育て広場などで同じ悩みを持つママさん達と出会えたことで、下の子の育児でもとても助けていただいています。(0歳・母親)
- ・ たくさんの方に支えていただき、親切にしてもらっています。世田谷区はイベントも多く、とても楽しんでます。(0歳・母親)
- ・ 第1子を妊娠、出産した時(2015年)よりも保育園の増設が進んでいたり、働く親にとって住みやすい環境を整えてくれているなど感じます。(2歳・母親)
- ・ 産後半年で夫の転勤でこちらにきました。土地勘もなく不安でしたが、転入してすぐに保健師さんからお電話をいただき、区の健診に伺い、離乳食の相談などもさせていただきました。とても安心した覚えがあります。公園やほっとステイなどもよく利用しています。地方とは違い、サービスがとても充実していると思いました。子育てがさらにしやすいまちになるように願っております。(1歳・母親)
- ・ 病児保育にいつも助けられています。おかげで休まず仕事に行けます。(1歳・母親)
- ・ おでかけひろばを何か所か利用していますが、スタッフ皆さん親切で本当に助かります！親子共々見守っていただき、ほっと息抜きできる場所になっています。未就園児の親子にはなくてはならない場所だと思います。今後も継続して行ってほしいです。(2歳・母親)
- ・ 世田谷区は児童館も充実していて、公園も多いと感じます。子育てしやすいと日々思っています。区の保健所や児童館で知り合い、仲良くなったママ友も多く、世田谷区に住んでいてよかったと思っています。ママ友が作れる環境は非常にありがたく、おかげで子育ても笑顔でできています。ありがとうございます！！(2歳・母親)
- ・ 区内に公園も多く環境には満足しております。(4歳・母親)

子育て支援・施策の方向性について(39件)

- ・ 公園ですら子どもが自由に遊べないこともあり、少子高齢化の影響なのか、子どもの声、子育て世代の声が行政になかなか届いていないように感じます。お母さんが働きやすくなるよう環境を整えていく方向はありがたいですが、“子どもにとって、最高の環境”を整えるという視点も忘れないでください。ママにとって便利 子どもの幸せです。(3歳・母親)
- ・ 保育ママの募集や新規の保育園の開園を制限している理由や今後施策の方向性に興味を持

っています。(2歳・母親)

- ・ 無認可保育施設の利用やバス、日常生活の中で、子育て世帯が利用しやすいクーポンや割引などがもっとあるとよいと思う。ネウボラのクーポンがベビーシッターやマッサージだけでなく、より生活に近い場所で利用できるとよいと思う。商店街商品券と同じように。私立幼稚園での保育(時間外)施設環境が充実されるとよいと思う。(5歳・母親)
- ・ 多胎家庭へのサポートがほしい。(0歳・母親)
- ・ 保育園での対応があまりに寛容ではなく残念。まち全体の施設では子育て家族にやさしくないし、必要としていることがわかっていないことが多く、もっと子育てしている側の意見が通る環境になると、もっとまち全体が良くなっていくと思う。高齢者に対しても同じことが言えるので、みんなの意見をたくさん聞ける、言える、支え合える環境になることを願います。(2歳・母親)
- ・ 昨今、男女平等、働き方改革、女性の社会進出という言葉がメディア等でよく見かけますが、行政では実態を調べていただきたいと切に願います。本当に子育てしながら働く女性たちが「働きたくて働いているのか」ということを、生計を支えるために、夫の稼ぎだけでは苦しいから「経済的理由」で仕方なく仕事をもって働いている方が一体どの位いるのかということ、幼少期に子どもの側にいたいと願う母親は多くいると思います。根本を正しく把握し、意味ある制度改革を願います。「保育園落ちたラッキー!」と思っている母親は相当いると思います。私もそのうちの1人です。(0歳・母親)
- ・ 総合的にみて、世田谷区は子育てをしやすいサービスをたくさん提供してくれていると思いますが、利用しにくいときもあるので、ネットなどで手続きや申し込みできるシステムなどをもっと広げてほしいと思います。(5歳・母親)
- ・ 保育園や延長保育や他多々。子ども目線ではなく親の便利さ、仕事のしやすさを優先した子育て事業になっていることにとても不安感があります。もっと子どもが母親・父親と一緒にすごせる時間をもてるような保育事業、支援サービスを充実させて子どもの豊かな心を育てるサービスを期待しています。(5歳・母親)

周囲や地域の理解・協力について(35件)

- ・ 子育て、仕事を引退された方々、元気なお年寄りの方など、子どもに遊びを教えたり、人手不足の保育園の、プール監視員をしてくださったりする制度があると良いと思います。公園にいてくださるだけでも、安全につながると良いです。(不明・母親)
- ・ 近所の方々と「子どもを預けられるくらい」交流をする機会がなく、皆様よい方で、道で声をかけてくださることもありますが、実際には頼ることができません。ほんの近くの方とよく知り合う機会があればよいと思います。(4歳・母親)
- ・ 子どものしつけは大切だと思うが、もう少し地域のあたたかい環境で見守ってほしいと思うことが多い(電車等の公共公共交通機関や、マンション騒音等)。(3歳・母親)
- ・ 子連れでお出かけすると声をかけてくれる方がいる一方で、子どもの声など騒音に対して敏感な方もいて、なかなか難しいと感じる時があります。世田谷区は規模としては非常に大きいですが、子育てひろば等に出かけることにより、児童委員さんやお友達も多くでき、

コミュニティを感じることができております。(2歳・母親)

- ・ 赤ちゃん連れ、ベビーカーで行ける所に限られる。エレベーター、オムツ替えなどの設備面とその場の「人」が受け入れてくれる雰囲気かどうかなどが気になります。赤ちゃんや幼児連れの母親どうし、ほっとステイや自宅で集まるのもよいですが、もっと普通にどこへでも連れて行って、子どもがいる人いない人関係なく声をかけ合えたり、社会やまちにとけこめればいいのと思います。(2歳・母親)

学童クラブ、BOP等放課後対策について(35件)

- ・ 現在は保育園に預け働いており、保育園は7:15~20:15まで預ってもらえるので有り難いが、小学生になると、時短制度もなくなる上、学童も18:00で終了と聞くと、働けなくなるなど不安に思う。小学生になっても働けるように制度を整えてほしい。(2歳・母親)
- ・ 小学校のBOPに参加する場合、お昼ごはんもBOPで食べられるようにしてほしい。(5歳・母親)
- ・ 小学校に入学後、学童などの子どもが学校が終わった後に1人にならない場所が必要だと感じています。学童も保育園と同じように本当にニーズのある家庭に対しては延長時間を設けるなどの措置をとっていただけるととても助かります。卒園後のことがとても不安です。(3歳・母親)
- ・ 他の区で実施している保育園で学童を行うことは今後世田谷区ではないでしょうか。保育園がたりない=学童もたりないになるなら同じ場所で同じ期間みてもらえなければ小学校に入ってから不安が消えることがないと感じています。(4歳・母親)
- ・ 小学校に登校できなくなっている友人が数名おり、その子はもちろんその親のサポートができる環境があると良いなと思っています。母親が毎日朝学校に付き添うために午前中仕事を休んでいる姿を見て、そういう面をもっと気軽に頼めるサービスなどがあると良いのかなと思ったり、慣れ親しんだ保育園が放課後学童のようなサービスを作ってくると子どもたちもリラックスできる居場所の1つになるのかなと思ったりします。(4歳・母親)
- ・ 小学校の学童時間が保育園より短いのは困ります。他の区のように19:00までなど検討いただきたいです。(5歳・母親)
- ・ 子どもが1人でお留守番できるようになるまで、まだまだ年数がかかります。未就学児の対応してくれる所は、多いように感じますが、就学後、対応してくれる所が少ないです。今、5年生まで対応してくれる託児所が1ヶ所しかなく、緊急の時は預けています。もう少し遅くまで対応してくれる所、朝も早くから対応してくれる所を増やしてほしいです。(5歳・母親)
- ・ 小学生以降の子どもサポートについても改善してほしいです。学童は3年生までですが、サポートの幅が広がるといいと思います。(5歳・母親)

病児・病後児保育について(33件)

- ・ 病児保育に定期的にお世話になっていますが、学童も利用できるようにしていただきたいです。小学3年生ぐらいまでは、1人で家に留守番させておくわけにもいきません。来年

小学校入学なので、シッターさんに頼む予定ですが、ぜひご検討ください！！（5歳・母親）

- ・ 慢性病児の受け入れ先がほぼない。預け先もほとんどない。区に相談しても「ご自身で交渉してください」と言われ、結局、全部自分で交渉し、手続きをしました。軽度の病児（寝たきりとかではない）は、保育園も幼稚園も一時保育も断われ、受け入れてくれるところが少ないため、とても苦労します。早急になんとかしてほしいです。（4歳・母親）
- ・ 病児保育施設もよく活用させてもらい助けられました。近くにはないと、他の菌をもらってきいたりするので、できれば家に病児保育シッター派遣（またはその補助）をしていただくと安心して働くことができます。（2歳・母親）
- ・ 成育医療センターが近所にあるにも関わらず、病後・病気治療中等の子どもの兄弟の預け先がない。長期入院になり、病気の子どもに付添いたいとその兄弟の子の保育先、預け先も急な場合等、どこも満員で入所を断われ、入所するために面接するのも何ヶ月もかかり、結局見つからず、病院のソファで待たせたり等、入院患者の兄弟は苦労しています（成育内の保育も午前中のみ、午後も2時間のみと受入数も10名までとなっており、意味がありません）。もっと病中病後の子どもの家族のフォローを見直してほしい。重病な場合、急に入院することもあるので、そういうケースの方のフォローをお願いしたい。病気の子どもやその家族にはとても冷たいと感じます。早急な対応をお願いします。（5歳・母親）
- ・ 病児・病後児の保育サービスについて、診断書の手配や当日の受付不可（満員）などにより、利用をあきらめることが多いです。こちらがもっと柔軟になるとありがたいです。子どもが通う園は延長保育の時間が長いので助かっていますが、友人は最大延長時間が短く、結局時短で働かざるを得ない人もいます。時間の柔軟な保育サービスがあるとよいと思います。待機児童が多いので難しいと思いますが、年度途中での入園ができると嬉しいです。（2歳・不明）
- ・ 病後児保育について、今通っている保育園にあれば子どもの負担が少なく預けやすいです。（知らない場所に預けるのは心配なので、現状は両親が仕事を休んで自宅で看病していますが、インフルエンザなど長期の場合に負担が大きいです。）（2歳・母親）
- ・ 病児保育の予約フロー（電話、キャンセル待ち、診察、準備、用紙記入等）がもっと簡潔になるととても助かります。制度自体は大変ありがたいです。（3歳・母親）

広報・PRをもっと積極的にしてほしい（30件）

- ・ 保育園や公園、街中で行われるイベントや講座の情報源がバラバラで知りにくいです。一括で閲覧できるHPやSNSがあると便利です。（0歳・母親）
- ・ 子と一緒に引越をした際、子育て、仕事、引越でとても忙しいため、冊子をもらっても情報をとる時間がありません。落ち着いてから確認できるサイトがあるとうれしいです。引越に特化し、引越前、引越後であると有難いです。引越の手続のサイトがあると助かります。（3歳・母親）
- ・ 世田谷区は子育てに関してはとても充実した環境にあると思います。NPOなどの子育て

支援もたくさんあるので。しかしながら、掲示等が足りないようにも感じたり、平日に行うイベントが多いため、知る機会や参加機会が少なくなっているように思います。もっと広報の仕方を含め、充実いただけるとうれしいです。(2歳・母親)

- ・ 一時保育の利用案内を充実してほしい。(現在、自身で探す事しかできず、わかりづらいため)(0歳・母親)
- ・ 子育てに関する情報(健診、進学、イベントetc)を地区ごとに分かりやすくまとめて掲載してほしい。小児科、特に救急etc、もう少し詳しくまとめられているのがほしい。(2歳・母親)
- ・ 問27にある窓口が一覧でまとまっている冊子などあれば良いと思った。(2歳・母親)

児童館について(30件)

- ・ 児童館の休館日が多過ぎる。日曜日もやってほしい。(0歳・母親)
- ・ 室内で遊べる場所がほしい。児童館の定休日を全部同じにしないでほしい。(3歳・母親)
- ・ 子どもが利用できる児童館を近所につくってほしい。保育園や子どもが自由に遊べる施設が足りないと感じる。(4歳・母親)
- ・ 児童館+図書館といった場所が、大きくなってよいので、各駅・各地域にあると利用しやすい。日曜日も使えると良い。屋内で体を動かせる施設があると良い。習いごとが高すぎるので、大学生などに協力してもらい、遊びを一緒にしてもらおう活動があると助かります。小学校の体育館などを利用して。(5歳・母親)
- ・ 広い児童館をもっと増やしてほしい(室内で広々体を動かせる施設)。区立幼稚園を増やして3年保育にしてほしい(できればプレ有で)。(1歳・母親)
- ・ 児童館がキレイだとうれしいです。老朽化が気になります。(3歳・母親)
- ・ 児童館の対象児のひろばの活動が週1回しかないのが残念。決まった曜日の決まった時間帯しかないのでその曜日が無理だと自然に足がとおのく。週2~3回で30分だけでもいいので回数を増やしてもらえると利用しやすい。(0歳・母親)
- ・ 児童館や支援センター等の遊び場の遊具の内容がもの足りなく感じる(他区と比べて)。(3歳・母親)

産前・産後について(30件)

- ・ 妊娠初期に母子手帳とともにいただいた「子育て利用券」「さんさんサポート利用券」。出産前はいつ使えるかな...とワクワクしてしていましたが、実際は日々の忙しさで気が付けば産後1年を経過、ただの紙になってしまいました。羅列してある事業者を自分で調べて検討して...という時間はまずありません。保健師さんの訪問時などに事業者の情報を教えていただければ利用者は増えると思います。利用したい方はたくさんいると思いますが、時間がない・面倒くさい、で使用しないのでは。もしくは利用時期間を延ばすとか。(0歳・母親)
- ・ 産後ケアセンターにととても助けられました。ありがとうございました。さんさんサポートの利用券は使いそびれているので少し外出する時等のベビーシッター券だと使いやすいで

す。あと、産後身体を赤ちゃんと動かす機会（ヨガ・ピラティス e t c）があると、助かると思いました（児童館 e t c で毎週無料だとうれしいです）（0歳・母親）

- ・ 子育て、出産費用が高すぎる（妊婦健診約10万円。出産約70万円）・兄弟がいる場合、出産時に病院側で上の子を診てもらえるようなシステムを作ってほしい。子連れ出産、子連れ入院が楽に安心してできる制度があれば、2人目、3人目を望んでる人ががんばれると思います。実際、両親が遠方、介護、他界などで子ども1人にされているという声をよく聞きます。子どもを産む、育てやすい社会にしてほしい。（2歳・母親）
- ・ 産後ケア事業を利用しました。産後に配偶者以外から支援が受けられない環境にあったため、このような事業は大変助かり頼りになりました。もっとこのような場が増え、利用できる期間も長くなると良いと思います。スタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。（0歳・母親）
- ・ 子ども家庭支援センターや区の保育入園担当の方は非常に親身に相談に乗ってくださり、出産直後から大変助けられはげまされました。感謝しています。これからも世田谷区で子育てしていきたいです。よろしくおねがいします。（2歳・母親）

小学校・中学校教育について（28件）

- ・ 世田谷区にも小学校選択制度を導入してほしい。（5歳・母親）
- ・ 中高生が赤ちゃんのお世話をする体験がある自治体があるとききました。学生のころ、少しでもそういう体験をすると、大人になって、育児に積極的になると思います。（3歳・母親）
- ・ 子どもによりそう教育ができるよう、小・中学校の先生達への研修などがあるといいなと思います。（4歳・母親）
- ・ 公立の小学校の校舎が新しいところと古いところの差が大きいので、できる限り新しくしていただくと嬉しいです。（3歳・母親）
- ・ 公立の小学校、中学校の先生がた、特に校長先生をもっともっと民間から登用してほしいです。先生方もいろいろな企業で経験を積んだ多種多様な人材が必要だと強く感じています。（5歳・母親）
- ・ 区立の学校での保護者が何かしらの役員・係等をポイント制などにしている負担が多すぎる。年間を通しての役員・係よりもその都度ボランティアを募る方が保護者への精神的肉体的負担は減ると思う。（5歳・母親）

子育て支援拠点について（26件）

- ・ 子育て支援センターが日曜も空いていると、共働き家庭にとってはありがたいです（ないと休日まで母と子と1対1になるので）。（1歳・母親）
- ・ 最寄駅に公な子育てひろばがないため利用しづらい。小さな子ども向けの児童館のイベントはほとんど平日。働いているとまったく利用できない。（1歳・母親）
- ・ 子育てに疲れた時、夜に気軽に集まれるカフェがほしいです（総合支所にあるカフェは夕方閉まってしまうので）。場所を無料開放するだけでもありがたい！18時にお迎えし、近

所の人たちで、一品持ちより、夕飯ができれば、親子ともに多様な人と触れ合いが持てる。疲れている時、親子だけの関係では、息が詰まる。もっとスペースを提供してほしい。
(5 歳・母親)

- ・ おでかけひろばは小学校以上の子どもを連れて行くことができず、利用する機会が減りました。学校の休日は小学生も可の日を作ってほしいです。(0 歳・母親)
- ・ 3歳以上を対象としたおでかけひろばがほしい(今あるひろばは低年齢向けがほとんどのように感じます)(3 歳・母親)
- ・ 支援センターがエリアに対して少ない。支援センターでの、通院などでの一時預かりをできる場所を増やしてほしい。(1 歳・母親)
- ・ おでかけひろばの一時預かりの時間帯を見直してほしいです。上の子の幼稚園行事や習い事のため下の子を預けたいのですが、10時～15時の預かり時間では予定と合いません。早朝と夕方も預けられるようにしてほしいです。登録したまま、一度も利用できていません。(4 歳・母親)

医療について (25 件)

- ・ 医療費自己負担なしで助かっています。ぜひ続けてほしいと思います。(5 歳・母親)
- ・ 子どもにかかる医療費の無料を高校生まで延長していただけるととても助かります。負担を1割とかでもかまいません。(3 歳・母親)
- ・ 今、不安があるとすると夜間、休日の病院でもっと気軽に利用できる場所があると助かるなと思ってます。夜間に2度東京医療センターにお世話になりましたが小児科医が少なく、受診までにとっても時間がかかったのです。(2 歳・母親)
- ・ 健康診断や歯科健診で支所まで行くのがかなり大変(交通の便が悪く遠い)。もう少し細かく地域を分けて担当エリアを設けてほしい。子育てしやすい環境を作るためにもお願いします!!! (1 歳・母親)
- ・ 要望ですが、子どもの予防接種助成の拡大(B型、おたふく)をしてほしいです。(4 歳・母親)

講習会、講演会、イベントについて (25 件)

- ・ 第一子のみ参加できるイベントがあるけれど、第二子以降でも参加できるようにしてほしい。引っ越しをしていたり、上の子と年が離れていたりと周りの情報に疎くなってしまっているので、検討してほしい。(4 歳・母親)
- ・ 土・日、親子で楽しめるイベントをたくさんしてほしい。ベビーグッズ、服など交換できるイベントをどんどんしてもらえると助かる(ベビーグッズはすぐいらなくなるため)(0 歳・母親)
- ・ 世田谷区ではいろんな遊び場がありますが、そこから友人になるなどは難しく、とくに児童館などはタイミングをのがすと行きにくくて、コミュニティサロンなどイベントやもう少しハードルがひくい場所がもっと増えると嬉しいです。(1 歳・母親)
- ・ 子育てイベント、親子イベントなどは土日休みの方向が多いと感じる。我が家は平日休

みなのもう少し選択できるようになると嬉しい。(0歳・母親)

- ・ 家が区の境目にあるためか、近くで良いイベントが行われることが少ないように思います。(2歳・母親)
- ・ 自然とふれあえるようなイベントをたくさん企画していただきたいです。(3歳・母親)
- ・ 下の子もいるので、託児サービスがある子育てセミナーの機会が沢山あるとありがたいです。有料でもいいので0～2歳くらいまでのセミナーはよく見かけますが、3歳～が下の子がいたり、反抗期などもあり、悩みが増えたので、子との関わりや、知育、習いごとのことなど・・・いろいろ知りたいです。(5歳・母親)
- ・ 0歳児に対するサポートが少ない感じがします。もう少し、いろいろな情報提供やサポート、講演等を開催してほしい。0～1歳児向けのセミナーや専門家の話がもっと聞きたかった。(0歳・母親)

障害児に関する施策について(22件)

- ・ 先天性心疾患児が通いやすい教育環境(学校のバリアフリー化、空調やエレベーターの整備、教師の理解等)を整えていただきたい。(1歳・母親)
- ・ 障害を抱えていると外で遊ばせたくても、なかなか自由に遊ばせられるところがありません。兄妹がいるとなおさらです。入口出口がひとつ、囲われている等安心して遊ばせられる所が増えると良いなと思います。(4歳・母親)
- ・ 発達障害児を育てています。同じような状況の方と知りあう機会がない。療育施設も少なく、どこもいっぱい入れない。なんとかしてほしい。(0歳・母親)
- ・ 子育てに関する制度や子育てひろば等の環境はととのっているので子育てはしやすいと感じる。ただし、子どもの数が多いこともあってか、幼稚園、保育園に入りにくい現状や障害のある子どものための療育の場に、行きたくても待機が多く困難なところが困る。今発達障害の子が増えているが、特別支援学級のない小学校もあつたり、教員の知識も乏しいように思ってしまう、その辺のフォローや対応が不足しているように感じてしまう。(3歳・母親)
- ・ 発達障害傾向の幼児の育児で相談できる場が少ないです。また支所等に相談に行っても内容ごとに課が異なっていて時間がかかります。就学相談などももっと情報をオープンにしてほしいです。調べて調べてやっと問い合わせでも定型の回答しか得られずガッカリすることが多いです。(4歳・母親)
- ・ 対応に差のない施設、保健師がいるといいです。集団活動のできない子どもは、どのようなサービスがあるのか分かりやすく見れるものがあると助かります。(1歳・母親)
- ・ 子どもが発達グレーゾーンなのですが、公的機関では「療育の必要なし」と言われ、保育園からは療育に行くよう言われます。グレーゾーンの子の公的受け皿が不足しているように思います。同じような病状の子でも保育園と幼稚園での対応が異なるので、(加配等)受け皿を充実させてほしい。認可保育所の「合理的配慮」教育の徹底をお願いします。(4歳・母親)
- ・ 子どもに障害があるため、世田谷区のサービスをたくさん利用させていただいております。

発達障害について特に理解があり、いつもありがたいと思っております。(4歳・母親)

アンケートについて(17件)

- ・ 問7 - 1は誰が回答すればよいかわかりづらいです(父子家庭は不要としか書いていない)。(3歳・母親)
- ・ アンケートはネットで回答できるようにしてください。いちいち手書きで行うと時間がかかります。(5歳・母親)
- ・ 子育てをしながらのアンケートでしたので、なかなか時間を取ってアンケートに答えることが難しかったです。少しボリュームが多かったです。(2歳・母親)
- ・ 問33については、1人だけでなく、両親で記入する場合もあるのでは?と思いました。(3歳・母親)

ファミリー・サポート・センター事業について(15件)

- ・ 2歳くらいの時、育児が大変で区の子育て支援のところに連絡したところ、担当の方が来てくださり、ずいぶん助けてくださいました。身内では話しにくい話を聞いてくださったりして心強かったです。先日も自身が病気になった時ファミリーサポートを利用いたしました。上記の様なサポートが気軽に使用できるともっと育児も楽になるのではと思います。(4歳・母親)
- ・ ファミリーサポートを利用しています。援助会員の方に子どもを預ける予定で仕事を入れている時に、時々、援助会員さんのご都合(お子さんの体調不良など)で前日くらいに預けを拒否される事があります。地域の助け合いが前提な事を含めても、こちらも預ける予定で仕事を入れているため、援助会員さん側のキャンセルの場合も、何かしら補償があると公平かなと思います。(4歳・母親)
- ・ 小さい子どもが3人おり、手が足りないと感じファミリーサポートを利用してみようと説明会を聞きにいった事がありますが、子ども2人までしかみれない決まりだと聞き、利用をあきらめました。人数が多くても対応できるように考えていただきたいです。(4歳・母親)
- ・ ファミリーサポートの援助会員をもっと積極的に増やしてほしいです。(0歳・母親)
- ・ ファミリーサポートを活用しようとしたのですが、近所にサポーターさんがおらず結局活用していない状況です。ベビーシティングは値段が高く、週5で活用するのは厳しいです。家事代行サービスはなかなか予約がとれず、3ヶ月待ちと言われました。就労中にもう少し気軽に利用できるサービスが増えると助かります。(2歳・母親)

相談について(14件)

- ・ 周りに家族がいないので、同じ月齢の子を持つ親の集まる機会を不定期に設けていただくとその時、その時の悩みを相談できていいなと思います。(0歳・母親)
- ・ ネウボラを利用した知人の話ですが、形式的な面接をただで、不安や悩みの解決策にはならなかったと聞きました。その方は未婚で出産予定でしたが、状況の把握程度の話し

かしてもらえなかったそうです。現在、将来利用できるサービスや金銭面の軽減策等もっと建設的な話を期待していたと言っていました。(1歳・母親)

- ・ 赤ちゃんの頃は区の「ヶ月健診」や児童館等で子育ての悩みを相談できたが幼稚園以降はそういった機会がないため自ら窓口を探さなければならない。大体の事はママ友に聞けるが、話せないような悩みもある。相談先がわかりやすいといいと思う。(4歳・母親)
- ・ 2年前に子どもの行動で理解できないことがあり、子育てテレフォンに電話し、相談させていただきました。今考えると小さな事ですが、その時は、相談する場所があって本当に助かりました。(5歳・母親)
- ・ 育児で悩むことも多いため、相談、カウンセリングの支援をもっと充実させてほしい。産後落ちこむことが多く、でも産後うつほどでもないが、カウンセリングや育児相談を利用したかったが、カウンセリングは費用もかかり、区の相談では不十分な感じがした。(3歳・母親)

こども園について(12件)

- ・ 小学校入学を考えると学区内の保育を希望するが認定こども園が近くにない。(2歳・母親)
- ・ 現在認定こども園で年中児を見ていただいています。いまの世田谷区のルールでは、5歳(年長)になる時に時短フルへ変更しないと点数が減り退園の可能性もあります。この制度をぜひ見直していただきたいです。(4歳・母親)
- ・ 認定こども園の数と定員を増やしてほしい。(2歳・母親)

認可外保育施設について(11件)

- ・ 保育の無償化に関して、認可外(認証以外)の保育園に預けざるをえない人にはより不公平感が残ると思う。(4歳・母親)
- ・ 子どもが1歳の時は、保育園に入れず(認可、認証ともに)千代田区の認可外保育所に預け、保育料も15万/月程度かかり、かなりの負担を感じていました。2人目が生まれ、認可に入れましたが、3年間、ずっと2人が別園で、なお負担は高いと感じています。もう少し配慮いただけるとうれしいとも思いますが、ポイント制なのでいたし方ないでしょうか。(5歳・母親)
- ・ 0歳を預ける施設が少ないと思いました。民間(無認可)の託児所に預けて働いていましたが費用の援助があれば助かるのになあと感じていました。(3歳・母親)

商業施設や飲食店について(11件)

- ・ 二子玉川ライズのような子どもを連れて行ける屋内のショッピングモールが近くにあっていいなと思います。(1歳・母親)
- ・ キッズルームがあるなど、子どもが遊べる場所を兼ね備えたレストランやカフェが増えるとありがたいです。子どもをわざわざ預けなくても(気軽に預けられる両親も近くにいないので)ゆっくり食事ができるので。(5歳・母親)

地域差について（9件）

- ・ 住む地域によって、保育園、遊具のある公園など子育て関連施設の充実度にばらつきがあると感じる。（2歳・母親）
- ・ 1年前に引っ越してきた当時、2歳と0歳児を連れて行ける場所があまりなく（一番近い児童館が徒歩20分、公園には日影が少なく長時間過ごせず）苦労しました。地域によって乳幼児の過ごしやすさに差があるのは仕方のないことかもしれませんが、差が少なくなるとういなど感じています。（1歳・母親）

親同士の交流の場について（9件）

- ・ 近所にあまり知人・友人がいないため、そういう場があれば参加したい。（2歳・母親）
- ・ フレッシュママの交流会はすごく良かったです。友人ができたことで、心が楽になりました。また同じようなイベントがあれば参加したい。同じくらいの月齢の子どもをもつお母さんと交流の場がほしいです。（1歳・母親）
- ・ 私たちが区での子育てをしやすいと感じることができた大きな理由は、最初の子が0歳から入った保育室とその職員さんたちのおかげです。ベテランの職員さんたちが親身になってともに子育てに携わってくださり、またその保育室で出会った子どもたちやパパママたちとの交流がとても大切でした。それは今も続いています。世田谷区で、このような心の通う拠点を大切に存続させてください。よろしくお願いします。（4歳・母親）

ベビーシッターについて（8件）

- ・ 現在、就労のための面接が複数ある状態なのですが、ひとつひとつの面接のために、預け先を探さなくてはなりません。一時保育や子育てステーションなどはどれも一杯で空きがいつもなく、結局は高額なベビーシッター利用になります。（これも空きを探すのが大変です。）もっと預け先が多ければ助かるし、ベビーシッターの補助金などがあればさらに助かります。（2歳・母親）
- ・ 平日21時までや土日に仕事をしたい時に、ベビーシッターさん利用（義母には休んでもらいたいので頼みづらい）しかありませんが、月1度でも良いので公的に利用できる場所があれば助かります。（1歳・母親）

区の職員について（6件）

- ・ 転入時に住民票や印鑑証明で訪れた窓口では「当所には子どもや保育の課がないので保育園等に関する資料を渡せない（おいていない）」と言われました。出張所に担当の方がいなくても、子育て事業や入所案内、申し込み書等は配布していただくと助かります。後日インターネットで調べましたが、ひろばやサポートに関する情報までは（忙しくて）拾えませんでした。（4歳・母親）
- ・ 子ども2人とも希望の園に入れましたし、区長の保育園に対する取り組みも応援しています。ですが、保育園申込の際の区の職員の方の対応は担当者によってかなり差がありました。誤った情報をもとに何度も役所へ足を運んだこともあり、慣れていない方の窓口対応

は正直控えていただきたいです。(0歳・母親)

就職支援について(5件)

- ・ 働きながらの子育ての方には優しい環境ではないかと思いますが、専業主婦にとっては、世田谷区の環境は良いと思います。再度仕事をする時にはいろいろ不安です。(2歳・母親)
- ・ これまで仕事をしてこなかったが、今後仕事をしたいと子どもが生まれてからずっと考えてきたが、保育所には預けられず、(待機児童化)結局私立幼稚園に入れたものの、仕事につく方法、道すじが見えなくなる一方である現実がある。仕事をしていなかった人も子どもを預け、仕事を探し、仕事ができるまでサポートする体制があってくれたらありがたいと常々思っています。(3歳・母親)

図書館について(5件)

- ・ もっと身近なエリアに図書館や児童館があれば大変うれしいです。二子玉川エリアにはなかなか図書館のような実際に気軽に手にとって見られたり休息できる場がありません。(3歳・母親)
- ・ 図書館に子どもともっと通いたいと思うが返却が大変なのでなかなか借りに行く気が起きない。駅にブックポストがあれば子どもが習い事のついでに返せたりできていいと思う。(0歳・母親)

その他(12件)

- ・ 子どもを含め、人口が(区内)増えていると思います。良いことだとは思いますが、自分が子育てする地域が、急に人が増えることは、不安に思います。マンションなどを建設する事について区が介入し計画的に人口を増やすことができるのであれば、そうしていただきたいです。(4歳・母親)
- ・ 妻が外国人のため、育児で頼る所が無い。自分が動ける時は良いが、だめな時に不安を感じる。(1歳・父親)
- ・ 賃貸住宅への財政的支援(4歳・父親)
- ・ 世田谷区には10年以上住んでいるが、大規模マンションが建ち過ぎ、保育所、子どもの一時預かり、幼稚園、小学校、学童、公園、災害時の避難所など、子育てに必要なものがすべて不足していると感じる。マンション建設はインフラにも住民にも、長期に多大な影響を及ぼすため、行政が適切な歯止めをかけるべき(保育園・幼稚園・公園などの用地提供を条件に建設を認めるなど)。(5歳・母親)

2 就学児童保護者調査

(1) 子どもと家族の状況

年齢（問1）

子どもの年齢は、「9歳(25.7%)」、「6歳(24.7%)」、「8歳(24.4%)」の順となっている。
平均年齢は7.5歳である（図表2-1-1）。

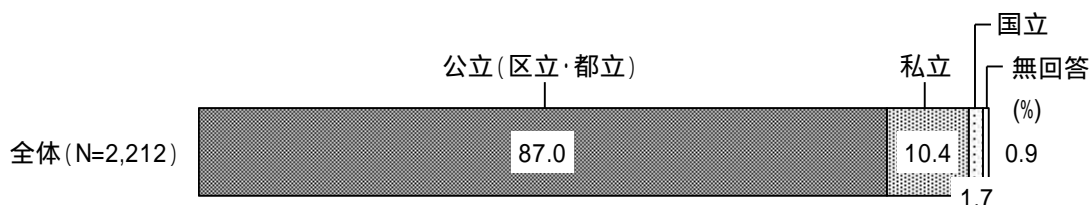
図表2-1-1 年齢（全体）



学校の種類（問2）

子どもの学校の種類は、「公立(区立・都立)(87.0%)」が8割台で最も多く、「私立(10.4%)」が続いている（図表2-1-2）。

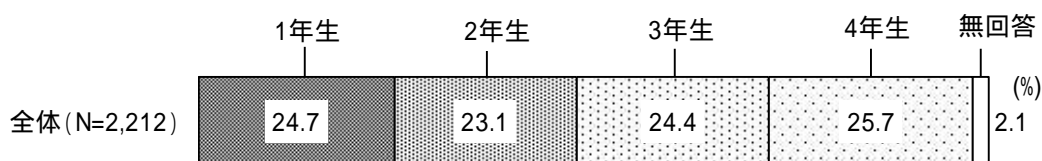
図表2-1-2 学校の種類（全体）



学年（問3）

子どもの学年は、「4年生(25.7%)」、「1年生(24.7%)」、「3年生(24.4%)」の順となっている（図表2-1-3）。

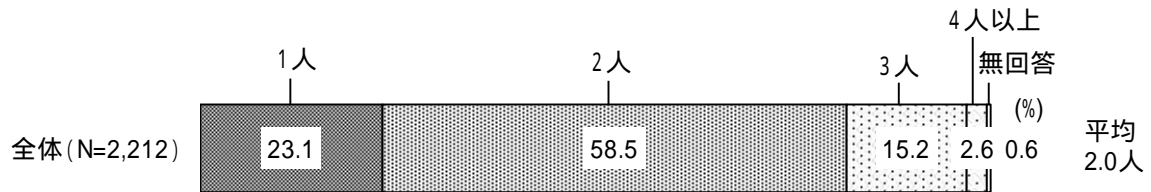
図表2-1-3 学年（全体）



子どもの人数と末子の年齢（問4）

子どもの人数は、「2人(58.5%)」が半数以上で最も多く、「1人(23.1%)」、「3人(15.2%)」が続いている（図表2-1-4- ）。

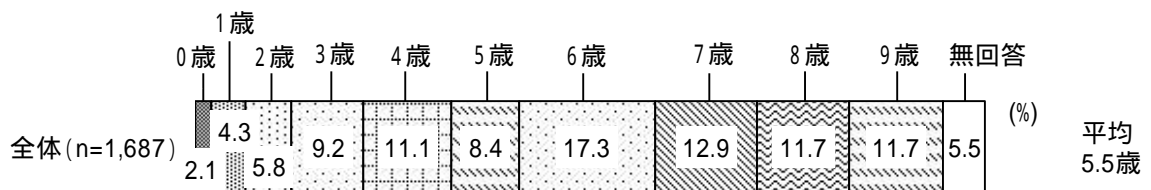
図表2-1-4- 子どもの人数（全体）



末子の年齢

末子の年齢は、「6歳(17.3%)」、「7歳(12.9%)」、「8歳(11.7%)」、「9歳(11.7%)」の順となっている（図表2-1-4- ）。

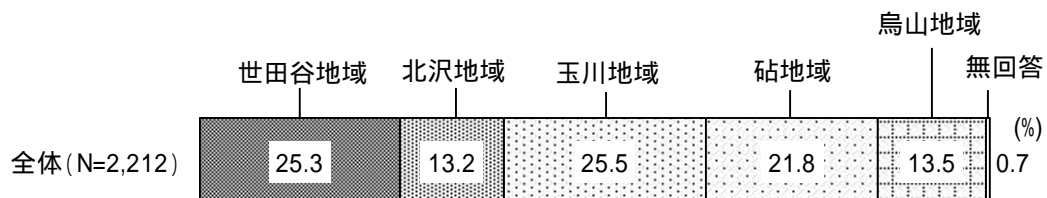
図表2-1-4- 末子の年齢（全体）



居住地域（問5）

居住地域は、「玉川地域（25.5%）」、「世田谷地域（25.3%）」、「砧地域（21.8%）」が2割台となっている（図表2-1-5 ）。

図表2-1-5 居住地域（全体）

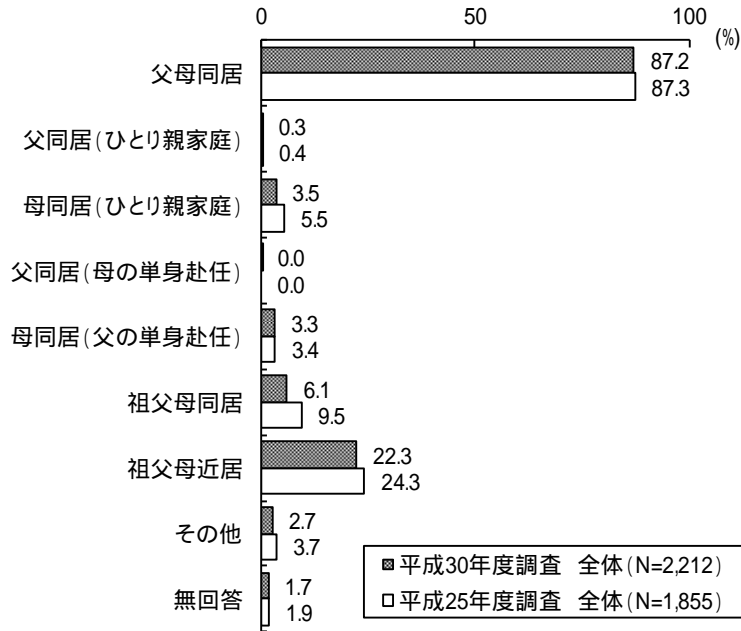


両親・祖父母の近居・同居（問6）

両親・祖父母の近居・同居について、両親は「父母同居（87.2%）」が9割弱となっている。祖父母は「祖父母近居」が22.3%、「祖父母同居」が6.1%となっている。

前回調査と比較すると、今回調査は「祖父母近居」、「祖父母同居」ともに割合が低くなっている（図2-1-6）。

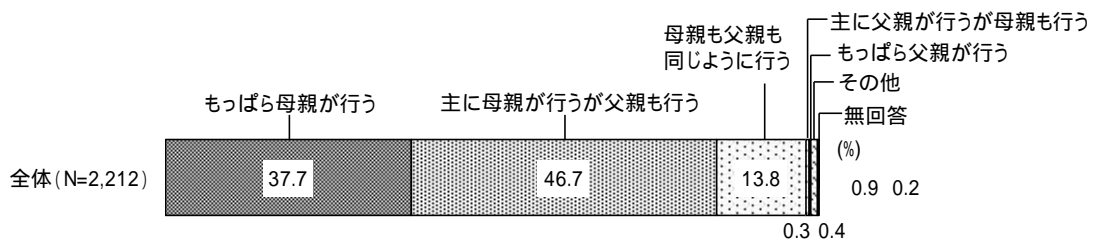
図表2-1-6 近居・同居の状況（全体：複数回答）【経年比較】



子育てを主に行っている人（問7）

子育てを主に行っている人は、「主に母親が行うが父親も行う（46.7%）」が最も多く、「もっぱら母親が行う（37.7%）」、「母親も父親も同じように行う（13.8%）」が続いている（図表2-1-7）。

図表2-1-7 子育てを主に行っている人（全体）

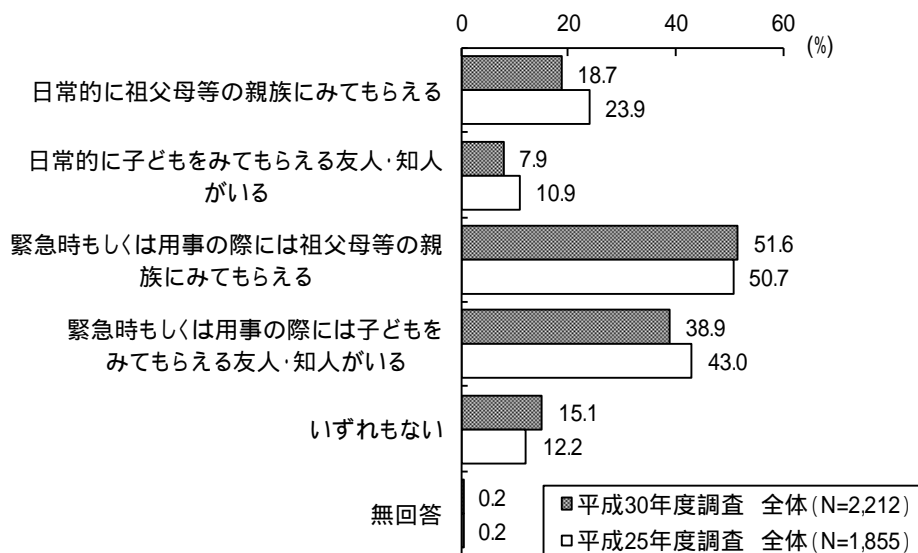


祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況（問8）

祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる（51.6%）」が最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる（38.9%）」、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる（18.7%）」が続いている。

前回調査と比較すると、今回調査は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、「いずれもない」の割合が高くなっており、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が低くなっている（図表2-1-8）。

図表2-1-8 祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況
（全体：複数回答）【経年比較】



(2) 保護者の就労状況

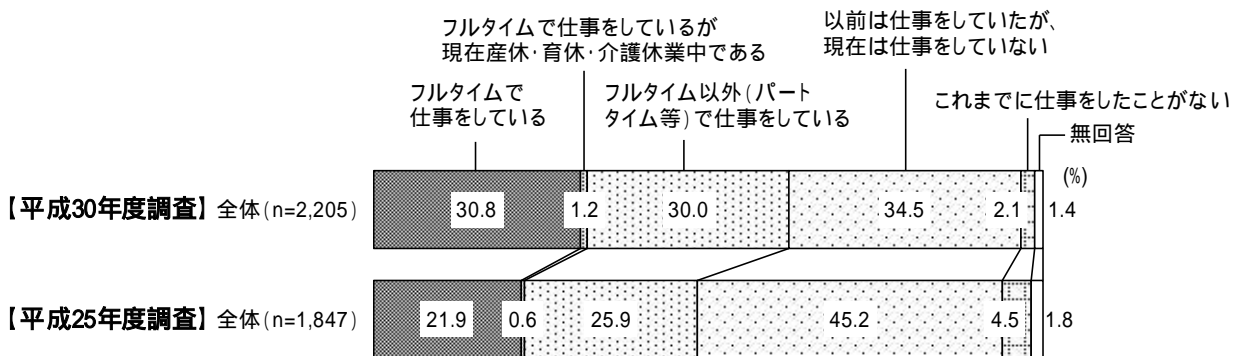
就労状況（問9）

母親の就労状況は、「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない（34.5%）」、「フルタイムで仕事をしている（30.8%）」、「フルタイム以外（パートタイム等）で仕事をしている（30.0%）」が3割台となっている。

前回調査と比較すると、今回調査では「フルタイムで仕事をしている」が8.9ポイント高くなっている（図表2-2-1- ）。

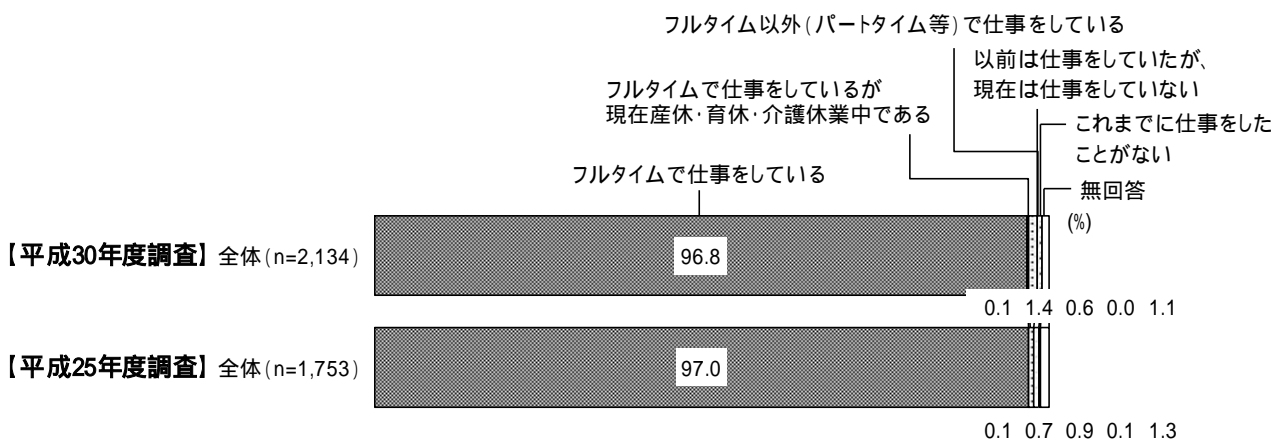
父親の就労状況は「フルタイムで仕事をしている（96.8%）」がほとんどとなっており、前回調査と同様の傾向となっている（図表2-2-1- ）。

図表2-2-1- 就労状況（母親）【経年比較】



図表2-2-1- 就労状況（全体）

就労状況（父親）【経年比較】



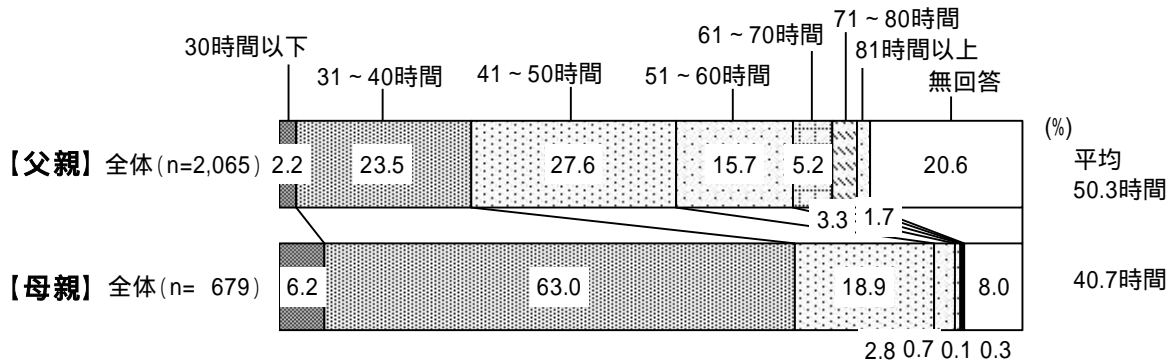
フルタイムで働いている人の1週あたりの就労時間

フルタイムで働いている人の1週あたりの就労時間は、父親では「41～50時間(27.6%)」が最も多く、「31～40時間(23.5%)」が続いている。平均50.3時間となっている。

母親では、「31～40時間(63.0%)」が6割を占めており、平均40.7時間となっている(図表2-2-1-)。

図表2-2-1- 1週あたりの就労時間(全体)

<フルタイムで働いていると回答した人>



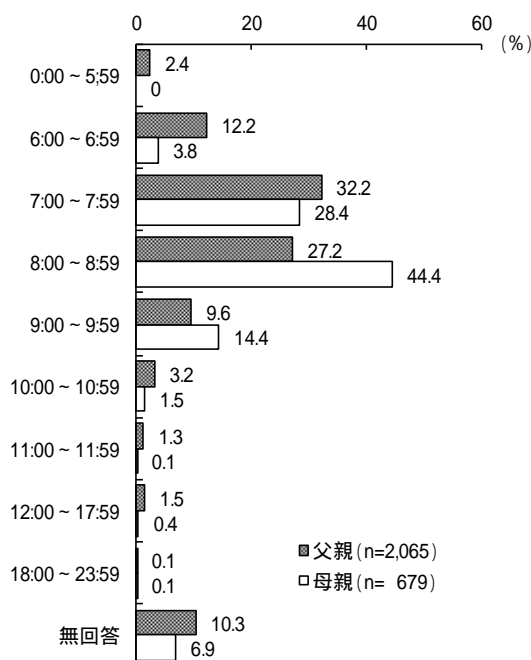
フルタイムで働いている人の家を出る時間

フルタイムで働いている人の家を出る時間は、父親では「7:00～7:59(32.2%)」が3割台で最も多くなっており、「8:00～8:59(27.2%)」が続いている。

母親では「8:00～8:59(44.4%)」が4割台で最も多くなっており、「7:00～7:59(28.4%)」が続いている(図表2-2-1-)。

図表2-2-1- 家を出る時間(全体)

<フルタイムで働いていると回答した人>

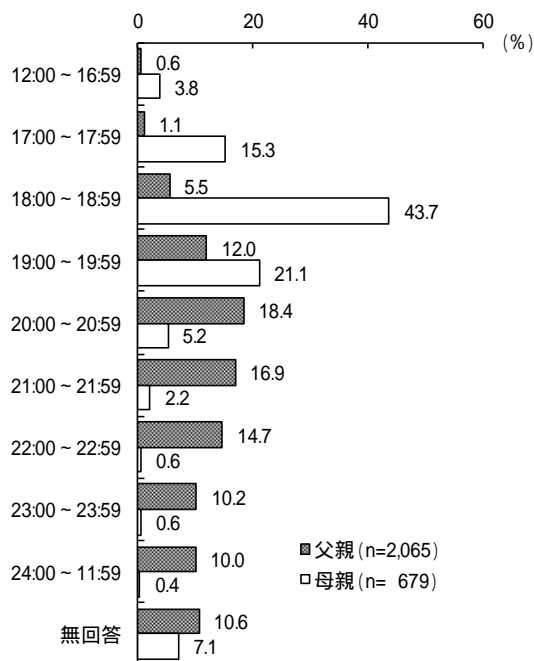


フルタイムで働いている人の帰宅時間

フルタイムで働いている人の帰宅時間は、父親では「20:00～20:59(18.4%)」が最も多く、「21:00～21:59(16.9%)」、「22:00～22:59(14.7%)」が続いている。

母親では「18:00～18:59(43.7%)」が4割台で最も多く、「19:00～19:59(21.1%)」、「17:00～17:59(15.3%)」が続いている(図表2-2-1-)。

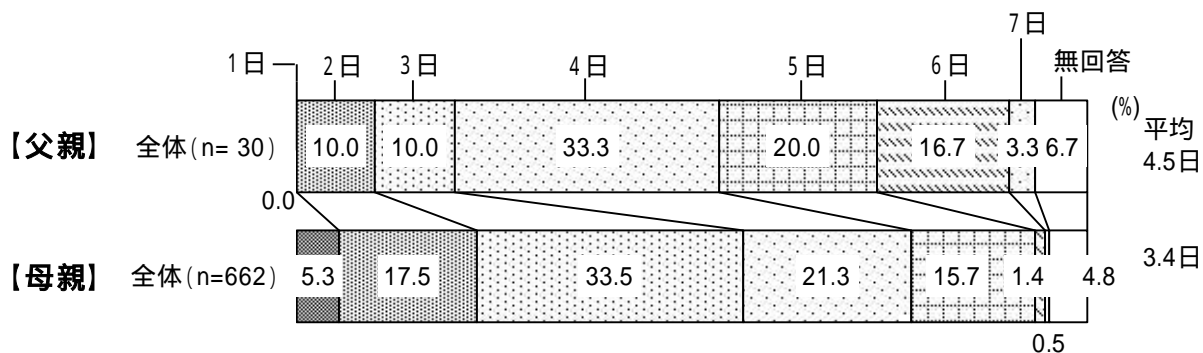
図表2-2-1- 帰宅時間(全体)
<フルタイムで働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数

フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数は、父親では平均4.5日、母親では平均3.4日となっている(図表2-2-1-)。

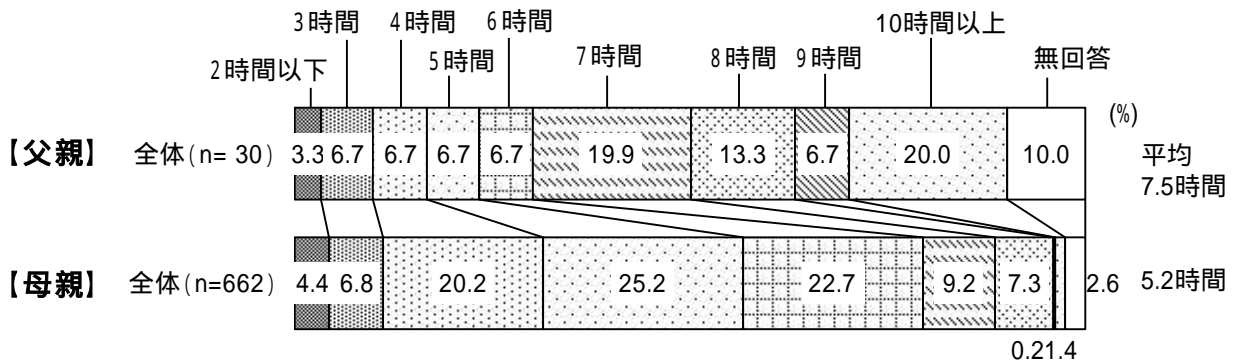
図表2-2-1- 1週間あたりの就労日数(全体)
<フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間

フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間は、父親では平均7.5時間、母親では平均5.2時間となっている（図表2-2-1- ）。

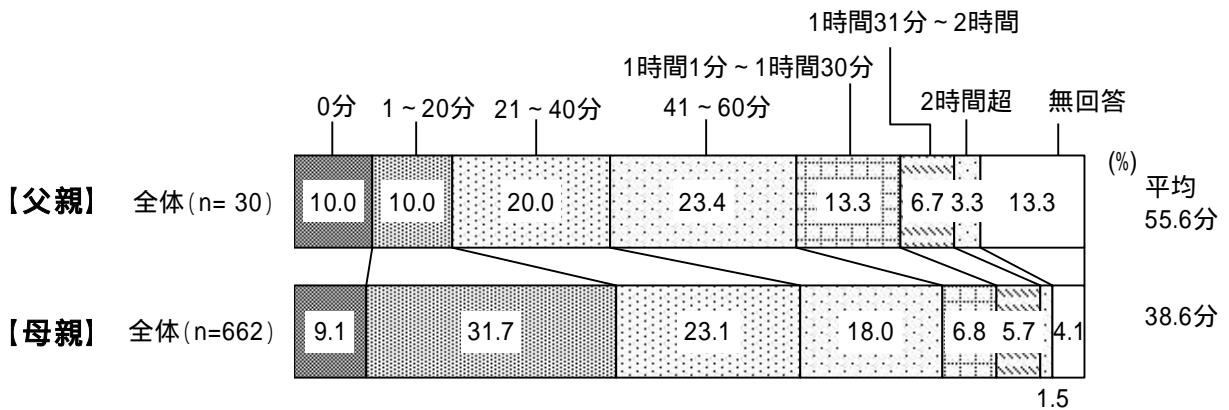
図表2-2-1- 1日あたりの就労時間（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間

フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間は、父親では平均55.6分、母親では平均38.6分となっている（図表2-2-1- ）。

図表2-2-1- 往復通勤時間（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>

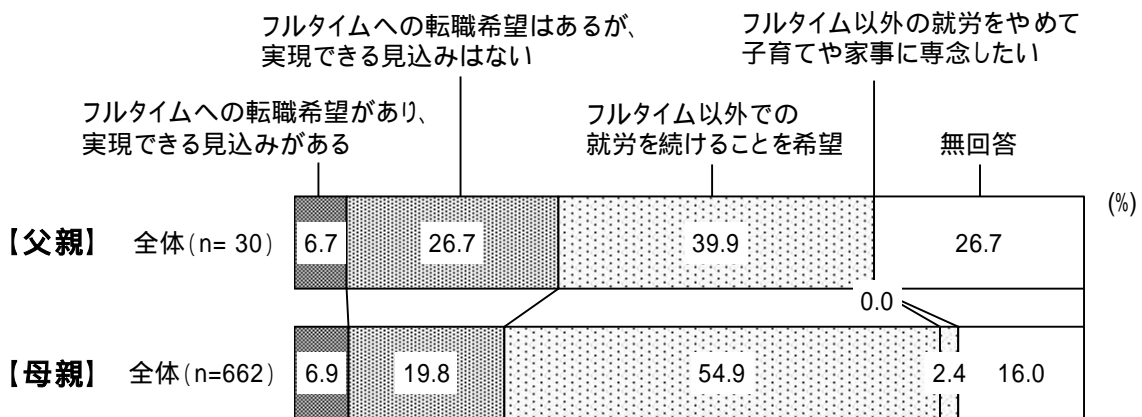


フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望

フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望は、父親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望（39.9%）」が4割弱で最も多くなっている。

母親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望（54.9%）」が5割台で最も多く、「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない（19.8%）」が2割弱で続いている（図表2-2-1- ）。

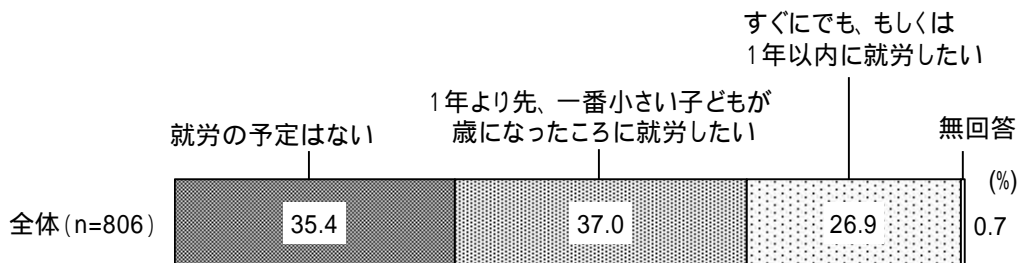
図表2-2-1- フルタイムへの転職希望（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



母親の就労希望（問9-1）

母親で現在就労していないと回答した人に就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番小さい子どもが 歳になったころに就労したい（37.0%）」、「就労の予定はない（35.4%）」が3割台となっている（図表2-2-2- ）。

図表2-2-2- 母親の就労希望（全体）
 <母親が現在就労していないと回答した人>

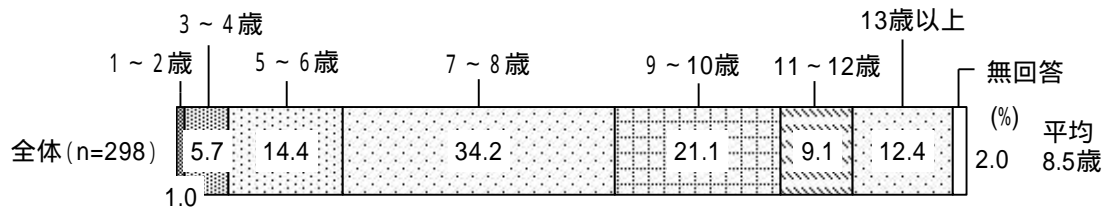


就労したいと思う末子の年齢

母親で現在就労しておらず、「1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい」と回答した人に、就労したいと思う末子の年齢をたずねたところ、「7～8歳（34.2%）」が最も多く、平均8.5歳となっている（図表2-2-2- ）。

図表2-2-2- 就労したいと思う末子の年齢（全体）

< 1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したいと回答した人 >

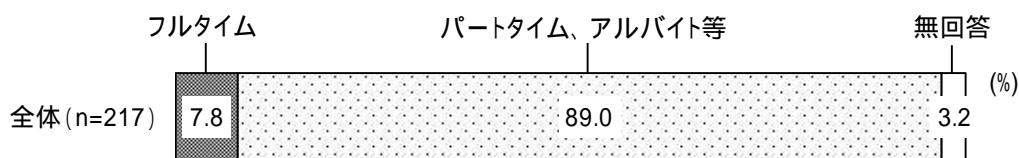


希望する就労形態

母親で現在就労しておらず、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に、希望する就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等（89.0%）」が9割弱で大多数を占めている（図表2-2-2- ）。

図表2-2-2- 希望する就労形態（全体）

< すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した人 >



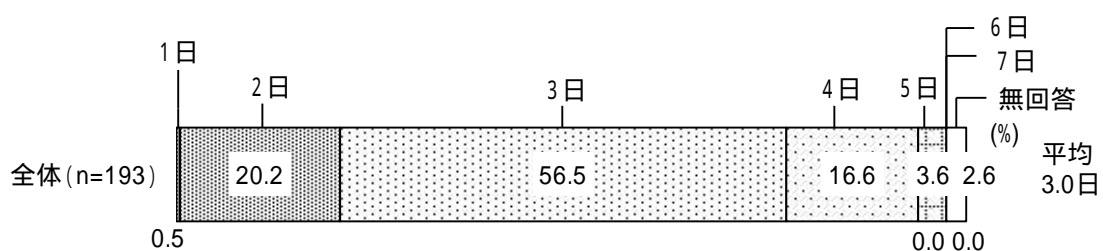
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週あたりの就労日数・就労時間

上記で「パートタイム、アルバイト等」と回答した人の希望する1週あたりの就労日数は、平均3.0日となっている。（図表1-2-2- ）

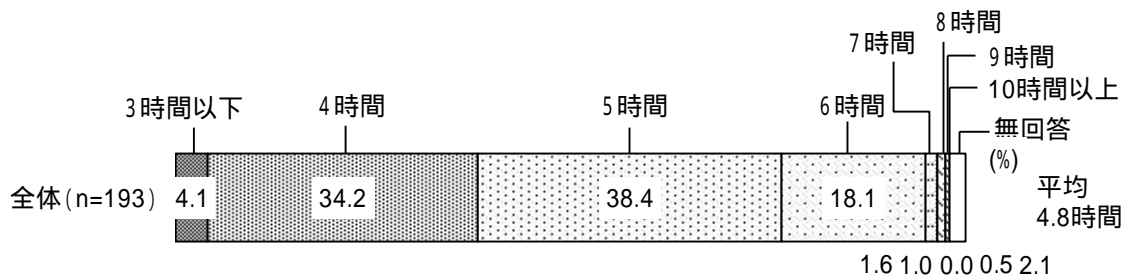
1日あたりの就労時間は平均4.8時間となっている（図表2-2-2- ）。

図表2-2-2- 希望する1週あたりの就労日数（全体）

< パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人 >



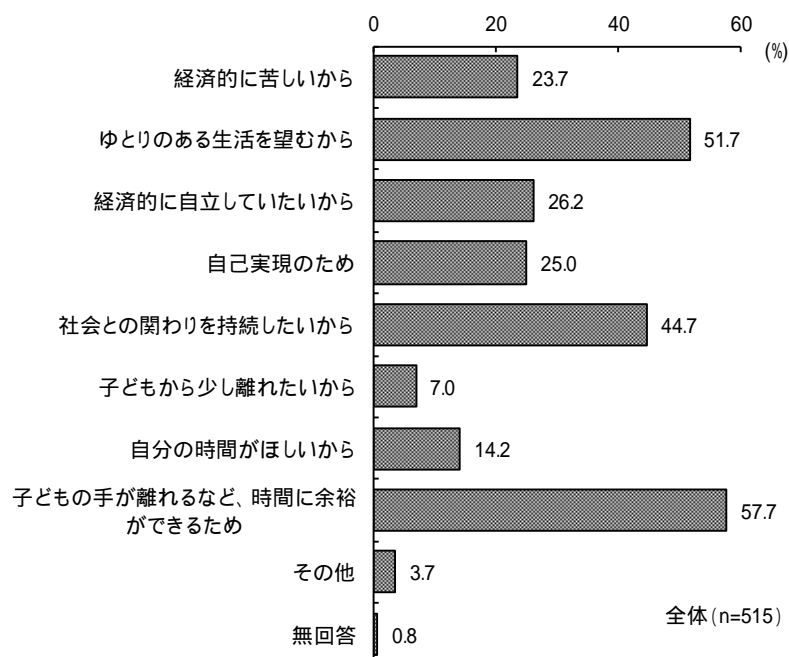
図表2-2-2 希望する1日あたりの就労時間（全体）
 <パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人>



就労を希望する理由（問9-2）

母親で現在就労していないが、就労を希望している人に、就労を希望する理由をたずねたところ、「子どもの手が離れるなど、時間に余裕ができるため（57.7%）」が最も多く、「ゆとりのある生活を望むから（51.7%）」、「社会との関わりを持続したいから（44.7%）」が続いている（図表2-2-3）。

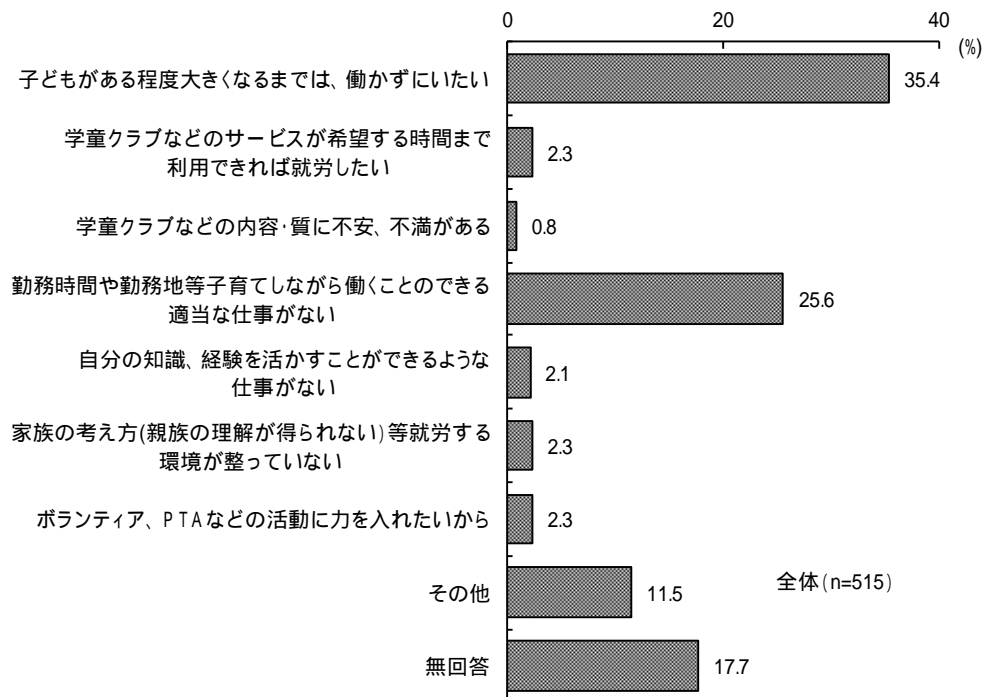
図表2-2-3 就労を希望する理由（全体：複数回答）
 <母親で現在就労していないが、就労を希望している人>



就労希望があっても、現在働いていない理由（問9 - 3）

母親で現在就労していないが、就労を希望している人に、就労希望があっても、現在働いていない理由をたずねたところ、「子どもがある程度大きくなるまでは、働かずにいたい（35.4%）」が最も多く、「勤務時間や勤務地等子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない（25.6%）」が続いている（図表2 - 2 - 4）。

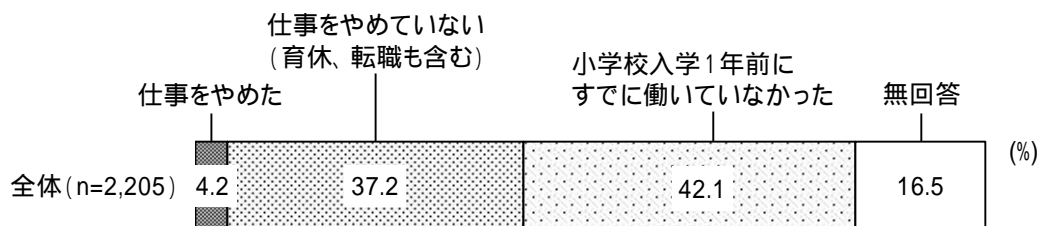
図表2 - 2 - 4 就労希望があっても、現在働いていない理由（全体）
 < 母親で現在就労していないが、就労を希望している人 >



小学校入学前後1年間の離職の経験（問10）

母親の小学校入学前後1年間の離職の経験は、「小学校入学1年前にすでに働いていなかった（42.1%）」が4割台となっている（図表2 - 2 - 5）。

図表2 - 2 - 5 小学校入学前後1年間の離職の経験（全体）

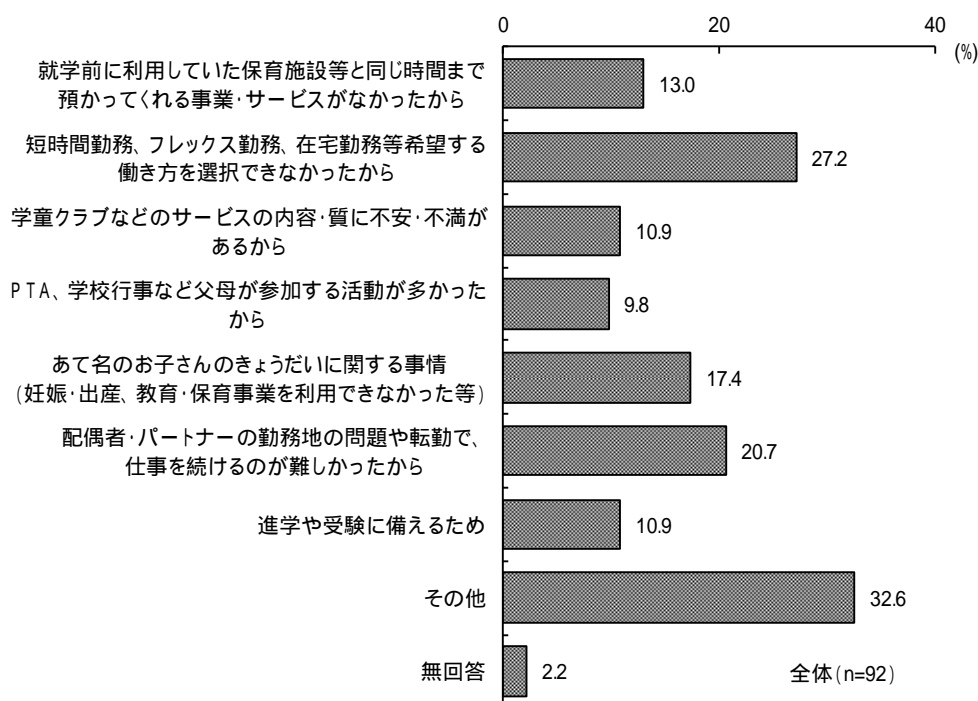


仕事をやめた理由（問10-1）

小学校入学前後1年間に母親が仕事をやめた人に、その理由をたずねたところ、「短時間勤務、フレックス勤務、在宅勤務等希望する働き方を選択できなかったから（27.2%）」が最も多く、「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから（20.7%）」、「あて名のお子さんのきょうだいに関する事情（妊娠・出産、教育・保育事業を利用できなかった等）（17.4%）」が続いている（図表2-2-6）。

なお、その他の内容は、「体調不良のため」、「子育てに専念したいため」などがみられる。

図表2-2-6 仕事をやめた理由
 <やめたと回答した人>（全体：複数回答）



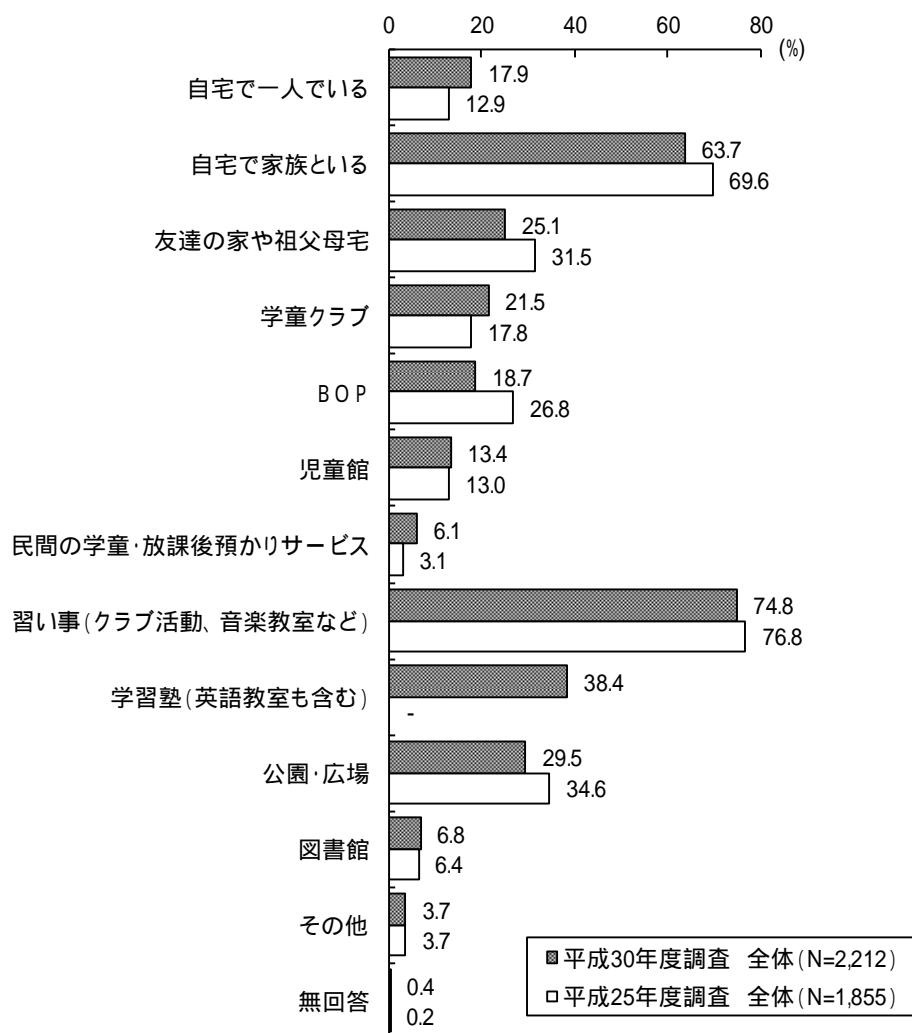
(3) 放課後の時間の過ごし方の現状

放課後過ごしている場所（問11）

放課後過ごしている場所は、「習い事（クラブ活動、音楽教室など）（74.8%）」が7割台で最も多く、「自宅で家族といる（63.7%）」、「学習塾（英語教室も含む）（38.4%）」が続いている。

前回調査と比較すると、今回調査は「自宅で一人でのいる」が5.0ポイント、「学童クラブ」が3.7ポイント、高くなっている（図表2-3-1-1）。

図表2-3-1-1 放課後過ごしている場所（全体：複数回答）【経年比較】



平成25年度調査では「習い事（クラブ活動、音楽教室、学習塾など）」

放課後の時間の過ごし方、1週あたり日数

放課後の時間の過ごし方の1週あたり日数の平均は、『自宅で一人である』では2.2日、『学童クラブ』では4.1日、『BOP』では1.9日、『児童館』では1.6日となっている(図表2-3-1-)。

図表2-3-1- 放課後の時間の過ごし方、1週あたりの日数(全体)
<それぞれの場所を選択した人>

		(%)						
		1日	2日	3日	4日	5日	無回答	平均日数
自宅で一人である	(n= 396)	42.7	24.5	15.2	3.5	12.1	2.0	2.2日
自宅で家族といる	(n=1,409)	19.9	22.5	13.3	9.2	28.3	6.8	3.2日
友達の家や祖父母宅	(n= 555)	59.8	21.8	7.6	3.2	3.8	3.8	1.6日
学童クラブ	(n= 476)	3.6	8.8	13.2	19.5	49.4	5.5	4.1日
BOP	(n= 414)	46.8	22.0	9.7	6.5	6.8	8.2	1.9日
児童館	(n= 297)	60.2	19.9	7.4	4.0	3.4	5.1	1.6日
民間の学童・放課後預かりサービス	(n= 135)	20.0	31.2	20.7	5.9	20.0	2.2	2.7日
習い事(クラブ活動、音楽教室など)	(n=1,655)	29.9	33.5	21.8	9.7	3.5	1.6	2.3日
学習塾	(n= 849)	36.4	49.3	11.1	2.0	0.7	0.5	1.8日
公園・広場	(n= 652)	56.6	25.0	10.4	3.4	1.5	3.1	1.7日
図書館	(n= 150)	82.0	5.3	2.7	0.0	0.0	10.0	1.1日
その他	(n= 82)	28.0	28.0	18.3	9.8	11.0	4.9	2.6日

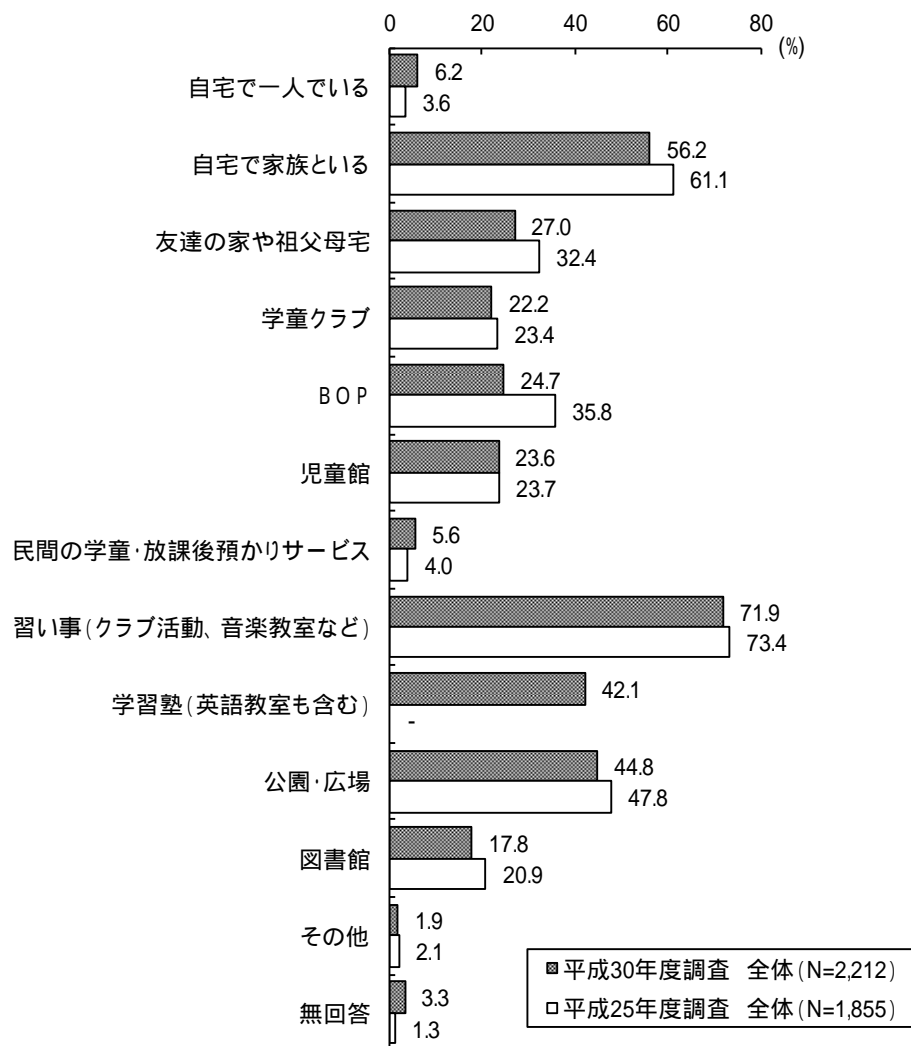
(4) 放課後の時間の過ごし方の希望

放課後過ごさせたい場所（問12）

放課後過ごさせたい場所は、「習い事（クラブ活動、音楽教室など）（71.9%）」が7割台で最も多く、「自宅で家族といる（56.2%）」、「公園・広場（44.8%）」が続いている。

前回調査と比較すると、今回調査は「BOP」が11.1ポイント、「自宅で家族といる」が4.9ポイント低くなっている（図表2-4-1-）。

図表2-4-1- 放課後過ごさせたい場所（全体：複数回答）【経年比較】



平成25年度調査では「習い事(クラブ活動、音楽教室、学習塾など)」

放課後過ごさせたい場所、1週あたり日数

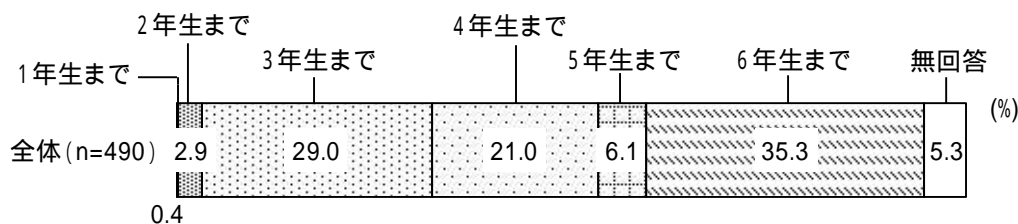
放課後の時間の過ごし方、1週あたり日数は、平均日数が、『自宅で一人でいる』では1.7日、『学童クラブ』では3.9日、『BOP』では2.2日、『児童館』では1.8日となっている（図表2-4-1- ）。

		(%)						
		1日	2日	3日	4日	5日	無回答	平均日数
自宅で一人でいる	(n= 138)	56.6	26.8	5.8	0.7	5.8	4.3	1.7日
自宅で家族といる	(n=1,243)	17.9	26.8	16.7	5.3	27.0	6.3	3.1日
友達の家や祖父母宅	(n= 597)	58.9	26.1	7.4	1.0	3.4	3.2	1.6日
学童クラブ	(n= 490)	3.1	15.3	19.8	11.2	45.9	4.7	3.9日
BOP	(n= 546)	36.7	32.4	16.5	2.2	9.3	2.9	2.2日
児童館	(n= 521)	50.4	29.2	11.3	2.7	3.3	3.1	1.8日
民間の学童・放課後預かりサービス	(n= 124)	19.4	33.1	22.6	1.6	18.5	4.8	2.7日
習い事(クラブ活動、音楽教室など)	(n=1,591)	28.7	41.8	19.4	5.0	2.5	2.6	2.1日
学習塾	(n= 931)	38.8	46.8	9.1	1.6	1.3	2.4	1.8日
公園・広場	(n= 991)	32.2	35.7	20.6	3.4	5.1	3.0	2.1日
図書館	(n= 393)	77.1	14.5	3.8	0.0	0.0	4.6	1.3日
その他	(n= 42)	16.7	35.7	19.0	2.4	16.7	9.5	2.8日

学童クラブの希望利用学年

学童クラブを利用希望している人の希望利用学年は、「6年生まで(35.3%)」が3割台で最も多く、「3年生まで(29.0%)」、「4年生まで(21.0%)」が続いている（図表2-4-1- ）。

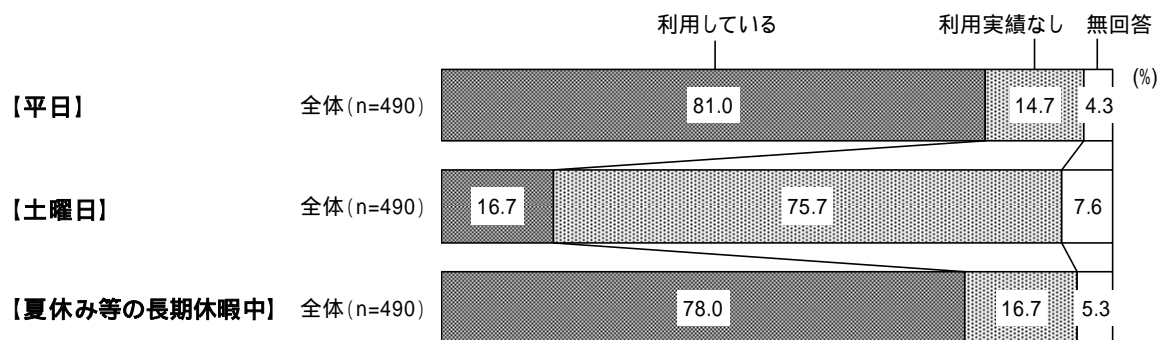
図表2-4-1- 学童クラブの希望利用学年
 <学童クラブの利用意向がある人> (全体)



平日、土曜、日曜・祝日や夏休み等の長期休暇中の利用実績（問 12 - 1）

学童クラブを利用希望している人の1週あたりの利用実績は、平日と夏休み等の長期休暇中は「利用している（それぞれ81.0%、78.0%）」が7割を超えている。土曜日は「利用している（16.7%）」が1割台となっている（図表2 - 4 - 2 - ）。

図表2 - 4 - 2 - 学童クラブを利用希望している人の1週あたりの利用実績（全体）
<それぞれ希望する人>

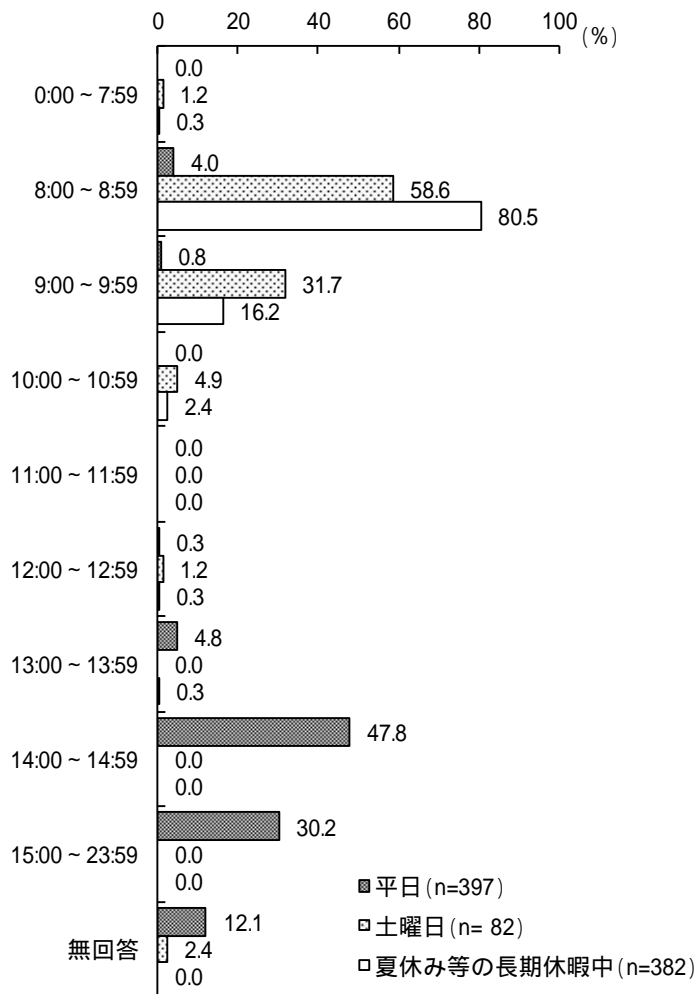


利用開始時間の実績

学童クラブを利用希望している人の1週あたりの利用開始時間の実績は、平日では「14:00～14:59(47.8%)」が4割台、土曜日では「8:00～8:59(58.6%)」が5割台、夏休み等の長期休暇中では「8:00～8:59(80.5%)」が約8割で、それぞれ最も多くなっている(図表2-4-2-)。

図表2-4-2- 1週あたりの利用開始時間の実績(全体)

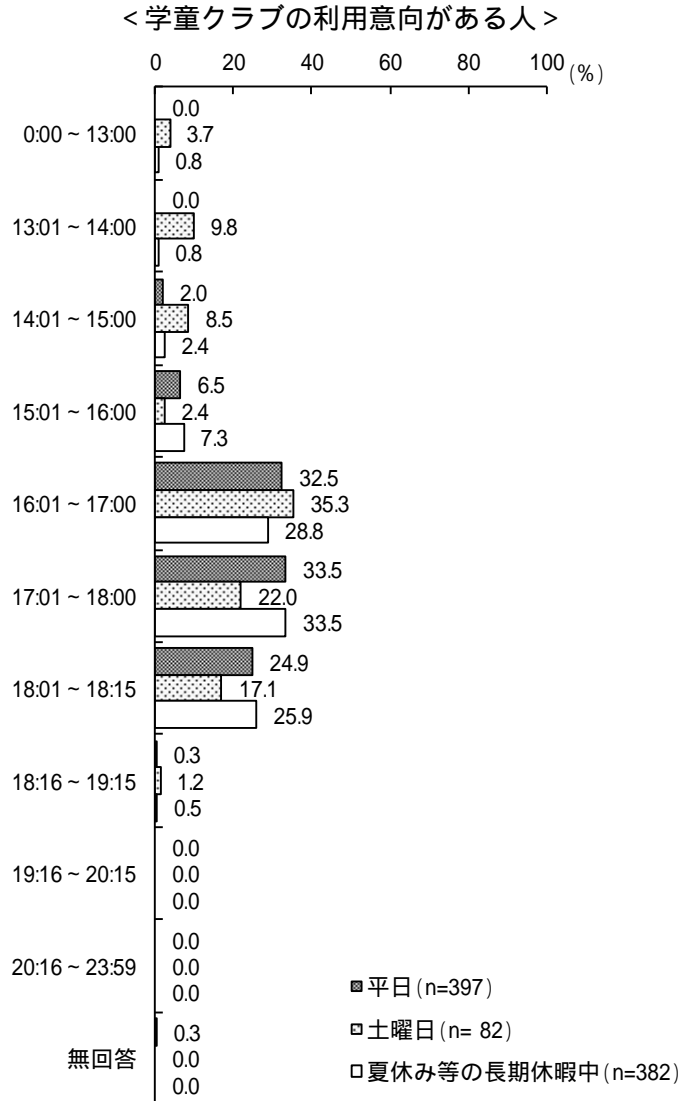
<学童クラブの利用意向がある人>



利用終了時間帯の実績

学童クラブを利用希望している人の1週あたりの利用終了時間帯の実績は、平日、夏休み等の長期休暇中ともに「17:01～18:00(それぞれ33.5%、33.5%)」で最も多く、土曜日では「16:01～17:00(35.3%)」が最も多くなっている(図表2-4-2-)。

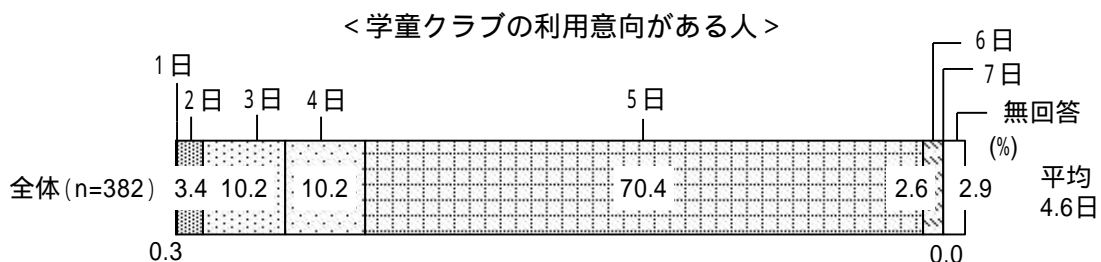
図表2-4-2- 1週あたりの利用終了時間帯の実績(全体)



夏休み等の長期休暇中の利用実績

学童クラブを利用希望している人の夏休み等の長期休暇中の利用実績は、平均4.6日となっている(図表2-4-2-)。

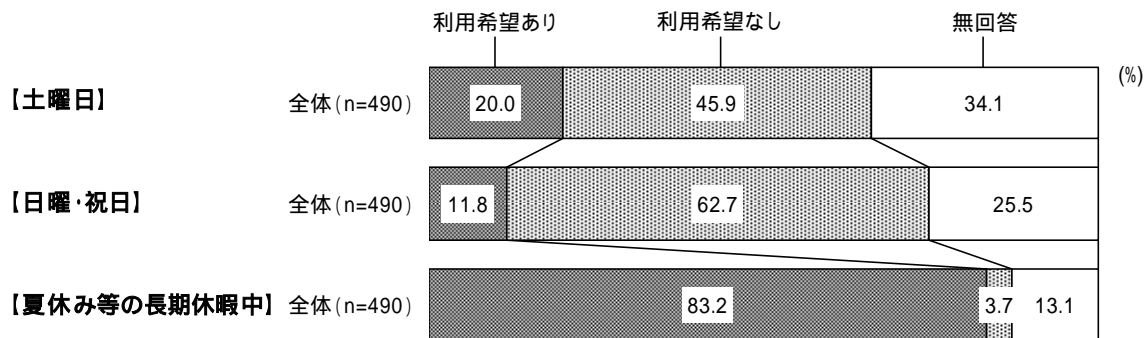
図表2-4-2- 長期休暇中の利用実績(全体)



平日、土曜日、日曜・祝日や夏休み等の長期休暇中の利用希望

学童クラブを利用希望している人の1週あたりの利用希望は、夏休み等の長期休暇中は「利用希望あり」が8割を超えている。土曜日、日曜・祝日は「利用希望あり」がそれぞれ2割、1割台となっている（図表2-4-2-）。

図表2-4-2- 平日、土曜日、日曜・祝日や長期休暇中の利用希望（全体）
 <学童クラブの利用意向がある人>

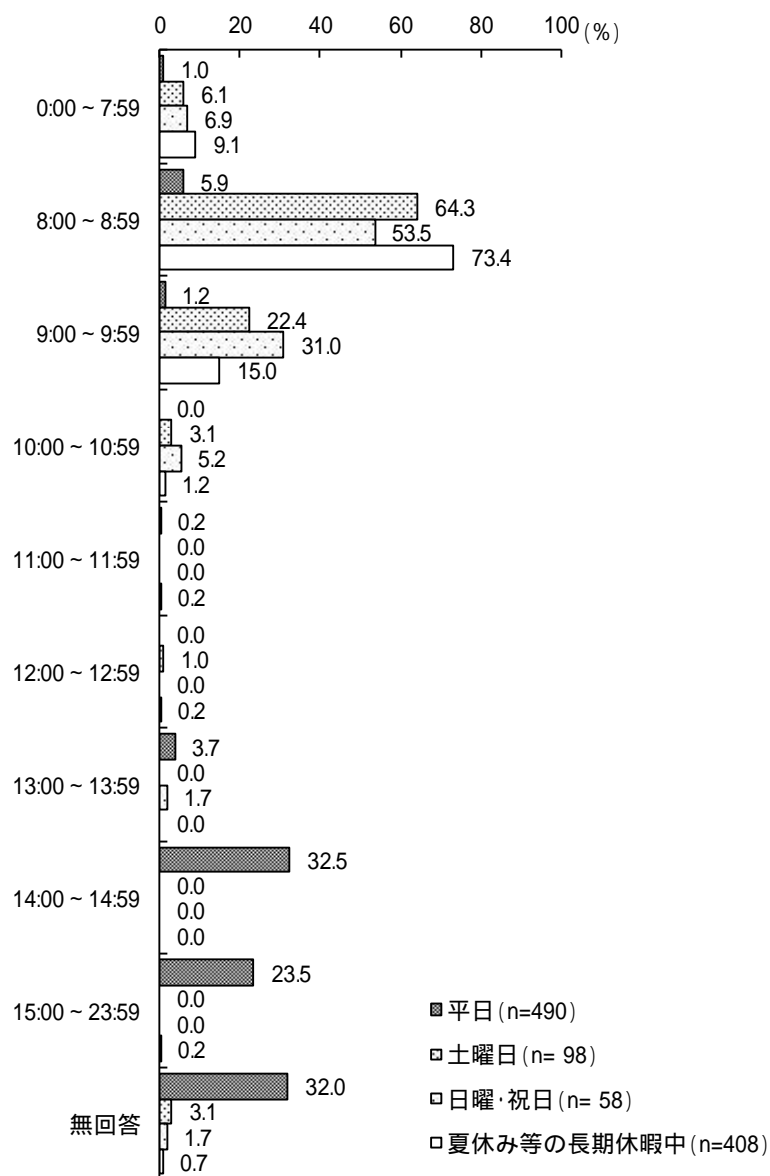


利用開始希望時間帯

学童クラブの利用意向がある人の利用開始希望時間帯は、平日では「14：00～14：59（32.5%）」で最も多く、土曜日、日曜・祝日、夏休み等の長期休暇中では「8：00～8：59（それぞれ64.3%、53.5%、73.4%）」が最も多くなっている（図表2-4-2- ）。

図表2-4-2- 利用開始希望時間帯（全体）

<学童クラブの利用意向がある人>

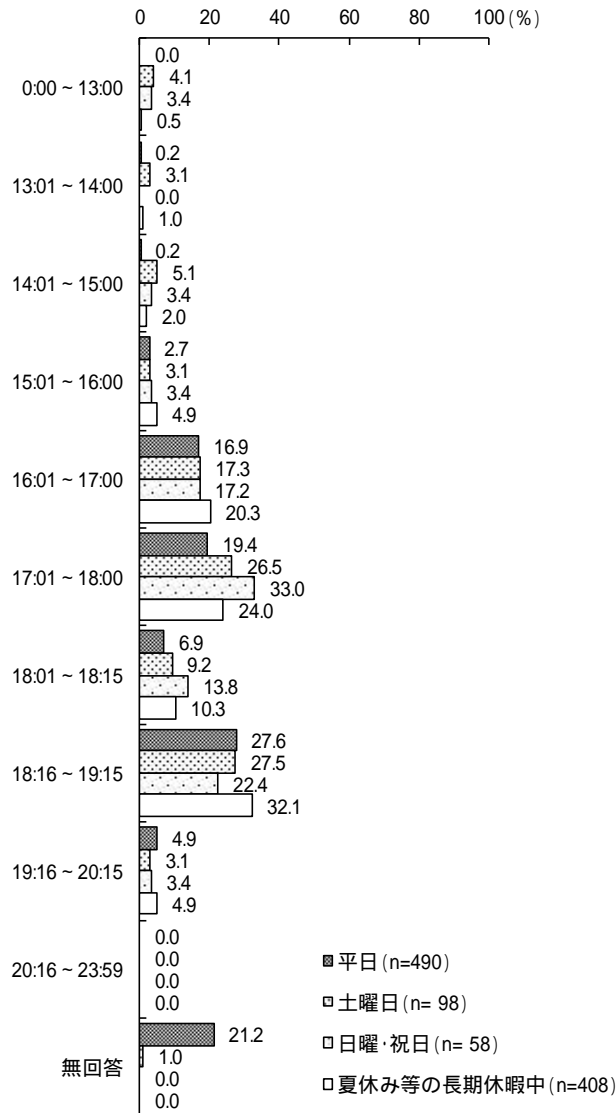


利用終了希望時間帯

学童クラブの利用意向がある人の利用終了希望時間帯は、平日、土曜日、夏休み等の長期休暇中では「18：16～19：15（それぞれ27.6%、27.5%、32.1%）」で最も多く、日曜・祝日では「17：01～18：00（33.0%）」が最も多くなっている（図表2-4-2- ）。

図表2-4-2- 利用終了希望時間帯（全体）

<学童クラブの利用意向がある人>



夏休み等の長期休暇中の利用希望日数

平日、土曜日、日曜・祝日や夏休み等の長期休暇中の利用希望している人の利用希望日数は、平均4.6日となっている（図表2-4-2- ）。

図表2-4-2- 長期休暇中の利用希望日数（全体）

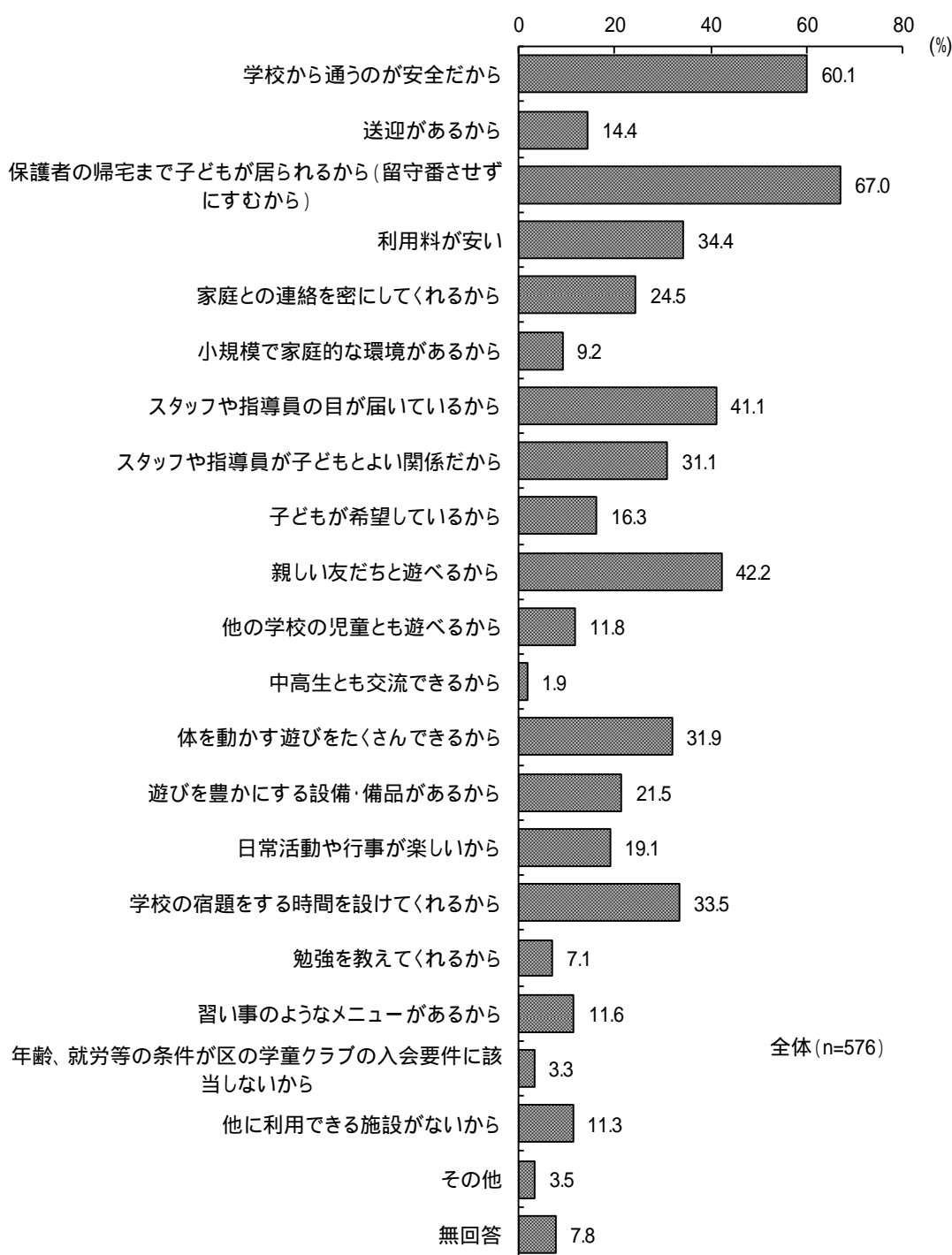
<学童クラブの利用意向がある人>



学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスを利用したい理由（問12-2）

学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスを利用したい理由は、「保護者の帰宅まで子どもが居られるから（留守番させずにすむから）（67.0%）」が7割弱で最も多く、「学校に通うのが安全だから（60.1%）」、「親しい友だちと遊べるから（42.2%）」が続いている（図表2-4-3- ）。

図表2-4-3- 学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスを利用したい理由（全体：複数回答）＜学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスの利用意向がある人＞



学童種別にみると、すべての種別で「保護者の帰宅まで子どもが居られるから」が最も多くなっている。

学童クラブのみ利用したい人では、「学校から通うのが安全だから(67.7%)」、「親しい友だちと遊べるから(48.7%)」が全体を5.0ポイント以上上回っている。民間の学童・放課後預かりサービスのみ利用したい人では、「送迎があるから(40.7%)」と「習い事のようなメニューがあるから(39.5%)」がともに全体を25.0ポイント以上、「勉強を教えてくれるから(25.6%)」が全体を15.0ポイント以上上回っている(図表2-4-3-)。

図表2-4-3- 学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスを利用したい理由(全体、学童種別：複数回答) <学童クラブ、民間の学童・放課後預かりサービスの利用意向がある人>

		安全だから通うのが	送迎があるから	子どもが保護者の帰宅まで居られる	利用料が安い	家庭での連絡が楽	環境がよい	から目撃	スタッフがよい	スタッフがよい	子どもが希望して	親しい友だちと遊べるから	他の学校の児童と遊べるから
全体	(n=576)	60.1	14.4	67.0	34.4	24.5	9.2	41.1	31.1	16.3	42.2	11.8	
学童種別	学童クラブのみ利用したい人	(n=452)	67.7	6.4	68.8	41.2	25.4	9.1	41.8	33.2	16.8	48.7	6.4
	民間の学童・放課後預かりサービスのみ利用したい人	(n= 86)	22.1	40.7	51.2	4.7	23.3	8.1	39.5	23.3	12.8	10.5	32.6
	学童クラブと民間の学童・放課後預かりサービスともに利用したい人	(n= 38)	55.3	50.0	81.6	21.1	15.8	13.2	36.8	23.7	18.4	36.8	28.9

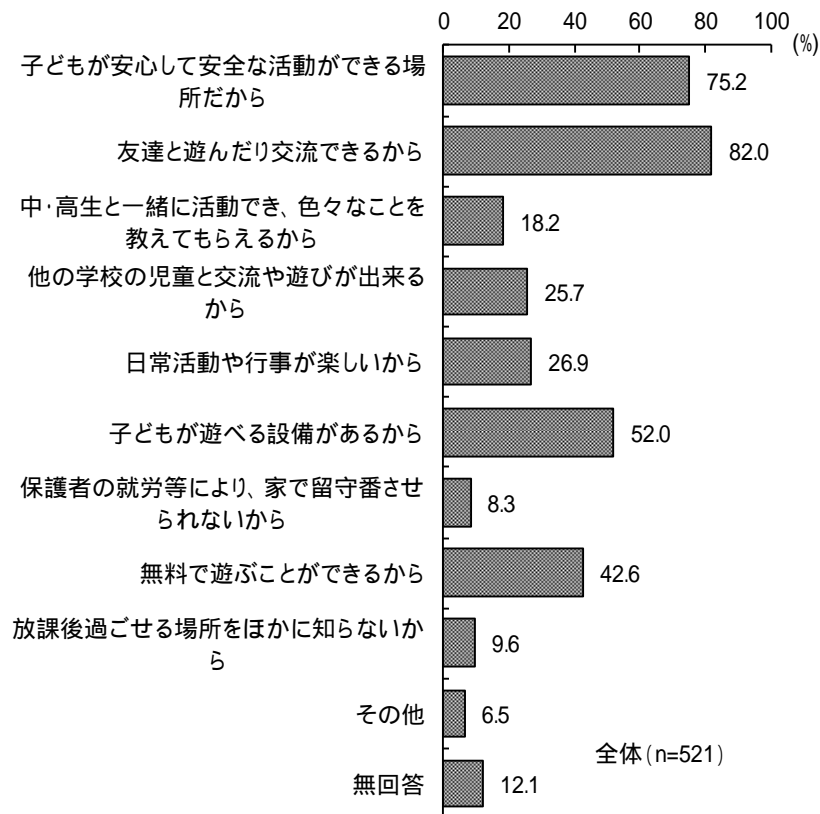
		中高生とも交流できる	体を動かすことができる	設備・備品が豊富	日常生活から行事が楽しめる	学校の宿題を早く済ませられる	勉強を教えてくれる	習い事がある	年齢が近い	他にない	その他	無回答	
全体	(n=576)	1.9	31.9	21.5	19.1	33.5	7.1	11.6	3.3	11.3	3.5	7.8	
学童種別	学童クラブのみ利用したい人	(n=452)	1.3	34.5	23.0	18.6	34.5	3.5	3.1	1.8	11.5	2.2	7.3
	民間の学童・放課後預かりサービスのみ利用したい人	(n= 86)	5.8	24.4	16.3	23.3	29.1	25.6	39.5	9.3	9.3	9.3	14.0
	学童クラブと民間の学童・放課後預かりサービスともに利用したい人	(n= 38)	0.0	18.4	15.8	15.8	31.6	7.9	50.0	7.9	13.2	5.3	0.0

児童館を利用したい理由（問 12 - 3）

児童館を利用したい理由をたずねたところ、「友達と遊んだり交流できるから（82.0%）」が8割を超え最も多く、「子どもが安心して安全な活動ができる場所だから（75.2%）」、「子どもが遊べる設備があるから（52.0%）」が続いている（図表2 - 4 - 4）。

図表2 - 4 - 4 児童館を利用したい理由（全体：複数回答）

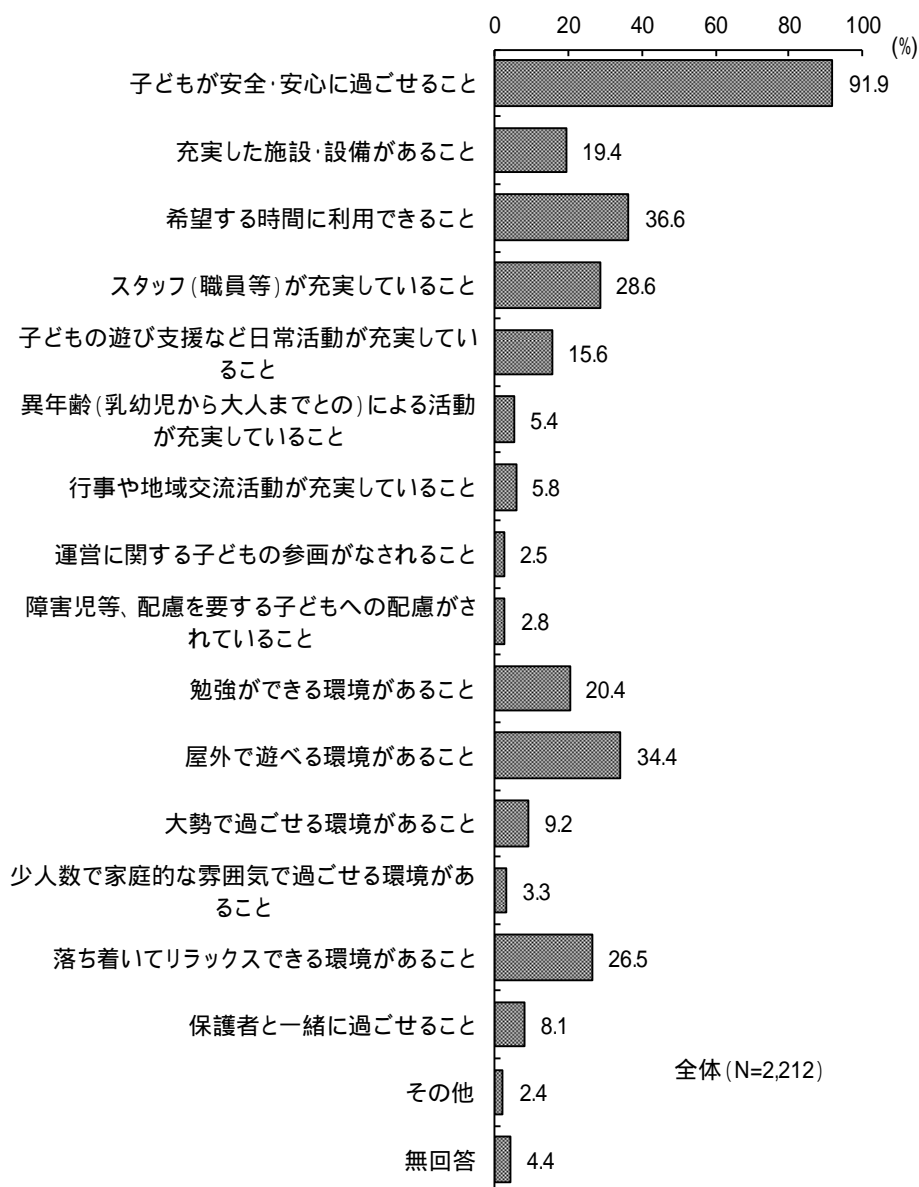
< 児童館の利用意向がある人 >



子どもが放課後過ごす場所として重視していること（問13）

子どもが放課後過ごす場所として重視していることをたずねたところ、「子どもが安全・安心に過ごせること（91.9%）」が9割を超え最も多く、「希望する時間に利用できること（36.6%）」、「屋外で遊べる環境があること（34.4%）」が続いている（図表2-4-5）。

図表2-4-5 子どもが放課後過ごす場所として重視していること
（全体：複数回答（3つまで））



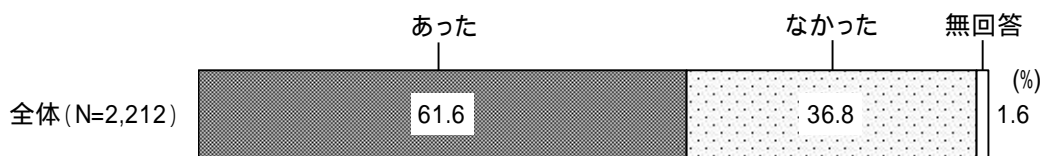
(5) 病気やケガの時の対応

この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無

(問14)

この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無は、「あった(61.6%)」が6割を占めている(図表2-5-1)。

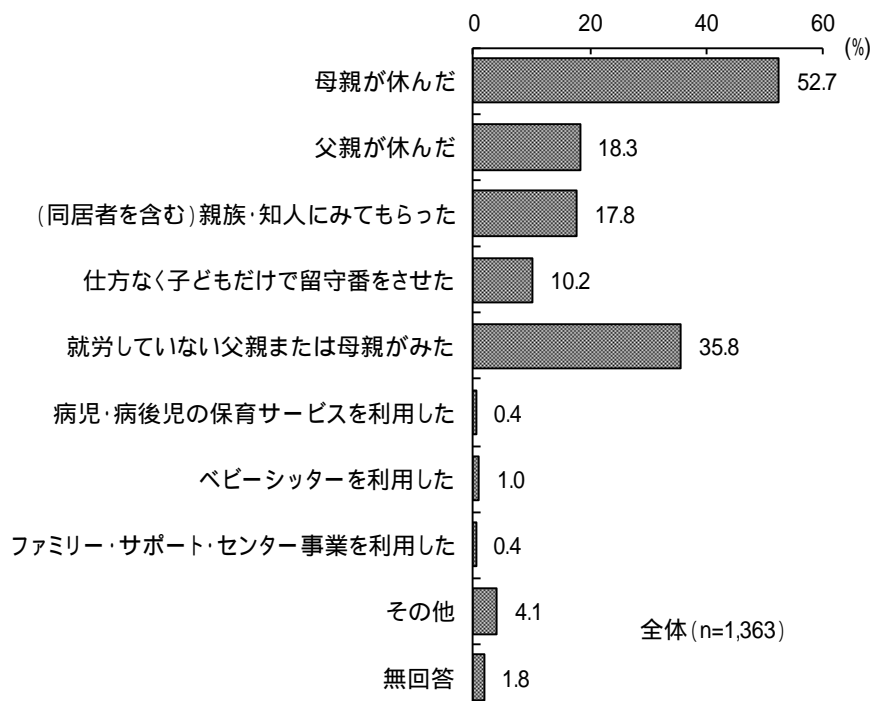
図表2-5-1 この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無
(全体)



対処方法(問14-1)

病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ(52.7%)」が5割を超え最も多く、「就労していない父親または母親がみた(35.8%)」、「父親が休んだ(18.3%)」が続いている(図表2-5-2)。

図表2-5-2 病気やケガで学校を休まなければならなかったときの対処方法(全体:複数回答)
<この1年間に、病気やケガで学校や学童クラブなどを利用できなかったことがある人>



対処方法別日数

対処方法別日数は、『母親が休んだ』では「1日(27.8%)」、「2日(20.3%)」がいずれも2割台と多くっており、平均日数は3.6日となっている。『父親が休んだ』では「1日(46.8%)」が4割台で最も多くなっている。平均日数は2.1日となっている。『就労していない父親または母親がみた』では「5日(18.9%)」が最も多く、「6~10日(17.8%)」が続いている。平均日数は5.2日となっている(図表2-5-2-)。

図表2-5-2- 対処方法別日数(全体)
<それぞれ対処方法を活用した人>

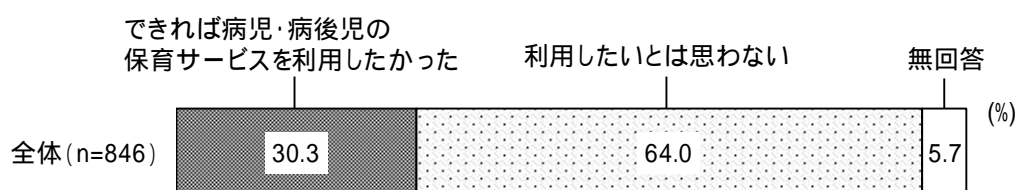
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答	平均日数
母親が休んだ (n=718)	27.8	20.3	18.1	4.7	13.9	11.1	1.4	0.8	0.4	1.5		3.6日
父親が休んだ (n=250)	46.8	26.4	14.4	0.4	5.6	3.2	0.0	0.8	0.0	2.4		2.1日
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった (n=243)	35.1	21.0	14.4	4.9	11.1	7.8	0.8	0.8	0.4	3.7		3.2日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=139)	54.7	23.7	9.4	2.9	3.6	3.6	0.0	0.0	0.7	1.4		2.2日
就労していない父親または母親がみた (n=488)	12.7	16.0	16.6	6.6	18.9	17.8	4.3	1.2	1.4	4.5		5.2日
病児・病後児の保育サービスを利用した (n= 6)	66.6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		2.1日
ベビーシッターを利用した (n= 14)	50.1	28.6	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1		2.2日
ファミリー・サポート・センター事業を利用した (n= 5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0		4.1日
その他 (n= 56)	46.4	16.1	8.9	1.8	5.4	7.1	1.8	1.8	0.0	10.7		2.9日

病児・病後児の保育サービスの利用意向(問14-2)

この1年間に、病気やケガで学校や学童クラブなどを利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人に病児・病後児の保育サービスの利用意向をたずねたところ、「できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった(30.3%)」が3割強となっている(図表2-5-3-)。

図表2-5-3- 病児・病後児の保育サービスの利用意向(全体)

<この1年間に、病気やケガで学校や学童クラブなどを利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人>

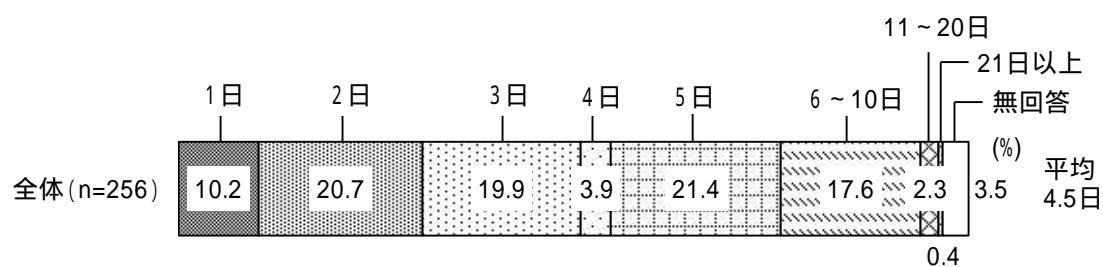


利用したい1年間あたりの日数

できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった人に利用したい1年間あたりの日数をたずねたところ、「5日(21.4%)」、「2日(20.7%)」が2割台と高くなっている。平均日数は4.5日となっている(図表2-5-3-)。

図表2-5-3- 利用したい1年間あたりの日数(全体)

<できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった人>

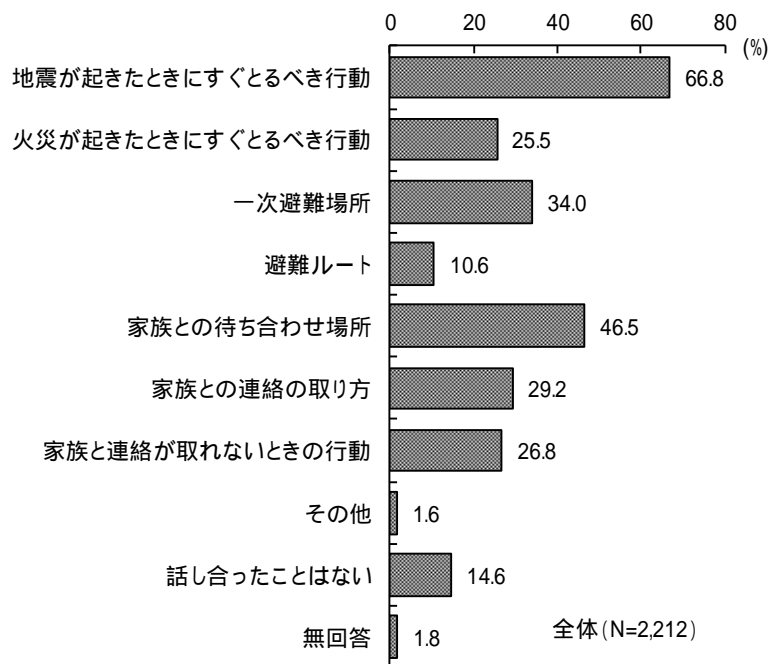


(6) 災害時について

災害時の対応のために、子どもと話し合ったこと(問15)

災害時の対応のために、子どもと話し合ったことをたずねたところ、「地震が起きたときにすぐとるべき行動(66.8%)」が6割を超え最も多く、「家族との待ち合わせ場所(46.5%)」、「一次避難場所(34.0%)」が続いている(図表2-6-1)。(図表2-6-1)

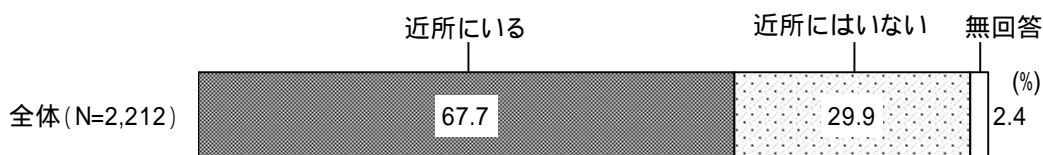
図表2-6-1 災害時の対応のために、子どもと話し合ったこと(全体:複数回答)



災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無(問16)

災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無をたずねたところ、「近所にいる(67.7%)」が6割台を占めている(図表2-6-2)

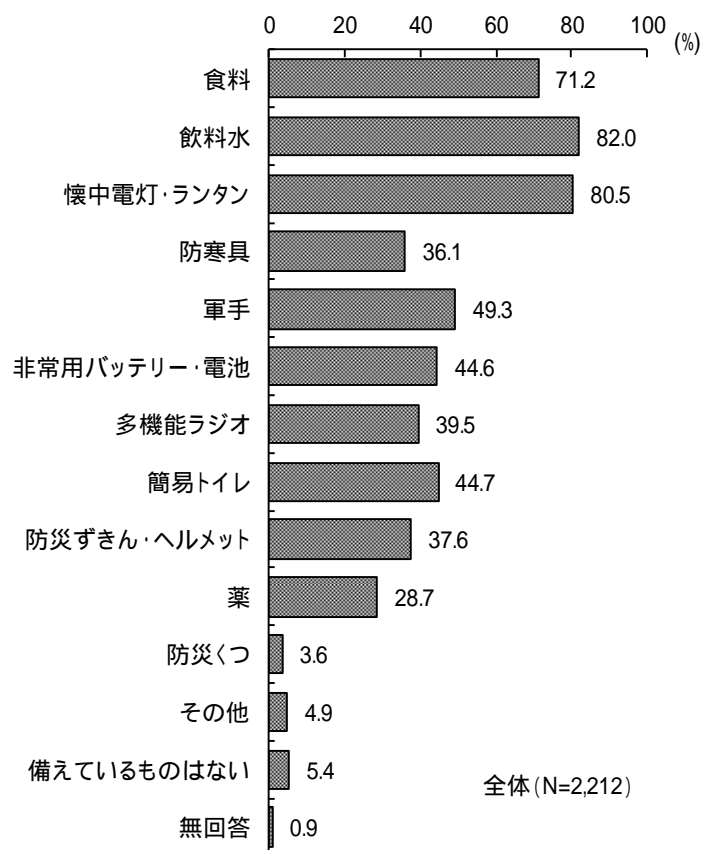
図表2-6-2 災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無(全体)



子どものために災害対策として備えているもの（問 17）

子どものために災害対策として備えているものは、「飲料水（82.0%）」、「懐中電灯・ランタン（80.5%）」がともに8割を超え多くっており、「食料（71.2%）」が続いている（図表2-6-3）。

図表2-6-3 子どものために災害対策として備えているもの（全体：複数回答）

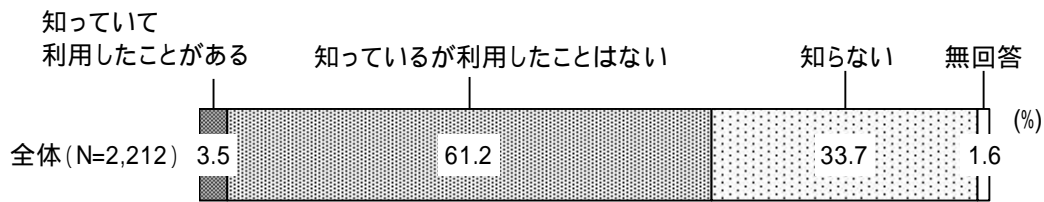


(7) ファミリー・サポート・センター事業の利用

この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用の有無（問18）

この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用の有無をたずねたところ、「知っているが利用したことはない（61.2%）」が6割台を占めている（図表2-7-1-1）。

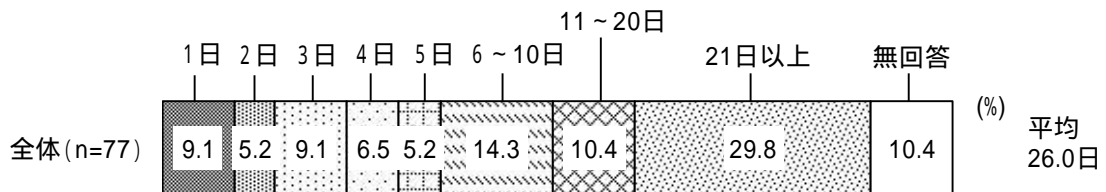
図表2-7-1-1 この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用の有無（全体）



この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用日数

この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用日数をたずねたところ、「21日以上（29.8%）」が3割弱で最も多く、平均26.0日となっている（図表2-7-1-2）。

図表2-7-1-2 この1年間のファミリー・サポート・センター事業の利用日数（全体）

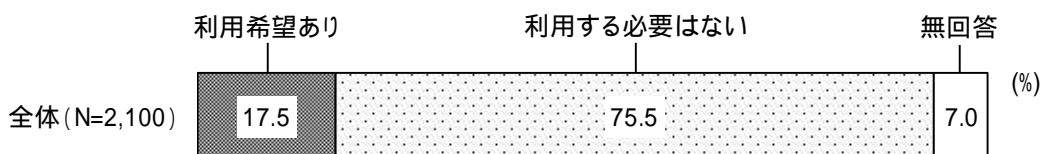


ファミリー・サポート・センター事業の今後の利用希望の有無（問18-1）

ファミリー・サポート・センター事業の今後の利用希望の有無をたずねたところ、「利用する必要はない（75.5%）」が7割台を占めている（図表2-7-2-1）。

図表2-7-2-1 ファミリー・サポート・センター事業の今後の利用希望の有無（全体）

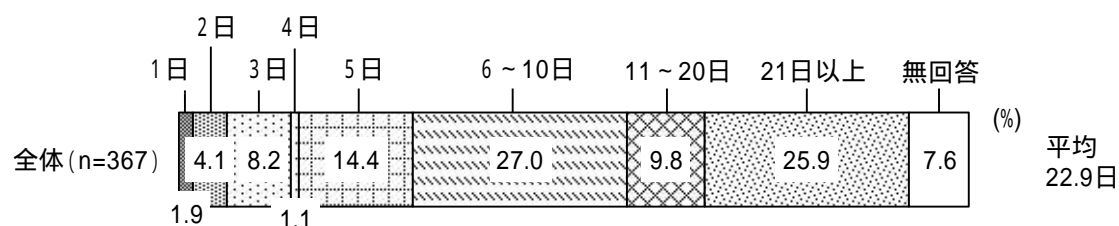
<ファミリー・サポート・センター事業を知っているが利用したことはない、または知らないと回答した人>



1年間あたりの利用希望日数

ファミリー・サポート・センター事業の1年間あたりの利用希望日数は、「6～10日（27.0%）」、「21日以上（25.9%）」が2割台で多く、平均は22.9日となっている（図表2-7-2- ）。

図表2-7-2- 1年間あたりの利用希望日数（全体）
＜ファミリー・サポート・センター事業の利用希望がある人＞



この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（問19）

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無をたずねたところ、「あった」が19.3%となっている（図表2-7-3- ）。

図表2-7-3- この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（全体）

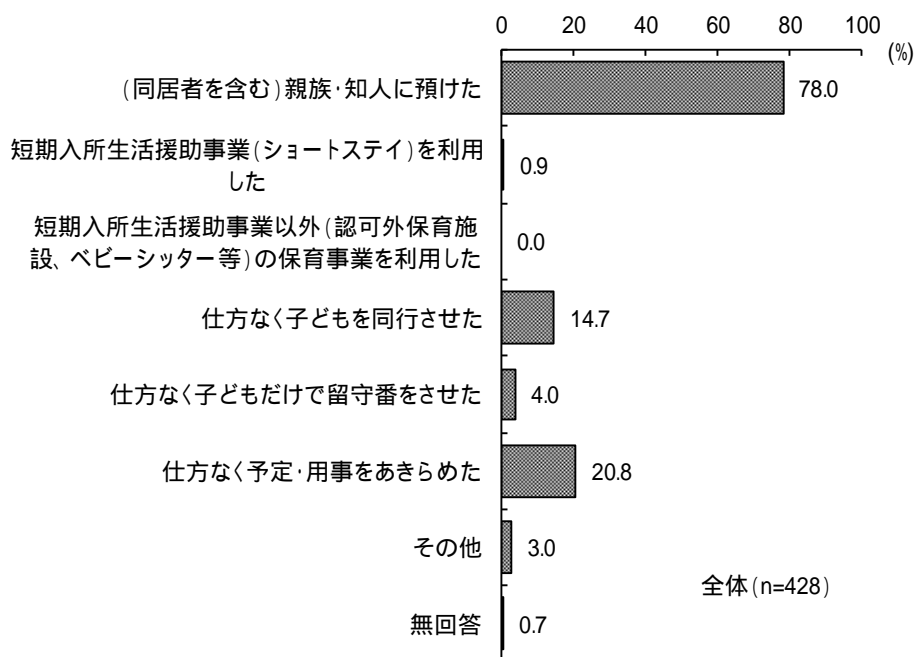


対処方法

保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことがあったときの対処方法をたずねたところ、「(同居者を含む)親族・知人に預けた(78.0%)」が7割を超え最も多く、「仕方なく予定・用事をあきらめた(20.8%)」、「仕方なく子どもを同行させた(14.7%)」が続いている(図表2-7-3-)。

図表2-7-3- 対処方法(全体:複数回答)

<この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことがあったと回答した人>



この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別泊数

保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことがあったときの対処方法別泊数をたずねたところ、『(同居者を含む)親族・知人に預けた』では、「1泊(23.5%)」が最も多く、「2泊(19.8%)」が続いている。平均は5.6泊となっている(図表2-7-3-)。

図表2-7-3- この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別泊数
(全体) < 対処方法を活用した人 >

	(%)											平均泊数
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊以上	無回答	
(同居者を含む)親族・知人に預けた (n=334)	23.5	19.8	15.3	4.5	10.2	15.0	2.4	1.5	4.8	3.0		5.6泊
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (n= 4)	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		3.8泊
短期入所生活援助事業以外(認可外保育施設、ベビーシッター等)の保育事業を利用した (n= 0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-泊
仕方なく子どもを同行させた (n= 63)	28.7	23.8	9.5	1.6	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	23.8		2.6泊
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n= 17)	29.4	5.9	5.9	5.9	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	29.4		3.5泊
仕方なく予定・用事をあきらめた (n= 89)	22.5	27.0	9.0	1.1	11.2	7.9	0.0	0.0	0.0	21.3		3.1泊
その他 (n= 13)	15.4	15.4	0.0	7.7	23.0	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4		6.8泊

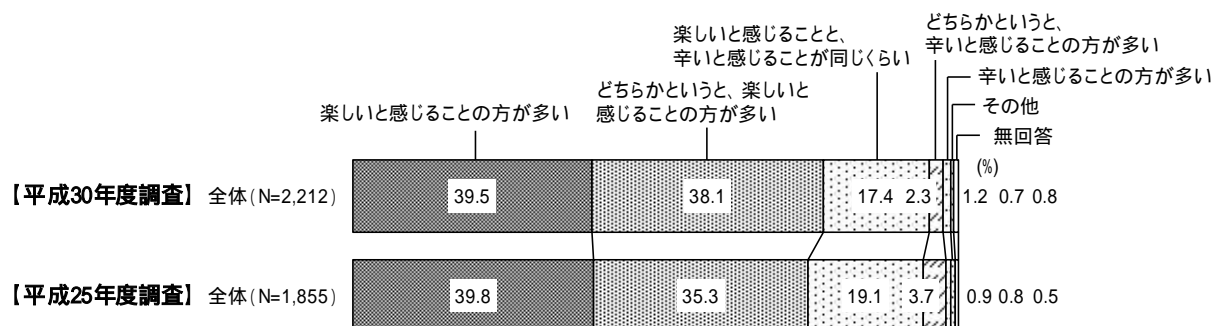
(8) 子育て全般

子育てについて楽しいと感じる程度(問20)

子育てについて楽しいと感じる程度をたずねたところ、「楽しいと感じることの方が多い(39.5%)」と「どちらかという、楽しいと感じることの方が多い(38.1%)」を合計した《楽しいと思うことの方が多い》の割合は77.6%であり、8割弱が楽しいと感じている。

前回調査と比較すると、《楽しいと思うことの方が多い》が2.5ポイント高くなっている(図表2-8-1)。

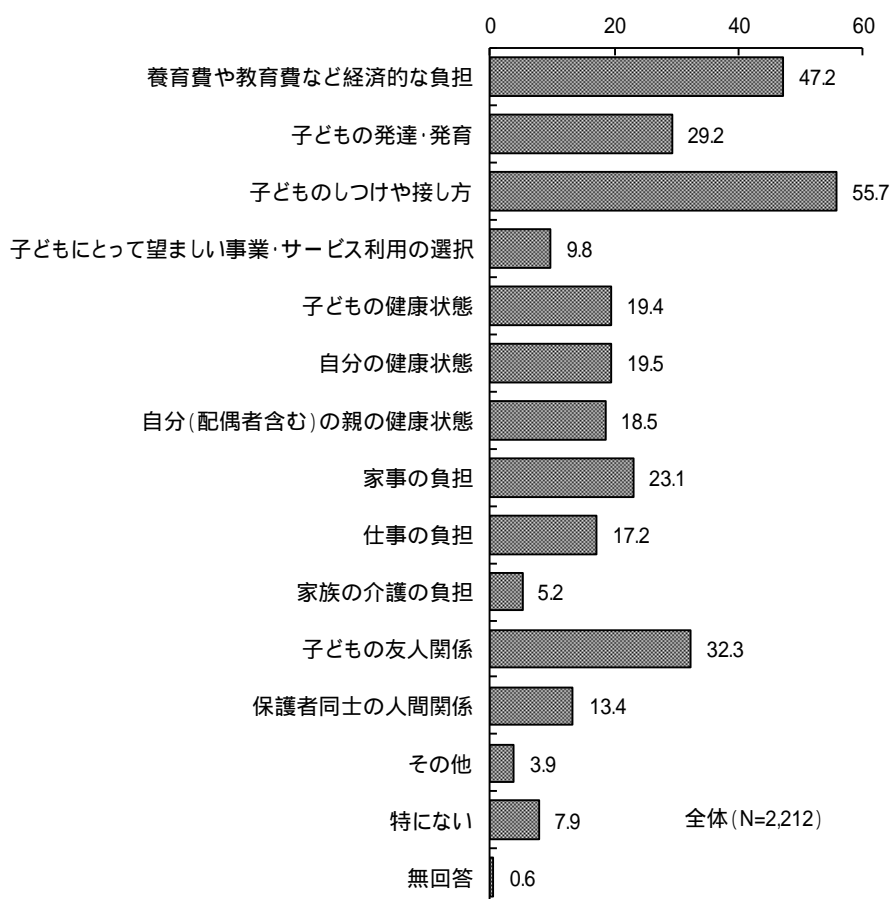
図表2-8-1 子育てについて楽しいと感じる程度(全体)【経年比較】



子育てについての心配ごとや悩みごと（問 21）

子育てについての心配ごとや悩みごとについてたずねたところ、「子どものしつけや接し方（55.7%）」が5割を超え最も多く、「養育費や教育費など経済的な負担（47.2%）」、「子どもの友人関係（32.3%）」が続いている（図表2-8-2）。

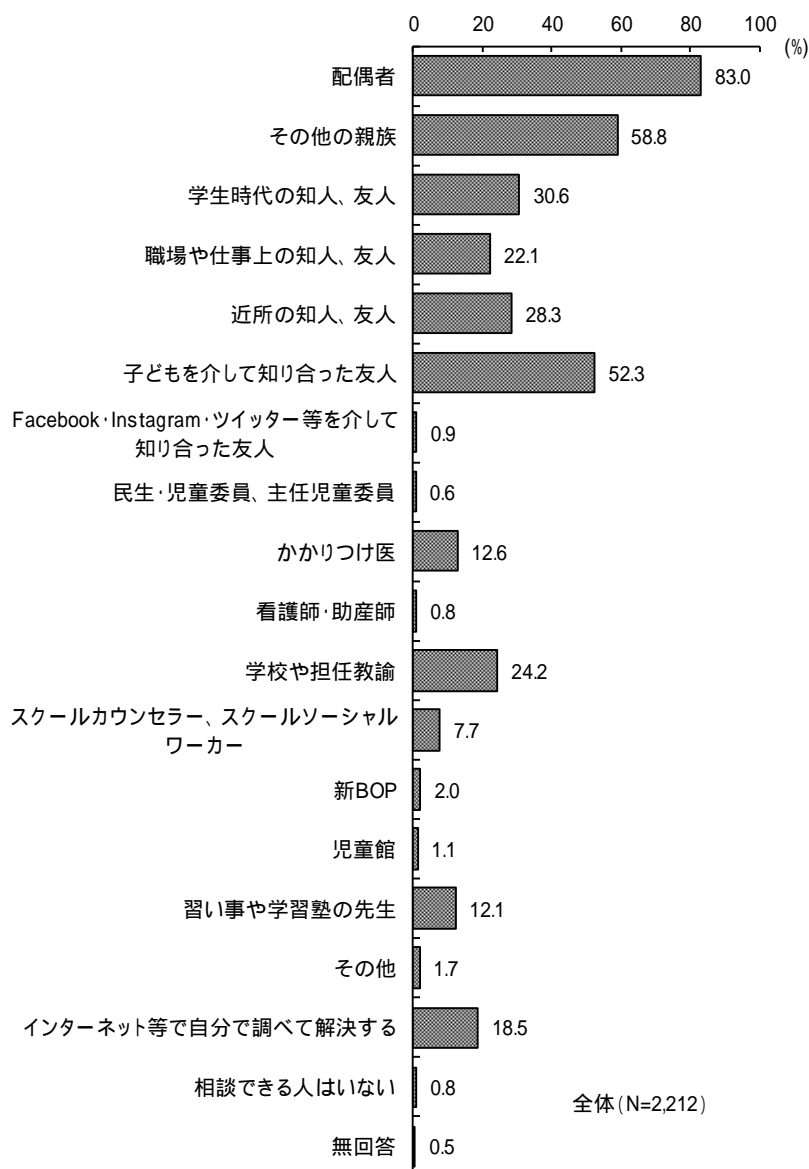
図表2-8-2 子育てについての心配ごとや悩みごと（全体：複数回答）



子育てについての心配ごとや悩みごとの相談先（問22）

子育てについての心配ごとや悩みごとの相談先をたずねたところ、「配偶者（83.0%）」が8割を超え最も多く、「その他の親族（58.8%）」、「子どもを介して知り合った友人（52.3%）」が続いている（図表2-8-3）。

図表2-8-3 子育てについての心配ごとや悩みごとの相談先（全体：複数回答）



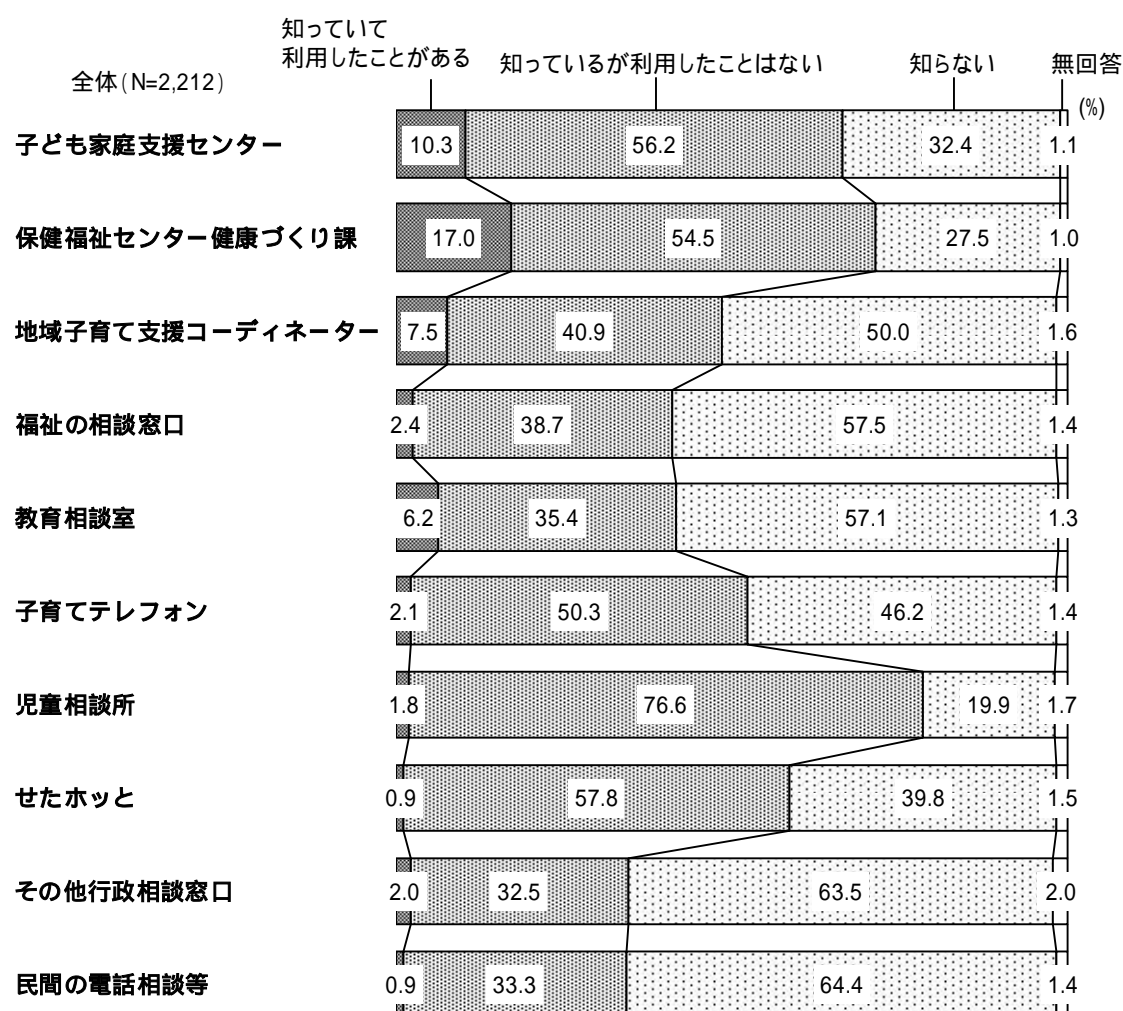
相談できる事業や窓口等の認知度（問 23）

相談できる事業や窓口等の認知度は、『保健福祉センター健康づくり課（17.0%）』と『子ども家庭支援センター（10.3%）』のみ「知っている利用したことがある」が1割を超えている。

「知っている利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合計した《認知度》の割合は、『児童相談所』で78.4%、『保健福祉センター健康づくり課』で71.5%、『子ども家庭支援センター』で66.5%、『せたホッと』で58.7%の4項目で5割を超えている。

なお、『民間の電話相談等』、『その他行政相談窓口』では「知らない」が6割を超えている（図表2-8-4）。

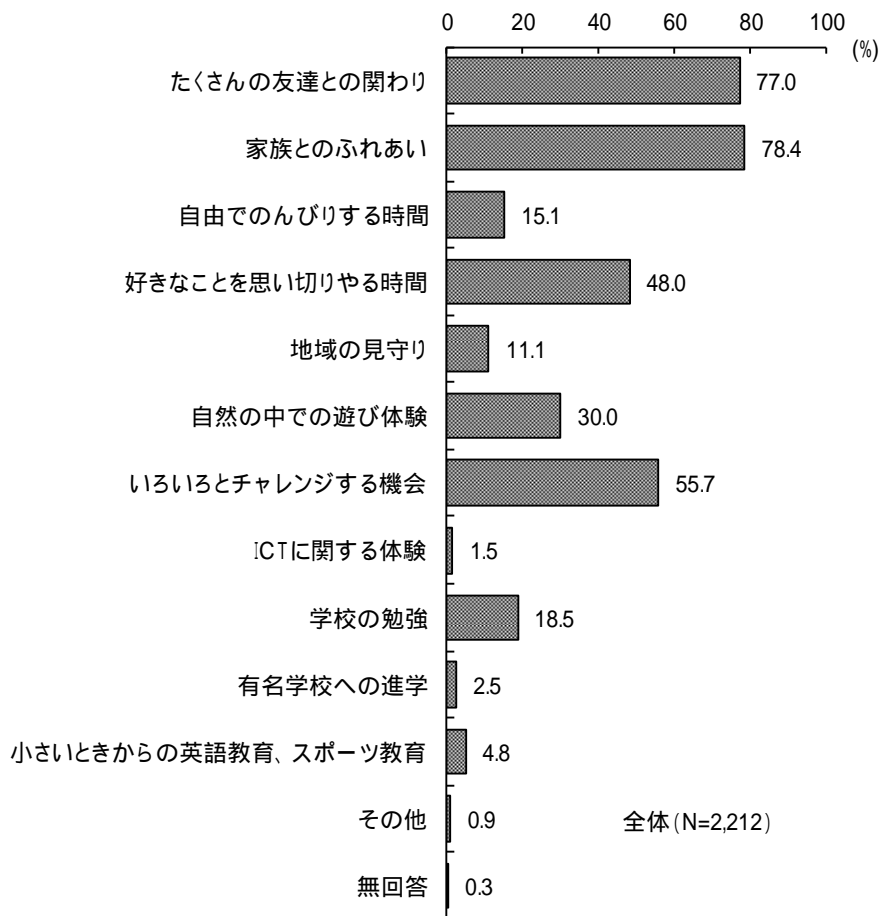
図表2-8-4 相談できる事業や窓口等の認知度（全体）



子どもが成長するうえで大切なこと（問24）

子どもが成長するうえで大切なことは、「家族とのふれあい（78.4%）」、「たくさんの友達との関わり（77.0%）」が7割を超え多く、「いろいろとチャレンジする機会（55.7%）」が続いている（図表2-8-5）。

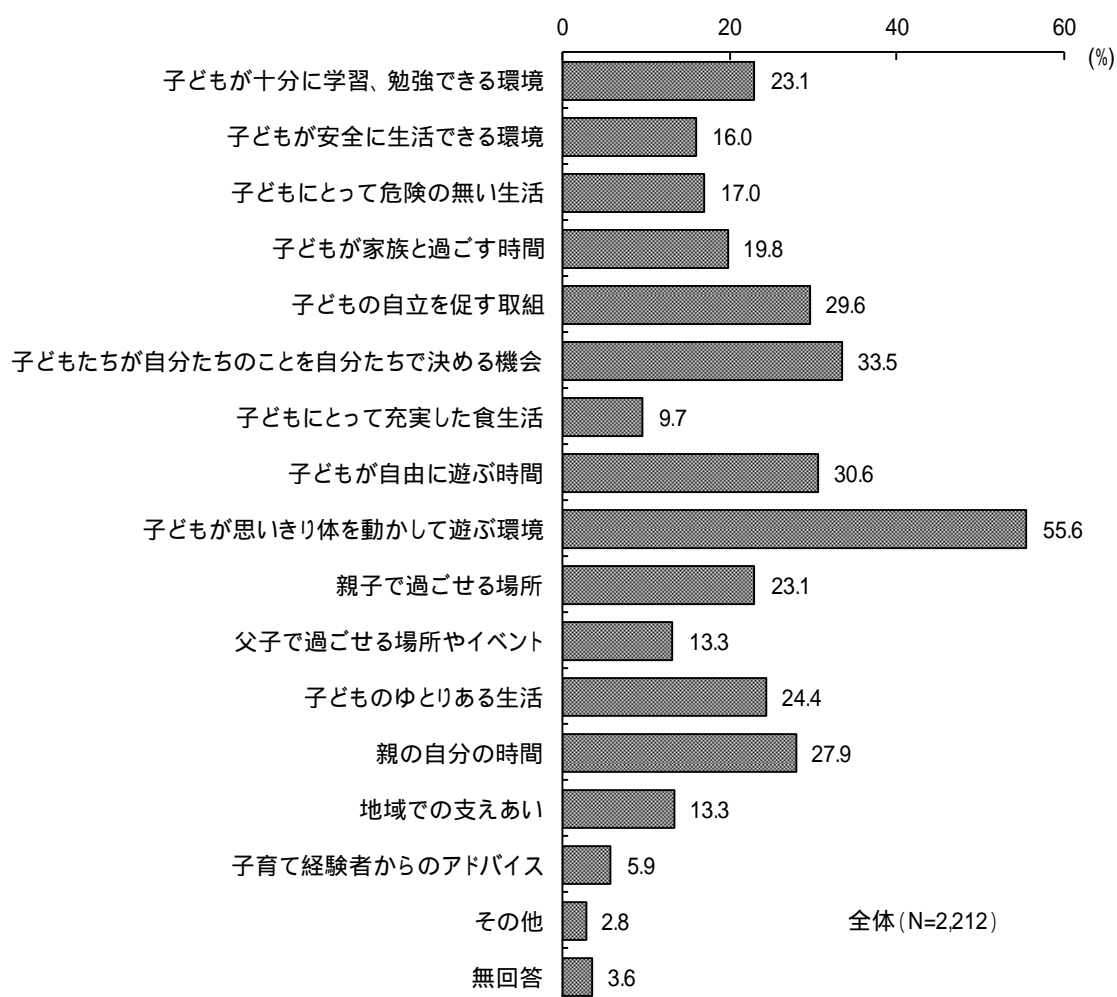
図表2-8-5 子どもが成長するうえで大切なこと
（全体：複数回答（3つまで））



子育てするうえで足りていないと感じること（問 25）

子育てするうえで足りていないと感じることをたずねたところ、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境（55.6%）」が5割を超え最も多く、「子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会（33.5%）」、「子どもの自立を促す取組（29.6%）」が続いている（図表2-8-6）。

図表2-8-6 子育てするうえで足りていないと感じること（全体：複数回答）

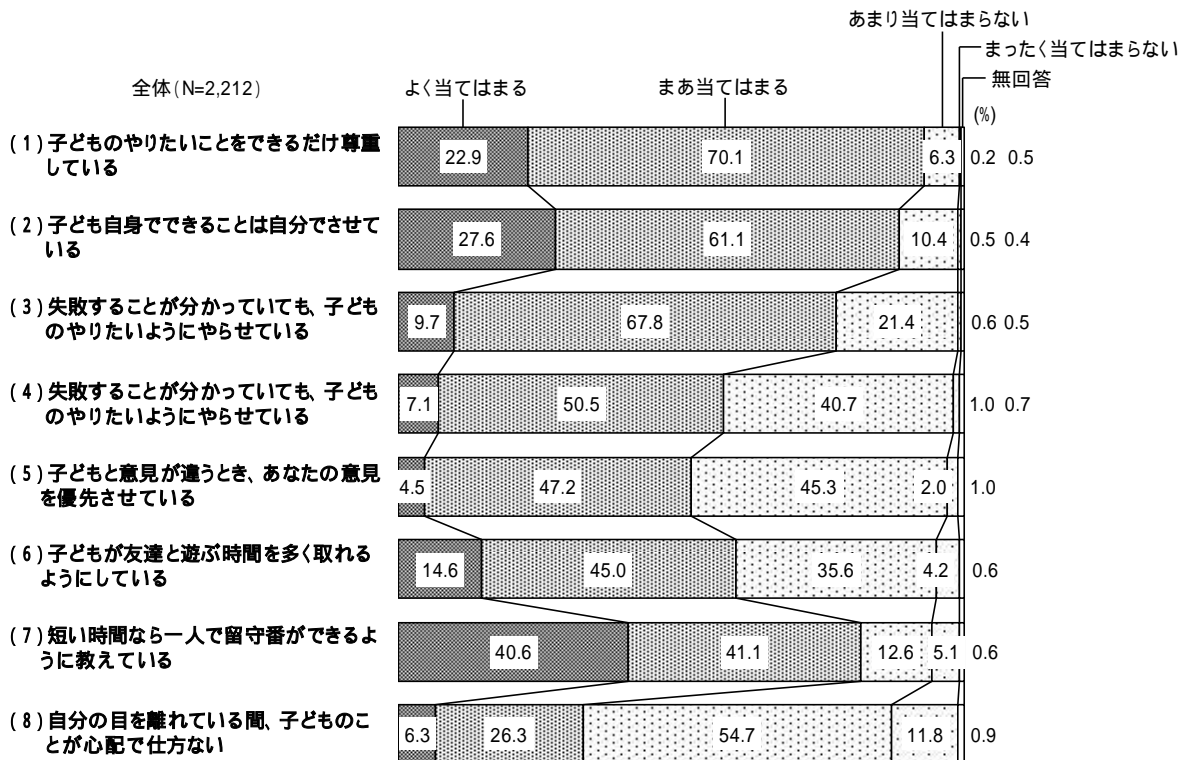


普段のあなたとお子さんの関わりの程度（問26）

「よく当てはまる」と「まあ当てはまる」を合計した《当てはまる》の割合は、『子どものやりたいことをできるだけ尊重している』で93.0%、『子ども自身でできることは自分でさせている』で88.7%、『短い時間なら一人で留守番ができるように教えている』で81.7%であり、3項目で8割を超えている。

なお、「まったく当てはまらない」と「あまり当てはまらない」を合計した《当てはまらない》の割合は、『自分の目を離れている間、子どものことが心配で仕方ない（66.5%）』で6割を超えている（図表2-8-7）。

図表2-8-7 普段のあなたとお子さんの関わりの程度（全体）

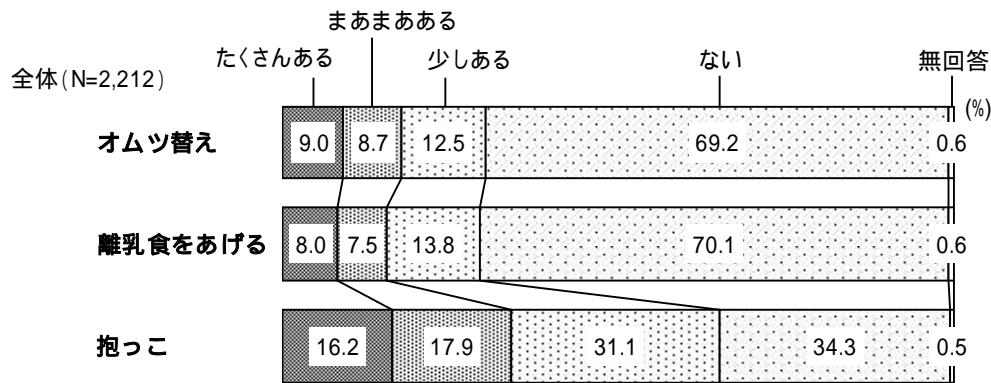


第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度（問27）

第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度は、「たくさんある」と「まあまあある」と「少しある」を合計した《ある》の割合は、『抱っこ』が65.2%であり、6割を超えている。

なお、『オムツ替え』と『離乳食をあげる』では、「ない」が約7割となっている（図表2-8-8）。

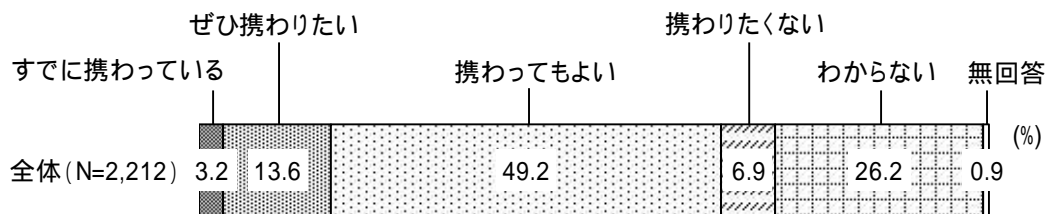
図表2-8-8 第1子が生まれる前の子どもの世話の経験の程度（全体）



地域の子ども・子育て支援に携わってもよいか（問28）

地域の子ども・子育て支援に携わってもよいかたずねたところ、「携わってもよい（49.2%）」が5割弱で最も多く、「わからない（26.2%）」、「ぜひ携わりたい（13.6%）」が続いている（図表2-8-9）。

図表2-8-9 地域の子ども・子育て支援に携わってもよいか（全体）

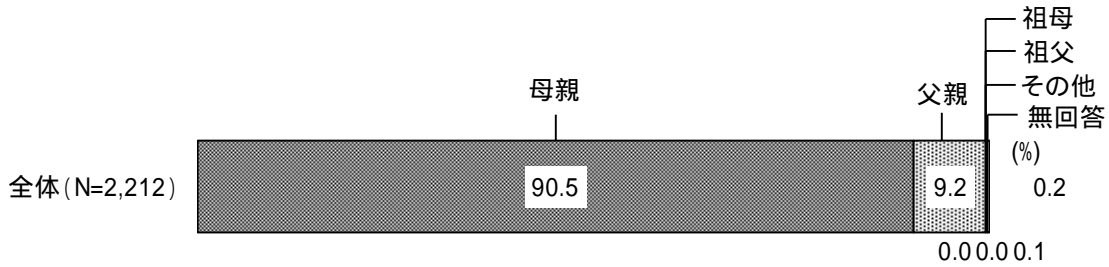


(9) 回答者の属性

子どもからみた続柄 (問 29)

子どもからみた続柄は、「母親 (90.5%)」が9割を超えている (図表 2 - 9 - 1)。

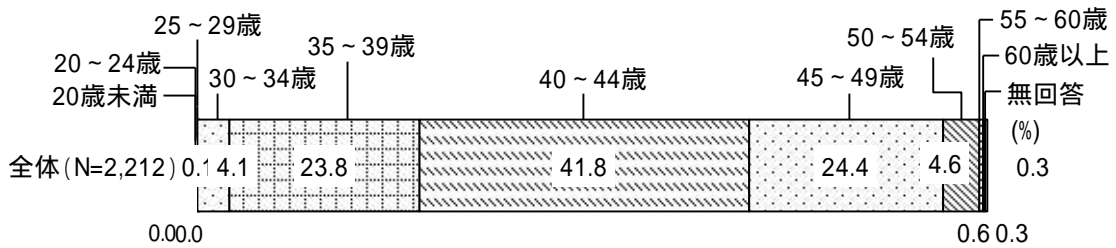
図表 2 - 9 - 1 子どもからみた属性 (全体)



年代 (問 30)

年代は、「40～44歳 (41.8%)」が最も多く、「45～49歳 (24.4%)」、「35～39歳 (23.8%)」が続いている (図表 2 - 9 - 2)。

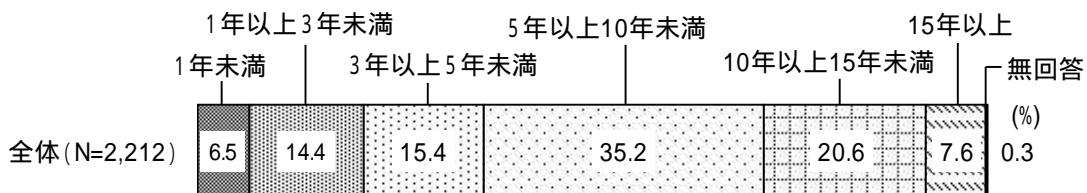
図表 2 - 9 - 2 年代 (全体)



現在の場所での居住年数 (問 31)

現在の場所での居住年数は、「5年以上10年未満 (35.2%)」が最も多く、「10年以上15年未満 (20.6%)」、「3年以上5年未満 (15.4%)」が続いている (図表 2 - 9 - 3)。

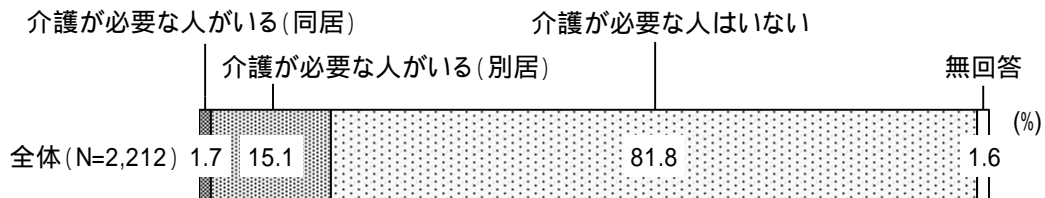
図表 2 - 9 - 3 現在の場所での居住年数



介護を必要とする人の有無（問 32）

介護を必要とする人の有無は、「介護が必要な人がいる（別居）」が 15.1%、「介護が必要な人がいる（同居）」が 1.7%となっている（図表 2 - 9 - 4）。

図表 2 - 9 - 4 介護を必要とする人の有無（全体）

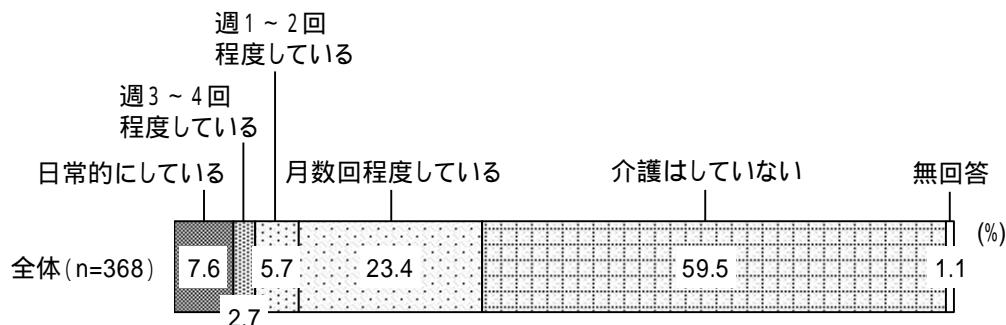


介護の頻度（問 32 - 1）

介護を必要とする方がいる人に介護の頻度をたずねたところ、「介護はしていない（59.5%）」が 6 割弱となっている。月数回でも介護をしている人を合計すると 39.4%となっている（図表 2 - 9 - 5）。

図表 2 - 9 - 5 どの程度介護をしているか（全体）

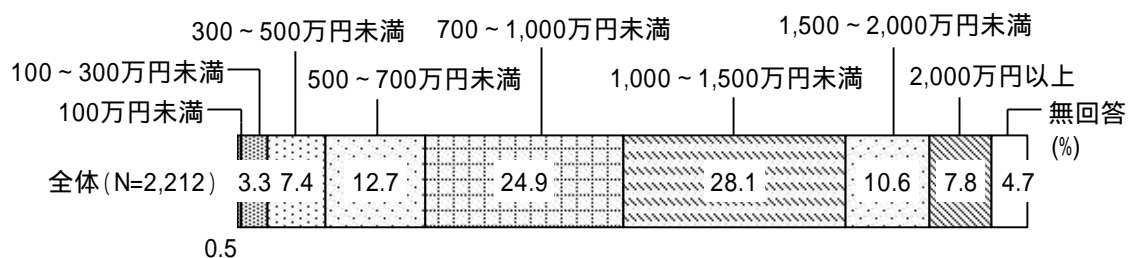
<介護を必要とする方がいる人>



世帯収入（問 33）

世帯収入は、「1,000～1,500万円未満（28.1%）」が最も多く、「700～1,000万円未満（24.9%）」、「500～700万円未満（12.7%）」が続いている（図表 2 - 9 - 6）。

図表 2 - 9 - 6 世帯収入（全体）



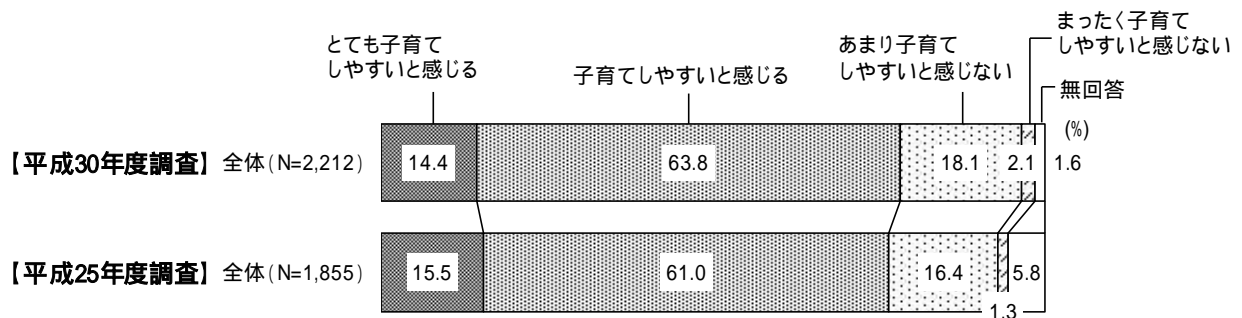
(10) 世田谷区での子育て

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（問34）

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度は、「とても子育てしやすいと感じる（14.4%）」と「子育てしやすいと感じる（63.8%）」を合計した《子育てしやすいと感じる》の割合は、78.2%となっている。「あまり子育てしやすいと感じない（18.1%）」と「まったく子育てしやすいと感じない（2.1%）」を合計した否定的な回答は20.2%であった。

前回調査と比較すると、《子育てしやすいと感じる》の割合が1.7ポイント高くなっている（図表2-10-1）。

図表2-10-1 世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（全体）【経年比較】



子育てに関する意見

子育てに関する意見を、自由記述形式でたずねたところ、全体で880件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

公園など遊びやスポーツをする場の充実に対する要望（147件）

- ・ 子どもがもっとボールを使ったり、体を動かしたり、多少の大声を出しても許される環境があればいいと思います。とても恵まれた区だと思いますが、家が密集していますので、常に近所迷惑にならないか気にしていないといけません。（8歳・母親）
- ・ 公園の遊具の種類を多くしてほしい。（8歳・母親）
- ・ 家の周辺に有料でも良いので大型の遊べる所（室内）があれば良いのにと何度も思いました。雨だと児童館くらいしかなく、混みすぎてとても遊べません。（8歳・母親）
- ・ 放課後に子どもたちだけで集まって遊べる公園を増やしてほしいです。（8歳・母親）
- ・ 子どもが安心して過ごせる公園などの遊び場が近くにない。学校の校庭をいつでも遊べる場所として開放してほしい。（9歳・母親）
- ・ 道路工事で近隣公園がほとんどなくなり子どもたちはマンションの駐車場等で遊んでいます。公園の場所を移してでも、再整備してほしいです。（6歳・母親）
- ・ サッカーや野球ができる様な広場を増やしてほしい。（6歳・母親）

- ・ 公園の設備でもトイレなど和式が多かったり暗かったりで子どもたちが使いたがらず、外に出ても困る事があります。(6歳・母親)
- ・ 世田谷区の施設が遠く(区役所やスポーツセンター等)利用が困難なため、子どもたちだけで行けるような距離にあると助かります。(6歳・母親)

学童クラブ、BOPについて(125件)

- ・ 就労の有無にかかわらず保育園や学童クラブに入れば、育児をストレスと感じている母には助かると思います。(7歳・母親)
- ・ 私立小学校に通っていますが、下の子の保護者会や用事で夕方に誰もいない際、地域小学校のBOPを利用できればいいのにとよく思います。(7歳・母親)
- ・ 学童保育を小6までにしていただきたいです。(7歳・母親)
- ・ 保育園の時は19:15まで延長保育があったが学童は18:15までなので、仕事が終わってお迎えに間に合わない。民間の学童に、他に方法がなく行っているが、とても高額で経済的に負担が大きい。保育園と同じ19:15まで学童が空いているととても助かります。(6歳・母親)
- ・ 学童クラブで、有料で良いので習いごとでもできるような環境があると良いなと感じました。(そろばん、英語など)(6歳・母親)
- ・ 3年生までは学童を利用して、4年生以降もBOPを利用してほしかったが、お友達が来ず、低学年の子ばかりなので、子どもが行きたがらず残念に思っています。(9歳・母親)
- ・ 学童とBOPを同じ場所で実施するシステムはとても良いと思いますが、BOP室が人数に対し狭すぎて、子どもにとっては不快のようです。もう少しスペースを広げて、専任スタッフを増やしてほしいです。よろしくお願いします。(7歳・母親)

保育園、幼稚園について(67件)

- ・ 現在下の子が通っている幼稚園(区立)では自転車送迎通園が禁止とされています。早朝の子ども、機嫌が良い時は長い距離も歩いてくれますが悪い時は朝から疲れます。職員の方は乗ってきているのに通園している子どもたちは禁止とは厳しいです。どうか、自転車通園、許可していただきたいです。ご検討よろしくお願い致します。また、徒歩通園可能な距離に幼稚園の増設等お願いしたいです。(6歳・母親)
- ・ 3人目の乳児を預けられる保育園の空きがありません。自営のため、表面的なスケジュールの日数等も不利です。0~1才の保育園待機児童の解決を一刻も早くお願いいたします。(8歳・母親)
- ・ 自分もそうでしたが兄弟姉妹で別々の保育園に通っている人が多すぎるので改善してほしいです。公立と私立の保育の質も統一してほしいです。(7歳・母親)
- ・ 保育園に通っている子どもがいます。5歳児になると時短を解除しなければなりません。勤めている会社は小学校3年生まで時短を認められています。自営業で時短の無い方への配慮等、説明は受けていますが、フルタイムに戻すと延長保育となり、子どもたちと過ごす時間が削られてしまいます。働き方がさまざまになる中、保育園の対応につきましても

ご検討いただきたいと思います。(9歳・母親)

- ・ 第一子出産後、保育園に入れなかったため小学校入学まで仕事復帰できませんでした。7年のブランクは大きく、再就職もむずかしいので、まだまだ保育園は足りていないと感じます。保育士の資格を持っている保育士さんのもと、保育の質は落とさず、そして保育士さんの給与をお仕事の内容と見合った対価で保育施設の拡充はいくつも問題があり難しいことと存じますが、今後出産、子育てをひかえた方が安心できるよう継続していただけますと幸いです。(7歳・母親)
- ・ 保育園が増えてきてはいるが、分園だったり低年齢のクラスだけの園が多いと感じています。5年・6年保育をしてもらえる園が増えてほしいです。(6歳・母親)
- ・ 幼稚園の預かり時間は園各自で決めていると思いますが、全体的に短い、保育後の延長保育がない所が多く感じます。保育園に共働き(しかもフル)でない家族が入所できない現状で、働きたくても働けない人が多くいるなど強く感じます。(6歳・母親)

学校教育への要望(63件)

- ・ 区の小学校の多くで設備の老朽化が進んでいたり、昨今の災害に対応し得る状況とはとても言い難い環境ですが整備はとても後手に回っているのではないのでしょうか。(9歳・母親)
- ・ 塾に行っている子どもと行っていない子どもと差がつくのは仕方のないことですが、区立小学校ですし“塾に行っていない子”を基準に学ばせてほしいです。夏のプールの授業でも、プールの授業時間は少なく、泳ぎ方を学ぶという機会もあまりないようですが記録会などもあり、泳げるのは、皆スイミングスクールに行っている子どもたちのような気がします。(8歳・母親)
- ・ 現在小学校3年生ですが、学校での授業内容、教材の多さに、疑問を感じます。カリキュラムが詰め込み過ぎて、子どもの心に余裕がなく、伸び伸びと育ちにくく思います。(8歳・母親)
- ・ 公立小学校に通っていますが、保育園と比べ親が平日に小学校に行ける前提で行事や、会、イベントがスケジュールされていることに疑問と不安を感じます。(6歳・母親)
- ・ 学校給食でアレルギー対応が今年度から厳しくなり、以前は選択して食べれたものが食べられなくなり、除去食対応が難しい場合は代替食を持参とのことで、持参回数が増えました。学校だけで対応しきれないのかと思いますが、除去しやすいメニューについての研修や研究指導など世田谷区として対応してほしいです。(7歳・母親)
- ・ ここ数年で小学校(東深沢)の児童数が急激に増えています。教室が足りなくなりつつあり、校庭もトイレも過密な状態です。昨冬はインフルエンザの学級閉鎖も多かったです。給食調理もスペースが足りているのか大変心配しています。どうか一刻も早いご対応をお願いいたします。(8歳・母親)
- ・ 小学校の荷物が重いので、改善してほしい。(6歳・母親)

子どもの安全確保(62件)

- ・ 見回りをしていただきありがたい。だが、やはり心配は多いので、街灯を明るくしてもらったり通学路の防犯をしっかりとしてほしい。(8歳・母親)

- ・ 子どもたちの安全を守るための学校や通学路などの整備を充実していただき、安心して子育てが出来る環境に力を入れてほしいです。(8歳・母親)
- ・ 家が増えすぎていて、細い道も、抜け道にされ車が、早いスピードで走ります。公園に行かせたくとも、そこに行くまでの道が危険な気がして、いつも登下校も含め一人で歩かせるのは不安です。(7歳・母親)
- ・ 子育てでは自転車を使う機会が多かったと思いますが、自転車置き場がとても少なく困りました。また、自転車のタイヤの太さによっては駐輪場にもとめられず困りました。(9歳・母親)
- ・ 小学校への通学路での歩きたばこ、喫煙行為をいまだによく見かけます。10月1日に「世田谷区たばこルール」が施行された後も、状況は変わりません。子どもたちの健康のために、このような行為をやめさせる実効性のある対策を区には実施していただきたいです。区の予算を使っても構わないと思います。(6歳・母親)
- ・ 歩道と車道がちゃんと分かれていない道が多く、子どもが車の近くを歩く事が多いので心配です。信号のない道も多く、危なくて、子ども1人で公園に行かせる気になりません。車の通りの多い道で、子どもがよく通る場所には信号がほしいです。(6歳・母親)
- ・ 現在住んでいる場所は、道幅が狭く交通量もあり、子どもひとりで歩かせるのが怖いです。又、死角も多く、防犯面でもとても心配です。安心して子どもをひとりで歩かせることができる環境が整うとありがたいです。(6歳・母親)

経済的支援や優遇措置のあり方について(49件)

- ・ 収入だけでなく、子どもの数も、さまざまな給付、控除負担軽減に考慮してほしい。(6歳・母親)
- ・ 学校に必要な物を購入の際、他の地域と比べると定価での販売が多い、ブランドが多い等で高い。体着なども指定となるため、安くしてほしい(1着千円以内)例えば、体着(2着) 帽子、ズボン、防災頭巾で1万円を超えました。だいたい背が高くなったりで1年程で買いかえるので考えてほしい。(7歳・母親)
- ・ 教育に関する費用が一番の不安材料です。子ども1人1人に対して親が出来る限りのことをしてあげたい気持ちは同じです。さまざまな助成制度がありますが、多子世帯のことも考慮して世帯年収の上限等を決めていただきたいです。(7歳・母親)
- ・ 子育ての経済的負担が大きい。児童手当での年収制限をなくしてほしい。(9歳・母親)
- ・ 子どもが小さな時はもちろん、高校に行っても、本当に生活が苦しいです。働かないではいられない状況で、皆さん、仕事を始められる方が多く、兄弟姉妹の下の子が小さくても、働きに行っています。働けば家事や育児が、とてもタイトになります。手当などもう少し上の学年でも充実してくれると良いです。(9歳・母親)
- ・ 世帯収入で保育費が高くなるのがおかしいと感じます。不足しているからの金額設定がもしれないけれど、税金を多く払っている人が、高い保育費を払わないと並の保育を受けられないという印象。(6歳・母親)

一時預かりサービスへの要望（37件）

- ・ 働きたくても、幼稚園が長期休みの時の預け先がない。一時保育の施設や、病児保育の施設をもっと作ってほしい。（8歳・母親）
- ・ ファミリーサポートセンターは以前登録し、利用したかったのですが、倍率が高く何度かお断りをされてしまったため、結局利用出来ずに終わりました。（6歳・母親）
- ・ 共働き家庭が子育て支援を受けやすいシステムがあると良いなと思います。ファミリーサポートは手続等に時間を要するのですぐに利用できず断念したことがあります。（7歳・母親）
- ・ ファミリーサポートの登録を子どもが小さな時からしているが、定期的に援助が必要というわけではなく急遽お願いしたい時が多いので、なかなか利用できずにいます。母子共に体調を崩した時等、利用できる仕組みが（ファミリーサポート以外にも）あったら嬉しいと思います。（8歳・母親）
- ・ ファミリーサポートや宿泊預かり等、利用したいと思った事があるが、やはりその状況にならないと利用しようと考えられず、予め登録をしていなかった。又、個人的に他人様に気軽に預ける事に怖さもあり、利用にいたらない。保育園のように施設で数人の方がいる場所があると、自分のような人にも安心して利用できると思う。（8歳・母親）

障害のある子ども向けの支援について（33件）

- ・ うちの子どもは4歳～9歳まで、療育を受ける必要があり、事業所を探しながら2ヶ所ほど利用してきた。その中で、「言葉」についての悩みを抱えている時に通所できる場所が極端に少なく、かつ、言語聴覚士も少ないため、就学前に適切な指導を受けられていたという実感は全くない。一方、就学後に通級した「ことばの教室」は素晴しかった。就学前に子どもの言葉について悩んでいる親は実は多い。通所という形態ではなく、単期講座（全3回くらいでも）などで小児科医、保育士、言語聴覚士などの話が聞けたり、アドバイスをもらえたり、親の気持ちを受けとめてくれる場があったらとつくづく思う。（9歳・母親）
- ・ 現在、第一子をことばの教室に通級させてもらっています。とても良い先生なので満足しているのですが、毎週遠いなと思っています。下の子の幼稚園の送りの前に家を出るため、毎週早朝に私の母に家に来てもらい（自転車で30分かかります）下の子をお願いして、私が上の子を電車で通級先へつれて行きます。昔は通級がなかったかもしれないのでありがたいのですが、もっと近くに通級先があると良いなと思います。私の母がいないととてもまわらないと日々感じています。（6歳・母親）
- ・ 2歳～言葉の遅れ等あり、総合福祉センターでお世話になりました。とても親切にしてくださいました。その後、小学校入学時には、普通学級か通級か悩んだ時も、色々と相談にのっていただきました。通級の先生もたまにクラスへ息子の様子を見に行って下さるなど、とても良くしていただきました。今のところ問題なく普通学級に通えています。また何かあったら相談させてください。よろしくお願いします。（8歳・母親）
- ・ 発達障害や学習障害について学校の教職員がもう少し理解や知識を深めていただくか、授業中に声かけしてくれるようなサポート要員の方を増やしてもらえるとありがたいです。（不明・母親）
- ・ 支援級のように、発達障害の子どもだけのクラスがあった方が安心できると感じます。（9

歳・母親)

- ・ 障害児の親にとって、自治体の施策は切実なものがあるが、都にしても区にしても十分であるとは思えない。例えば短期入所の制度はあっても施設に空きがなく、1度も利用できていない。また放課後デイサービスにしても利用日数の枠が厳しくなっていて、少なくとも利用者側からは不便になりつつあると感じている。なお一層の充実を望みたい。(7歳・父親)

子育てと仕事の両立について(30件)

- ・ 共働きへの配慮をお願いします。平日昼間しか時間が設定されていない行事が多いため出席したくても欠席せざるを得ないことがあります。(8歳・父親)
- ・ 子育てと仕事をもっと両立しやすくなると良いと思います。(就業形態、保育などの充実。海外では、女性が週20時間など、自由な働き方が多く、その20時間もホームオフィスや、時間帯の選択肢、男性の柔軟な仕事時間など、生活にゆとりがあると感じました。)(9歳・母親)
- ・ 就労していることで生活は安定するが育児とのバランスがとりにくく、社会全体で子育てしやすい環境が整備されていけばと思います。(6歳・母親)
- ・ 休日保育をする保育園や、小学校低学年をみってくれる場所が増えてくれると祝日休みがない仕事でも子育てと仕事が両立しやすくなると思います。保育園にすごく多いと思いますが、小学校低学年の緊急時や祝日等平日土曜日以外に預けられる所が少なく、小学校に入ってからの方が仕事との両立がしにくいと感じます。近くに頼れる人がいないと尚更です。(6歳・母親)

P T A等の活動について(28件)

- ・ 小学校の役員等の負担が母親に来ていると思います。働く親が増えているのに学校側は昔と変わらずで、会議やイベントを平日のお昼や日中に集中していて、時代のニーズを理解していないと感じます。今後、人口も減って人手不足になるので役員の負担を少し軽くしてほしいと思います。(7歳・母親)
- ・ 仕事をしていると学校のP T A役員ができないのに、必ず1回はやらなくてはいけないという制度がすごくストレスを感じる。(9歳・母親)
- ・ 任意とはいえ、小学校のP T A行事や、係はフルタイマーにとっては中々厳しいと思います。子どものためなのは良くわかりますが、P T Aは希望者のみで行っていただけたらと思うところです。(7歳・母親)

周囲や地域の理解・協力について(28件)

- ・ 私たち子育て世代の親も祖父母世代の方々も、子どもに対するお考えが多岐に渡りすぎていて、おつき合いにストレスを感じる事が多いです。(8歳・母親)
- ・ 電車や保育園のまわりなど、子どもへの理解が少ない人が多いように思える。それぞれの団体が理解を求めるより、区より何らかの働きかけをしてほしい。(6歳・母親)
- ・ 幼稚園・保育園・小学校へ行くことができれば、同年齢の保護者との交流が出てくるが、

それまで全くない孤独な子育てをしている人も多いと思う。特に外国から来た方などそれに当たる方が多いと思うので、子どもの成長のためにも小さな内から子も親も交流できるような場が、さらに増えると良い。あとは近所で声を掛け合えるようなコミュニティを、自分たちで工夫していけると、子育てさらにし易くなると思う。(7歳・母親)

- ・ 地域の方は学校、子どもたちに理解をしめし、積極的に活動してくれていると思います。校外委員をしています。不審者が頻発した際、すぐに警察の方がパトロールをしてくれたり、学校の先生の見まわり、保護者のパトロール等、協力体制もすばらしいと感じました。一方で、個人情報保護の面から住所を記載しない等、活動しづらくなる面もあります。子どもがいることで近所づきあいがとても増え、まわりの方によって育てられてありがたいと感じているのですが、年々つながりが薄くなっていくようで、さみしく思います。(9歳・母親)

子育て支援施策の方向性について(20件)

- ・ ここ数年、子育てする環境が充実してきた感じがします。施設だけではなく、人材も充実させてほしいと思います。(6歳・母親)
- ・ 世田谷区の子育て世代の世帯が増えている中でそれに応えるサービス、環境が追いついていないと日々感じる事が多いです。自身も含めて子育て世帯は深刻に悩んでいるので改善が急務と思っています。(8歳・母親)
- ・ 世田谷は充実していると思いますが、中高生の支援も多くなるといいですね。(8歳・母親)
- ・ 子育ては非常に大変な仕事であると思います。専業主婦が冷遇されやすく、幼稚園・小学校でも「働いていない」を理由に色々なお手伝いがまわってきたりと、大変です。いっそ働いている方が楽なのではないかと思うときもあります。全てのお母さんが笑顔になれる一瞬をつくっていただけるような行政のアクションを期待します。(7歳・母親)

児童館について(20件)

- ・ 児童館はたくさんあるのですが、小学校に入って、子ども1人で通う近さにはなく、近所に児童館があると友達と行けたりしてすごくいいなと思います。(7歳・母親)
- ・ 児童館を毎日のように利用させていただいております。世田谷区の児童館職員の方は、子どもの遊び相手や、話し相手になってくださいますし、さまざまな企画もされていて、参加費もお安く本当に助かっております。年齢の違う子どもたちとの交流もできるので、学校とは違った人間関係を築くこともでき、とてもよい経験をさせていただいております。(9歳・母親)
- ・ 児童館や図書館が月曜日に休館であることが残念です。学校行事などでの振替休日は、基本的に月曜日ですので、別の曜日に休館にさせていただけるとありがたいと思います。(6歳・母親)
- ・ 児童館について。太子堂、若林近辺には児童館が無く、子どもたちの遊び場が少なく遊ぶ環境がもう少しほしい。(6歳・母親)
- ・ 小さな児童館は点在していますが、未就学児が遊べる広い施設が近くに無く、物足りなさを感じます。(8歳・母親)

感謝・満足（20件）

- ・ 大きな公園や図書館も沢山あり、とても住み心地が良いです。（7歳・母親）
- ・ 東京に住みながら、沢山の自然に囲まれていて、わざわざ虫や動物をどこかへ見に行く必要がないくらい子どもには恵まれた環境だと思う。地域の活動やつながりもさかんで、自分は都外から来たが、とても気に入っている。（6歳・母親）
- ・ 色々な支援が整っていると思います。区の方や学童クラブの方が良くしてくださっていると感じています。（7歳・母親）
- ・ 第1子は小学4年になり、だいぶ育てるのが楽になりました。幼稚園入園前は、おでかけひろばや児童館の子育てひろばなどで大変お世話になり、とても親切にいただき、あまり悩みも深くなく過ごしておりました。世田谷区は私自身（母親）小学校時代から住んでおり、昔から子育てしやすい、暮らしやすい区だと自負しております。感謝しております。（9歳・母親）

子ども向けのイベント、教室の充実に対する要望（19件）

- ・ 子ども向けのイベントを行う開催場所が烏山地域からだといことがありますが。給田地域にも、出張図書館等ありますとありがたいと思います。（9歳・母親）
- ・ もっと子どもの参加できる企画、講座の人数を増やしてほしい。又は、回数をふやしてほしい。（7歳・母親）
- ・ 小学生未満の子どもをもつ親への講座は沢山あるけれど、小学生以上の親への講座が少ないのが残念です。（9歳・母親）

医療について（17件）

- ・ 中学までの医療費の無償本当に助かっております。世田谷区にこれからも住み続けたいと思っています。（7歳・母親）
- ・ 今でも少しはありますが、仕事をしていると子どもを小児科につれて行く時間がとりづらいため、夜間（夕方～20:00くらいまででも）診てくれる小児科・歯科がお当番制でもあったと助かります。（9歳・母親）
- ・ 医療費補助に眼鏡作成も考慮していただけたら嬉しいです。眼科での検査は無料ですが、眼鏡を医療用具として補助金を出すなどあれば助かります。（8歳・母親）
- ・ 医療費を18才まで補助していただけると助かります。（7歳・母親）

広報、PRをもっと積極的にしてほしい（17件）

- ・ 自分は子育ての支援を受けられていると思いますが知らない制度もあり、もっと情報をわかりやすく伝えてもらい、忙しい中でも手軽で簡単に利用できるようなシステムにしてほしいです。（6歳・母親）
- ・ 公立小学校は保護者の協力・相応の負担を前提に運営されていると感じることが多く、夫婦共にフルタイムで働いていると対応に困ることが多い。紙の書類がやたら多いのも管理に時間をとられるので電子化してほしい。（9歳・母親）
- ・ 私立小学校に通っていると、地域の子どもイベント等に参加する機会も情報も少なく疎外

感を感じる時があります。SNSなどもっと情報をオープンにしていただけると良いと思いました。(9歳・母親)

図書館について(17件)

- ・ 二子玉川は子育てにとっても便利な町だと思いますが子どもは本が大好きなので、図書館が歩ける場所にあればよいと思います。(図書カウンターはよく利用しています)(8歳・母親)
- ・ 図書館も数はあるのですが、その資料のラインナップなど地域の子どもたちに合ったものが提供されているのか、疑問に思う時もあります。イベントだけでなく、蔵書の品ぞろえなど基礎的なところの充実を希望します。(6歳・母親)
- ・ もっと本と触れ合える機会がほしいと思っているが、図書館が気軽に行ける距離になく、少し残念。移動図書館のようなものがあれば、子どもがもっと本に親しみをもてるのではと思います。(6歳・母親)

相談について(13件)

- ・ 問23を読んで、さまざまな相談窓口があることを知りました。どれも似たような名称と内容のようでもぎらわしく、いざ相談したいと思う時に混乱しそうです。窓口を1本化して、その下に各担当窓口を置くなどして、相談者が迷わずにアクセスできるようになっているとより活用されるのではと思いました。(9歳・母親)
- ・ 世田谷区は子育て家庭にとっても優しくありがたいです。インターネットを使った支援サービスへの登録や相談窓口があったらもっと相談しやすいです。日中は仕事のため、電話をかけるのが難しいです。(8歳・母親)
- ・ 発達、発育のことで悩んだ際、すぐに相談できるところがほしい。世田谷区は広く、相談できる機関が遠いところもあり気軽に利用できないため、さまざまな場所にあると良いと思いました。(7歳・母親)

習い事・自習スペースについて(13件)

- ・ 子どもを習い事に通わせたいが、金銭面での負担が大きいと感じています。もしも、世田谷区主催で、ワンコイン位(¥500~)で好きな時に1回のレッスンが受けられるような所があると気軽にできて良いと思います。(プールや体操、お習字等)(8歳・母親)
- ・ 地域での習い事を、世田谷区で割安で提供してほしい。人が多すぎて、抽選になり、出来ない場合も多い。(8歳・母親)
- ・ 子ども(小学生以上)が勉強できる自習室をつくってほしい。家だと乳幼児の兄弟がいて、落ち着いて勉強するのが難しいです。特に、夏休みなどの長期休暇の時など。(8歳・母親)

病児・病後児保育について(10件)

- ・ 子どもが病気の時、私が病気の時、もう少し利用しやすい保育の充実があればいいと思います。急な事なので、その「急」に対応してもらえるとありがたいです。(6歳・母親)

- ・ 病児保育を利用しようと考えたことがあったが、民間より手間がかかり、使えなかった。(8 歳・母親)
- ・ 保育園時代は病児保育、病後児保育があったが小学生で使用できる病児施設がないのが困る。(7 歳・母親)

子どもや親同士の交流について(10件)

- ・ 保育園から小学校にあがる時が、毎日子どもの様子などを先生から聞けたり相談できた状況から変わってしまうので、不安がありました。そこに支援があるとありがたいと思います。小・中学生では友人・知人のアドバイスが参考になり相談もできて、そういった関係を築けていて良かったなと思いますが、親としてそういった友人がいない時にかんたんに相談できる、学校・教育委員会役所以外のゆるい場もあると良いと思います。(9 歳・母親)
- ・ 私自身が子どもだったころに比べ、地域の交流が限られているので、家族間・世代間の交流が深まるしかけのようなものを行政でつくってほしいと思います。(8 歳・母親)
- ・ 小学校も幼稚園も私立に通っているのに、学童や放課後児童館にも行っていないので地域の子どもの友人がいない。(9 歳・母親)

アンケートについて(8件)

- ・ このアンケート結果が開示されると良いですね。また結果をどう生かしたか、生かすのが難しかったかがわかると良いです。(6 歳・母親)
- ・ このような無作為のアンケートはニーズ把握にとっても良いと思う。(6 歳・母親)
- ・ 無記名にしないで実態を把握するために、定量調査ではなく、定性調査をしてください。(6 歳・母親)

産前・産後について(8件)

- ・ 子育てに関するさまざまなサービスがあることは知っていましたが、私の性格的に積極的に外に出ていくタイプではなかったので、産後に保健師さん(もしくは助産師さん)が家に来て話をしてくださった訪問サービスはありがたかったのを覚えています。(8 歳・母親)
- ・ 第1子の時は、周りに相談したり手助けをしてくれる人がいなくて、とても困った。行政サービスもある事は知っていたが、自分から積極的にそのサービスを受けるのがためらわれて、利用しなかった。しかし、世田谷区で産後の訪問サービスがあり、よかった。産前、産後は、心身共に大変で、自分から動く事は難しいので、行政からアプローチしてくれると助かる。(9 歳・母親)
- ・ ベビーシッターなど利用したいと思うが金額が高くて利用できない。(7 歳・母親)

一人親世帯の支援について(7件)

- ・ 母子家庭で子どもを育てており、援助もいただいておりますが、多々ある学用品、特に学校指定の「水着」や「絵の具セット」や「習字セット」等、必要経費が多く緊急の出費に頭

を痛めることが多いのが現状です。子どもが「うちは父親がいなくて貧しいから買えないんだ」と思うことなく過ごせるような配慮をいただきたいと切望いたします。(7歳・母親)

- ・ シングルマザーです。フルタイムで仕事をしていますが、子どもが第一優先なので望む仕事になかなかできません。土日や18時以降の仕事ができないのが悩みです。両親がいれば、助け合えるのですが、預けるところがありません。(8歳・母親)
- ・ ひとり親に対して所得制限をなくしてほしい。(7歳・母親)

地域差について(3件)

- ・ 区内でもエリアによって、子育てのしやすさは異なるのかなと思う。例えばこども食堂などもっと近所にあったら利用しやすいと思う。(6歳・母親)
- ・ 世田谷区は広いので、仕方無いとは思いますが地域によって施設や児童への取り組み方にバラつきがあるように思え残念です。(9歳・母親)
- ・ 地域によって、利用できる施設やサービスが違う。(7歳・母親)

その他(20件)

- ・ 我が家は子どもが4人と、多い方だと思うので、物理的に大変なことは、たくさんの方の手をかりてここまで来ました。下の子(三つ子)が4年生になり、直接的に手を出すことも減り、できることは各自自分でこなせるようになったので、今困ってる人がいるのなら、自分の経験で助けになることをできたらいいなと思っています。(9歳・母親)
- ・ 区の施設の飲食店には、アレルギー表を置いてほしい。(7歳・母親)
- ・ 子どもの活動範囲(エリア)が多くなるにつれ、自分の時とは様子(安全面、地域社会)が異なるため、行動の自由度や、テクノロジー(携帯電話)の使用、貴重品の管理が課題となっています。各家庭での状況や判断基準もさまざまなので、アドバイスも適用しにくさを感じておりその選択について親としての責任を感じる。(6歳・母親)
- ・ 転勤族のため、引っ越し直後は本当に孤立してしまう。そういった家族のサポートはとても必要だと感じた。前回住んでいた所は田舎だったので、そういった人達が住むところは集中しており、互いに助け合っていたが東京都は色んな人の出入りも多く、良くも悪くも自由で無感心な感じがする。田舎もしがらみが多く大変だったが、しがらみで救われた所もあり難しい問題だと思った。(7歳・母親)
- ・ 設備やサービスが充実していてとてもありがたいです。比較的裕福な方が多く進学率の高さや教育その他子育てにかかるお金が多く、周りに合わせようとしてしまうと経済的にも精神的にもストレスがかかります。進学以外の豊かなキャリア形成の提案や選択肢があるといいなと思います。(7歳・母親)
- ・ 子育ては、何が正解かわからず、いつも迷いながら決めています。不安も多いです。自分1人の時間がとれない日が続いたり、疲れていると、子どもに対して余裕のない対応をしてしまいます。すごく反省です。もっと大らかに、肩の力を抜いて子育てできることが理想です。(7歳・母親)

資料編 アンケート調査票及び集計結果

「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査
(就学前児童保護者調査)

ご記入にあたってのお願い

1. 調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。
3. ご記入は、黒のボールペンや鉛筆でお願いします。
4. 該当する質問には、**すべて**お答えください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
6. この調査票は、ご記入のうえ10月17日(水)までに、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします(差出人名は無記名で結構です)。

お問合せ先

世田谷区子ども・若者部子ども育成推進課 計画担当

世田谷区世田谷 4 - 21 - 27

電話：03 - 5432 - 2528

FAX：03 - 5432 - 3016

問1 あて名のお子さんの生年月をお伺いします。 (N=3,123)

平成 年 月 生まれ 平均 2.5 歳

問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合、末子の生年月をご記入下さい。 (N=3,123)

お子さんの人数 人 末子の生年月 平成 年 月 生まれ
平均 1.8 人 末子平均 2.0 歳

問3 あなたは現在どちらにお住まいですか。町丁目でお答えください。
(記入例：池尻1丁目、北沢2丁目、駒沢3丁目など) (N=3,123)

丁目

問4 あて名のお子さんの父、母、祖父母の同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてにをつけてください。 (N=3,123)

1. 父母同居	91.0%	6. 祖父母同居	5.5%
2. 父同居(ひとり親家庭)	0.1%	7. 祖父母近居	22.0%
3. 母同居(ひとり親家庭)	1.4%	8. その他	2.8%
4. 父同居(母の単身赴任)	0.0%	[具体的に:]	
5. 母同居(父の単身赴任)	2.0%	無回答	2.3%

問5 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。あてはまる答えの番号1つにをつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。 (N=3,123)

1. もっぱら母親が行う	35.1%	5. もっぱら父親が行う	0.1%
2. 主に母親が行うが父親も行う	50.3%	6. その他[具体的に:]	0.7%
3. 母親も父親も同じように行う	12.9%	無回答	0.5%
4. 主に父親が行うが母親も行う	0.4%		

問6 日常的あるいは緊急時等に、お子さんをみてもらえる親族、友人・知人はいますか。それぞれについて、あてはまる答えの番号すべてにをつけてください。 (N=3,123)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	16.7%
2. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	2.7%
3. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	57.7%
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	20.8%
5. いずれもない	20.3%
無回答	0.3%

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号1つにをつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

（1）父親の就労状況はいかがですか 【母子家庭の場合は記載不要】 (n=3,078)

1. フルタイム（週5日、1日8時間程度の就労）で仕事をしている （産休・育休・介護休業中は含まない） 1週あたり〔 〕時間 平均 49.4 時間 平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ 平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ	24 時間表記でお書きください。 自宅で仕事をされている方は仕事の開始時間と終了時間をご記入ください。	97.3%										
2. フルタイムで仕事をしているが、現在産休・育休・介護休業中である		0.2%										
3. フルタイム以外（パートタイム等）で仕事をしている 1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 平均 4.4 日、6.8 時間 1日あたりの往復通勤時間はどのくらいですか 〔 〕時間〔 〕分間程度 自宅で仕事をされている方は0時間0分と記入ください。 平均 62.1 分 フルタイムへの転職希望はありますか。あてはまる番号1つにをつけてください。(n=34)		1.1%										
<table border="1"> <tr> <td>1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>3. フルタイム以外での就労を続けることを希望</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>41.2%</td> </tr> </table>			1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	2.9%	2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	11.8%	3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	41.2%	4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.9%	無回答	41.2%
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	2.9%											
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	11.8%											
3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	41.2%											
4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.9%											
無回答	41.2%											
4. 以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない		0.8%										
5. これまでに仕事をしたことがない 無回答		0.0% 0.6%										

（2）母親の就労状況はいかがですか 【父子家庭の場合は記載不要】 (n=3,120)

1. フルタイム（週5日、1日8時間程度の就労）で仕事をしている （産休・育休・介護休業中は含まない） 1週あたり〔 〕時間 平均 39.8 時間 平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ 平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ	24 時間表記でお書きください。 自宅で仕事をされている方は仕事の開始時間と終了時間をご記入ください。	37.1%										
2. フルタイムで仕事をしているが、現在産休・育休・介護休業中である		9.8%										
3. フルタイム以外（パートタイム等）で仕事をしている 1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 平均 3.5 日、5.2 時間 1日あたりの往復通勤時間はどのくらいですか 〔 〕時間〔 〕分間程度 自宅で仕事をされている方は0時間0分と記入ください。 平均 44.0 分 フルタイムへの転職希望はありますか。あてはまる番号1つにをつけてください。(n=451)		14.5%										
<table border="1"> <tr> <td>1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない</td> <td>26.2%</td> </tr> <tr> <td>3. フルタイム以外での就労を続けることを希望</td> <td>45.6%</td> </tr> <tr> <td>4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>16.9%</td> </tr> </table>			1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	9.1%	2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	26.2%	3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	45.6%	4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.2%	無回答	16.9%
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	9.1%											
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	26.2%											
3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	45.6%											
4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.2%											
無回答	16.9%											
4. 以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない		36.4%										
5. これまでに仕事をしたことがない 無回答		1.1% 1.1%										

問7-1 問7-1以降は子育て中の母親の就労についてお伺いします。(父子家庭の場合は記載不要です)問7(2)母親の就労状況で「4.以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない」、「5.これまでに仕事をしたことがない」を選ばれた方にお伺いします。今後の就労希望はありますか。あてはまる番号1つに をつけ、該当する 内に数字をご記入ください。(n=1,168)

問7-2、 問7-3へ	1. 就労の予定はない 問8へ	23.2%
	2. 1年より先、一番小さい子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	54.7%
	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	19.4%
	希望する就労形態 (n=227)	
	ア.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) 13.7%	
イ.パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	65.6%	
1週当たり <input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	平均 3.3 日、5.0 時間	
無回答	20.7%	
無回答	2.7%	

問7-2 問7-1で「2」、「3」を選ばれた方にお伺いします。今後就労を希望する理由について、あてはまる番号すべてに をつけてください。(n=865)

1. 経済的に苦しいから	26.9%	7. 自分の時間がほしいから	20.2%
2. ゆとりのある生活を望むから	58.8%	8. 子どもの手が離れるなど、時間に余裕ができるため	49.0%
3. 経済的に自立していたいから	30.4%	9. その他	3.9%
4. 自己実現のため	22.1%	[具体的に:]	
5. 社会との関わりを継続したいから	49.6%	無回答	1.2%
6. 子どもから少し離れたいから	9.9%		

問7-3 問7-1で「2」、「3」を選ばれた方にお伺いします。就労希望があっても、現在働いていない理由について、もっとも近い答えの番号1つに をつけてください。(n=865)

1. 子どもが小さい間は、働かずにいたい	41.3%
2. 希望する教育・保育事業 が利用できない	13.5%
3. 勤務時間や勤務地等子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない	19.5%
4. 自分の知識、経験を活かすことができるような希望に合う仕事がない	0.2%
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	1.8%
6. ボランティア、PTAなどの活動に力を入れたいから	0.1%
7. その他[具体的に:]	8.1%
無回答	15.5%

この調査において「教育・保育事業」とは、保育園、幼稚園、認定こども園等月単位で定期的に受けている事業としています。以下の設問も同様の定義です。事業の説明については、問11を参照してください。

問8 封筒のあて名のお子さんの出産の1年前から出産の1年後までの間に、母親の方は仕事をやめましたか。あてはまる答えの番号1つに をつけてください。(父子家庭の場合は記載不要です) (n=3,120)

1. 仕事をやめた 問8-1へ	19.2%
2. 仕事をやめていない(育休、転職も含む)	42.6%
3. 出産1年前にすでに働いていなかった	25.1%
無回答	13.1%

問8-1 問8で「1.仕事をやめた」を選ばれた方にお伺いします。仕事をやめた理由について、あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。(n=600)

1. 希望していた教育・保育事業が利用できなかったから	11.5%
2. 希望する教育・保育事業が確実に利用できる見込みがなかったから	17.8%
3. 利用できる教育・保育事業の保育時間が勤務時間に合わなかったから	7.8%
4. 自分の体力が持たなかったから	22.0%
5. 職場に、妊娠や出産をした人は離職するという雰囲気がある等両立を支援する雰囲気がなかったから	16.7%
6. 子どもの病気等で度々休まざるを得なかったから	4.0%
7. つわりや産後の不調等体調が思わしくなかったから	20.0%
8. 育児休業を取れそうになかったから	12.3%
9. 育児休業の制度がなかったから	18.8%
10. 短時間勤務、フレックス勤務、在宅勤務等希望する働き方を選択できなかったから	11.0%
11. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから	12.2%
12. 配偶者等家族の理解が得られなかったから	3.5%
13. 妊娠・出産を機にやめるつもりでいたから	23.8%
14. その他〔具体的に： 〕	17.7%
無回答	1.5%

問9 あて名のお子さんについて、父母のいずれかもしくは双方が育児休業制度を利用されましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる答えの番号1つに をつけてください。また、4を選ばれた方はあてはまる理由すべてを数字でご記入ください。

母親(1つに)【父子家庭の場合は記載不要】(n=3,120)	父親(1つに)【母子家庭の場合は記載不要】(n=3,078)
1. 働いていなかった 問10へ 35.6%	1. 働いていなかった 1.3%
2. 取得した(取得中である) 問9-1へ 47.6%	2. 取得した(取得中である) 7.9%
3. 取得するつもりはなかった 問10へ 5.4%	取得期間 <input type="text"/> 日間 平均 32.2日
4. 取得したかったができなかった 問10へ 8.0%	3. 取得するつもりはなかった 67.0%
取得していない理由 (下からあてはまるものすべて選んでご記入ください)	4. 取得したかったができなかった 15.3%
無回答 3.4%	取得していない理由 (下からあてはまるものすべて選んでご記入ください)
	無回答 8.5%

母親 (n=250)	父親 (n=472)	母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		16.0%	46.2%
2. 仕事が忙しかった		14.4%	55.9%
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった		6.0%	0.2%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった		12.0%	9.7%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった		1.6%	21.8%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる		12.0%	32.4%
7. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則の定めがなかった) (自営業主、家族従業者含む)		52.0%	30.3%
8. 雇用形態等のため、育児休業の取得要件を満たさなかった		26.8%	4.2%
9. その他〔具体的に： 〕		18.0%	14.6%
無回答		1.6%	1.1%

問9-1 問9で母親が「2.取得した(取得中である)」と回答した方にお伺いします。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに をつけてください。
 (n=1,482)

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	問9-3 ~ 9-5 へ	77.8%
2. 現在も育児休業中である	問9-2 へ	15.8%
3. 育児休業中に離職した	問9-5 へ	5.9%
無回答		0.5%

問9-2 問9-1で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。希望する時期に必ずお子さんを預けられる事業があった場合、あて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得しますか。おつとめ先の育児休業制度の期間内で、枠内に数字でご記入ください。
 (n=234)

		歳			ヶ月	問9-5へ
--	--	---	--	--	----	-------

問9-3 問9-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度始めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに をつけてください。
 (n=1,152)

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	74.0%	無回答	1.3%
2. それ以外だった	24.7%		

問9-4 問9-1で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。希望についてはおつとめ先の育児休業制度の期間内で枠内に数字でご記入ください。
 (n=1,152)

		歳			ヶ月			歳			ヶ月
実際						希望					

問9-5 問9で「2.取得した(取得中である)」と回答した方にお伺いします。おつとめ先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月の時まで取りたいまたは取りたかったですか。現在の制度では、教育・保育事業の入園待機通知書をもった方に限って、育児休業を延長して育児休業給付金を最長2年までもらうことができますが、今回は、教育・保育事業の入園待機を条件とせずに育児休業給付金を受け取ることができると仮定してお答えください。
 (n=1,482)

【育児休業給付金が2年まで出る場合】

【育児休業給付金が3年まで出る場合】

		歳			ヶ月			歳			ヶ月
--	--	---	--	--	----	--	--	---	--	--	----

問 10 すべての方にお伺いします。あて名のお子さんについて、父母のいずれかもしくは双方が短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる答えの番号1つにをつけてください。また、利用していない方はあてはまる理由すべてを数字でご記入ください。

母親(1つに)【父子家庭の場合は記載不要】(n=3,120)		父親(1つに)【母子家庭の場合は記載不要】(n=3,078)	
1. 利用した・利用している 1週あたり <input type="text"/> 時間勤務	28.7% 平均 31.6 時間	1. 利用した・利用している 1週あたり <input type="text"/> 時間勤務	0.6% 平均 31.8 時間
2. 利用するつもり	5.4%	2. 利用するつもり	1.7%
3. 利用していない	57.7%	3. 利用していない	91.5%
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 利用していない理由 (下からあてはまるものすべてを選んでください) </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 利用していない理由 (下からあてはまるものすべてを選んでください) </div>	
無回答	8.2%	無回答	6.2%
母親 (n=1,801)	父親 (n=2,816)	母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度がなかったため		16.8%	17.0%
2. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため		9.8%	19.2%
3. 短時間勤務にすると給与が減額されるため		11.2%	16.8%
4. 短時間勤務にすると昇給・昇格などが遅れそうのため		5.2%	12.4%
5. 制度があることを知らなかったため		5.3%	5.1%
6. 特に利用する必要がなかったため		34.1%	37.7%
7. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため		0.8%	20.2%
8. その他〔具体的に: _____〕		30.0%	9.7%
無回答		7.4%	7.1%

問 10-1 問 10 で母親または父親について「1. 利用した・利用している」、「2. 利用するつもり」と回答した方にお伺いします。

あて名のお子さんが何歳のときまで短時間勤務制度を利用した、または、利用するつもりですか。それぞれあてまる数字を枠内にご記入ください。

母親(n=1,063)	父親(n=70)
<input type="text"/> 歳まで 平均 5.1 歳	<input type="text"/> 歳まで 平均 3.1 歳

問 11 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの教育・保育事業として「日常的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに最も希望する事業を【A 群：希望する教育・保育事業】から選んで第 1 希望の枠内に番号を記入してください。（現在のお子さんの年齢以降、5 歳までについてお答えください。）複数希望する事業がある方は、第 2 希望以降の枠内に記入してください。（順位付けする必要はありません。）

また、その事業を希望する上で重視する条件について、あてはまる条件を【B 群：事業を希望する上で重視する条件】から 3 つまで 選んで枠内に番号を記入してください。

国が平成 31 年（2019 年）10 月からの開始を目指している 3 歳から 5 歳までのすべての子ども（住民税非課税世帯の 0 歳から 2 歳児を含む）を対象とした「幼児教育・保育の無償化」に関する説明が、同封の依頼文の裏面にあります。そちらを踏まえて質問にご回答ください。

	A 群：第 1 希望	A 群：第 2 希望以降 (ある方のみ)	B 群：重視する条件 (3 つまで)
0 歳			
1 歳			
2 歳			
3 歳			
4 歳			
5 歳			

別表参照

【A群：希望する教育・保育事業】

<p>1. 区立、私立保育所 <認可保育施設> 就労等の理由で保護者が保育できない場合に、0歳から就学前の児童を、夕方あるいは夜まで保育する施設。</p>	<p>9. 認定こども園（教育標準時間認定枠） 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園で、3歳から就学前の児童が幼稚園の時間帯に幼児教育を受ける枠。</p>
<p>2. 家庭的保育事業 <認可保育事業> 家庭的な雰囲気のもと、運営事業者が借り上げたアパート等で、区が認定した家庭的保育事業者が少人数（定員5人以下）の0歳から3歳未満の児童を対象にきめ細やかな保育を行う事業。</p>	<p>10. 認定こども園（保育認定枠） 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園で、就労等の理由で保護者が保育できない0歳から就学前の児童が、保育所の時間帯で保育・幼児教育を受ける枠。</p>
<p>3. 小規模保育事業 <認可保育事業> 少人数（6～19人）の0歳から3歳未満の児童を対象に、家庭的保育に近い雰囲気のもと、保育士や区が認定した家庭的保育者等がきめ細やかな保育を行う事業。</p>	<p>11. 区立幼稚園（通常の教育時間） 保護者の就労等の有無や形態にかかわらず、4歳から就学前の児童に対し、概ね14時ごろまで幼児教育を行う施設。</p>
<p>4. 事業所内保育事業 <認可保育事業> 会社等の事業所が設置する保育施設。従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育する事業</p>	<p>12. 区立幼稚園（通常の教育時間+日常的な預かり保育） 通常の教育時間終了後に、在籍する園において午後4時30分まで預かり保育を行う区立幼稚園。</p>
<p>5. 認証保育所 就労またはその他の理由で保護者が保育できない場合に、0歳から就学前の児童を、夕方あるいは夜まで保育する東京都が認証した認可外保育施設。</p>	<p>13. 私立幼稚園（通常の教育時間） 保護者の就労等の有無にかかわらず、概ね3歳から就学前の児童に対し、概ね14時ごろまで幼児教育を行う施設。</p>
<p>6. 保育室 就労等の理由で保護者が保育できない場合に、0歳から3歳未満の児童を、夕方あるいは夜まで小規模な環境の小集団で保育する認可外保育施設。</p>	<p>14. 私立幼稚園（通常の教育時間+日常的な預かり保育） 通常の教育時間終了後に、在籍する園において夕方まで預かり保育を行う私立幼稚園。</p>
<p>7. 保育ママ 就労等の理由で保護者が保育できない場合に、0歳から3歳未満の児童を、夕方あるいは夜まで保育ママの自宅の家庭的な環境の中で保育する。</p>	<p>15. ベビーシッター</p>
<p>8. 企業主導型保育事業 認可外保育施設であり、企業が主に従業員用に設ける保育施設。複数の企業での共同設置、他企業や地域の子どもの受け入れも可能。</p>	<p>16. 保護者が子どもを見られるため、教育・保育事業の利用を希望しない</p> <p>17. 就労はしているが、在宅勤務や子連れ出勤をしているため、教育・保育事業の利用を希望しない</p> <p>18. その他（具体的に： _____）</p>

【B群：事業を希望する上で重視する条件】（重視する条件を3つまでお選びください）

<p>1. 教育・保育の内容や方針が希望に合う</p> <p>2. 教員・保育者の質が高い</p> <p>3. 施設や設備が充実している</p> <p>4. 園庭が有る</p> <p>5. 保育時間が利用希望に合う</p> <p>6. 認可されている施設である</p>	<p>7. 保育料が適正である</p> <p>8. 親の負担の程度が軽い</p> <p>9. 親が運営・行事などに関わる機会が多い</p> <p>10. 自宅からの距離が近い</p> <p>11. 利用する駅や職場からの距離が近い</p> <p>12. その他〔具体的に： _____〕</p>
--	---

問 11-1 問 11 の A 群で「12. 区立幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）」または「14. 私立幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）」を選ばれた方にお伺いします。

平日について、利用を希望する時間帯を数字でご記入ください。土曜日、夏休み等の長期休暇中については、あてはまる番号 1 つに をつけて、利用希望がある方は、利用を希望する時間帯（夏休み等の長期休暇中については週何日くらいかも）を数字でご記入ください。時間は 9 時 0 0 分～18 時 0 0 分（例）のように、24 時間表記でご記入ください。

平日 (n=1,260)	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 無回答	6.9%
土曜日 (n=1,260)	1. 利用希望あり <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	21.7%
	2. 利用希望なし 無回答	70.1% 8.2%
夏休み等の長期休暇中 (n=1,260)	1. 利用希望あり <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 週 <input type="text"/> 日くらい 平均 3.9 日	73.6%
	2. 利用希望なし 無回答	18.9% 7.5%

問 12 あて名のお子さんの現在の教育・保育事業の定期的な利用の有無についてお伺いします。日頃、月単位で定期的に教育・保育事業を利用されていますか。あてはまる番号 1 つに をつけてください。(N=3,123)

1. 利用している	問12-1～12-6へ	71.9%
2. 利用していない	問13へ	26.2%
無回答		1.9%

問 12-1 問 12 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。あて名のお子さんは、現在、どのような教育・保育事業を利用していますか。次の中から、利用されている主なもの 1 つに をつけてください。

事業の説明については、問 11 をご参照ください。(n=2,244)

1. 区立、私立保育所 <認可保育施設>	50.3%	11. 区立幼稚園（通常の教育時間）	1.6%
2. 家庭的保育事業 <認可保育事業>	0.3%	12. 区立幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）	0.7%
3. 小規模保育事業 <認可保育事業>	1.0%	13. 私立幼稚園（通常の教育時間）	19.2%
4. 事業所内保育事業 <認可保育事業>	0.5%	14. 私立幼稚園（通常の教育時間＋日常的な預かり保育）	10.2%
5. 認証保育所	5.6%	15. ベビーシッター	0.2%
6. 保育室	1.1%	16. その他〔具体的に： 〕	4.5%
7. 保育ママ	0.1%	無回答	1.0%
8. 企業主導型保育事業	1.3%		
9. 認定こども園（教育標準時間認定枠）	1.2%		
10. 認定こども園（保育認定枠）	1.2%		

問 12-2 問 12 で「1 . 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

現在、主に利用されている教育・保育事業の実施場所について、あてはまる番号1つに つけてください。 (n=2,244)

1 . 世田谷区内	92.7%	2 . 世田谷区外	7.0%	無回答	0.3%
-----------	-------	-----------	------	-----	------

問 12-3 問 12 で「1 . 利用している」を選ばれた方にお伺いします。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）教育・保育事業（延長保育なども含めます）を利用されていますか。時間は9時00分～18時00分（例）のように、24 時間表記でご記入ください。 (n=2,244)

現在：1 週あたり 日 平均 4.8 日

1 日あたり 時間（ 時 分から 時 分）

平均 7.9 時間

問 12-4 問 12 で「1 . 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問 12 - 3 でお答えいただいた現在の利用時間は、希望通りですか。 (n=2,244)

1 . 希望通りである	問13へ 76.2%	2 . 希望通りではない	問12-5, 12-6へ 23.0%	無回答	0.8%
-------------	------------	--------------	--------------------	-----	------

問 12-5 問 12-4 で「2 . 希望通りではない」を選ばれた方にお伺いします。

1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）教育・保育事業（延長保育なども含めます）を利用したいですか。時間は9時00分～18時00分（例）のように、24 時間表記でご記入ください。 (n=516)

希望：1 週あたり 日 平均 4.8 日

1 日あたり 時間（ 時 分から 時 分）

平均 8.6 時間

20 時以降の利用を希望される方は、あてはまる理由1つに つけてください。 (n=21)

1 . 正規の就業時間と通勤時間を合わせると 20 時を過ぎるから	38.1%
2 . 定期的に夜勤があるから	4.8%
3 . 残業しないと仕事が終わらないから	33.3%
4 . きょうだいのお迎えがあるから	4.8%
5 . 親族の介護や手伝いが必要なため	0.0%
6 . ご自身や親族の通院のため	0.0%
7 . 就業時間後に済ませたい用事があるから	0.0%
8 . 息抜きのため	0.0%
9 . その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	9.5%
無回答	9.5%

問 12-6 問 12-4 で「2. 希望通りではない」を選ばれた方にお伺いします。

現在の利用時間と希望する利用時間が一致しない理由について、もっとも近い答えの番号1つに つけてください。 (n=516)

1. 利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施していない	26.2%
2. 利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施しているが、延長時間が足りない	28.1%
3. 利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施しているが、利用要件を満たさないため利用できない	6.6%
4. 利用している教育・保育施設で、延長保育や預かり保育を実施しているが、定員の都合等で利用できない	5.0%
5. その他〔具体的に： 〕	28.9%
無回答	5.2%

問 13 土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育事業など（一時的な利用は除きます）の定期的な利用希望がありますか。土曜日、日曜・祝日それぞれについて、あてはまる番号1つに つけてください。 教育・保育事業などとは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】 (N=3,123)

1. ほぼ毎週利用したい	} → 利用したい時間帯(24時間表記)をお答えください。 (<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)	7.1%
2. 月に1～2回は利用したい		27.4%
3. 利用希望はない		63.7%
無回答		1.8%

【日曜・祝日】 (N=3,123)

1. ほぼ毎週利用したい	} → 利用したい時間帯(24時間表記)をお答えください。 (<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)	1.9%
2. 月に1～2回は利用したい		17.6%
3. 利用希望はない		77.3%
利用したい理由について、主にあてはまる番号1つに つけてください。(n=609)		
1. 日曜・祝日が正規の就業日として決められているから		12.8%
2. 出勤のローテーションや出張等で日曜・祝日が含まれることがあるから		29.8%
3. 平日に終えられなかった仕事を片付けるため出勤する必要があるから		5.6%
4. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため		15.6%
5. 親族の介護や手伝いが必要なため		1.0%
6. ご自身や親族の通院のため		0.8%
7. 息抜きのため		12.2%
8. その他〔具体的に： 〕		7.9%
無回答		14.3%
無回答		3.2%

問 14 教育・保育事業を利用している保護者の方(問 12 で 1 に つけた方)にお伺いします。
利用していない方は問 15 にお進みください。

この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。 (n=2,244)

1. あった	問15-1へ	78.5%
2. なかった	問16へ	20.9%
無回答		0.6%

問 14-1 問 14 で「1. あった」と答えた方にお伺いします。この 1 年間で通常の教育・保育事業が利用できなかったときに、行った対処方法としてあてはまる番号すべてに
をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください)。 (n=1,762)

		1 年間あたり	
問14-2へ	1. 母親が休んだ	78.3%	平均 8.4 日
	2. 父親が休んだ	36.5%	平均 4.0 日
	3. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	31.2%	平均 6.3 日
	4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.5%	平均 14.9 日
問15へ	5. 就労していない父親または母親がみた	19.8%	平均 9.5 日
	6. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	14.0%	平均 5.4 日
	7. ベビーシッターを利用した	2.7%	平均 7.1 日
	8. ファミリー・サポート・センター事業を利用した(身近な 地域で子育ての相互援助を行う会員制の仕組み。乳幼児から小 学校 6 年生までを対象に、預かりや送迎の援助等を行う。)	1.2%	平均 8.9 日
	9. その他〔具体的に： 〕	2.8%	平均 9.6 日
	無回答	0.2%	

問 14-2 問 14-1 で「1」～「4」を選ばれた方にお伺いします。今後、「病児・病後児の保
育サービスを利用したい」と思われますか。あてはまる番号 1 つに
をつけてください。「1」を選ばれた方は、問 14-1 で回答した実績日数の合計の範囲内で年間
利用希望日数をお答えください。 (n=1,453)

1. 今後、病児・病後児の保育サービスを利用したい	⇒ 年間 <input type="text"/> 日	52.5%
		平均 9.0 日
2. 利用したいとは思わない		40.8%
無回答		6.7%

問 15 この 1 年間で、日中の定期的な教育・保育事業の利用以外に私用（買い物、習い事、スポーツ、美容院など）や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、家族・親族、友人・知人以外の誰かにあて名のお子さんを一時的に預けたことはありましたか。ある場合はあてはまる番号すべてに をつけ、それぞれ 1 年間の利用日数を〔 〕内に数字でご記入ください。（半日程度についても 1 日としてカウントしてください。） (N=3,123)

	1 年間あたり	問 15-2 最も利用したい事業
1. 保育園の一時保育	9.3% 平均 17.4 日	16.7%
2. 幼稚園の預かり保育（不定期利用に限る）	7.4% 平均 19.4 日	9.1%
3. ほっとステイ（子育てステーションやおでかけひろばなどで理由を問わず 0 歳または 1 歳から未就学児までを一時預かる事業）	5.4% 平均 13.2 日	8.9%
4. ファミリー・サポート・センター事業（身近な地域で子育ての相互援助を行う会員制の仕組み。乳幼児から小学校 6 年生までを対象に、預かりや送迎の援助等を行う。）	3.3% 平均 12.6 日	4.7%
5. ベビーシッター（不定期利用に限る）	4.7% 平均 10.4 日	2.8%
6. その他〔具体的に： 〕	5.8% 平均 17.8 日	0.5%
7. 利用していない	67.1%	
無回答	4.1%	57.3%

問 15-1 今後、日中の定期的な教育・保育事業の利用以外に私用（買い物、習い事、スポーツ、美容院など）や冠婚葬祭、病気、就労などの目的で、一時預かり事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号 1 つに をつけてください。 (N=3,123)

1. 利用したい	問 15-2 へ	64.8%
2. 利用する必要はない	問 16 へ	34.1%
無回答		1.1%

問 15-2 問 15-1 で「 1 . 利用したい」を選んだ方にお伺いします。最も利用したい事業を問 15 の選択肢 1 ~ 6 の中から 1 つだけ選んで に番号をご記入ください。また、利用目的について、ア~カのうちあてはまる記号すべてに をつけ、それぞれ 1 年間の希望日数を〔 〕内に数字でご記入ください。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください。) (n=2,023)

【最も利用したい事業 】

	1 年間あたり	
ア . 私用 (買い物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)	59.0%	平均 16.5 日
イ . リフレッシュ目的 (自分の時間の確保、子どもから少し離れたい 等)	51.1%	平均 13.7 日
ウ . 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院 等	43.3%	平均 8.1 日
エ . 不定期の就労	22.0%	平均 32.5 日
オ . 親族の介護や看護	5.7%	平均 27.0 日
カ . その他〔具体的に : 〕	4.9%	平均 23.9 日
無回答	1.8%	

問 16 この 1 年間に、保護者の状況 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気、就労など) により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この 1 年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに をつけ、それぞれの泊数も〔 〕内に数字でご記入ください。 (N=3,123)

1 年間の対処方法		1 年間の泊数	
1 . あった		12.0%	
(n=375)	ア . (同居者を含む) 親族・知人に預けた	66.4%	平均 7.4 泊
	イ . 短期入所生活援助事業* (ショートステイ) を利用した * 児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業	1.3%	平均 6.2 泊
	ウ . イ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	1.3%	平均 3.0 泊
	エ . 仕方なく子どもを同行させた	22.4%	平均 4.3 泊
	オ . 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.0%	-
	カ . 仕方なく予定・用事をあきらめた	31.7%	平均 3.7 泊
	キ . その他〔具体的に : 〕	1.6%	平均 13.6 泊
	無回答	0.0%	
2 . なかった		78.6%	
無回答		9.4%	

【おでかけひろば・子育てひろば】

子育て中の親子が気軽に立ち寄り、交流できる場で、子育て相談や子育て情報の提供を通して、子育てに対する不安の解消や負担感の軽減、地域の子育て支援機能の充実を図る事業です。区では、児童館や子育てステーション、おでかけひろばなどで事業を実施しています。

問 17 あて名のお子さんと一緒に、「おでかけひろば・子育てひろば」を利用したことがありますか。次の中から、あてはまる番号1つに をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。 (N=3,123)

1. 現在利用している 1月あたり〔 〕回	問17-1へ	平均 4.1回	15.9%
2. 現在は利用していないが、利用したことがある	} 問17-2、問17-3へ		49.5%
3. 利用したことがない			33.7%
無回答			0.9%

問 17-1 問 17 で「1. 現在利用している」を選ばれた方にお伺いします。今後、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに をつけ、希望回数を〔 〕内に数字でご記入ください。 (n=498)

1. 利用日数を増やしたい 1月あたり〔 〕回	平均 6.6回	40.4%
2. 利用日数を増やしたいとは思わない	問 18へ	58.6%
無回答		1.0%

問 17-2 問 17 で「2」、「3」を選んだ方にお伺いします。今は利用していないが、今後、利用したいと思いますか。あてはまる番号1つに をつけ、利用する場合の希望回数を〔 〕内に数字でご記入ください。 (n=2,598)

1. 利用したい 1月あたり〔 〕回	平均 2.3回	33.0%
2. 利用したいとは思わない		62.1%
無回答		4.9%

問 17-3 問 17 で「2」、「3」を選んだ方にお伺いします。現在利用していない理由について、あてはまる番号すべてに をつけてください。 (n=2,598)

1. 子どもが教育・保育事業を利用している	50.9%
2. 開催時間や曜日などが自分の都合にあわない	24.9%
3. 忙しくて利用できない	27.3%
4. こうした事業を知らなかった	6.7%
5. 利用方法や利用してもよいのかが分からなかった	5.8%
6. 事業の内容・質に不安・不満がある	3.2%
7. 近所でこうした事業がない	5.7%
8. 他に子育て仲間と集まったり相談したりできる場がある	19.7%
9. 特に必要だと感じない	20.2%
10. その他〔具体的に： 〕	13.3%
無回答	5.7%

問 18 お宅では災害時の対応のために、次のようなことを家族で話し合ったことはありますか。
あてはまる番号すべてに をつけてください。 (N=3,123)

1. 地震が起きたときにすぐとるべき行動	44.8%	6. 家族との連絡の取り方	26.7%
2. 火災が起きたときにすぐとるべき行動	15.9%	7. 家族と連絡が取れないときの行動	19.4%
3. 一次避難場所	36.5%	8. その他〔具体的に： 〕	1.7%
4. 避難ルート	6.9%	9. 話し合ったことはない	25.4%
5. 家族との待ち合わせ場所	41.1%	無回答	1.3%

問 19 災害時などにご家族以外にあて名のお子さんに関して手助けをしてくれる知人・友人は近所にいますか。あてはまる番号1つに をつけてください。 (N=3,123)

1. 近所にいる	48.9%	無回答	1.8%
2. 近所にはいない	49.3%		

問 20 あて名のお子さんのために災害対策として備えているものはありますか。あてはまる番号すべてに をつけてください。 (N=3,123)

1. 離乳食	9.1%	10. 多機能ラジオ	31.4%
2. 粉ミルク、ほ乳瓶	7.9%	11. 簡易トイレ	37.5%
3. 飲料水	69.4%	12. 防災ずきん・ヘルメット	23.0%
4. 紙おむつ	44.8%	13. 薬	22.4%
5. おしりふき・ウェットティッシュ	58.9%	14. 防災くつ	3.4%
6. 懐中電灯・ランタン	68.7%	15. その他〔具体的に： 〕	9.4%
7. 防寒具	32.6%	16. 備えているものはない	8.9%
8. 軍手	36.2%	無回答	1.0%
9. 非常用バッテリー・電池	42.1%		

問 21 妊娠中や出産直後のことについてお伺いします。妊娠中や産後は精神的に安定していましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=3,123)

	とても安定していた	まあ安定していた	やや不安定になった	とても不安定になった	無回答
妊娠前期	24.9%	45.3%	20.2%	8.5%	1.1%
妊娠中期	28.4%	51.0%	14.8%	4.6%	1.2%
妊娠後期	27.9%	45.7%	17.9%	7.4%	1.1%
出産直後	15.1%	31.4%	31.3%	21.2%	1.0%

問 25 子育てについて、心配ごとや悩みごとはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=3,123)

1. 養育費や教育費など経済的な負担	50.8%
2. 子どもの発達・発育	27.3%
3. 子どものしつけや接し方	61.3%
4. 子どもにとって望ましい事業・サービス利用の選択	20.1%
5. 子どもの健康状態	23.1%
6. 自分の健康状態	19.1%
7. 自分（配偶者含む）の親の健康状態	16.4%
8. 育児の負担	29.9%
9. 家事の負担	33.4%
10. 仕事の負担	25.7%
11. 家族の介護の負担	2.9%
12. 保護者同士の間人間関係	11.4%
13. その他〔具体的に： 〕	3.3%
14. 特になし	6.4%
無回答	0.8%

問 26 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=3,123)

1. 配偶者	85.8%
2. その他の家族・親族	64.7%
3. 学生時代の知人・友人	37.4%
4. 職場や仕事上の知人・友人	24.0%
5. 近所の知人、友人	23.9%
6. 子どもを介して知り合った友人	42.6%
7. Facebook・Instagram・ツイッター等を介して知り合った友人	2.4%
8. 民生・児童委員、主任児童委員	0.3%
9. かかりつけ医	20.0%
10. 看護師・助産師	2.2%
11. 保育園や担任保育士	24.5%
12. 幼稚園や担任教諭	13.2%
13. おでかけひろば・子育てひろばのスタッフ	6.2%
14. 地域の子育て支援団体のスタッフ	1.9%
15. その他〔具体的に： 〕	2.4%
16. インターネット等で自分で調べて解決する	23.7%
17. 相談できる人はいない	1.0%
無回答	0.3%

問 27 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時に相談できる以下の事業や窓口等を知っていますか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに をつけてください。

(N=3,123)

	知っていて利用 したことがある	知っているが利用 したことはない	知らない	無回答
世田谷版ネウボラのネウボラ・チーム (各地域の総合支所に配置された保健師・母子保健コーディネーター・子育て応援相談員で構成され、妊娠中のすべての方を対象に妊娠期面接を行うほか、日常的に出産・育児などの不安や悩みの相談を受ける)	7.9%	25.1%	65.0%	2.0%
子ども家庭支援センター (各地域の総合支所で、母子・父子・女性相談、保育入園相談、子育て総合相談、ひとり親の手当てなどの相談を受ける)	13.5%	49.5%	35.0%	2.0%
地域子育て支援コーディネーター (おでかけひろばなどの身近な場所で、子育て支援に関する情報の提供や相談・助言を行う)	11.8%	41.2%	44.9%	2.1%
福祉の相談窓口 (家族の介護や子育ての不安、病気や障害の悩みなど、様々な相談を身近な地区で受けられるよう区内27地区のまちづくりセンターに設置された窓口)	2.6%	33.2%	62.1%	2.1%
教育相談室 (教育相談員が保護者の方の相談に応えながら、お子さんに対しても必要に応じた心理的な援助を行う施設)	2.2%	23.4%	72.2%	2.2%
子育てテレフォン (妊娠中の方からの相談や子育てに関する相談を専門の相談員が電話にて受けつける事業)	2.6%	37.0%	58.0%	2.4%
児童相談所 (保護者や18歳未満の子どもからの相談を児童福祉司、心理職、医師等の専門スタッフが対応する専門相談機関)	1.5%	69.3%	26.9%	2.3%
せたホッと (世田谷区に在住・在学している子どもの権利侵害があったときなど、問題の解決のために子どもをサポートする機関)	0.3%	25.5%	71.9%	2.3%
その他行政相談窓口	2.2%	28.6%	66.8%	2.4%
民間の電話相談等 (民間の企業が実施している電話での相談支援事業)	1.7%	25.8%	70.2%	2.3%

問 28 あなたは、子育て支援サービス・制度に関する情報は、どちらから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=3,123)

1. 親族	8.6%	12. せたがや子育て応援ブック	18.5%
2. 近所の人、知人、友人	39.5%	13. テレビ、ラジオ、新聞	3.9%
3. 保育園や担任保育士	22.8%	14. 市販の子育て情報誌、育児書	4.2%
4. 幼稚園や担任教諭	9.8%	15. せたがや子育て応援アプリ	11.2%
5. おでかけひろば・子育てひろば	19.7%	16. Facebook・Instagram・ツイッター等の SNS	8.4%
6. 地域子育て支援コーディネーター	1.6%	17. SNS 以外のインターネット	19.3%
7. 児童館	23.3%	18. コミュニティ誌	2.3%
8. 区役所・出張所・まちづくりセンター	21.8%	19. その他〔具体的に： 〕	3.9%
9. 子ども家庭支援センター（総合支所）	7.6%	20. 情報の入手手段がわからない	5.2%
10. 病院	7.3%	無回答	2.0%
11. 区のお知らせ「せたがや」(広報誌)	25.7%		

問 29 子どもが成長するうえで、大切だと思っていることについて、あてはまる番号3つまでをつけてください。(近い将来のことも含めたお考えをお聞かせください) (N=3,123)

1. たくさんの友達との関わり	70.5%	8. ICTに関する体験	0.7%
2. 家族とのふれあい	79.7%	9. 学校の勉強	8.6%
3. 自由でのんびりする時間	11.2%	10. 有名学校への進学	1.3%
4.好きなことを思い切りやる時間	46.8%	11. 小さいときからの英語教育、スポーツ教育	5.7%
5. 地域の見守り	10.2%	12. その他〔具体的に： 〕	1.0%
6. 自然の中での遊び体験	35.5%	無回答	1.3%
7. いろいろとチャレンジする機会	54.2%		

問 30 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=3,123)

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	18.2%	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	48.8%
2. 子どもが安全に生活できる環境	21.0%	10. 親子で過ごせる場所	19.4%
3. 子どもにとって危険の無い生活	19.8%	11. 父子で過ごせる場所やイベント	19.7%
4. 子どもが家族と過ごす時間	25.7%	12. 子どものゆとりある生活	17.8%
5. 子どもの自立を促す取組	21.4%	13. 親が自由に過ごせる時間	40.0%
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	21.6%	14. 地域での支えあい	19.2%
7. 子どもにとって充実した食生活	17.6%	15. 子育て経験者からのアドバイス	7.3%
8. 子どもが自由に遊ぶ時間	17.8%	16. その他〔具体的に： 〕	4.4%
		無回答	3.8%

問 31 あなたは、第1子が生まれる前に、ご自分のきょうだい、親戚や近所の赤ちゃん（1歳くらいまで）のお世話で次のことをしたことがありますか。それぞれ、あてはまる番号1つにをつけてください。 (N=3,123)

	たくさんある	まあまあある	少しある	ない	無回答
オムツ替え	8.5%	6.9%	13.8%	69.8%	1.0%
離乳食をあげる	6.6%	6.1%	13.4%	72.7%	1.2%
抱っこ	15.2%	17.1%	35.2%	31.6%	0.9%

問 32 地域における様々な子ども・子育て支援は、地域の方々が担っています。将来、子育てが落ち着いたあと、地域の子ども・子育て支援に携わってもよいと感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=3,123)

1.すでに携わっている	1.5%	4.携わりたくない	5.4%
2.ぜひ携わりたい	16.7%	5.わからない	24.3%
3.携わってもよい	50.9%	無回答	1.2%

問 33 この調査票にご記入いただいた方はどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(あて名のお子さんからみた関係でお答えください。) (N=3,123)

1.母親	91.5%	4.祖父	0.0%
2.父親	6.7%	5.その他〔具体的に：〕	0.4%
3.祖母	0.1%	無回答	1.3%

問 34 この調査票を、ご記入いただいた方の年代について、あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=3,123)

1.20歳未満	0.0%	4.30～34歳	23.6%	7.45～49歳	6.2%	10.60歳以上	0.2%
2.20～24歳	0.3%	5.35～39歳	38.6%	8.50～54歳	0.5%	無回答	0.7%
3.25～29歳	3.3%	6.40～44歳	26.5%	9.55～59歳	0.1%		

問 35 この調査票を、ご記入いただいた方は、現在のご住所に居住されて何年になりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=3,123)

1.1年未満	10.6%	5.10年以上15年未満	6.5%
2.1年以上3年未満	26.4%	6.15年以上	3.4%
3.3年以上5年未満	24.5%	無回答	0.6%
4.5年以上10年未満	28.0%		

問 36 家族や親族に介護を必要とする方がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=3,123)

1. 介護が必要な人がいる(同居)	} 問 36-1 へ	1.7%
2. 介護が必要な人がいる(別居)		13.6%
3. 介護が必要な人はいない	問 37 へ	83.6%
無回答		1.2%

問 36-1 問 36 で「1」、「2」を選んだ方にお伺いします。あなたもしくは配偶者はその方の介護をどの程度していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(n=476)			
1. 日常的にしている	6.7%	4. 月数回程度している	14.3%
2. 週3～4回程度している	1.5%	5. 介護はしていない	72.7%
3. 週1～2回程度している	4.4%	無回答	0.4%

問 37 世帯収入についてお伺いします。昨年の年間の世帯の総収入はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(生計を一つにする世帯の収入でお答えください。)

(N=3,123)			
1. 100万円未満	0.4%	6. 1,000～1,500万円未満	24.2%
2. 100～300万円未満	3.0%	7. 1,500～2,000万円未満	8.5%
3. 300～500万円未満	10.6%	8. 2,000万円以上	4.7%
4. 500～700万円未満	17.4%	無回答	2.2%
5. 700～1,000万円未満	29.0%		

問 38 世田谷区で子育てをされていて、子育てをしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(N=3,123)

1. とても子育てしやすいと感じる	13.5%	4. まったく子育てしやすいと感じない	2.6%
2. 子育てしやすいと感じる	60.4%	無回答	1.5%
3. あまり子育てしやすいと感じない	22.0%		

最後に、子育てに関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、10月17日(水)までにご返送ください。

「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査
(就学児童保護者調査)

ご記入にあたってのお願い

1. 調査票は、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。
3. ご記入は、黒のボールペンや鉛筆でお願いします。
4. 該当する質問には、**すべて**お答えください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
6. この調査票は、ご記入のうえ10月17日(水)までに、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします(差出人名は無記名で結構です)。

お問合せ先
世田谷区子ども・若者部子ども育成推進課 計画担当
世田谷区世田谷4-21-27
電話：03-5432-2528
FAX：03-5432-3016

問1 あて名のお子さんの生年月をお伺いします。 (N=2,212)

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ	平均 7.5 歳
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----	----------

問2 あて名のお子さんの学校の種類について、あてはまる答えの番号1つに をつけてください。 (N=2,212)

1 . 公立 (区立 ・ 都立)	87.0%	2 . 私立	10.4%	3 . 国立	1.7%	無回答	0.9%
--------------------	-------	--------	-------	--------	------	-----	------

問3 あて名のお子さんは小学校何年生ですか。数字をご記入ください。 (N=2,212)

小学校	<input type="text"/>	年生
-----	----------------------	----

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合、末子の生年月をご記入下さい。 (N=2,212)

お子さんの人数	<input type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ
平均 2.0 人			末子平均 5.5 歳								

問5 あなたは現在どちらにお住まいですか。町丁目でお答えください。 (記入例：池尻1丁目、北沢2丁目、駒沢3丁目など) (N=2,212)

<input type="text"/>	丁目
----------------------	----

問6 あて名のお子さんの父、母、祖父母の同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。 (N=2,212)

1 . 父母同居	87.2%	6 . 祖父母同居	6.1%
2 . 父同居(ひとり親家庭)	0.3%	7 . 祖父母近居	22.3%
3 . 母同居(ひとり親家庭)	3.5%	8 . その他	2.7%
4 . 父同居(母の単身赴任)	0.0%	[具体的に :]
5 . 母同居(父の単身赴任)	3.3%	無回答	1.7%

問7 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方はどなたですか。あてはまる答えの番号1つに をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。 (N=2,212)

1 . もっぱら母親が行う	37.7%	5 . もっぱら父親が行う	0.4%
2 . 主に母親が行うが父親も行う	46.7%	6 . その他 [具体的に :]
3 . 母親も父親も同じように行う	13.8%	無回答	0.2%
4 . 主に父親が行うが母親も行う	0.3%		

問8 日常的あるいは緊急時等に、お子さんをみてもらえる親族、友人・知人はいますか。それぞれについて、あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。 (N=2,212)

1 . 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	18.7%
2 . 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	7.9%
3 . 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	51.6%
4 . 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	38.9%
5 . いずれもない	15.1%
無回答	0.2%

問9 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号1つにをつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

（1）父親の就労状況はいかがですか 【母子家庭の場合は記載不要】 (n=2,134)

1. フルタイム（週5日、1日8時間程度の就労）で仕事をしている （産休・育休・介護休業中は含まない） 1週あたり〔 〕時間 平均 50.3 時間 平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ 平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ	24 時間表記でお書きください。 自宅で仕事をされている方は仕事の開始時間と終了時間をご記入ください。	96.8%										
2. フルタイムで仕事をしているが、現在産休・育休・介護休業中である		0.1%										
3. フルタイム以外（パートタイム等）で仕事をしている 1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 平均 4.5 日、7.5 時間 1日あたりの往復通勤時間はどのくらいですか 〔 〕時間〔 〕分間程度 自宅で仕事をされている方は0時間0分と記入ください。 平均 55.6 分 フルタイムへの転職希望はありますか。あてはまる番号1つにをつけてください。(n=30)		1.4%										
<table border="1"> <tr> <td>1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>3. フルタイム以外での就労を続けることを希望</td> <td>39.9%</td> </tr> <tr> <td>4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>26.7%</td> </tr> </table>			1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	6.7%	2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	26.7%	3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	39.9%	4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	0.0%	無回答	26.7%
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	6.7%											
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	26.7%											
3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	39.9%											
4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	0.0%											
無回答	26.7%											
4. 以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない		0.6%										
5. これまでに仕事をしたことがない 無回答		0.0% 1.1%										

（2）母親の就労状況はいかがですか 【父子家庭の場合は記載不要】 (n=2,205)

1. フルタイム（週5日、1日8時間程度の就労）で仕事をしている （産休・育休・介護休業中は含まない） 1週あたり〔 〕時間 平均 40.7 時間 平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ 平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ	24 時間表記でお書きください。 自宅で仕事をされている方は仕事の開始時間と終了時間をご記入ください。	30.8%										
2. フルタイムで仕事をしているが、現在産休・育休・介護休業中である		1.2%										
3. フルタイム以外（パートタイム等）で仕事をしている 1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 平均 3.4 日、5.2 時間 1日あたりの往復通勤時間はどのくらいですか 〔 〕時間〔 〕分間程度 自宅で仕事をされている方は0時間0分と記入ください。 平均 38.6 分 フルタイムへの転職希望はありますか。あてはまる番号1つにをつけてください。(n=662)		30.0%										
<table border="1"> <tr> <td>1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>3. フルタイム以外での就労を続けることを希望</td> <td>54.9%</td> </tr> <tr> <td>4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>16.0%</td> </tr> </table>			1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	6.9%	2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	19.8%	3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	54.9%	4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.4%	無回答	16.0%
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	6.9%											
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	19.8%											
3. フルタイム以外での就労を続けることを希望	54.9%											
4. フルタイム以外での就労をやめて子育てや家事に専念したい	2.4%											
無回答	16.0%											
4. 以前は仕事をしていましたが、現在は仕事をしていない		34.5%										
5. これまでに仕事をしたことがない 無回答		2.1% 1.4%										

問9-1 問9-1以降は子育て中の母親の就労についてお伺いします。(父子家庭の場合は記載不要です)問9(2)母親の就労状況で「4.以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない」、「5.これまでに仕事をしたことがない」を選ばれた方にお伺いします。今後の就労希望はありますか。あてはまる番号1つに をつけ、該当する 内に数字をご記入ください。(n=806)

問9-2、 問9-3へ	1. 就労の予定はない 問8へ	35.4%
	2. 1年より先、一番小さい子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 平均 8.5 歳	37.0%
	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	26.9%
	希望する就労形態 (n=217)	ア.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) 7.8% イ.パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) 89.0% 1週当たり <input type="text"/> 日、1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 平均 3.0 日、4.8 時間 無回答 3.2%
	無回答	0.7%

問9-2 問9-1で「2」、「3」を選ばれた方にお伺いします。今後就労を希望する理由について、あてはまる番号すべてに をつけてください。(n=515)

1. 経済的に苦しいから	23.7%	7. 自分の時間がほしいから	14.2%
2. ゆとりのある生活を望むから	51.7%	8. 子どもの手が離れるなど、時間に余裕ができるため	57.7%
3. 経済的に自立していたいから	26.2%	9. その他	3.7%
4. 自己実現のため	25.0%	[具体的に:]	
5. 社会との関わりを継続したいから	44.7%	無回答	0.8%
6. 子どもから少し離れたいから	7.0%		

問9-3 問9-1で「2」、「3」を選ばれた方にお伺いします。就労希望があっても、現在働いていない理由について、もっとも近い答えの番号1つに をつけてください。(n=515)

1. 子どもがある程度大きくなるまでは、働かずにいたい	35.4%
2. 学童クラブなどのサービスが希望する時間まで利用できれば就労したい	2.3%
3. 学童クラブなどのサービスの内容・質に不安、不満がある	0.8%
4. 勤務時間や勤務地等子育てしながら働くことのできる適当な仕事がない	25.6%
5. 自分の知識、経験を活かすことができるような希望に合う仕事がない	2.1%
6. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない	2.3%
7. ボランティア、PTAなどの活動に力を入れたいから	2.3%
8. その他[具体的に:]	11.5%
無回答	17.7%

問10 封筒のあて名のお子さんの小学校入学の1年前から入学の1年後までの間に、母親の方は仕事をやめましたか。あてはまる答えの番号1つに をつけてください。(父子家庭の場合は記載不要です) (n=2,205)

1. 仕事をやめた 問10-1へ	4.2%
2. 仕事をやめていない(育休、転職も含む)	37.2%
3. 小学校入学1年前にすでに働いていなかった	42.1%
無回答	16.5%

} 問11へ

問 10-1 問 10 で「1. 仕事をやめた」を選ばれた方にお伺いします。仕事をやめた理由について、あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。 (n= 92)

1. 就学前に利用していた保育施設等と同じ時間まで預かってくれる事業・サービスがなかったから	13.0%
2. 短時間勤務、フレックス勤務、在宅勤務等希望する働き方を選択できなかったから	27.2%
3. 学童クラブなどのサービスの内容・質に不安・不満があるから	10.9%
4. P T A、学校行事など父母が参加する活動が多かったから	9.8%
5. あて名のお子さんのきょうだいに関する事情(妊娠・出産、教育・保育事業を利用できなかった等)	17.4%
6. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから	20.7%
7. 進学や受験に備えるため	10.9%
8. その他〔具体的に：	〕 32.6%
無回答	2.2%

問 11 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに をつけ、それぞれ現状の週あたり日数を〔 〕内に数字でご記入ください。 (N=2,212)

学童クラブ:放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～3年生の児童に対し、心身の健全な発達を促すことを目的として、午後6時15分まで利用できる事業です。

B O P:当該小学校の1～6年生のすべての子どもを対象として、希望者が夏季には午後5時、冬季には午後4時30分まで、小学校の施設や校庭等を利用して、異なる年齢の子どもたちと共に遊びを通して創造性・自主性・社会性を養い、児童の健全育成をはかるものです。

児童館:0歳～18歳を対象とした施設で、子育て支援、小学生への遊びの提供や中高生の居場所、自立に向けた支援活動などを行っています。

1. 自宅で一人にいる	17.9%	平均 2.2 日
2. 自宅で家族といる	63.7%	平均 3.2 日
3. 友達の家や祖父母宅	25.1%	平均 1.6 日
4. 学童クラブ	21.5%	平均 4.1 日
5. B O P	18.7%	平均 1.9 日
6. 児童館	13.4%	平均 1.6 日
7. 民間の学童・放課後預かりサービス	6.1%	平均 2.7 日
8. 習い事(クラブ活動、音楽教室など)	74.8%	平均 2.3 日
9. 学習塾(英語教室も含む)	38.4%	平均 1.8 日
10. 公園・広場	29.5%	平均 1.7 日
11. 図書館	6.8%	平均 1.1 日
12. その他〔具体的に：	〕 3.7%	平均 2.6 日
無回答	0.4%	

(一日に2ヵ所以上行くことも想定されますので、合計の日数は5日でなくてかまいません)

問 12 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまる番号すべてに をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を〔 〕内に数字でご記入ください。 (N=2,212)

1. 自宅で一人である	6.2%	平均 1.7 日
2. 自宅で家族といる	56.2%	平均 3.1 日
3. 友達の家や祖父母宅	27.0%	平均 1.6 日
4. 学童クラブ 小学〔 〕年生まで利用したい 平均 4.4 年生	22.2%	平均 3.9 日
5. BOP	24.7%	平均 2.2 日
6. 児童館	23.6%	平均 1.8 日
7. 民間の学童・放課後預かりサービス	5.6%	平均 2.7 日
8. 習い事（クラブ活動、音楽教室など）	71.9%	平均 2.1 日
9. 学習塾（英語教室も含む）	42.1%	平均 1.8 日
10. 公園・広場	44.8%	平均 2.1 日
11. 図書館	17.8%	平均 1.3 日
12. その他〔具体的に： 〕	1.9%	平均 2.8 日
無回答	3.3%	

（ 一日に 2 ヲ所以上行くことも想定されますので、合計の日数は 5 日でなくてかまいません）

問 12-1 問 12 で「4. 学童クラブ」を選んだ方にお伺いします。平日、土曜日、日曜・祝日、夏休み等の長期休暇中のそれぞれについて、あてはまる番号1つにをつけてください。また、利用実績および利用希望の時間帯（夏休み等の長期休暇中については週何日くらいかも）を数字でご記入ください。時間は9時00分～18時00分（例）のように、24 時間表記でご記入ください。

【平日】

(n=490)

利用実績	利用希望時間
1. 利用している 81.0% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
2. 利用実績なし 14.7%	
無回答 4.3%	

【土曜日】

(n=490)

利用実績	利用希望時間
1. 利用している 16.7% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	1. 利用希望あり 20.0% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
2. 利用実績なし 75.7%	2. 利用希望なし 45.9%
無回答 7.6%	無回答 34.1%

【日曜・祝日】

(n=490)

利用実績	利用希望時間
/	1. 利用希望あり 11.8% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
	2. 利用希望なし 62.7%
	無回答 25.5%

【夏休み等の長期休暇中】

(n=490)

利用実績	利用希望時間
1. 利用している 78.0% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 週 <input type="text"/> 日くらい 平均 4.6 日	1. 利用希望あり 83.2% <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 週 <input type="text"/> 日くらい 平均 4.5 日
2. 利用実績なし 16.7%	2. 利用希望なし 3.7%
無回答 5.3%	無回答 13.1%

問 12-2 問 12 で「4 . 学童クラブ」、「7 . 民間の学童・放課後預かりサービス」を選んだ方にお伺いします。

希望する理由について、あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

(n=576)

1 . 学校から通うのが安全だから	60.1%
2 . 送迎があるから	14.4%
3 . 保護者の帰宅まで子どもが居られるから（留守番させずにすむから）	67.0%
4 . 利用料が安い	34.4%
5 . 家庭との連絡を密にしてくれるから	24.5%
6 . 小規模で家庭的な環境があるから	9.2%
7 . スタッフや指導員の目が届いているから	41.1%
8 . スタッフや指導員が子どもとよい関係だから	31.1%
9 . 子どもが希望しているから	16.3%
10 . 親しい友だちと遊べるから	42.2%
11 . 他の学校の児童とも遊べるから	11.8%
12 . 中高生とも交流できるから	1.9%
13 . 体を動かす遊びをたくさんできるから	31.9%
14 . 遊びを豊かにする設備・備品があるから	21.5%
15 . 日常活動や行事が楽しいから	19.1%
16 . 学校の宿題をする時間を設けてくれるから	33.5%
17 . 勉強を教えてくれるから	7.1%
18 . 習い事のようなメニューがあるから	11.6%
19 . 年齢、就労等の条件が区の学童クラブの入会要件に該当しないから	3.3%
20 . 他に利用できる施設がないから	11.3%
21 . その他〔具体的に：	〕 3.5%
無回答	7.8%

問 12-3 問 12 で「6 . 児童館」を選ばれた方にお伺いします。

利用したい理由について、あてはまる番号すべてに をつけてください。(n=521)

1 . 子どもが安心して安全な活動ができる場所だから	75.2%
2 . 友達と遊んだり交流できるから	82.0%
3 . 中・高生などと一緒に活動でき、色々なことを教えてもらえるから	18.2%
4 . 他の学校の児童と交流や遊びが出来るから	25.7%
5 . 日常活動や行事が楽しいから	26.9%
6 . 子どもが遊べる設備があるから	52.0%
7 . 保護者の就労等により、家で留守番させられないから	8.3%
8 . 無料で遊ぶことができるから	42.6%
9 . 放課後過ごせる場所をほかに知らないから	9.6%
10 . その他〔具体的に：	〕 6.5%
無回答	12.1%

問 13 子どもが放課後を過ごす場所として、重視していることは何ですか。特に重視している番号3つまで をつけてください。(N=2,212)

1. 子どもが安全・安心に過ごせること	91.9%
2. 充実した施設・設備があること	19.4%
3. 希望する時間に利用できること	36.6%
4. スタッフ（職員等）が充実していること	28.6%
5. 子どもの遊び支援など日常活動が充実していること	15.6%
6. 異年齢（乳幼児から大人までとの）による活動が充実していること	5.4%
7. 行事や地域交流活動が充実していること	5.8%
8. 運営に関する子どもの参画がなされること	2.5%
9. 障害児等、配慮を要する子どもへの配慮がされていること	2.8%
10. 勉強ができる環境があること	20.4%
11. 屋外で遊べる環境があること	34.4%
12. 大勢で過ごせる環境があること	9.2%
13. 少人数で家庭的な雰囲気ですごせる環境があること	3.3%
14. 落ち着いてリラックスできる環境があること	26.5%
15. 保護者と一緒に過ごせること	8.1%
16. その他〔具体的に： 〕	2.4%
無回答	4.4%

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる番号1つに をつけてください。(N=2,212)

1. あった	問14-1 へ	61.6%
2. なかった	問15 へ	36.8%
無回答		1.6%

問 14-1 問 14 で「1. あった」と答えた方にお伺いします。この1年間で学校や学童クラブなどが利用できなかったときに、行った対処方法としてあてはまる番号すべてに をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。(n=1,363)

		1年間あたり	
問14-2 へ	1. 母親が休んだ	52.7%	平均 3.6 日
	2. 父親が休んだ	18.3%	平均 2.1 日
	3. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	17.8%	平均 3.2 日
	4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10.2%	平均 2.2 日
問15 へ	5. 就労していない父親または母親がみた	35.8%	平均 5.2 日
	6. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	0.4%	平均 2.1 日
	7. ベビーシッターを利用した	1.0%	平均 2.2 日
	8. ファミリー・サポート・センター事業を利用した (身近な地域で子育ての相互援助を行う会員制の仕組み。乳幼児から小学校6年生までを対象に、預かりや送迎の援助等を行う。)	0.4%	平均 4.1 日
	9. その他〔具体的に： 〕	4.1%	平均 2.9 日
	無回答	1.8%	

問 14-2 問 14-1 で「1」～「4」を選ばれた方にお伺いします。その際、できれば「病児・病後児の保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つにつけてください。「1」を選択された方は、問 14-1 で回答した実績日数の合計の範囲内で年間利用希望日数をお答えください。 (n=846)

1. できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった	⇒ 年間 <input type="text"/> 日	30.3%
		平均 4.5 日
2. 利用したいとは思わない		64.0%
無回答		5.7%

問 15 お宅では災害時の対応のために、次のようなことをお子さんと話し合ったことはありますか。あてはまる番号すべてにつけてください。 (N=2,212)

1. 地震が起きたときにすぐとるべき行動	66.8%	6. 家族との連絡の取り方	29.2%
2. 火災が起きたときにすぐとるべき行動	25.5%	7. 家族と連絡が取れないときの行動	26.8%
3. 一次避難場所	34.0%	8. その他〔具体的に： 〕	1.6%
4. 避難ルート	10.6%	9. 話し合ったことはない	14.6%
5. 家族との待ち合わせ場所	46.5%	無回答	1.8%

問 16 災害時などにご家族以外にあて名のお子さんに関して手助けをしてくれる知人・友人は近所にいますか。あてはまる番号1つにつけてください。 (N=2,212)

1. 近所にいる	67.7%	無回答	2.4%
2. 近所にはいない	29.9%		

問 17 あて名のお子さんのために災害対策として備えているものはありますか。あてはまる番号すべてにつけてください。 (N=2,212)

1. 食料	71.2%	8. 簡易トイレ	44.7%
2. 飲料水	82.0%	9. 防災ずきん・ヘルメット	37.6%
3. 懐中電灯・ランタン	80.5%	10. 薬	28.7%
4. 防寒具	36.1%	11. 防災くつ	3.6%
5. 軍手	49.3%	12. その他〔具体的に： 〕	4.9%
6. 非常用バッテリー・電池	44.6%	13. 備えているものはない	5.4%
7. 多機能ラジオ	39.5%	無回答	0.9%

【ファミリー・サポート・センター事業】

身近な地域で子育ての相互援助を行う会員制の仕組み。乳幼児から小学校6年生までを対象に、預かりや送迎の援助等を行う。

問 18 この1年間で、ファミリー・サポート・センター事業を利用しましたか。当てはまる番号1つに をつけてください。利用したことがある方は、1年間の利用日数を枠内に数字でご記入ください。 (N=2,212)

1. 知っていて利用したことがある	→ 年間 <input type="text"/> 日	問 19 へ	3.5%
			平均26.0日
2. 知っているが利用したことはない		} 問 18-1 へ	61.2%
3. 知らない			33.7%
無回答			1.6%

問 18-1 問 18 で「2. 知っているが利用したことはない」または「3. 知らない」を選ばれた方にお伺いします。今後、ファミリー・サポート・センター事業の利用を希望しますか。利用希望のある方は、1年間の利用希望日数を枠内に数字でご記入ください。 (n=2,100)

1. 利用希望あり	→ 年間 <input type="text"/> 日	17.5%
		平均22.9日
2. 利用希望なし		75.5%
無回答		7.0%

問 19 この1年間に、保護者の状況（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、就労など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として、あてはまる記号すべてに をつけ、それぞれの泊数も〔 〕内に数字でご記入ください。 (N=2,212)

1年間の対処方法		1年間の泊数	
1. あった		19.3%	
(n=428)	ア. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	78.0%	平均 5.6 泊
	イ. 短期入所生活援助事業* (ショートステイ) を利用した * 児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業	0.9%	平均 3.8 泊
	ウ. イ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	0.0%	-
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	14.7%	平均 2.6 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4.0%	平均 3.5 泊
	カ. 仕方なく予定・用事をあきらめた	20.8%	平均 3.1 泊
	キ. その他〔具体的に: 〕	3.0%	平均 6.8 泊
	無回答	0.7%	
2. なかった		77.8%	
無回答		2.9%	

問 20 子育てについて、楽しいと感じることが多いと思いますか。辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(N=2,212)

1. 楽しいと感じることの方が多い	39.5%
2. どちらかという、楽しいと感じることの方が多い	38.1%
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらい	17.4%
4. どちらかという、辛いと感じることの方が多い	2.3%
5. 辛いと感じることの方が多い	1.2%
6. その他〔具体的に： 〕	0.7%
無回答	0.8%

問 21 子育てについて、心配ごとや悩みごとはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=2,212)

1. 養育費や教育費など経済的な負担	47.2%
2. 子どもの発達・発育	29.2%
3. 子どものしつけや接し方	55.7%
4. 子どもにとって望ましい事業・サービス利用の選択	9.8%
5. 子どもの健康状態	19.4%
6. 自分の健康状態	19.5%
7. 自分（配偶者含む）の親の健康状態	18.5%
8. 家事の負担	23.1%
9. 仕事の負担	17.2%
10. 家族の介護の負担	5.2%
11. 子どもの友人関係	32.3%
12. 保護者同士の間人間関係	13.4%
13. その他〔具体的に： 〕	3.9%
14. 特になし	7.9%
無回答	0.6%

問 22 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時、誰に相談しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=2,212)

1. 配偶者	83.0%
2. その他の親族	58.8%
3. 学生時代の知人、友人	30.6%
4. 職場や仕事上の知人、友人	22.1%
5. 近所の知人、友人	28.3%
6. 子どもを介して知り合った友人	52.3%
7. Facebook・Instagram・ツイッター等を介して知り合った友人	0.9%
8. 民生・児童委員、主任児童委員	0.6%
9. かかりつけ医	12.6%
10. 看護師・助産師	0.8%
11. 学校や担任教諭	24.2%
12. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	7.7%
13. 新 BOP	2.0%
14. 児童館	1.1%
15. 習い事や学習塾の先生	12.1%
16. その他〔具体的に： 〕	1.7%
17. インターネット等で自分で調べて解決する	18.5%
18. 相談できる人はいない	0.8%
無回答	0.5%

問 23 子育てについて、心配ごとや悩みごとがある時に相談できる以下の事業や窓口等を知っていますか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに をつけてください。

(N=2,212)

	知っていて 利用したこと がある	知っているが 利用したことは ない	知らない	無回答
子ども家庭支援センター (各地域の総合支所で、母子・父子・女性相談、保育入園相談、子育て総合相談、ひとり親の手当てなどの相談を受ける)	10.3%	56.2%	32.4%	1.1%
保健福祉センター健康づくり課 (各地域の総合支所で、保健師等による妊娠、出産、育児、子どもの発育や発達、健康に関する相談を受ける)	17.0%	54.5%	27.5%	1.0%
地域子育て支援コーディネーター (おでかけひろばなどの身近な場所で、子育て支援に関する情報の提供や相談・助言を行う)	7.5%	40.9%	50.0%	1.6%
福祉の相談窓口 (家族の介護や子育ての不安、病気や障害の悩みなど、様々な相談を身近な地区で受けられるよう区内27地区のまちづくりセンターに設置された窓口)	2.4%	38.7%	57.5%	1.4%
教育相談室 (教育相談員が保護者の方の相談に応えながら、お子さんに対しても必要に応じた心理的な援助を行う施設)	6.2%	35.4%	57.1%	1.3%
子育てテレフォン (妊娠中の方からの相談や子育てに関する相談を専門の相談員が電話にて受けつける事業)	2.1%	50.3%	46.2%	1.4%
児童相談所 (保護者や18歳未満の子どもからの相談を児童福祉司、心理職、医師等の専門スタッフが対応する専門相談機関)	1.8%	76.6%	19.9%	1.7%
せたホッと (世田谷区に在住・在学している子どもの権利侵害があったときなど、問題の解決のために子どもをサポートする機関)	0.9%	57.8%	39.8%	1.5%
その他行政相談窓口	2.0%	32.5%	63.5%	2.0%
民間の電話相談等 (民間の企業が実施している電話での相談支援事業)	0.9%	33.3%	64.4%	1.4%

問 24 子どもが成長するうえで、大切だと思っていることについて、あてはまる番号3つまでをつけてください。(N=2,212)

1. たくさんの友達との関わり	77.0%	8. ICTに関する体験	1.5%
2. 家族とのふれあい	78.4%	9. 学校の勉強	18.5%
3. 自由でのんびりする時間	15.1%	10. 有名学校への進学	2.5%
4.好きなことを思い切りやる時間	48.0%	11. 小さいときからの英語教育、スポーツ教育	4.8%
5. 地域の見守り	11.1%	12. その他〔具体的に： 〕	0.9%
6. 自然の中での遊び体験	30.0%	無回答	0.3%
7. いろいろとチャレンジする機会	55.7%		

問 25 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることについて、あてはまる番号すべてにをつけてください。(N=2,212)

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	23.1%	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	55.6%
2. 子どもが安全に生活できる環境	16.0%	10. 親子で過ごせる場所	23.1%
3. 子どもにとって危険の無い生活	17.0%	11. 父子で過ごせる場所やイベント	13.3%
4. 子どもが家族と過ごす時間	19.8%	12. 子どものゆとりある生活	24.4%
5. 子どもの自立を促す取組	29.6%	13. 親の自分の時間	27.9%
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	33.5%	14. 地域での支えあい	13.3%
7. 子どもにとって充実した食生活	9.7%	15. 子育て経験者からのアドバイス	5.9%
8. 子どもが自由に遊ぶ時間	30.6%	16. その他〔具体的に： 〕	2.8%
		無回答	3.6%

問 26 普段のあなたとお子さんの関わりについて、次のことがどのくらい当てはまりますか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つにをつけてください。(N=2,212)

	よく当てはまる	まあ当てはまる	当てはまらない あまり	当てはまらない まったく	無回答
(1) 子どものやりたいことをできるだけ尊重している	22.9%	70.1%	6.3%	0.2%	0.5%
(2) 子ども自身でできることは自分でさせている	27.6%	61.1%	10.4%	0.5%	0.4%
(3) 子どもが問題に直面しても、できるだけ本人に解決させている	9.7%	67.8%	21.4%	0.6%	0.5%
(4) 失敗することが分かっているにもかかわらず、子どものやりたいようにやらせている	7.1%	50.5%	40.7%	1.0%	0.7%
(5) 子どもと意見が違うとき、あなたの意見を優先させている	4.5%	47.2%	45.3%	2.0%	1.0%
(6) 子どもが友達と遊ぶ時間を多く取れるようにしている	14.6%	45.0%	35.6%	4.2%	0.6%
(7) 短い時間なら一人で留守番ができるように教えている	40.6%	41.1%	12.6%	5.1%	0.6%
(8) 自分の目を離れている間、子どものことが心配で仕方ない	6.3%	26.3%	54.7%	11.8%	0.9%

問 27 あなたは、第1子が生まれる前に、ご自分のきょうだい、親戚や近所の赤ちゃん（1歳くらいまで）のお世話で次のことをしたことがありますか。それぞれあてはまる番号1つをつけてください。 (N=2,212)

	たくさんある	まあまあある	少しある	ない	無回答
オムツ替え	9.0%	8.7%	12.5%	69.2%	0.6%
離乳食をあげる	8.0%	7.5%	13.8%	70.1%	0.6%
抱っこ	16.2%	17.9%	31.1%	34.3%	0.5%

問 28 地域における様々な子ども・子育て支援は、地域の方々が担っています。将来、子育てが落ち着いたあと、地域の子ども・子育て支援に携わってもよいと感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=2,212)

1.すでに携わっている	3.2%	4.携わりたくない	6.9%
2.ぜひ携わりたい	13.6%	5.わからない	26.2%
3.携わってもよい	49.2%	無回答	0.9%

問 29 この調査票にご記入いただいた方はどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(あて名のお子さんからみた関係でお答えください。) (N=2,212)

1.母親	90.5%	4.祖父	0.0%
2.父親	9.2%	5.その他〔具体的に：〕	0.1%
3.祖母	0.0%	無回答	0.2%

問 30 この調査票を、ご記入いただいた方の年代について、あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=2,212)

1.20歳未満	0.0%	4.30～34歳	4.1%	7.45～49歳	24.4%	10.60歳以上	0.3%
2.20～24歳	0.0%	5.35～39歳	23.8%	8.50～54歳	4.6%	無回答	0.3%
3.25～29歳	0.1%	6.40～44歳	41.8%	9.55～59歳	0.6%		

問 31 この調査票を、ご記入いただいた方は、現在のご住所に居住されて何年になりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。 (N=2,212)

1.1年未満	6.5%	5.10年以上15年未満	20.6%
2.1年以上3年未満	14.4%	6.15年以上	7.6%
3.3年以上5年未満	15.4%	無回答	0.3%
4.5年以上10年未満	35.2%		

問 32 家族や親族に介護を必要とする方がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。 (N=2,212)

1.介護が必要な人がいる(同居)	} 問 32-1 へ	1.7%
2.介護が必要な人がいる(別居)		15.1%
3.介護が必要な人はいない	問 33 へ	81.8%
無回答		1.6%

問 32-1 問 32 で「1」、「2」を選んだ方にお伺いします。あなたもしくは配偶者はその方の介護をどの程度していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(n=368)

1 . 日常的にしている	7.6%	4 . 月数回程度している	23.4%
2 . 週3～4回程度している	2.7%	5 . 介護はしていない	59.5%
3 . 週1～2回程度している	5.7%	無回答	1.1%

問 33 世帯収入についてお伺いします。昨年の年間の世帯の総収入はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(生計を一つにする世帯の収入でお答えください。)

(N=2,212)

1 . 100万円未満	0.5%	6 . 1,000～1,500万円未満	28.1%
2 . 100～300万円未満	3.3%	7 . 1,500～2,000万円未満	10.6%
3 . 300～500万円未満	7.4%	8 . 2,000万円以上	7.8%
4 . 500～700万円未満	12.7%	無回答	4.7%
5 . 700～1,000万円未満	24.9%		

問 34 世田谷区で子育てをされていて、子育てをしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(N=2,212)

1 . とても子育てしやすいと感じる	14.4%	4 . まったく子育てしやすいと感じない	2.1%
2 . 子育てしやすいと感じる	63.8%	無回答	1.6%
3 . あまり子育てしやすいと感じない	18.1%		

最後に、子育てに関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところ、ご回答いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、10月17日(水)までにご返送ください。

世田谷区
子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定に係るニーズ調査
調査報告書

平成31年3月

発行：世田谷区子ども・若者部子ども育成推進課
〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27
TEL 03-5432-2528